

3 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（令和3（2021）年度確定）

1) 普通作物

(1) 水稻

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	下位葉、上位葉の発生はともに昨年と同様多かった。 箱施用剤による予防をしていないところや葉色の濃い水田で発生が多く見られた。	今年度は梅雨明けは平年並であったが、初期発生は昨年と同様多かった。梅雨明け後は天候が回復し、病斑が止まったが、上位葉にまで発生が及んだ。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	県内全域で発生が見られた。 感染源となる葉いもちの発生が昨年に引き続き多く、穂いもちの発生も平年より多かった。	梅雨明け後は、高温多湿で経過したが、8月中旬の停滞前線の影響により、穂ぞろい期後の断続的な降雨で、葉いもちが見られなかったほ場でも穂いもちの発生が見られた。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月～8月上旬の発生は平年並で推移したが、8月下旬の発生は多く、一部では上位まで病斑が進展しているものもあった。	菌密度が高まっているほ場は毎年発生が確認される。かつ、8月中旬の降雨により、高温多湿条件となり、本年も発生が見られたほ場が多かった。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除が実施された。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	主に県中南部で発生が見られたが、やや少なかった。	ヒメトビウンカの越冬世代成虫密度は平年よりも少なかった。7月の気温低下や連続降雨、8月降雨により昨年に比べ少なく推移した。
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般に発生は平年並であった。	8月以降、高温多湿で経過したため、昨年に比べ平年並となった。発生程度が高いところは、ほ場の菌密度が高まっていると考えられた。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	フェロモントラップによるニカメイガの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、平年並みの地点が多かった。7月中旬の心枯茎の発生はやや少なく、8月下旬の白穂の発生もやや少なかった。	適切な防除が行われたため、心枯茎や白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	予察灯における誘殺は8月から見られ、総誘殺数は平年に比べ少なかった。水田すくいとり調査では、7月は平年よりも多かったが、8月では少なかった。	本県への飛来は少なかった。
トビイロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	予察灯における総誘殺数は、平年よりやや少なかった。黄色粘着板の誘殺数は、8月、9月ともに平年よりも少なかった。水田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともにやや少なかった。	越冬世代の密度は少なかった。7月の気温が平年よりも低く推移したことや連続降雨により発生量は少なく推移した。8月は気温は平年並であったが、降水量が多く、発生量はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は平年並であった。本田すくい取り調査の発生量は、7月上旬は平年並・8月上旬はやや少なかった。	箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：並	水田すくい取り調査では8月上旬にクモヘリカメムシが平年よりもやや多く見られた。主要4種の合計は7月、8月ともに平年並であった。 フェロモントラップによるクモヘリカメムシの誘殺数は場所によりばらつきがあるが、やや少なかった。	1月から3月にかけての冬期の気温は平年よりも高く推移し、大型カメムシの越冬に有利であった。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	予察灯及び水田すくい取り調査で本虫の誘殺は見られなかった	本県への飛来は少なかった。
イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	令和2年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや多かった。5月下旬のほ場調査では、平年並の発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや多かったが、本田でも平年並の発生となった。
イネツトムシ（イチモンジセリ）	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：やや少	水田すくいとり調査では、7月は少なく、8月はやや少なかった。ほ場調査では、7月中旬、8月上旬の発生量はともに少なかった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	水田すくいとり調査では、7月はやや多く、8月は平年並であった。	
フタオビコヤガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	予察灯ではわずかに誘殺された。水田すくいとり調査では、7月は少なく、8月はやや少なかった。	

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	5月上旬、中旬調査では発生はほとんど見られなかったが、5月下旬調査では平年に比べ多い発生となった。	風雨等で感染が拡大するため、平年より7～10日程度生育が早かったこと、4月上旬の低温の影響による不稔粒、穂幼穂凍死が発生したこと、さらに5月中旬の断続的な降雨が重なり例年よりも多い発生であった。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：多	ほ場における発生は、8月はやや少なく、9月はやや多かった。	
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが、やや少～平年並み。ほ場における発生は平年並みだった。	適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺数は、地点によりばらつきはあるがやや少～平年並み。ほ場における発生は、平年並みであった。	ほ場では主にイチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシが観察された。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は見られなかった。	

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	育苗期後半の9月に発生が増加し、平年並みの発生であった。	昨年発生がやや多く、分生子を持ちこしていると考えられるほ場が散見される。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	無病苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	育苗期7～8月に平年並の発生であった。	一部の軟弱徒長、過密なっている親株で梅雨により多く発生した。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	一般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	一般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	一般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

いちご (本ぼ)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	定植直後の発生は少なかったが、12月と3月はやや多い発生であった。	潜在的な感染株があり、除去が遅れた。
萎黄病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	11、1、3月で発生がみられた。	潜在的な感染株があり、除去が遅れた。
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	全般にやや少ない発生であった。	冬期に降水量が少なく、気温が高く推移したため発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：－	平年：並 前年：やや多	全般に平年並の発生であった。	冬期に降水量が少なく、気温が高く推移したため発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生で推移したが、春先にかけては平年並みの発生であった。	アブラムシ類は防除の優先順位が低く、後手に回りやすい傾向にある。また、ハダニ類天敵の普及により薬剤散布の機会が減り、近年、増加傾向にある。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般にやや少ない～平年並の発生であった。	薬剤感受性の低下が著しく、薬剤防除だけでは発生抑制が難しい。天敵利用が普及しており、年明け以降は発生が落ち着く傾向にあった。
コナジラミ類	平年：やや遅い 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：やや遅い 前年：やや早い	平年：並 前年：やや少	秋～冬期にかけては発生が少なかったが、3月にやや多い発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。3月の発生増加は施設外からの飛び込みが増えたことによるものと考えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) 夏秋トマト

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	7月に発生がみられた。	6月下旬から7月上旬にかけては、平年に比べ日照時間が少なく、発生が増加した。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	7月にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	7月にやや少ない発生であった。	平年に比べて7月に気温が低く、降水量が多かったため発生が見られたものの、8月に気温が高く降水量が少なかったため発生が抑えられた。
モザイク病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	7月に多い発生であった。	本病を保毒するタバココナジラミがまん延している地域で対策が充分でなかった。
すすかび病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	8月にやや多い発生であった。	7月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
アブラムシ類	平年：並 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	一般的にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：やや早	平年：並 前年：並	一般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	一般的にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生がみられた。	実質的な被害はほとんど生じていない。

(3) 冬春トマト

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	10月に発生がやや多くなった。	8月中旬から9月中旬にかけては、日照不足や低温が続き、太陽熱を利用した土壤消毒の効果が十分でなかった。
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	2月から3月に発生が見られ、やや少ない発生であった。	11月以降、平年より降水量が少なく気温が高かったため、発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：やや多	11月から3月まで、やや多い～多い発生となった。	発生後の散布で薬剤の効果が充分でなく、発生が抑制できなかった。
モザイク病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類（媒介虫）の発生が少なかったため、発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	1月に発生がみられた。	耐病性品種の作付けが増加したため、発生が抑制された。主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、生育初期の外部からの媒介虫の侵入による発生が考えられた。
すすかび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	11月から1月に発生がみられた。	下葉かきの徹底や、ハウス内の通風などによって発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	全般にやや多い～多い発生であった。	10月以降、日照時間が平年より長く、施設内気温が上昇しやすい傾向にあったため、防除ムラによる生存個体からの発生が多かった。
ハモグリバエ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般には少ない発生であったが、9～10月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 夏秋なす

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：早い 前年：早い	平年：並 前年：やや少	7月にやや多く、8～9月に平年並の発生であった。	7月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：－	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	輪作、耐病性台木の普及により発生が少なかった。
青枯病	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや少	8～9月に一部のほ場で発生が見られ、やや多い発生であった。	7月に降水量が多かったことと、8月の高温が本病の発生に適していたため、連作している一部のほ場で発生が多く見られた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	全般にやや少ない発生であったが、例年発生が少ない9月にも発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(5) 夏秋きゅうり

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	8～9月に発生が増加し、多い発生であった。	8月中旬の低温・日照不足により発生が増加した。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	7～9月にやや多い～多い発生が見られた。	8月中旬の低温・日照不足により発生が増加した。
疫病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：遅	平年：やや少 前年：少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般にやや少ない発生であったが、8月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：やや少	6月にやや多い発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(6) 冬春きゅうり

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	12月までは少ない発生であったが、1月に発生が増加し、やや多い発生となった。	晴れの日が多く、湿度が低い時期は発生が抑えられていたが、低温期に湿度が高くなり発生が増加した。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	1～3月にやや多い～多い発生であった。	晴れの日が多く、湿度が低い時期は発生が抑えられていたが、温度の上昇と降水により発生が増加した。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	生育前半に少ない発生であったが1～3月に発生が増加した。	気温が低い時期は発生が抑えられていたが、温度の上昇とともに発生が増加した。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	2月までは発生がみられなかったが、3月にやや少ない発生であった。	2月以降の気温の上昇と降水により発生が増加した。
疫病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	2月にやや多い発生であった。	主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、外部からのアザミウマ類の侵入による感染により発生した。
ハモグリバエ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：少	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(7) なら

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
乾腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	1月に発生し、2～3月に多く発生した。	窒素過多の圃場や連作圃場で発生が見られた。
白斑葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	10月に多く発生したが、1月以降は少ない発生であった。	株養成期の防除が適切に行われた。
さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	10月に多く発生したが、11月以降は少ない発生であった。	株養成期の防除が適切に行われた。
ネダニ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般に少ない～やや少ない発生であった。	同一ほ場で長年にわたり作付されており、発生しやすい環境となっている。

(8) 秋冬ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	9月に発生が多かった。	6～7月に降水量が多く7月に気温が低かったため発生が増加した。
べと病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	7月に発生が多かった。	6～7月に降水量が多く発生が増加した。
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	9月にやや多い発生であった。	8月中旬から9月中旬までは日照不足で発生が増加した。
萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかつたため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般に少ない～やや少ない発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われた。
ハモグリバエ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	全般に少ない発生で推移したが、10月に多く発生した。	ネギハモグリバエ別系統によるものと思われる被害が一部のほ場で確認された。
ネギコガ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	全般に平年よりもやや多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(9) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	3月に気温が高く、5月に降水量が多かったことから発生が増加した。
白色疫病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：並	5月に発生が増加し、やや多い発生であった。	4月に降水量が多かったことから発生が増加した。
アザミウマ類	平年：並 前年：やや早	平年：並 前年：やや多	4月にやや多い発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(10) 冬キャベツ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
菌核病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(11) あぶらな科野菜

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(12) 冬レタス

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
菌核病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
軟腐病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	10月に一部のほ場で発生が見られた。	8～9月の気温が高く、発生に適していた。
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(13) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：少 前年：少	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全体的に少ない発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われたが、一部の園芸作物で被害が確認された。
オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般に平年並の発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹
(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	7月に発生が見られた。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされているが、耐性を持たない品種で発生したものと考えられる。
黒星病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	葉の病斑はやや少ない発生であったが、7月に果実でやや多い発生が見られた。	梅雨明けからの天候不順で防除が遅れ、果実を中心に7月以降の発生が増加した。
赤星病	平年：やや早 前年：早	平年：並 前年：並	5月から早い発生となったが、発生量は少なかった。	春先の天候不順による防除の遅れで発生が早かったが、その後は抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6、8月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップにおける発生時期及び発生量は平年並みであった。ほ場における被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	7月からやや早く発生が見られたが、発生量は平年並であった。	梅雨の時期に薬剤散布が難しく、梅雨明け後も天候不良が続いたため、発生が見られた。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	7月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
黒星病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	ほとんど発生していない。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤星病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	ほとんど発生していない。	適切な防除により発生が抑えられた。
輪紋病	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	8、9月に発生が見られた。	梅雨の時期に薬剤散布が難しく、梅雨明け後も天候不良が続いたため、発生が見られた。
褐斑病	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	7月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	一般的にほとんど発生せず、9月にやや少く発生した。	適切な防除により、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であったが、9月に平年並の発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	フェロモントラップによる誘殺数は全般的に少なかった。	昨年のスギ・ヒノキ球果量が少なかったため、今年にかけての越冬虫数が少なく、果樹園への飛来は限定的であった。

4) 花き
(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	4月から7月および12月で発生が見られたが、全体的な発生量は少なかった。	適切な防除により初期段階で発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：やや早 前年：やや早	平年：多 前年：並	一部のほ場で発生が散見された。	施設開口部付近では外部からの飛び込みによる発生が見られた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	ハスモンヨトウの飛来量が少なかったことが要因と考えられる。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

4 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（令和4（2022）年速報）

1）普通作物

（1）水稲

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや少	下位葉の発生は平年並、上位葉の発生はやや少なかった。7月上旬～中旬の発生株率は平年より高かった。	今年度は梅雨明けが遅く県北部等は断続的な降雨があった地域に発生が見られた。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：少	県内全域で発生が見られた。感染源となる葉いもちの発生は7月上旬に多かったが、8月は小雨で経過して、穂いもちの発生は平年並となった。	梅雨明け後は、高温小雨で経過したが、8月中旬の穂ぞろい期後の断続的な降雨があった県北部などに穂いもちの発生が見られた。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	6～7月の発生は少から平年並で推移したが、8月上旬の発生はやや多かった。8月下旬の発生は平年並であった。	菌密度が高まっているほ場は毎年発生が確認される。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	定点調査での発生が散見された。	適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除が実施された。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	県内全域に発生が見られたが、やや少なかった。	
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般に発生は平年並であった。	8月以降、比較的小雨で経過したため、平年並となった。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや多	フェロモントラップによるニカメイガの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、平年並みの地点が多かった。7月中旬の心枯茎の発生はやや多く、8月下旬の白穂の発生は平年並であった。	適切な防除が行われたため、心枯茎や白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	予察灯における誘殺はほとんど見られず、平年よりも少なかった。水田すくいとり調査では、7月は平年よりも多かったが、8月ではやや少なかった。	本県への飛来は少なかった。
トビイロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：多	予察灯における総誘殺数は、平年よりやや少なかった。黄色粘着板の誘殺数は、8月、9月ともに平年よりもやや少なかった。水田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともに平年並であった。	越冬世代の密度はやや少なかった。7月の気温が平年よりもかなり高く推移したが、降水量も多かったことから発生量は平年並程度で推移した。8月は気温は平年並で、降水量が少なめとなり発生量は平年並であった。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	5月から9月までの予察灯における総誘殺数はやや多かった。水田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともに平年並であった。	気温が高めに推移するなど、発生量がやや多かった。箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：並 前年：やや早い	平年：並 前年：並	水田すくい取り調査では8月上旬のクモヘリカメムシは幼虫が多く、成虫が平年並であった。主要4種の合計は7月、8月ともに平年並であった。フェロモントラップによるクモヘリカメムシの誘殺数は場所によりばらつきがあるが、平年並であった。	3月以降気温が高く推移し、カメムシ類の活動に有利な条件であったことから、前年よりやや多い発生が見られた。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	予察灯及び水田すくい取り調査で本虫の誘殺は見られなかった	本県への飛来は少なかった。
イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	令和3年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや少なかった。5月下旬のほ場調査では、やや多い発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや少なかったが、3月以降気温が高く推移し、イネミズゾウムシに有利な条件であった。本田ではやや多い発生となった。
イネツトムシ（イチモンジセセリ）	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	水田すくいとり調査では、7月は少なく、8月はやや少なかった。ほ場調査では、7月上旬が平年並、8月上旬がやや少ない発生量であった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	水田すくいとり調査では、7月、8月ともにやや少なかった。	

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：多	定点調査では小麦で発生が見られた。	葉色の濃いほ場で発生が見られた。
赤かび病	平年：- 前年：-	平年：多 前年：やや多	5月上旬の発生は見られなかったが、5月中、下旬調査では平年に比べ多い発生となった。	4月下旬の周期的な降雨が続いたことから多い発生であった。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
コガネムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：並	ほ場における発生は、8月はやや少なく、9月は少なかった。	
シロイチモジマ ダラメイガ	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
マメシンクイガ	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが、平年並。 ほ場における発生はやや少なかった。	適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸食性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが平年並。ほ場における発生も平年並であった。	ほ場では主にイチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシが観察された。
フタスジヒメハムシ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや多	ほ場における発生は、8月、9月ともに平年並であった。	

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床：令和4(2022)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	8月に発生が増加し、平年並みの発生であった。	昨年の発生は平年並だが、分生子を持ちこしていると考えられるほ場が散見される。
萎黄病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	無病苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	育苗期初期の6～7月にやや少ない発生であった。	一部の軟弱徒長、過密なっている親株で梅雨により多く発生した。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	一般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	一般的にやや少ない～平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや少 前年：並	一般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) トマト (夏秋：令和4(2022)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
葉かび病	平年：遅 前年：遅	平年：やや多 前年：多	6月は限定的で、8月に主に発生がみられた。	梅雨明けが早く少雨傾向であったが、7月の降雨により多湿だったため、発生がみられた。
モザイク病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	7月に多く、8月は平年並みの発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
すすかび病	平年：遅 前年：遅	平年：並 前年：やや少	8月にやや少ない発生であった。	梅雨明けが早く少雨傾向であったが、7月の降雨により多湿だったため、発生がみられた。
アブラムシ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：並	一般的に少ない発生であったが、7月に多い発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	一般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：並	一般的にやや少ない発生であった。	実質的な被害はほとんど生じていない。

(3) なす (夏秋：令和4(2022)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	6～7月の発生は少なかったが、8～9月はやや多い発生であった。	7～8月の多湿により、発生が増加した。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	一般的に少ない発生であった。	輪作、耐病性台木の普及により発生が少なかった。
青枯病	平年：並 前年：やや遅	平年：多 前年：多	8～9月に発生があった。	7～8月に降水量が多かったため、連作ほ場で発生が見られた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	一般的にやや少ない発生であったが、7月に平年並の発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：やや遅 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	一般的にやや少ない発生であったが、例年発生が少ない9月にも発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	一般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) きゅうり (夏秋：令和4(2022)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：早い 前年：-	平年：多 前年：多	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	6～7月の発生はやや多く、8～9月はやや少ない発生であった。	6月の降水により、7月の発生が増加したが、7月以降は比較的気象条件が安定したことから、発生は落ち着いた。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：多	少ない～平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
疫病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	やや少ない～平年並の発生であった。	アザミウマ類の発生が確認されたほ場で発生している。
ハモグリバエ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	全般的に平年並～やや多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや多	6、7月に多く発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：多	全般に少ない発生であったが、6月にやや多い発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

(5) ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	7月に発生は平年並であったが、8月以降は少ない発生であった。	6月の降水により、7月の発生が増加したが、7月以降は比較的気象条件が安定したことから、発生は落ち着いた。
べと病	平年：並 前年：-	平年：並 前年：やや少	7月に発生が多くみられたが、概評は平年並の発生であった。	6月の降水により、7月の発生が増加したが、7月以降は比較的気象条件が安定したことから、発生は落ち着いた。
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	7～9月に平年並の発生であった。	6月の降水により、7月の発生が増加したが、7月以降は比較的気象条件が安定したことから、発生は落ち着いた。
萎縮病	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや多	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかつたため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年：- 前年：-	平年：やや少 前年：少	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ネギコガ	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(6) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に平年並の発生であった。	4月下旬以降の周期的な降雨や発病適温だったことから発生量は前年よりも増加した。
白色疫病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒斑病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(7) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：やや遅 前年：並	平年：並 前年：多	全般的に平年並みの発生であった。県南部の一部地点において、9月にやや多い発生がみられた。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般的にやや少ない～平年並の発生であった。県東部及び県南部の一部地点において、9月にやや多い発生がみられた。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹
(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒星病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	全般に少ない発生であったが、一部のほ場では7月に果実への発生が見られた。	生育期間中、高温、少雨傾向であり、適切な防除が行われたため発生が抑えられた。
赤星病	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：並	7月以降、一部のほ場で発生した。	一部の菌密度の高いほ場で発生した。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	5月に平年並の発生がみられたほかは、やや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：－	平年：多 前年：多	7、8月に多く発生した。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	フェロモントラップにおける発生時期は平年並み、発生量はやや多かったが、ほ場における被害は少なかった。	梅雨明けが例年より早かったため、発生量が多くなった。
ハマキムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや少 前年：やや少	8月に発生が見られたが、発生量は全般に少なかった。	4～8月の降水量が少なかったため発生が少なかった。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	6月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	ほとんど発生していない。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：－	6～7月に発生した。	一部の菌密度の高いほ場で発生した。
輪紋病	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや多 前年：並	9月に発生が見られた。	7～8月の一時的な大雨が発生を助長した。
褐斑病	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：やや多 前年：やや少	8月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
ハダニ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：多	フェロモントラップによる誘殺数は全般的にやや多かった。	越冬虫数が比較的多かったことと、梅雨明けが早まったことによる高温傾向の継続のため、発生量が多くなった。スギ・ヒノキの球果量が多かったため次世代成虫の発生も多かったが、餌が豊富なため山林に留まりやすく、果樹園への飛来はあったが被害は限定的であった。

4) 花き
(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：やや少	4月に発生が見られ発生量はやや少なかった。	適切な防除により初期段階で発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや遅い	平年：やや少 前年：少	一般的にやや少ない発生であった。	一部ほ場において、防除の合間に発生が見られたものの、被害は限定的であった。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	一般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	一般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：多	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

5 病虫害発生程度別面積

1) 令和3(2021)年度病虫害発生程度別面積(確定)(ha)

作物名	作付面積	病虫害名	甚	多	中	少	計
普通期水稻	54,800	葉いもち	0	2050	1290	28340	31,680
		穂いもち	0	0	0	44070	44,070
		紋枯病	0	0	3930	33350	37,280
		ばか苗病	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病(種子消毒)	0	0	0	0	0
		縞葉枯病	0	0	0	17230	17,230
		稲こうじ病	0	0	1440	13890	15,330
		ニカメイガI	0	0	0	2100	2,100
		ニカメイガII	0	0	0	2800	2,800
		セジロウンカ	0	0	0	4900	4,900
		トビロウンカ	0	0	0	0	0
		ヒメトビウンカ	1400	5600	12600	32300	51,900
		ツマグロヨコバイ	0	0	2100	31600	33,700
		斑点米カメムシ類	0	1400	2800	9100	13,300
		フタオビコヤガ	0	0	0	4200	4,200
		コブノメイガ	0	0	0	0	0
		イネミズゾウムシ	0	0	9100	27400	36,500
麦	12,600	うどんこ病	0	0	0	0	0
		赤かび病	0	0	0	2,900	2,900
大豆	2,350	アブラムシ類	0	630	550	630	1,810
		ハスモンヨトウ	0	0	0	160	160
		吸実性カメムシ類	0	0	0	470	470
		フタスジヒメハムシ	0	0	80	240	320
りんご	140	斑点落葉病	0	0	0	140	140
		黒星病	0	0	0	0	0
		赤星病	0	0	0	0	0
		輪紋病	0	0	0	40	40
		褐斑病	0	0	0	140	140
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	42	42
なし	734	黒斑病	0	0	0	27	27
		黒星病	0	0	0	109	109
		赤星病	0	0	0	39	39
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	27	27
		カメムシ類	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	27	190	217
ぶどう	213	晩腐病	0	0	0	0	0
		黒とう病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	107	107
		灰色かび病	0	0	0	0	0

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋トマト	119	疫病	0	0	0	11	11
		灰色かび病	0	0	0	11	11
		葉かび病	0	0	0	22	22
		コナジラミ類	0	0	0	104	104
		アブラムシ類	0	0	0	22	22
冬春トマト	199	疫病	0	0	0	25	25
		灰色かび病	0	0	0	63	63
		葉かび病	0	9	0	36	45
		コナジラミ類	0	0	0	80	80
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
夏秋ナス	310	うどんこ病	34	0	34	34	102
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		アザミウマ類	0	34	0	172	206
		オオタバコガ	0	0	0	69	69
		アブラムシ類	0	0	34	69	103
		ハダニ類	0	0	0	103	103
夏秋キュウリ	211	べと病	0	0	42	84	126
		うどんこ病	0	0	0	90	90
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		褐斑病	0	21	21	21	63
		アザミウマ類	0	0	23	47	70
		アブラムシ類	0	0	0	23	23
		コナジラミ類	0	0	0	106	106
冬春キュウリ	49	べと病	0	0	0	33	33
		うどんこ病	0	0	8	25	33
		灰色かび病	0	0	5	0	5
		褐斑病	0	0	0	5	5
		アザミウマ類	0	0	0	6	6
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		コナジラミ類	0	0	0	25	25
冬キャベツ	84	黒腐病	0	0	0	0	0
		菌核病	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		コナガ	0	0	0	0	0
タマネギ	258	白色疫病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	97	97
		ネギアザミウマ	0	0	65	193	258
秋冬ネギ	473	さび病	0	0	59	296	355
		黒斑病	177	0	119	177	473
		べと病	0	0	0	118	118
		シロイチモジヨトウ	0	0	0	0	0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	59	59
		ネギハモグリバエ	0	0	0	237	237
		ネギアザミウマ	59	59	0	59	177

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
冬レタス	91	灰色かび病	0	0	0	0	0
		菌核病	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
		オオタバコガ	0	0	0	0	0
イチゴ	518	灰色かび病	0	0	0	39	39
		うどんこ病	0	0	0	55	55
		炭そ病	0	0	0	55	55
		アブラムシ類	0	27	27	89	143
		アザミウマ類	47	8	31	63	149
		ハダニ類	0	24	47	181	252
		ハスモンヨトウ	0	0	0	56	56
きく	99	白さび病	0	0	11	11	22
		アザミウマ類	11	0	0	11	22
		アブラムシ類	10	10	0	20	40
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0

※作付面積：農林水産省の統計データを参照。

2) 令和4(2022)年病虫害発生程度別面積(速報)(ha)

作物名	作付面積	病虫害名	甚	多	中	少	計
普通期水稲	54,800	葉いもち	0	1,300	0	24,500	25,800
		穂いもち	0	0	0	12,200	12,200
		紋枯病	1,300	1,400	3,500	24,800	31,000
		ばか苗病	0	0	0	2	2
		もみ枯細菌病(種子消毒)	0	0	0	0	0
		縞葉枯病	0	0	600	15,800	16,400
		稲こうじ病	0	800	1,400	14,300	16,500
		ニカメイガI	0	0	0	4,200	4,200
		ニカメイガII	0	0	0	2,100	2,100
		セジロウンカ	0	0	0	3,500	3,500
		トビロウンカ	0	0	0	0	0
		ヒメトビウンカ	3,500	7,000	23,200	20,400	54,100
		ツマグロヨコバイ	0	0	4,200	34,400	38,600
		斑点米カメムシ類	0	2,800	8,400	9,800	21,000
		フタオビコヤガ	0	0	0	0	0
		コブノメイガ	0	0	0	0	0
イネミズゾウムシ	0	0	13,700	22,800	36,500		
麦	12,600	うどんこ病	0	0	0	630	630
		赤かび病	0	0	0	4,200	4,200
大豆	2,350	アブラムシ類	0	0	80	710	790
		ハスモンヨトウ	0	0	0	160	160
		吸実性カメムシ類	0	0	80	470	550
		フタスジヒメハムシ	0	0	80	310	390
りんご	140	斑点落葉病	0	0	20	101	121
		黒星病	0	0	0	0	0
		赤星病	0	0	0	0	0
		輪紋病	0	0	0	40	40
		褐斑病	0	0	20	120	140
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	0	0
なし	730	黒斑病	0	0	0	0	0
		黒星病	0	0	0	54	54
		赤星病	0	0	0	82	82
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	324	324
		カメムシ類	0	0	0	54	54
		アブラムシ類	27	27	108	324	486
ぶどう	213	晩腐病	0	0	0	0	0
		黒とう病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	22	22
		灰色かび病	0	0	0	0	0

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋トマト	111	疫病	0	0	0	0	0
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		葉かび病	0	0	0	37	37
		コナジラミ類	0	0	20	30	50
		アブラムシ類	0	0	0	10	10
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
夏秋ナス	291	うどんこ病	32	97	32	65	226
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		アザミウマ類	0	0	65	162	227
		オオタバコガ	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	83	83
		ハダニ類	0	0	0	97	97
夏秋キュウリ	199	べと病	0	17	50	100	167
		うどんこ病	0	0	0	80	80
		灰色かび病	0	0	0	66	66
		褐斑病	0	0	0	0	0
		アザミウマ類	0	17	33	33	83
		アブラムシ類	0	0	17	33	50
		コナジラミ類	20	0	20	100	140
タマネギ	248	白色疫病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	177	177
		ネギアザミウマ	0	0	106	106	212
秋冬ネギ	496	さび病	0	71	0	142	213
		黒斑病	0	0	0	213	213
		べと病	0	0	0	71	71
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		ネギハモグリバエ	0	0	0	71	71
		ネギアザミウマ	283	0	0	0	283
イチゴ	509	灰色かび病	0	0	0	0	0
		うどんこ病	0	0	0	56	56
		炭そ病	0	0	0	42	42
		アブラムシ類	8	0	32	73	113
		ハダニ類	0	16	24	162	202
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
きく	99	白さび病	0	0	0	4	4
		アザミウマ類	0	10	0	20	30
		アブラムシ類	10	0	0	0	10
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0

※作付面積：農林水産省の統計データを参照。

6 病害虫診断結果

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
1月6日	真岡市	アカシア (鉢物)	鉢の表面、土中に1～3mm程度の菌核（白色）らしきものが多数存在する。	1. 症状 土壌および根に白色構造物が見られる。株そのものには生育不良、萎凋、枯れ等の異常なし。 2. 診断方法 PDA培地、WA培地、NA培地で白色の組織（菌糸体）の分離を実施。 3. 結果 PDA培地では黒色の菌糸が伸長。WA培地、NA培地ではコロニー見られず。白色の組織は菌核と推定できる。白絹病を引き起こす <i>Sclerotium</i> 属菌が考えられるが、菌糸等の形態が異なり、同定にはいたらなかった。
1月6日	宇都宮市	いちご	・ ベッドに触れていた果房をベッドの外に出したところ、果実の種のくぼみに被害跡が見られた。 ・ 被害跡は果実の先端部に多く、先端部は種が変色していた。 ・ 被害跡を観察すると、白いダニのような虫が観察された。	1. 症状 果実表面が凹み、乳白色のケン粒状の昆虫が発生していた。昆虫は果実表皮を食害していた。 2. 診断方法 実体顕微鏡及び生物顕微鏡による検鏡。 3. 結果 交尾器形状から ケナガコナダニ と同定した。高設栽培の植物基材に使用されている有機物が発生源とみられる。
1月13日	宇都宮市	トマト	12月下旬ごろから下位葉から葉の黄化症状が見られるようになった。葉やがくの縁から黄化症状が始まり、最終的に枯れあがる。症状が見られる株はスポット的に点在。草勢も弱く、花質も悪い。3年前から毎年同時期に症状が見られる。	1. 症状 根の維管束の一部褐変、茎の空洞。 2. 診断方法 イムノストリップ診断、組織培養。 3. 結果 イムノストリップ診断でRS(青枯)、Phyt(疫病)：陰性、Cmm(かいよう)陽性。組織培養した結果、茎の組織では細菌が分離された。 かいよう病 と診断した。
1月17日	足利市	ユウカリ	夏頃から、立ち枯れ症状が出始め、ぼつぼつ枯れている。 ほ場は、やや水持ちが良さそうな土壌。 凍害による症状にも思えるが、夏頃から少しずつ枯れているとの話から、土壌病害も考えられる。	1. 症状 立枯症状 葉に赤褐色の斑点、根の内側に褐変あり 2. 診断手法 PDA培地上で葉、根からの組織分離及び、検鏡を実施 3. 結果 10日ほど培養したところ、白色菌糸が伸長し、中央部に褐色～黒色の孢子塊を確認。検鏡の結果、 <i>Pestalotia</i> 属菌と同定。ユウカリ類に発症する ペスタロチア病 と診断した。
1月19日	真岡市	トマト	ハウス複数ベッドで点在している ・ 地上部のしおれ、枯れ ・ 地際部切断面は褐変が見られなかった ・ 根は褐変が見られた ・ 葉をイムノストリップ検定した (Cmm) が、陰性	1. 症状 根・根の維管束の一部褐変（褐変部は少ない）、葉の水浸状黒色不定形病斑 2. 診断方法 イムノストリップ診断、組織培養、API診断。 3. 結果 イムノストリップ診断でRS(青枯)、Phyt:(疫病)、Cmm(かいよう病)陰性。組織培養した結果、根、茎、葉の組織では白色コロニーを作る運動性のある桿菌が分離された。API診断によりトマト腐敗細菌病 トマト茎えそ細菌病 の病原菌である <i>Pseudomonas</i> 属菌に近い結果が得られたが病徴が一致しないため、特定できなかった。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
1月31日	宇都宮市	ネギ	全体の1～2割程度に発生が見られる。新葉に黄化および腐敗症状が見られ、首の絞まりも悪い。内部への腐敗が見られることもある。12月頃から発生が見られ、他品種でも同様の症状が見られる。	1. 症状 新葉の水浸状病斑、腐敗。根、茎盤部は異常なし。 2. 診断方法 検鏡、組織培養、PCR診断、API診断 3. 結果 検鏡した結果、運動性の桿菌が確認された。組織培養では細菌のみ培養された。単コロニーについてAPI診断した結果、 <i>Pseudomonas marginalis</i> と一致し、PCRでは同菌株と考えられるバンドが確認できたため、症状と併せて、 ねぎ腐敗病 と診断した。
2月4日	塩谷町	いちご	<ul style="list-style-type: none"> 株の外側から葉が黄色くなって、株が萎れていく。 根の張りは良い。 ほ場全体(50a)で出ているが、2作目のハウスで特に発生が多い。発症株はハウス内点在しており、多発ほ場ではある程度まとまって発生している。 11月末～12月上旬頃から発生。 育苗期の炭疽病発症はなし。症状のひどいハウスは昨年炭疽病発生していた。 	1. 症状 葉の黄化、株の萎縮、根とクラウン部の導管部の褐変 2. 診断方法 イムノストリップ診断、組織培養、PCR診断 3. 結果 イムノストリップ診断Phyt(疫病)陰性クラウン、根の組織培養で <i>Fusarium oxysporum</i> が高確率で確認された。PCR診断で イチゴ萎黄病 に特異的なバンドが認められたため、同病と診断した。
2月7日	栃木市	トマト	<p>1月末頃から症状が発生。 →畝の末端(灌水チューブの一番端の方)、ハウス側窓近くから数株ずつまとまって発生。全体で15株程度。 重症株は下～上位葉まで黄化または白化しているが、軽症株は中位葉から黄化が始まっている。 茎や株元の褐変無し、根に異常なし、茎内部は空洞化。 ・年内からコナジラミが発生。 →すす症が出るほどではないが、葉裏には幼虫や卵も見られる。 ・その他灰色かび病がやや発生。 ・過去にかいよう病、青枯病の発生歴あり。 ・センチュウの発生歴は無し。</p>	1. 症状 葉の黄化 2. 診断方法 PCR診断 3. 結果 ToCVに特異的なバンドが認められたため、 トマト黄化病 と診断した。
2月10日	芳賀町	バーベナー	1月10日頃より発生 ほ場全体に発生している	1. 症状 葉に褐色斑点、背面は白色斑点。根に外観症状なし。 2. 診断方法 検鏡、組織培養、イムノストリップ診断 3. 結果 疫病は陰性。斑点病、炭疽病菌の確認なし。 組織培養で細菌コロニーが認められたが、病害の確認はできなかった。
2月22日	栃木市	トマト	<ul style="list-style-type: none"> 2021年11月頃～少しずつ増え始めた。 今は軽微なものも含めて2～3割の株で発生。 前作では根腐病と思わしき病害が発生した。 茎内部の空洞化(腐敗している様子は無し) 株元の褐変症状(上部への広がり、目視では確認出来ず) 褐変部分に赤い粒が見える。 根腐れ(株元の褐変により吸水が妨げられた可能性もあり) 萎れ症状(吸水出来ていないためか) 下葉がやや黄化 	1. 症状 根全体に白色菌糸。茎部分の腐敗。(地上部については写真のみの提供。全体のしおれ、下葉の黄化など) 2. 診断方法 湿潤培養、検鏡、組織培養、イムノストリップ診断。 3. 結果 イムノストリップ診断では疫病、かきよう病、青枯病陰性。植物体を湿潤培養したところ、茎部に <i>Fusarium solani</i> による子のう殻が形成され、 <i>Fusarium solani</i> による 立枯病 と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
2月28日	ー	トマト	<ul style="list-style-type: none"> ・茎の芽かき、葉かき跡から輪を描くように広がる。病斑が拡大した場合、誘引時に折れて萎れる場合がある。 ・今まで栽培経験で見てきた、灰色かび病菌とは症状が違って見える。 ・この症状での萎れ等はない(折れたものを別として)。 ・発生時期は、10月頃葉かきが遅れた時期以降のようだ。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 下部の茎の褐色紋斑。上部の葉、茎、果実には異常なし。 2. 診断方法 検鏡 3. 結果 病斑の広い範囲に分生子殻が確認でき、複数か所から同様の2室、くびれのある分生子が確認されたが、菌属の特定はできなかった。 ※病徴は円紋病に類似してる。
3月8日	壬生町	トマト	<p><発生状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年明け頃から継続的に発生。 ・当初は少なかったが、現在は1回の収穫に50果は発生。圃場を見回ると数個はすぐ見つかる状況。 ・ハウス中央部に多い傾向。 ・同じ株内や果房内での連続性は無し。全体に散在している。 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰色かび病や葉かび病などの発生は無し。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 果実のていあ部からの腐敗 2. 診断方法 組織培養、検鏡 3. 結果 組織培養したところ、7日後に黒色のコロニーを形成。形態的特徴より、<i>Rhizopus</i> 属菌と同定。他の菌が分離されなかったことも踏まえ、<i>Rhizopus stolonifer</i>によるトマトの果実腐敗症(病名なし)と診断。生育中柱頭などから菌が感染したものと推測される。
3月16日	大田原市	いちご	ほ場のごく一部で発生	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 新葉の黄化、果実の着色不良。アザミウマによるかすれではない。クラウンおよび根に褐変腐敗は無し。 2. 診断方法 検鏡、組織分離、湿潤培養 3. 結果 メセンチュウによる被害を疑い、検鏡を行ったが見られず。PDA培地およびNA培地で組織分離した結果、<i>Fusarium</i>属菌が分離された。 なお、本菌については2次的な感染が考えられた。現時点では病害虫を原因とする症状とは特定できなかった。
4月6日	さくら市	小麦	葉が黄化して萎縮し、かすり状の斑点がある。また、淡黄～褐色のストライプ状の病斑と思われる症状が表れている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 葉の黄化、かすり状の斑点およびストライプ状の病斑 2. 診断手法 RT-PCR 3. 結果 WYMV陰性、SBWMV陽性であったため、麦類萎縮病と診断した。
4月11日	宇都宮市	小麦	葉が黄化して萎縮し、かすり状の斑点がある。また、淡黄～褐色のストライプ状の症状が表れている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 葉の黄化、かすり状の斑点およびストライプ状の病斑 2. 診断手法 RT-PCR 3. 結果 WYMV陰性、SBWMV陰性であった。原因は不明。
4月13日	上三川町	小麦	葉が黄化して萎縮し、かすり状の斑点がある。また、淡黄～褐色のストライプ状の症状が表れている。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 葉の黄化、かすり状の斑点およびストライプ状の病斑 2. 診断手法 RT-PCR 3. 結果 WYMV陰性、SBWMV陰性であった。原因は不明。
4月19日	宇都宮市	水稻	第1葉葉身、葉鞘に茶色の筋状の変色正常なもの比べて草丈が低い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症状 葉鞘に茶色の筋状の変色が見られる。 2. 診断手法 NA培地で分離培養後、API20NEで判定。 3. 結果 イネ褐条病と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
4月20日	栃木市	トマト	9月12～13日に植え替えた部分に発生が多い。定植後は順調に生育していたが、葉の黄化が下葉付近に発生していた。厳寒期に草勢が低下しはじめ、4月になってからは、葉の黄化が目立ち、草勢低下も目立っている。	1. 症状 葉の黄化 2. 診断手法 RT-PCR 3. 結果 ToCV陽性であったため、 黄化病 と診断した。
4月27日	鹿沼市	トルコギキョウ	台風による浸水被害後に発生。葉の斑点症状は斑点病に推察される。立ち枯れ症状も見られることから、別の病気が混発している可能性がある。	1. 症状 葉の斑点の他、立ち枯れ症状あり 2. 診断手法 病徴の観察、罹病組織の培養（2カ所） 3. 結果 葉の斑点は病徴により斑点病と診断した。立ち枯れ症状は培養結果（菌叢の状態）により 茎腐病 と診断した。
5月12日	市貝町	トマト	4月下旬ころに生長点の葉の黄化がみられたが、その後黄化はなくなった（本人談）。5月11日現在では、生長点に縮葉症状がみられる。取り残した脇芽にも、同様な症状があらわれていた。単棟パイプハウス1棟に10株ほど見られ、ほぼ連続して発生している。圃場には、アブラムシがわずかにみられる。	1. 症状 生長点および、取り残した脇芽に縮葉症状 2. 診断手法 イムノクロマト法 3. 結果 CMV、TMV、TYLCVすべて陰性。何かしらの障害と考えられるが、原因は不明。
5月12日	足利市	日々草	5月上旬、株により、地際部黒変、地際部褐変・陥没	1. 症状 地際部黒変、地際部褐変・陥没 2. 診断手法 イムノクロマト法、組織分離 3. 結果 地際部黒変株は疫病陰性、地際部褐色・陥没株からは <i>Rhizoctonia</i> が分離されたため、後者について 苗立枯病 と診断した。
5月18日	大田原市	トマト	気づいたのは3週間前である。全体的に萎れている株があり、まわりにも広がっていった。周囲の株に他の病害の発生はほぼない。コナジラミ等散見されるが少ない。茎が空洞になっている。まわりに広がっているがこの品種にしか出ていない。	1. 症状 全身の萎れ、維管束（導管）および根の褐変 2. 診断手法 (1)イムノクロマト法 (2)組織分離 3. 結果 (1)かいよう病、青枯病ともに陰性。 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> が分離され、外観の症状および維管束（導管）の褐変からトマト萎凋病である可能性が高い。本病原菌による病害には、トマト根腐萎凋病もあるが、茎の地際部の不整形病斑が見られなかったことから、 トマト萎凋病 である可能性が高いと考えられた。
5月18日	宇都宮市	ぶどう	施設の谷部に多く発生	1. 症状 果実の小黒点症状 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 黒とう病の病原 <i>Elsione ampelina</i> の分生子を確認したため、 黒とう病 と診断した。
5月19日	鹿沼市	りんご	植えて2～3年の苗木の一部が毎年開花後に枯れる（1年目は健全に生育）。樹に虫に刺されたような痕がある。根はしっかり張っている。樹によっては台木から新梢が出てくる。	1. 症状 表皮に径1mm程度の食入孔が散見され、一部孔からはフラスが噴出していた。 2. 診断手法 木部をナイフで半割して検鏡。 3. 結果 キクイムシ科幼虫及び卵の寄生を確認。食入孔道内は菌糸で満たされ、木部が腐敗褐変していた。 →羽化した成虫を検鏡し、 ハンノキキクイムシ と同定した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
5月25日	宇都宮市	バラ	5月15日頃から株元からの黄化、立ち枯れ症状が見られた。	1. 症状 位葉の黄化、茎基部の・根の褐変 2. 診断手法 検鏡、イムノクロマト法、茎基部の組織分離 3. 結果 <i>Phytophthora</i> 陰性、菌糸・卵孢子認められず、糸状菌も分離されなかった。疫病、根腐病でないと考えられるが、原因は不明。
5月30日	鹿沼市	シクラメン	葉縁の褐変	1. 症状 葉身辺縁の褐変 2. 診断手法 LAMP法 3. 結果 3検体中2検体で陽性であったため、 炭疽病 と診断した。
5月31日	塩谷町	きく	下位・中位葉の黄化・枯死。茎の一部の褐変。	1. 葉の黄化、茎の褐変 2. 診断方法 (1) 組織分離 (2) 菌泥確認 (3) イムノクロマト法 (葉・TSWV) (4) PCR (葉・CSNV) 3. 結果 組織分離で菌糸の発生したが分生子形成せず、菌泥発生せず、イムノクロマト・PCR陰性のため原因は不明。
6月1日	宇都宮市	いちご	5月10日ごろから被害株が散見 連棟ハウスの一部区画で点在するように発生 (20株程度) 被害株は抜き取り、予備の定植苗に植え替えている。	1. 症状 葉および芽の枯れ 2. 診断手法 検鏡およびLAMP法 3. 結果 検鏡により、炭疽病菌 (<i>Colletotrichum acutatum</i>) を確認。また、LAMP法により、炭疽病陽性を確認。以上の結果と外観症状から、 炭疽病 と診断。
6月3日	塩谷町	うど	毎年発生しており今年、発生が見られたのは4月下旬頃、直近1か月で増加し、発生は全体的に散見される。症状は下葉が黄色に変色し枯れる株、下葉が黄色く変色し茶色の斑点が発生、その後に枯れる株の2種類がある。茶色の斑点が発生した株を切ったところ、導管が少し褐変していた。	1. 症状 下葉が黄色し枯れる株、下葉が黄変し茶色の斑点が発生後枯れる株の2種類 2. 診断手法 (1) 組織分離 (2) 湿潤条件下での培養及び検鏡 3. 結果 (1) 組織分離 導管が少し褐変していたと思われる茎の一部を培養したが、主要な病原菌は分離されなかった。 (2) 湿潤条件下での培養及び検鏡 シャーレに水で湿らせたろ紙をひき、病斑と思わしき葉を入れ、封じ込めた。数日後、白いカビが生えてきたため、検鏡したところ、黒斑病菌 (<i>Alternaria sp.</i>) を確認した。 (1) 及び(2)より、下葉が黄色に変色し枯れる株は、黒斑病であるが、茶色の斑点が発生した株は、ほ場全体的に散見されていることから、生理的落葉もしくは土壌環境 (pH、EC等) による可能性が高い。
6月7日	宇都宮市	なし	5月末～6月初旬に3ほ場 (うち1ほ場は2品種) 計4サンプルで葉に斑点が発生した。	1. 症状 葉身における円形や不整形の黒褐色小斑点 2. 診断手法 LAMP法 3. 結果 炭疽病 と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
6月14日	宇都宮市	なし	葉に不整形の黒色～暗褐色の斑点が発生した。	1. 症状 葉身における不整形の黒色～黒褐色小斑点 2. 診断手法 LAMP法 3. 結果 炭疽病 と診断した。
6月16日	野木町	ピーマン	症状は移植後から数本ずつ発生。数本ずつ畝伝いに発生している様子。アザミウマの食害も見られた。今は見られず。昨年、同時期に他ハウスでは症状無し。苗を他の農家に売っているが、その農家でも症状が数本見られる。鶏糞使用（ほ場の何カ所から土も採取）	1. 症状 成長点付近のえそ症状、退緑色果実および不鮮明な黄色輪紋症状 2. 診断手法 イムノクロマト法 3. 結果 TSWV陽性のため、 黄化えそ病 （仮称）と診断した。
6月20日	宇都宮市	なし	にっこり：葉にやや角張った小斑点と葉縁に黒変 豊水、新高：葉に円形の黒色斑点	1. 症状 左記 2. 診断手法 LAMP法 3. 結果 にっこり、豊水、新高とも、 炭疽病 と診断した。
6月28日	大田原市	きゅうり	花落ちが大きいキュウリを保冷库（12℃）に入れておくと1日で水浸状になり、白いカビが生える。カビは疫病菌っぽい。ほ場で全体的に出て、高い位置、低い位置で出る等場所は限定されない。除草剤が使えないため、圃場のまわりに雑草はかなり生えていて、すぐわきに雑木林がある。	1. 症状 花落ちから水浸状に腐り、白いカビが発生。 2. 診断手法 (1) LAMP法 (2) 組織分離 3. 結果 (1) 炭疽病陽性。 (2) 菌叢から <i>Colletotrichum</i> 属菌と診断。 (1)および(2)より、 <i>Colletotrichum</i> 属菌による 炭疽病 と判断した。
6月28日	宇都宮市	ブルーベリー	6月10日前後から萎縮、変色した果実が発生し、6月25日頃から目立ちはじめた。	1. 症状 果実の萎縮、表皮のはがれ 2. 診断手法 (1) 組織分離（PDA培地） (2) ビニル袋内（室温）での子実体発生確認 3. 結果 (1) 病原と考えられる菌は分離されなかった。 (2) 7月末までに子実体の発生は確認されなかった。 病原未確認であるが、病徴からマミーベリーの可能性は否定できないと診断した。
6月29日	那須塩原市	きゅうり	晴れた日萎れ、曇りの日戻る。（青枯れ病のような症状。）イムノストリリップ青枯れ病陰性。根や道管につまりはない。1月前に萎れるとのことで見に行った。水が入っている圃場だったのでそれが原因だと判断。→回復したと報告有り。→6月24日圃場の4割が萎れたと連絡あり。	1. 症状 青枯れ病のような症状だが、根や道管に褐変はない。 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 主要な病原菌は分離されなかった。
7月5日	益子町	しょうが	7月に入り、しょうがの下位葉から黄化が始まり、圃場の所々でみられる。地際部に近い茎の褐変と地際部の腐敗が進んでいる。塊茎の軟化や腐敗はないようである。	1. 症状 下位葉の黄化、地際部に近い茎の褐変および腐敗 2. 診断手法 イムノクロマト法 3. 結果 青枯病陽性のため、 ショウガ青枯病 と診断。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
7月8日	宇都宮市	いちご	親株からすくすくトレイに受けた小苗の新葉が黄色く小さくなっている。また、新葉の小葉の1枚が小さくなっている。	1. 症状 葉の萎縮、黄化及びクラウンの褐変 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)遺伝子診断 (PCR法) 3. 結果 (1)萎黄病の菌叢と判明。 (2)念のため、菌叢から菌糸を取り出し、PCRを行ったところ萎黄病陽性。 (1)及び(2)より、 萎黄病 と診断。
7月11日	さくら市	いちご	育苗中の子苗で奇形葉が発生。萎黄病かどうかを確認してほしい。	1. 症状 葉の奇形 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 培養3日以降、培地確認したが糸状菌の生育は確認されなかった。萎黄病でないと考えられる。 経過観察を依頼。
7月13日	小山市	なし	イモムシ状幼虫が果実に食入。 ・昨年から発生が急増している。 ・本年は5月頃から被害が確認されはじめ、現在でも毎日見られる。 ・果実のほか、枝でも食害を確認している。 ・梨以外にとうもろこしも栽培しており、アワノメイガの被害が確認されている。なしほ場とは数百メートル離れている。	1. 症状 持ち込みがあった時点で蛹化していた。 2. 診断手法 経過観察 3. 結果 羽化せず種の班別はできなかった。
7月15日	栃木市	ぶどう	イモムシ状幼虫が果実に食入。食入口から糸で綴られた糞が噴出。	1. 症状 発生状況のとおり 2. 手法 幼虫を検鏡 3. 結果 ノメイガ科幼虫 と同定。被害状況、寄主植物及び形態的特徴からモモノゴマダラノメイガと推定する。
7月19日	日光市	いちご	一部の株で葉の縁が枯れる症状が現れる。ランナーから出たばかりの子苗にも同様の症状が出ている。	1. 症状 クラウン内部にチョウ目幼虫が食入 2. 手法 幼虫を検鏡 3. 結果 コウモリガ科幼虫 と同定。
7月19日	さくら市	日々草	葉に輪郭不明確な黒い斑点、葉縁に淡色水浸状の斑点、茎に短線状の黒い斑点が発生。	1. 症状 発生状況のとおり 2. 診断手法 (1)イムノクロマト法 (2)組織分離 3. 結果 (1)疫病陰性 (2)菌分離なし。発生要因は不明
7月22日	那須塩原市	さつまいも	生育不良は、定植後の早い時点から散見された。被害が甚大なものは完全に枯れあがっている。被害の軽いものは、健全株と比べて生育が遅く小さいが、葉の黄化などは見られない。発症株は、ほ場の中央付近の3～4ベットの密集している。その他、病害虫による葉への被害などはほぼ見られない。	1. 症状 全身の枯れ及び葉の黄化 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 <i>Fusarium oxysporum</i> が高率に分離されたことから、つる割病の可能性が高いと診断。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
7月22日	栃木市	トマト	納品してから次の日の7月22日、苗のチェックをしていたら、2万5千株のうち約1割の苗で株元が黒くなっているのを確認。ひどいものは折れている株もある。	1. 症状 株元の褐変及び不定根の発生 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 地際部の褐変は見られるが、維管束や根の褐変は認められなかった。 地際部の褐変部分を定法により組織分離した結果、フザリウム属菌が分離された。 菌の形態観察等をした結果、トマトフザリウム株腐病菌の可能性が高いと考えられた。
7月22日	栃木市	ナス	7月1日、ほ場の西端の畝に、2株萎れがあり抜き取り処分。 ・7月4日、その後西端の畝を中心にさらに萎れが数株発生。茎に褐変が見られたためイムノストリップするものの青枯は陰性。 ・7月11日、萎れ株が拡大（ほ場に点在するようになる。2, 3株続けて症状がでている）。雨はほとんど無いが、根の腐敗を観察。 ・7月22日 回復が見込めない程の萎れが400本中30本まで拡大。萎れていなくても、ほとんどの株で下葉が黄化しはじめた。	1. 症状 株の萎れ及び下葉の黄化。 2. 診断手法 (1)イムノクロマト法 (2)組織分離 3. 結果： (1)青枯病陰性 (2) <i>Fusarium oxysporum</i> が分離されたことや外観症状から半枯病の可能性が高いと診断。
7月25日	日光市	いちご	・ハウスの西側一番端の親株1, 2本が枯れ始めた。親株のみ、古葉から枯れ始めて、新葉は健全。	1. 症状 葉の枯死（古葉）。 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 主要病害の生育は見られなかった。発生要因は不明。
8月4日	宇都宮市	いちご	新葉の縁が枯れる葉枯れ症状がみられる。	1. 症状 新葉の葉枯れ症状 2. 診断手法 (1)LAMP法 (2)組織分離 3. 結果 (1)炭疽病陽性。 (2)病原菌は分離されなかった。(1)の結果から炭疽病と診断。
8月9日	高根沢町	いちご	新葉が縮れる症状、 <i>Colletotrichum acutatum</i> か？生理障害か？黄色ポットは黒色に比べて熱くなりやすい。	1. 症状 新葉の萎縮 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)遺伝子診断（PCR法） 3. 結果 <i>Fusarium oxysporum</i> が分離されたためPCRを行ったが萎黄病は陰性。 よって、生理障害の可能性が考えられる。
8月9日	さくら市	いちご	新葉が縮れる症状、奇形葉、 <i>Colletotrichum acutatum</i> か？萎黄病か？ といの上段に多い、ランナーつながっている部分で出ている。	1. 症状 新葉の萎縮 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 主要な病原菌は分離されなかった。生理障害の可能性が考えられる。
8月16日	宇都宮市	いちご	親株を定植する前に葉枯れのような症状の株があり、それは定植していない。 親株、子苗両方に似たような症状が見られる。 育苗ハウス内で似た症状の株が数株散在している。	1. 症状 葉枯れ症状 2. 診断手法 LAMP法 3. 結果 炭疽病陽性。結果、炭疽病と診断。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
8月17日	日光市	シクラメン	葉の黄化・枯死、新芽の軟化・枯死	1. 症状 葉の黄化・枯死、新芽の軟化・枯死、塊茎の内部褐変 枯死部に悪臭なし 2. 診断手法 (1)花梗浸出液の検鏡、組織分離 (2)API20NE 3. 結果 (1)花梗浸出液から運動性の桿菌が観察された。NA培地には白色のコロニーを形成した。 (2)APIにより 葉腐細菌病 と診断。
8月19日	宇都宮市	トマト	2～3日前から症状が見られる。 葉先枯れ（水浸状）疫病の症状に似ている。 約2割の苗で発生	1. 症状 葉枯れ症状あり、胞子形成なし、茎は健全 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)イムノクロマト法 3. 結果 (1)病原菌は分離されなかった。 (2)疫病は陰性 余った苗の生育は正常なことことから、病害ではないと診断。
8月23日	真岡市	トマト	8月中旬頃から、株のしおれ→枯死する株が発生し、順次取り除いている。 症状の発生は、3～9株程度連続して発生している。 根は茶色に褐変し、根の張りはよくない。 8月下旬頃に再度確認したところ、萎れはないが生育不良、葉の黄化した株が10株程度見られた。 例年同時期に同様な症状が少々みられる（5株程度）が、今年が多い（80株）。 例年は、春先になると萎れが生じる株が数株見られ、該当株の根は褐変しているとのこと。	1. 症状 株の萎れ及び根の褐変 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)遺伝子診断(PCR法) 3. 診断結果 (1)定法により褐変部分から組織分離したところ、卵菌類が高率に分離された。 高温性のピシウム属菌が疑われたため、 <i>Pythium helicoides</i> と <i>Pythium aphanidermatum</i> についてPCRを行った結果、 <i>Pythium aphanidermatum</i> について特異的な増幅が認められ、 トマト綿腐病 と診断。
8月24日	足利市	アスパラガス	水田に面する連棟のハウスで、7月16日から若茎にとろけたような腐敗症状や地上部の枯死が発生した。7月15日の降雨の際に、隣の水田から用水が流れ込んだことが原因と思われる（浸水は1晩程度でひいた）。 軟腐病の疑いでスターナ水和剤で防除したが、8月9日の要請時には止まっておらず、ハウス全体に広がっている。 株を掘りあげたところ褐変していたため、疫病のイムノストリップで若茎の病斑部を検査したが、陰性。病斑部を湿潤状態で放置するも、カビは見られなかった。	1. 症状 若茎の腐敗症状及び地上部の枯死 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 地際部の褐変部分を定法により組織分離した結果、 <i>Fusarium oxysporum</i> が分離された。 よって、 立枯病 と診断。 なお、水田の用水に病原菌が混入していた可能性も考えられる。
8月24日	一	大豆	へその部分が黒くなっている。里のほほえみは元来白目の品種であるが、令和3年産大豆はへそが黒くなっているものが多い。 へそが黒いのは病気等の影響ではないか確認してほしい。	1. 症状 へそが黒い粒が多く見られる。 表皮が汚れている粒も見られる。 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 粒の表皮を切り取り、PDA培地で組織分離したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 黒目症状は病害によるものではないと診断。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
8月25日	栃木市	トマト	8月22日10本程度萎れている株に気づいた。萎れている株は同じ培地、列または隣の列など比較的近いが、離れている場所でも数本はまばらに確認できる。気温等の条件で萎れが回復していることもある。健全な株と比較して根ばりは悪い。※納品した苗で約1割根ばりが悪かったが、その苗にあたるかは不明。※かいよう病のイムノストリップは陰性、青枯病特有の菌泥も現時点では確認できない。	1. 症状 株の萎れ及び不定根の発生 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 地際部を切ったところ、維管束の褐変が認められたため、褐変部分を定法により組織分離したが主要な病原菌の特定には至らなかった。 気温等の条件で萎れが回復していることもあるということなので、環境要因及び生理的な要因の可能性があると考えられた。
8月31日	さくら市	いちご	切り離し前の株に炭疽病が疑われる萎凋症状。	1. 症状 萎凋症状 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 菌叢から炭疽病 (<i>Glomerella cingulata</i>) と診断。
8月31日	大田原市	いちご	炭疽病の発生はなし。 新葉の縮れ症状は、7月から継続して発生しており、その都度処分していたが、トータルで300本くらいはあると思われる。 8月26日以降、オーソサイドを散布したが、現時点で発症株は増加中とのこと。また、発症株は散在している。	1. 症状 新葉の萎縮 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 芽枯れ症状と思われる部位を定法により組織分離したが主要な病原菌の特定には至らなかった。 原因は不明である。
9月9日	真岡市	いちご	症状が出ている場所は、スポット的だった。同じ親から出ていることが多い。 芳賀農振にて7月に、炭疽病、疫病、萎黄病の調査を行ったが、検出されなかった。	1. 症状 葉の萎縮症状 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)PCR法 3. 診断結果 (1)組織分離したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 (2)ファイトプラズマ (ML0) は陰性。 発生要因は不明である。
9月9日	真岡市	いちご	害虫は特にみられなかった。 親苗が炭疽病あり。 小さくなる症状は、ランナーでつながっているものが多かった。	1. 症状 葉の萎縮症状 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)PCR法 3. 診断結果 (1)組織分離したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 (2)ファイトプラズマ (ML0) は陰性。 発生要因は不明である。
9月9日	真岡市	いちご	親苗が炭疽病 (農振確認) で、そこから出たランナーに症状が出た。 害虫の発生はなし。	1. 症状 葉の萎縮症状 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)PCR法 3. 診断結果 (1)組織分離したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 (2)ファイトプラズマ (ML0) は陰性。 発生要因は不明である。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
9月9日	真岡市	いちご	7月中旬から葉が小さくなる症状を確認。出ている苗の親苗が微量元素欠乏のようなものが多かった。微量元素入りの液剤を散布していたが、なおる様子はなかった。7月上旬からアブラムシの発生を確認した。	1. 症状 葉の萎縮症状 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)PCR法 3. 診断結果 (1)組織分離したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 (2)ファイトプラズマ (ML0) は陰性。 発生要因は不明である。
9月12日	下野市	きゅうり	8月31日 葉に斑点を確認→べと病を疑い葉散したが、止まらず。 9月5日 斑点細菌病を疑い葉散。その後、葉の黄化・黄色い斑点が目立つようになり、黄化えそ病を疑っている。展開途中の比較的新しい葉にも症状が見られ、圃場の全体的に見られる。新芽に異常は見られない。収穫物の中には、斑点細菌病?のような表面がボツボツした実が1%くらい見られるとのこと。	1. 症状 葉の黄化及び黄色斑点症状 2. 診断手法 PCR法 3. 診断結果 黄化えそ病 (MYSV) 陰性。 また、コナジラミも発生しているため、キュウリ退緑化病 (CCYV) 及びキュウリ黄化病 (BPYV) も調べたがともに陰性であった。 微量元素も供給しているが、給水量が少ない時期もあったことから生理障害の可能性が考えられた。
9月21日	小山市	いちご	葉の縮れ、生育停滞 (写真のとおり) 全体の1割程度の苗で発生 発生株はまとまっている 8月中旬頃に発生しはじめ、生育回復せず 8月下旬頃実顕微鏡で害虫を探したが見つからず。	1. 症状 葉の萎縮 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 害虫について クラウンや芽基部に寄生する虫 (ガ、コガネムシ、キノコバエ等) 及びメセンチュウの寄生は認められなかった。 病害について 葉枯れ症状は見られるが、クラウンや根の褐変は認められなかった。 クラウン及び根を定法により組織分離したが主要な病原菌の特定には至らなかった。
9月27日	栃木市	いちご	9月22日新葉が黄色に変色 ハウス6棟あるうちの1棟のみで発生	1. 症状 新葉の萎縮及び黄変 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 地際部を切ったところ、一部維管束の褐変が認められたため、褐変部分を定法により組織分離したが主要な病原菌の特定には至らなかった。 環境要因及び生理的な要因の可能性もあると考えられる。
9月27日	小山市	ハイドランジア	切り戻し直後から、株全体の葉に赤褐色の斑点 (1~10mm) が発生。	1. 症状 葉に赤褐色の斑点 2. 診断方法 (1)病斑の検鏡 (2)組織分離 (3)LAMP法 3. 結果 LAMP法により炭疽病と診断した。
9月29日	宇都宮市	ぶどう	収穫期、一部果粒に黒色のかびが発生	1. 症状 果粒の主に下半分が白色の菌糸と黒色のかびに被われている。 2. 診断手法 果粒を湿らせたろ紙上に置床し、2日後に検鏡 3. 診断結果 Aspergillus 属の胞子のうが確認されたため、こうじかび病と診断。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
10月6日	佐野市	きゅうり	8月13日～ コナジラミ、アザミウマ発生 9月20日～ 葉にモザイク、縮れ症状 葉から果実に症状でている 東西連棟ハウス（24a、60m×40m）の北東部に連続発生	1. 症状 葉のモザイク及び縮れ症状 2. 診断手法 (1)イムノクロマト法 (2)PCR法 3. 診断結果 (1)CMV (キュリモザイク病) 陽性 ZYMV (スッキニ黄斑モザイク病) 陽性 CGMMV (キュリ緑斑モザイク病) 陰性 (2)WMV (カボチャモザイク病) 陽性 MYSV (メロン黄化えそ病) 陽性 CCYV (カリ類退緑黄化病) 陰性 BPYV (キュリ黄化病) 陰性 ほ場の状況を踏まえ、まとめは以下のとおり。 弱毒ウイルス (CMV, ZYMV, WMV) 接種苗が、定植後MYSVに感染し、症状が現れたと考えられる。
10月6日	矢板市	かんしょ	さつまいも収穫時にいもの腐敗を発見。症状は、いものなり首～いも上部にかけて、腐敗が起きている。	1. 症状 新葉の萎縮及び黄変 2. 診断手法 組織分離 3. 診断結果 定法により組織分離を行ったが、主要な病原菌の特定には至らなかった。
10月11日	宇都宮市	トマト	育苗中（接ぎ木後苗テラスで管理中）の葉の黒褐色の斑点（CF桃太郎ファイト×グリーンガード）及び成長点の萎凋症状（CF桃太郎ファイト×グリーンガード）、育苗ハウスに出す前の状況です。	1. 症状 葉の黒褐色の斑点及び成長点の萎凋症状 2. 診断手法 経過観察 3. 診断結果 植物体を鉢ポットに植え替え、経過観察を行った。 葉の黒褐色の斑点症状については、下位葉に残っているが、進展はせず、新葉は健全に進展している。 成長点の萎凋症状については、回復した。 以上より、病害の可能性は低く、環境要因及び生理的要因の可能性が考えられた。
10月12日	宇都宮市	トマト	定植後病害虫の発生はなかった。 ハウス内試験区2畝（CF桃太郎ファイトのみで発生） 10月6日頃から散見された。	1. 症状 果実芯部の腐敗症状及び葉上のカビ 2. 診断手法 検鏡 3. 診断結果 果実芯部の腐敗症状は、生理障害によるものと考えられる。 葉上のカビは検鏡結果からCladosporium属菌の可能性が高いと考えられるがトマトに対する病原性については不明。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
10月13日	鹿沼市	トマト	8月17日から定植、5段開花、収穫前。 10月上旬に発生の連絡あった。 下位から中段の葉にかいよう病のような葉枯れと葉脈の枯れが見られる。 発生は、数本程度。 イムノストリップでかいよう病と青枯病の検定を行ったが陰性だった。 台木に導管の褐変が見られるが、穂木側の褐変は見られない。	1. 症状 下位から中段の葉にかいよう病のような葉や葉脈の枯れ。 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 1 回目診断依頼株 維管束、根の褐変等は認められなかった。 2 回目診断依頼株 葉、葉柄の褐変部分を定法により組織分離したが病原菌等は分離されなかった。 なお、維管束の縦断面(写真赤丸)に切れ目のようなものが観察できる。1 回目診断依頼時こういった症状があったかは不明。
10月20日	高根沢町	たまねぎ	10月13日頃に外葉が枯れていることに気がついた。 10月15日葉切りを行った後、急に枯れている範囲が広がった。 枯れている葉は外側の葉だけで、根や茎元に褐変などは見当たらない。 10月18~20日に振興事務所で保管し観察したが、カビの発生は見られなかった。	1. 症状 外葉の枯れ 2. 診断手法 (1)組織分離 (2)API 20 NE 3. 診断結果 (1)地際部の一部褐変部位及び外葉が枯れた部位を定法により組織分離した結果、地際部からは <i>Fusarium oxysporum</i> が分離されたが、外葉部位からは主要な病原菌は検出されなかった。 なお、 <i>Fusarium oxysporum</i> が病原性があるかどうかは不明。 (2)細菌による可能性も示唆されたため培養したところ、細菌も分離された。API 20 NEにより細菌の同定を行ったが、主要な病原菌の特定には至らなかった。
10月20日	大田原市	トマト	1月前から出始まった。ほ場の3割ほど出ている。中位葉、下葉から症状がで始まっている。麗旬、麗妃とともに根を抜き取ったところ根張りが悪く赤く変色している箇所があったので紅色根腐れ病の疑いがある。黄色くなり方がちがうので麗旬→黄化病、麗妃→紅色根腐れ病の影響が強く出ているのでないか。 毎年同じ症状が出ている。	1. 症状 葉の黄化 2. 診断手法 (1)RT-PCR (2)組織分離 3. 結果 (1)ToCV陽性であったため、黄化病と診断した。 (2)「根に紅色根腐れ症状が見られたため、本症状と考えられる部位を定法により組織分離を試みたが、主要な病原菌の特定には至らなかった。
10月20日	那須塩原市	トマト	10月16日に中位葉から下が黄色く凋れているのに気づいた。 10月17日振興事務所 訪問 ほ場の3割ほどでている。 地際部が褐変していたので株腐れや土壌病害を疑ったが、バクテリアしか見えなかった。 イムノストリップ 青枯れ：陰性 疫病：陰性 地際部をほじったら白い虫がたくさん出てきたが何の虫かわからない。	1. 症状 地際部の食害 2. 診断手法 検鏡 3. 結果 クロバネキノコバエ類幼虫 の寄生を確認。
11月1日	栃木市	ハイドランジア	秋口から葉に斑点症状が発生。葉裏にも退緑斑点が発生。	1. 症状 葉に5~10mmの茶褐色の斑点。大きな斑点は中心が白く抜ける。葉縁の斑点は輪紋状になり、小黒点が発生。 2. 診断手法 小黒点部位を検鏡。 3. 結果 <i>Phoma</i> 属の柄胞子が確認されたため、 輪紋病 と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
11月14日	真岡市	トマト	<p>生長点から中間葉付近までのしおれ症状がみられる。 症状は11月8日頃から目立ってきた。11月14日現在は、ハウス内の10ベッド程度で発生（発生ベッドは散在）。同ベッド内での発生は連続している。 スラブからキューブを外した際、根はやや褐変していた。 株元から茎を切断すると断面はやや褐変していた。 （コナジラミ類の発生もやや多い。）</p>	<p>1. 症状 根、茎の褐変及び中間葉から生長点のしおれ症状 2. 診断手法 (1) イムノクロマト法 (2) 組織分離 (3) PCR (4) API 20 NE 3. 診断結果 (1) 青枯病：陰性、かいよう病：擬陽性 (2) 糸状菌は分離されなかったが、細菌は分離された。 (3) イムノクロマト法により、かいよう病が擬陽性であったため、PCRを実施したところ陰性。 (4) かいよう病陰性であるが、組織分離により細菌が分離されたため、API 20 NEにより細菌の同定を行ったが、主要な病原菌の特定には至らなかった。 以上より、細菌は分離されたが、原因は不明。</p>
11月14日	宇都宮市	ブロッコリー	<p>約15aほどのほ場にブロッコリーを栽培しており、生育ステージは花蕾が見え始めたところ。病害と思わしき症状は、ほ場の手前や中央部などで散見される。葉はひどく枯れ、程度が進んだところでは花蕾もなくなっている。葉の病徴は軽いと穴が開くように枯れ始め、葉全体に広がっていく。</p>	<p>1. 症状 葉及び花蕾の枯れ 2. 診断手法 組織分離 3. 結果 葉の褐変（黒紫色）部分を定法により組織分離したが病原菌等は分離されなかった。 4. 対策 発症している株に規則性はなく、転々としていることから、被害拡大防止のため、被害株は抜き取る。</p>
11月25日	足利市	いちご	<p>・11月22日に苗配布があり、段ボールを開けたら萎れた苗があった。 ・11月25日に本人、JAからの依頼により、安足農振がクラウン部を切断（依頼する株とは別）したところ、外からのしみ症状を確認した。</p>	<p>1. 症状 葉の萎れ及びクラウン部のしみ症状 2. 診断手法：検鏡及び組織分離 3. 結果：検鏡及び組織分離結果から、炭疽病菌 (<i>Glomerella cingulata</i>) と診断。</p>
11月30日	宇都宮市	スイートピー	<p>・11月下葉が急に枯れ上がる。 ・地際部褐変。</p>	<p>1. 症状 茎基部の褐変、維管束の淡橙色化、下葉の黄変 2. 診断方法 茎、茎基部の組織分離 3. 結果 茎、茎基部とも、<i>Fusarium oxysporum</i> と考えられる小分子子が確認されたため、株枯病と診断。</p>

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
12月7日	足利市	トマト	11月2日頃から下葉が枯れて黄化している株を確認。その後、11月中旬頃からやや萎れるようになり、12月5日には青いまま萎れているのは確認した。症状が出ている株は、ほ場の中10株程度。	<p>1. 症状 青枯症状</p> <p>2. 診断手法 イムノクロマト法</p> <p>3. 診断結果 (1)持ち込まれた2株を供試したところ、青枯病 陽性。 (2)地際部を切断すると維管束の褐変が2株とも見られた。また、地際部の茎を水に入れ、静置したところ、青枯病の特徴的な白色菌泥の噴出が確認された。 (1)、(2)より、青枯病と診断した。</p> <p>なお、本病原菌は土壌伝染性病害で、一般的に高温時期に症状が顕著に現れるが、どこかのタイミングで潜在感染を起こし、保温によって発病適温となり、発生が見られたと考えられる。 たしかに、軟腐病らしき症状は見られるが、軟腐病菌は主に傷口等から進入しやすいため、青枯病で弱ったところから2次的に侵入した可能性は考えられるが、今回の主要因は青枯病である。</p>
12月26日	大田原市	きく	中位葉の黄化・褐変。茎、根は正常。	<p>1. 症状：葉の黄化・褐変</p> <p>2. 診断方法 (1)組織分離（葉、PDA培地）、菌泥確認（茎） (2)イムノクロマト法（葉、TSWV・ISNV） (3)PCR診断（葉・CSNV）</p> <p>3. 結果 (1)組織分離では菌糸分離せず。菌泥発生せず。 (2)、(3)いずれも陰性。 以上のことから、病原は特定できなかった。</p>

7 病害虫侵入警戒調査

1) チチュウカイミバエ・ミカンコミバエ種群・ウリミバエ・コドリングア・アリモドキゾウムシ・アフリカマイマイ侵入警戒調査

我が国未発生害虫の発生を警戒するため、侵入の危険性が高いと推察される地点において、早期発見のため誘引トラップを設置して調査した。

(1) チチュウカイミバエの調査

フェロモン剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置し、4～11月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 チチュウカイミバエの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	大田原市戸野内	果樹栽培地	1	0
〃	芳賀町稲毛田	果樹栽培地	1	0
〃	宇都宮市築瀬町	宇都宮市中央卸売市場	1	0
〃	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0
〃	栃木市大塚町	いちご研究所	1	0
〃	小山市下河原田	栃木県南公設卸売市場	1	0
合計	6	6	6	0

(2) ミカンコミバエ種群・ウリミバエの調査

フェロモン剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置し、4～11月にかけて調査した。ミカンコミバエ種群とウリミバエはフェロモン剤が同一であるため両種を兼ねた調査とした。

調査期間を通じて対象とする虫の誘殺はなかった。

表 ミカンコミバエ種群・ウリミバエの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

(3) コドリングアの調査

フェロモン剤を取り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置し、4～11月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 コドリングアの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

(4) アリモドキゾウムシの調査

フェロモン剤を取り付けたロート型トラップを設置し、5～10月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 アリモドキゾウムシの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
5～10月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

(5) アフリカマイマイの調査

誘引剤を入れたペットボトルを地面に固定して設置し、6月と9月に調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 アフリカマイマイの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
6・9月	宇都宮市竹林町	河内庁舎	1	0

2) りんご火傷病発生警戒調査

りんご及びなしの発生予察調査において、りんご火傷病を調査項目として加え、定期的に産地の発生警戒調査を行った。

表1 調査期間、調査場所及び誘引状況

調査期間	調査場所	調査樹種	調査地点数	発生葉率(%)
5~8月	矢板市長井	りんご	2	0
"	宇都宮市石那田町	りんご	2	0
"	大田原市湯津上	なし	2	0
"	那須烏山市中山	なし	1	0
"	高根沢町大谷	なし	1	0
"	市貝町続谷	なし	1	0
"	芳賀町稲毛田	なし	2	0
"	芳賀町上稲毛田	なし	1	0
"	宇都宮市平出町	なし	1	0
"	宇都宮市板戸町	なし	2	0
"	鹿沼市栃窪	なし	1	0
"	小山市荒井	なし	1	0
"	小山市南飯田	なし	1	0
"	佐野市下羽田町	なし	1	0
"	佐野市村上町	なし	1	0
合計	14	-	20	0

3) ウメ輪紋ウイルス発生警戒調査

うめの苗木等栽培園地（小山市）において、6月に現地調査を実施した結果、発生は認められなかった。

第3章 予察調査

1 病害虫発生予察調査における地域区分図

1) 市町と県地域区分図



2) 農業振興事務所担当地域区分図



2 予察調査ほ場及び乾式予察灯等の設置状況

1) 普通作物病害虫発生予察ほ場

(1) 水 稲

地域名		調査地点	作型	作付品種
県北部	那須	那須町沼野井	早植	コシヒカリ
		那須塩原市埼玉	早植	コシヒカリ
		那須塩原市東赤田	早植	コシヒカリ
		大田原市戸野内	早植	あきだわら
		大田原市松木沢	早植	コシヒカリ
		大田原市実取	早植	なすひかり、とちぎの星
		大田原市蛭畑	早植	コシヒカリ
	塩谷 南那須	那珂川町小川	早植	コシヒカリ
		那須烏山市滝田	早植	コシヒカリ
		那須烏山市曲畑	早植	コシヒカリ
		塩谷町玉生	早植	コシヒカリ・あさひの夢
		矢板市矢板	早植	コシヒカリ
		さくら市上河戸	早植	コシヒカリ
		さくら市蒲須坂	早植	コシヒカリ
高根沢町花岡	早植	なすひかり		
県中部	芳賀	茂木町飯	早植	あさひの夢
		市貝町市塙	早植	コシヒカリ
		益子町北中	早植	あさひの夢
		芳賀町祖母井	早植	コシヒカリ
		真岡市亀山	早植	コシヒカリ
		真岡市青田	早植	とちぎの星
	河内	宇都宮市逆面町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市横山町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市雀宮町	早植	コシヒカリ
		上三川町上三川	早植	あさひの夢
	上都賀	日光市小林	早植	とちぎの星
		日光市木和田島	早植	コシヒカリ
		鹿沼市酒野谷	早植	コシヒカリ
鹿沼市久野		早植	コシヒカリ	
県南部	下都賀	下野市小金井	早植・普通植	あさひの夢・とちぎの星
		小山市小葉	早植	とちぎの星
		小山市石ノ上	早植	コシヒカリ
		壬生町助谷	早植	コシヒカリ
		栃木市西方町本郷	早植	コシヒカリ
		栃木市惣社町	早植	あさひの夢
		栃木市大平町真弓	早植・普通植	コシヒカリ、あさひの夢
		栃木市藤岡町富吉	早植	コシヒカリ、あさひの夢
	安足	佐野市堀米町	早植	コシヒカリ
		足利市県町	普通植	あさひの夢

(2) 麦 類

(R4年産)

地域名		調査地点	作付品種	麦種
県北部	那須	大田原市南金丸	ニューサチホゴールド	二条大麦
		大田原市実取	ニューサチホゴールド	二条大麦
	塩谷 南那須	那須烏山市大桶	シュンライ	六条大麦
		塩谷町大久保	シュンライ	六条大麦
		さくら市松山新田	イワイノダイチ	小麦
		さくら市葛城	シュンライ	六条大麦
		高根沢町石末	ニューサチホゴールド	二条大麦
県中部	芳賀	芳賀町下高根沢	ニューサチホゴールド	二条大麦
		芳賀町西高橋	シュンライ	六条大麦
		真岡市根本	ニューサチホゴールド	二条大麦
	河内	宇都宮市中里	ゆめかおり	小麦
		宇都宮市平出町	ニューサチホゴールド	二条大麦
	上都賀	鹿沼市楡木	シュンライ	六条大麦
県南部	下都賀	小山市卒島	ニューサチホゴールド	二条大麦
		小山市小袋	イワイノダイチ	小麦
		壬生町中泉	シュンライ	六条大麦
		栃木市大塚町	ニューサチホゴールド	二条大麦
		栃木市藤岡町蛭沼	さとのそら	小麦
	安足	佐野市並木町	もち絹香	二条大麦
		足利市百頭町	ニューサチホゴールド	二条大麦

(3) 大 豆

地域名		調査地点	作付品種
県北部	那須	那須塩原市鍋掛	里のほほえみ
		大田原市南金丸	里のほほえみ
		大田原市実取	里のほほえみ
	塩谷 南那須	那須烏山市三箇	里のほほえみ
		塩谷町大宮	里のほほえみ
		矢板市安沢	里のほほえみ
		高根沢町大谷	里のほほえみ
県中部	芳賀	益子町生田目	里のほほえみ
		芳賀町下延生	里のほほえみ
	河内	宇都宮市下田原	里のほほえみ
		宇都宮市下岡本	里のほほえみ
	上都賀	日光市木和田島	里のほほえみ
県南部	下都賀	小山市福良	里のほほえみ
		小山市小袋	里のほほえみ
		栃木市寄居町	里のほほえみ

2)野菜病害虫発生予察ほ場

(1)いちご 調査 1~4月、6~12月

地域名		調査地点	作付品種 (1~4月)	作付品種 (6~12月)
県北部	那須	大田原黒羽向町	とちあいか	とちあいか
		大田原市実取	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
	塩谷 南那須	那珂川町小川	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
		さくら市富野岡	とちおとめ	とちおとめ
		高根沢町石末	とちおとめ	とちおとめ
県中部	芳賀	真岡市大田和	とちおとめ・とちあいか	とちあいか
		真岡市西沼	とちおとめ	とちおとめ
		真岡市田島	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
		真岡市物井	とちおとめ	とちおとめ
		真岡市大根田	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
		真岡市古山	とちおとめ・とちあいか	とちあいか
		真岡市砂ヶ原	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
		真岡市長沼	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
	河内	宇都宮市上小倉	スカイベリー	スカイベリー
		宇都宮市羽牛田	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか	スカイベリー・とちあいか
		上三川町上神主	とちおとめ	とちあいか
	上都賀	鹿沼市塩山町	とちおとめ	とちおとめ
		鹿沼市亀和田町	とちおとめ	とちおとめ
		鹿沼市野沢町	とちおとめ	とちおとめ
	県南部	下都賀	下野市仁良川	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか
小山市福良			とちおとめ・スカイベリー・とちあいか	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか
小山市小薬			とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
壬生町七ツ石			とちおとめ	とちおとめ
栃木市西方町元			とちおとめ	とちあいか
栃木市西方町本城			とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
栃木市国府町			とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
栃木市寄居町			とちおとめ	とちおとめ
栃木市大平町牛久			とちおとめ	とちおとめ
安足		佐野市小中町	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
		佐野市小中町	スカイベリー	スカイベリー
		足利市山川町	とちおとめ・スカイベリー	とちおとめ・スカイベリー
		足利市県町	とちおとめ	とちおとめ

(2)トマト 調査 促成:9月～翌年5月、夏秋:6～8月

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市蛭田	促成
		大田原市蜂巢	夏秋
		大田原市美原	夏秋
	塩谷南那須	那珂川町久那瀬	促成
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田	促成長期どり
		真岡市西田井	促成長期どり
	河内	宇都宮市新里町	夏秋
		宇都宮市下金井町	夏秋
		宇都宮市鑑山町	促成長期どり
		上三川町上郷	促成長期どり
		上三川町東蓼沼	促成
	上都賀	鹿沼市上日向	促成
		鹿沼市上日向	促成
県南部	下都賀	小山市武井	促成長期どり
		小山市南半田	促成長期どり
		小山市喜沢	夏秋
		小山市飯塚	夏秋
		壬生町安塚	促成
		栃木市大宮町	促成長期どり
	安足	足利市野田町	促成
		足利市小曾根	促成

(3)きゅうり 調査 毎月

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市柳田町	
		宇都宮市柳田町	
県南部	下都賀	下野市上古山	
		下野市薬師寺	
		下野市田中	
		小山市東黒田	
	小山市卒島		
安足	佐野市伊保内町		

(4)にら 調査 1～3月、9～12月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市奥沢	
		大田原市蛭田	
	塩谷南那須	さくら市箱森新田	
県中部	芳賀	真岡市下籠谷	
		真岡市久下田	
	河内	上三川町上蒲生	
		上都賀	鹿沼市上日向
	鹿沼市塩山町		
県南部	下都賀	下野市薬師寺	
		栃木市惣社町	※9月～地点変更(大宮)

(5)なす 調査 6～9月

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市荒井	夏秋
	塩谷 南那須	那珂川町恩田	夏秋
		さくら市下河戸	夏秋
県中部	芳賀	真岡市長田	夏秋
		真岡市中	夏秋
	河内	宇都宮市鑑山町	夏秋
	上都賀	鹿沼市下石川	夏秋
県南部	下都賀	下野市国分寺町	夏秋
	安足	佐野市小見町	夏秋

(6)ねぎ 調査 7～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県北部	那須	大田原市上奥沢	2圃場
県中部	河内	宇都宮市白沢	2圃場
県南部	下都賀	下野市川名子	2圃場
		小山市福良	2圃場

(7)たまねぎ 調査 3～5月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県中部	芳賀	真岡市長島	2圃場
	河内	宇都宮市下桑島	2圃場
		上三川町上三川	2圃場
県南部	下都賀	下野市薬師寺	2圃場

(8)キャベツ 調査 9～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市南和泉	2圃場
		野木町川田	2圃場

(9)レタス 調査 9～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市田間	2圃場
		野木町川田	2圃場

3)果樹、花き病害虫発生予察ほ場

(1)なし 調査 5~8月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市湯津上	
		大田原市湯津上	
	塩谷 南那須	那須烏山市中山	
		高根沢町大谷	
県中部	芳賀	市貝町続谷	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町上稲毛田	
	河内	宇都宮市平出町	
		宇都宮市板戸町	
		宇都宮市板戸町	
上都賀	鹿沼市栃窪		
県南部	下都賀	小山市荒井	
		栃木市岩舟町	
	安足	佐野市下羽田町	
		佐野市村上町	

(2)ぶどう 調査 6~8月

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市満美穴町	
県南部	下都賀	栃木市大平町富田	
		栃木市大平町西山田	
		栃木市岩舟町静	
		栃木市岩舟町曲ヶ島	

(3)りんご 調査 6~9月

地域名		調査地点	備考
県北部	塩谷 南那須	矢板市長井	
		矢板市長井	
県中部	河内	宇都宮市石那田町	
		宇都宮市石那田町	

(4)きく 調査 毎月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市鹿畑	
		大田原市戸野内	
	塩谷 南那須	塩谷町大久保	
		塩谷町大宮	
県中部	芳賀	真岡市飯貝	
		真岡市飯貝	

4) 乾式予察灯設置状況

(1) 白熱予察灯(60W白熱灯)

地域名		調査地点	調査期間
県北部	那須	大田原市戸野内	5月～9月
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	
県南部	下都賀	小山市小葉	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	
(調査対象害虫) セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イナズマヨコバイ、ニカメイガ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、コガネムシ類			

5)フェロモントラップ設置状況

(1)ニカメイガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	芳賀	市貝町赤羽※	5月～8月	稲
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		上三川町大字梁※		
県南部	下都賀	下野市仁良川※		
		小山市小葉		
(設置方法) フェロモン剤を取り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置				

(2)クモヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北	塩谷南那須	矢板市玉田※	6月～8月	稲
県中	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	6月～9月	
		茂木町飯※	6月～8月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～9月	
(設置方法) トラップ粘着シート背面を合わせた、両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

(3)ホソヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	那須塩原市上大貫※	5月～9月	大豆
	塩谷南那須	さくら市長久保※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)		
		益子町上山※		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
	上都賀	日光市木和田島※		
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) トラップ粘着シート背面を合わせた、両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

(4)チャバネアオカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点		調査期間	対象作物
県北部	那須	那須烏山市興野※	5月～9月	なし
	塩谷南那須	矢板市平野※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	4月～9月	
	河内	宇都宮市古賀志町※	5月～9月	
		宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～9月	
県南部	安足	佐野市上羽田※	5月～9月	

(設置方法)
フェロモン剤を取り付けたコガネコール・マダラコール用誘引器(黄色)を高さ約1mになるように設置

(5)ハスモンヨトウ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点		調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市実取※	6月～10月	大豆、トマト、 きゅうり、なす、 いちご、はくさい、 きゃべつ、 だいこん、レタス、 さといも、ねぎ
	塩谷南那須	塩谷町大久保※		
県中部	芳賀	芳賀町下延生※		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～10月	
		上都賀	鹿沼市佐目町※	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)	6月～10月	
		栃木市大平町※		
		小山市小葉※		
		野木町佐川野※		
安足	足利市瑞穂野町※			

(設置方法)
フェロモン剤を取り付けたファネルトラップを高さ約1mに設置

(6)オオタバコガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名	調査地点		調査期間	対象作物
県北部	那須	那須町稲沢※	6月～10月	トマト、なす、 レタス
	塩谷南那須	那珂川町久那瀬※		
県中部	芳賀	真岡市茅堤※	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～10月	
		上三川町上三川※		
県南部	下都賀	壬生町壬生乙※	4月～11月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)		

(設置方法)
フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置

(7)コナガ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	はくさい、キャベツ、だいこん
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置				

(8)ナシヒメシクイ、リンゴコカクモンハマキ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	塩谷南那須	高根沢町亀梨※(ナシヒメシクイのみ)	4月～10月	なし、りんご
		那須烏山市滝	3月～10月 (リンゴコカクモンハマキは5～10月)	
県中部	河内	宇都宮市下田原町		
	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園) (ナシヒメシクイのみ)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップをなし園内の高さ約1mに水平に設置				

6)粘着板設置状況

(1)黄色粘着板(有翅アブラムシ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	大豆、なし、りんご、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きゃべつ、だいこん、レタス、さといも、たまねぎ、ねぎ、ゆうがお、きく
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) 黄色粘着板を粘着面が高さ約1mになるように水平に設置				

(2)青色粘着板(アザミウマ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	ぶどう、きゅうり、なす、いちご、たまねぎ、ねぎ、きく
県中部	芳賀	真岡市飯貝	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
県南部	下都賀	下野市上古山	4月～10月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	4月～11月	
(設置方法) 青色粘着板を粘着面の中央が高さ約1mになるように垂直に設置				

3 各種調査結果

1) 水稻病虫害調査結果

(1) 病虫害発生予察ほ場における病虫害の発生状況

調査日：(6月下旬～7月上旬) 6月27日～7月7日 (7月上旬～中旬) 7月11日～13日
 (7月下旬～8月上旬) 8月1日～8月15日 (8月下旬～9月上旬) 8月22日～9月12日

注) 平成23年10月1日の栃木市合併(旧西方町)により、24年から西方町データを県南部扱いとして平年値を再計算した。23年以前は上都賀郡のため県中部に含まれる。

① 葉いもち

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	北 部	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
7月中旬	平均	2.7	1.0	4.4	0.7	0.7	1.1	0.4	2.1	0.3	0.3	0.2	0.0
	北 部	1.0	0.6	2.5	0.3	1.0	0.0	0.2	1.4	0.7	0.1	0.0	0.0
	中 部	0.5	1.2	5.0	0.4	0.2	3.1	0.8	1.0	0.2	0.6	0.6	0.0
8月上旬	平均	0.5	3.0	5.4	8.4	2.3	0.5	0.7	5.3	4.3	1.7	1.4	0.1
	北 部	0.9	2.5	3.5	8.2	3.5	0.1	0.3	3.9	4.3	0.2	1.4	0.0
	中 部	0.2	1.1	2.5	0.9	1.8	1.1	1.6	0.6	0.2	0.6	2.0	0.0
	南 部	0.3	6.4	12.4	19.4	1.5	0.3	0.1	14.1	10.0	5.5	0.5	0.4

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

葉いもち (6月下旬～7月上旬)



葉いもち (7月上旬～中旬)



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～20	21～40	41以上
記号	x	△	○	▲	●

葉いもち（7月下旬～8月上旬）



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～20	21～40	41以上
記号	×	△	○	▲	●

② 穂いもち（発病穂率）

（発生株率%）

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
8月下旬 ～9月	平均	0.1	0.3	1.1	0.5	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	0.2	0.0
	北 部	0.2	0.6	0.9	0.5	0.1	0.0	0.1	0.3	0.3	3.6	0.5	0.0
	中 部	0.0	0.3	1.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0
	南 部	0.1	0.2	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

③ 穂いもち（被害度）

（発生株率%）

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
8月下旬 ～9月	平均	0.05	0.19	0.68	0.30	0.04	0.02	0.08	0.06	0.09	0.55	0.10	0.00
	北 部	0.07	0.35	0.54	0.34	0.02	0.01	0.06	0.14	0.21	2.01	0.22	0.00
	中 部	0.02	0.15	0.79	0.28	0.09	0.03	0.15	0.00	0.05	0.02	0.13	0.00
	南 部	0.05	0.13	0.75	0.25	0.01	0.00	0.00	0.02	0.11	0.02	0.09	0.00

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

$$\text{被害度} = a + 0.66b + 0.26c$$

a : 穂首いもち発病穂率
 b : 1/3以上の枝梗発病穂率
 c : 1/3未満の枝梗発病穂率

穂いもち（8月下旬～9月上旬）



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1~20	21~40	41以上
記号	x	△	○	▲	●

④ 紋枯病

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中南部	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.7	0.6	0.3	1.6	0.6	0.7	0.1	0.9	1.0	0.3	0.3	0.0
	北 部	0.0	0.3	0.2	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
	中南部	0.3	0.4	0.1	1.5	0.9	0.3	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	0.0
8月上旬	平均	3.2	2.4	2.9	5.0	3.3	2.3	2.2	2.4	2.9	0.2	1.8	0.8
	北 部	3.3	1.4	1.4	3.8	1.3	0.4	0.6	0.8	2.6	0.2	1.1	1.6
	中南部	2.0	1.6	2.0	0.5	3.4	1.0	4.5	1.1	1.4	0.0	1.6	0.0
8月下旬 ～9月	平均	7.8	7.6	5.4	8.8	15.0	10.4	15.4	4.9	6.6	3.3	3.1	3.7
	北 部	3.1	7.2	2.9	7.6	14.1	5.3	15.3	7.8	8.3	3.2	1.2	6.3
	中南部	4.6	5.1	6.7	13.3	6.0	7.1	1.2	6.6	5.5	0.5	3.2	0.6

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑤ 縞葉枯病

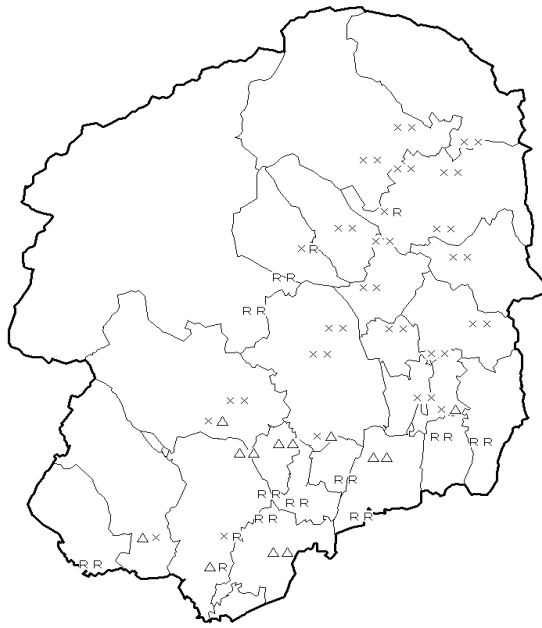
(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.1	0.5	0.2	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5	0.8	1.5	1.1	0.2
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	0.0
	中南部	0.0	0.5	0.3	0.2	0.0	0.2	0.3	0.5	1.0	1.4	0.8	0.0
7月中旬	平均	0.2	1.1	0.3	0.2	1.2	0.7	1.4	0.8	1.7	1.7	1.8	0.9
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0
	中南部	0.0	1.0	0.5	0.3	1.4	0.6	1.3	1.3	1.5	1.9	1.2	0.4
8月上旬	平均	0.3	2.3	0.4	0.5	2.2	2.6	1.7	1.6	2.5	4.5	5.6	1.5
	北 部	0.1	0.4	0.1	0.3	0.4	0.9	0.4	0.1	0.4	0.8	0.7	0.1
	中南部	0.3	2.3	0.5	0.7	2.0	3.1	2.5	1.1	2.4	4.0	5.4	1.1
8月下旬 ～9月	平均	0.4	3.2	0.2	0.5	4.1	2.9	2.2	3.1	3.3	5.2	7.5	3.4
	北 部	0.1	0.7	0.2	0.2	1.8	1.3	0.0	0.3	1.3	1.2	0.6	0.0
	中南部	0.6	3.0	0.2	0.8	4.1	2.8	1.4	2.9	3.5	7.7	4.8	1.6

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

縞葉枯病（6月下旬～7月上旬）

縞葉枯病（7月上旬～中旬）



縞葉枯病（7月下旬～8月上旬）

縞葉枯病（8月下旬～9月上旬）



程度	無	散見	少		中・多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～10	11～20	21以上
記号	x	△	○	▲	●

R：抵抗性品種の作付

⑥ 稲こうじ病

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
8月下旬 ～9月	平均	0.7	1.3	0.5	3.6	0.8	0.8	2.8	1.6	0.1	0.5	1.6	0.3
	北 部	1.3	1.6	0.8	4.8	0.7	0.4	2.1	1.6	0.1	0.6	4.6	0.0
	中 部	0.7	1.8	0.5	4.6	1.6	1.6	4.6	1.9	0.0	1.4	1.6	0.3
	南 部	0.0	0.4	0.0	0.5	0.0	0.3	1.2	1.3	0.2	0.2	0.3	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑦ イネドロオイムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.5	0.5	0.7	0.3	0.6	0.2	0.6	0.3	0.5	0.2	0.9	0.4
	北 部	0.1	0.3	0.0	0.0	0.4	0.1	0.2	0.2	0.5	0.0	1.0	0.4
	中 部	1.2	1.0	1.8	0.8	1.1	0.5	1.5	0.5	0.8	0.6	1.4	0.7
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑧ イネツトムシ

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
	南 部	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.2	1.1	0.1
	北 部	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南 部	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.5	0.5	4.3	0.2

注) 平年値は過去10年間データの平均値

⑨ 心枯茎

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
	中 部	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	1.2	0.1
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.5	0.1
	北 部	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1
	中 部	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.5	1.1	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4
	北 部	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2
	中 部	0.1	0.2	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.8
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑩ 白穂

(発生株率%)

時 期	地 域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
8月下旬 ～9月	平均	0.01	0.38	0.01	3.60	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.04	0.05
	北 部	0.00	0.50	0.02	4.80	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.05	0.04	0.01
	中 部	0.03	0.07	0.01	0.40	0.01	0.04	0.01	0.00	0.00	0.06	0.11	0.06
	南 部	0.00	0.08	0.01	0.70	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01

(2) 育苗箱における病害の発生状況

(発生箱率%)

病害名	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
苗立枯病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ムレ苗	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ばか苗病	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.04

注1) 調査日：4月14～18日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(3) 再生稲における黄萎病、縞葉枯病の発生状況

① 黄萎病 (再生稲)

(発生ほ場率%)

地域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
平均	0.0	3.8	0.0	2.63	5.3	3.6	2.7	1.8	2.8	3.5	10.5	5.0
北部	0.0	4.3	0.0	6.7	11.1	4.8	2.3	4.1	4.0	2.0	4.8	2.8
中部	0.0	5.2	0.0	0.0	2.3	4.8	4.3	1.3	3.3	7.0	19.2	9.8
南部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 調査日：10月5～14日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

② 縞葉枯病 (再生稲)

(発生株率%)

地域	4年	平年	3年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年
平均	3.7	7.3	1.4	2.7	5.4	5.6	7.5	9.8	6.9	13.5	14.1	6.4
北部	1.2	1.4	0.4	1.4	3.7	2.7	1.0	1.1	1.6	1.1	0.9	0.1
中部	4.9	6.0	1.8	2.2	5.9	5.4	5.2	11.4	4.8	8.7	11.8	3.4
南部	5.8	18.2	2.3	5.6	7.5	10.3	20.3	21.7	18.7	41.1	34.5	20.2

注1) 調査日：10月5～14日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(4) アメダスデータによるいもち病感染好適日の出現状況

- :感染好適条件 ○^{1~4}:準感染好適条件 -:感染好適条件なし
- 感染好適条件:湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある
- 準感染好適条件:好適条件に準ずる気象条件
 - 準感染好適条件1:湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満
 - 準感染好適条件2:湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上
 - 準感染好適条件3:湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15~25℃の範囲外
 - 準感染好適条件4:湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い
- ※上記条件であっても、3mを越える風や時間雨量3mmを越える雨があると湿潤時間の継続が打ち切りとなり、感染好適条件でなくなる場合がある

感染好適条件が出現した日から7~10日後に発病する可能性があります。また、好適日が連続する時は多発条件となるので注意が必要です。ほ場をよく観察し、いもち病の発生状況に応じて、適期に防除を行いましょう。

①BLASTAMIによる葉いもち感染好適日の判定結果 (令和4(2022)年度)

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	○4	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	-	○4	-	-	○3	-	-	-
6/06	○3	-	-	-	-	-	○3	-	●	-
6/07	-	-	-	○3	○3	-	-	○3	○4	○4
6/08	○3	-	-	○3	-	-	○3	○3	○4	○4
6/09	○3	○3	-	-	-	○4	○3	-	-	-
6/10	○3	-	○1	-	-	-	○3	○4	-	-
6/11	○3	○1	○1	-	○4	-	-	-	○1	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	○3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	○3	-	-	-	-	○1	○3	○3	○1	●
6/16	-	○1	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	○4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	○1	○1	●	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	●	-	○2
6/23	○4	-	-	-	-	-	●	-	-	-
6/24	○1	●	-	●	-	-	●	○4	-	○2
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	●	○2	-	-	-	-	-
6/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/04	-	-	-	○2	-	-	-	○2	-	○2
7/05	-	-	○2	-	-	-	○2	-	-	-
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/07	●	-	-	-	-	-	-	○2	-	-
7/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/10	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
7/11	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
7/12	●	-	-	●	-	-	●	-	-	-
7/13	-	-	-	-	-	-	-	○2	-	-
7/14	○4	-	●	-	-	-	●	○2	-	○2
7/15	-	-	-	-	○2	-	-	-	○2	○2

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
7/16	—	—	●	—	—	—	—	—	●	—
7/17	—	—	—	—	●	—	●	—	●	●
7/18	○1	●	●	—	—	—	—	●	—	●
7/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/20	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/24	—	—	—	—	—	—	—	○2	—	—
7/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/26	—	—	—	—	—	—	—	—	○3	—
7/27	●	—	—	—	○3	—	—	—	—	—
7/28	—	—	—	—	○2	—	—	—	—	○3
7/29	—	—	—	○2	—	—	—	○2	—	—
7/30	—	—	—	—	—	—	—	○3	—	—
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/01	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—
8/02	●	—	—	○3	—	—	—	—	—	—
8/03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○3
8/04	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/05	●	○2	○2	○2	○2	—	—	—	○2	—
8/06	○4	○2	—	—	—	—	●	○2	—	—
8/07	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
8/08	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/12	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/13	●	—	—	—	—	—	○2	—	—	○3
8/14	—	○2	—	—	—	—	—	—	—	○2
8/15	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/16	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/18	●	●	○2	○2	—	—	●	○2	○2	—
8/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/21	●	●	●	●	○2	○2	●	○2	○2	○2
8/22	—	●	—	—	—	—	●	—	—	—
8/23	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/25	—	—	○2	●	—	—	—	—	—	—
8/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/27	—	—	○2	—	—	—	—	—	—	—
8/28	—	—	—	—	—	—	—	—	○2	—
8/29	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/30	—	—	—	—	○4	—	—	—	—	○4
8/31	○1	●	●	●	●	●	●	●	●	○2

出典 一般社団法人 日本植物防疫協会

② BLASTAMによる葉いもち感染好適日の年次別発生状況（6月～8月）

年度	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
R4(2022)	13	7	6	7	2	1	12	3	4	3
平年値	7.1	9.4	8.6	9.6	7.3	4.1	9.4	9.1	6.9	7.8
R3(2021)	8	7	13	11	6	5	9	14	9	11
R2(2020)	8	15	16	13	15	9	20	14	16	19
R元(2019)	4	12	8	9	9	6	6	6	14	8
H30(2018)	5	2	3	5	2	2	6	5	2	4
H29(2017)	13	15	8	10	5	4	18	5	2	4
H28(2016)	9	8	8	11	8	2	9	13	4	6
H27(2015)	8	11	10	11	11	3	8	10	10	9
H26(2014)	9	11	11	13	9	4	6	11	4	6
H25(2013)	6	9	6	8	5	5	9	12	3	9
H24(2012)	1	4	3	5	3	1	3	1	5	2

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(5) 大麦におけるヒメトビウンカ生息密度

単位：％、10㎡あたりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考	
発生ほ場数(か所)	18	0	1	0	1	18	令和4(2022)年5月11日~12日調査	
ほ場率	本年値	100.0	0.0	5.6	0.0	5.6	100.0	総調査ほ場数：18ほ場
	平年値	97.3	11.3	18.4	12.8	28.9	97.3	調査方法：背負型動力機を使用した吹き出し法で0.3m ×11mを吹き出しすくい取り調査した。
発生頭数(頭)	本年平均値	1128	0	3	0	3	1131	※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値(×3)。
	平年値	62.7	0.0	0.2	0.0	0.2	62.8	発生密度は麦上部、下部の合計値(頭/10㎡)
概 評	本年平均値	182.3	0.7	1.7	1.6	4.0	186.2	平年値は2014~2021年の平均
	平年値	182.3	0.7	1.7	1.6	4.0	186.2	
概 評	平年並	少	やや少	少	少	平年並		

発生ほ場率の推移

単位：％

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考 (総調査ほ場数)
2021.5	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	83.3	18
2020.5	94.7	0.0	0.0	0.0	0.0	94.7	19
2019.5	100.0	0.0	5.3	15.8	21.1	100.0	19
2018.5	100.0	0.0	21.1	10.5	26.3	100.0	19
2017.5	100.0	10.5	5.3	0.0	10.5	100.0	19
2016.5	100.0	10.5	26.3	31.6	36.8	100.0	19
2015.5	100.0	16.7	77.8	38.9	77.8	100.0	18
2014.5	100.0	52.9	11.8	5.9	58.8	100.0	17

第一世代密度の推移

単位：10㎡当たりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考(調査日の平均)
2021.5	31.2	0.0	0.0	0.0	0.0	31.2	5/13
2020.5	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5	5/17
2019.5	180.3	0.0	0.2	0.6	0.8	181.1	5/17
2018.5	76.3	0.0	0.6	0.5	1.1	77.4	5/18
2017.5	212.1	1.3	0.2	0.0	1.4	213.5	5/19
2016.5	256.3	0.5	1.7	3.2	5.4	261.6	5/20
2015.5	255.0	0.8	10.2	7.3	18.3	273.3	5/22
2014.5	356.5	3.2	0.5	0.9	4.6	361.1	5/20

(6) ウンカ類、ヨコバイ類の越冬前密度

単位：％、10㎡あたりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考
発生ほ場数	13	3	3	11	4	0	18	令和4(2022)年11月8日～10日調査 総調査ほ場数：19ほ場
ほ場率	68.4	15.8	15.8	57.9	21.1	0.0	94.7	
	89.4	10.8	4.0	63.9	27.8	1.6	68.6	調査方法：背負型動力機を使用した吹き 出し法で0.3m×11mを吹き出しすくい取り 調査した。 ※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値 (×3)。 ※密度＝頭数/10㎡ 平年値は2012～2021年の平均
頭数合計	783	9	15	4713	48	0	5499	
密度	41.2	0.5	0.8	248.1	2.5	0.0	289.4	
	69.5	0.5	0.2	61.9	2.9	0.1	41.0	
概 評	やや少	やや多	多	やや多	平年並	少	やや多	

発生ほ場率の推移

単位：％

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (総調査ほ場数)
2021.11	89.5	15.8	21.1	89.5	42.1	5.3	94.7	19
2020.11	94.7	10.5	0.0	47.4	26.3	0.0	84.2	19
2019.11	95.2	9.5	0.0	57.1	14.3	0.0	81.0	21
2018.11	90.5	52.4	9.5	76.2	33.3	0.0	76.2	21
2017.11	76.2	4.8	0.0	47.6	9.5	0.0	38.1	21
2016.11	100.0	4.8	4.8	47.6	28.6	0.0	76.2	21
2015.11	100.0	4.8	4.8	57.1	19.0	4.8	71.4	21
2014.11	75.0	5.0	0.0	85.0	50.0	0.0	70.0	20
2013.11	85.0	0.0	0.0	75.0	30.0	0.0	25.0	20
2012.11	87.5	0.0	0.0	56.3	25.0	6.3	68.8	16

越冬密度の推移

単位：10㎡当たりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (調査日の平均)
2021.11	98.4	0.8	0.8	132.5	8.1	0.6	190.9	11/12
2020.11	22.4	0.3	0.0	86.2	1.1	0.0	103.9	11/15
2019.11	34.4	0.3	0.0	17.0	1.4	0.0	10.3	11/18
2018.11	43.0	3.0	0.7	68.3	3.0	0.0	43.4	11/17
2017.11	12.0	0.1	0.0	5.1	0.3	0.0	2.6	11/18
2016.11	163.6	0.1	0.1	19.4	2.0	0.0	26.0	11/19
2015.11	99.3	0.1	0.4	86.7	4.6	0.3	9.4	11/21
2014.11	123.6	0.2	0.0	126.6	4.8	0.0	13.8	11/25
2013.11	37.4	0.0	0.0	24.8	1.8	0.0	2.1	11/25
2012.11	60.6	0.0	0.0	52.9	1.7	0.4	8.1	11/26

(7)ヒメトビウンカの縞葉枯ウイルス保毒虫率の経年変化

第一世代幼虫

越冬世代幼虫

(単位:%)

(単位:%)

年度		R2	R3	R4
地点名		2020	2021	2022
県北部	大田原市親園	1.0	3.1	3.1
	大田原市蛭畑	1.0	1.0	1.0
	さくら市松山新田	0.0	5.2	1.0
	高根沢町花岡	9.1	2.1	2.1
県中部	真岡市青田	17.7	1.0	3.1
	宇都宮市横山	6.3	8.3	5.2
	宇都宮市雀宮	8.3	3.1	3.1
	上三川町上三川	7.3	9.4	11.5
県南部	鹿沼市酒野谷	6.3	1.0	3.1
	下野市小金井	7.3	4.2	1.0
	小山市小葉	5.2	0.0	3.1
	小山市石ノ上	5.2	9.4	1.0
	壬生町助谷	3.1	6.3	2.1
	栃木市惣社	5.2	3.1	2.1
	栃木市大平町真弓	7.5	2.1	5.2
	栃木市藤岡町富吉	3.1	1.0	2.1
	佐野市堀米	9.4	4.2	4.2
足利市上洪垂	5.2	1.0	0.0	
県北部平均		2.8	2.9	1.8
県中部平均		9.2	4.6	5.2
県南部平均		5.7	3.5	2.3
県平均		6.0	3.6	3.0

年度		R2	R3	R4
地点名		2020	2021	2022
県北部	大田原市蛭畑	2.5	2.1	0.0
	大田原市親園・実取	1.0	1.0	2.1
	那須烏山市滝田	5.0	1.0	1.0
	さくら市蒲須坂	3.2	3.1	3.1
	高根沢町花岡	1.0	3.1	2.1
県中部	真岡市青田	7.1	3.1	3.1
	宇都宮市横山	2.1	1.0	1.0
	宇都宮市雀宮	7.3	3.1	3.1
	上三川町上三川	9.4	5.2	6.3
県南部	鹿沼市酒野谷	3.1	2.1	1.0
	下野市小金井	6.3	1.0	1.0
	小山市小葉	11.5	2.1	4.2
	小山市石ノ上	6.3	3.1	0.0
	壬生町助谷	7.3	4.2	2.1
	栃木市惣社	4.3	1.0	3.1
	栃木市大平町真弓	5.2	3.1	1.0
	栃木市藤岡町富吉	3.7	3.1	1.0
	佐野市堀米	4.2	2.1	4.2
足利市上洪垂	4.2	0.0	0.0	
県北部平均		2.5	2.1	1.7
県中部平均		5.8	2.9	2.9
県南部平均		5.9	2.2	1.9
県平均		5.0	2.4	2.1

注: 検定サンプルは、令和4(2022)年5月中下旬に、麦類ほ場から採取したヒメトビウンカ第一世代幼虫
 検定方法: DAS-ELISA法
 検定数: 96頭/地点

注: 検定サンプルは、令和4(2022)年11月中下旬に、水田畦畔や休耕田のイネ科雑草等から採取したヒメトビウンカ越冬世代幼虫
 検定方法: DAS-ELISA法
 検定数: 96頭/地点

(8) イネミズゾウムシの発生状況

① 越冬成虫密度

		計	宇都宮市瓦谷町	さくら市蒲須坂	備考
成虫発生頭数		3	0	3	令和4(2022)年2月1日採集
密度	本年値	0.3	0.0	0.8	総採取地点数:10か所(宇都宮4、さくら市6)
	平年値	0.7	0.1	1.5	※密度=頭数/0.1㎡
概 評		平年並			平年値は2012~2021年の平均

発生密度の推移

		計	宇都宮市瓦谷町平均	さくら市蒲須坂平均	備考
					単位:0.1㎡当たりのイネミズゾウムシ成虫数 各調査地点数(宇都宮市瓦谷町・さくら市蒲須坂)
2021.2		0.8	0.0	2.0	6・4
2020.2		3.9	0.0	9.8	6・4
2019.2		0.9	0.0	2.3	6・4
2018.2		0.1	0.0	0.3	6・4
2017.2		0.1	0.0	0.3	6・4
2016.2		0.1	0.2	0.0	6・4
2015.2		0.0	0.0	0.0	6・4
2014.2		0.2	0.3	0.0	6・4
2013.2		0.3	0.5	0.0	6・4
2012.2		0.1	0.2	0.0	6・4

調査方法:0.1㎡(すくい取り用の枠を使用)内の表土1~2cmを採取し、イネミズゾウムシ成虫数を調査した。
調査地点:宇都宮市瓦谷町 6OW予察灯周辺、さくら市蒲須坂 水稲病害虫発生予察ほ場の畦畔

② 本田発生状況

		被害株数	成虫数	備考
発生数(株・頭)		506	66	令和4(2022)年5月23~25調査
被害株率(%) ・成虫数 (頭/100株)	本年値	42.2	5.5	総調査ほ場数:12か所
	平年値	24.1	3.5	総調査株数:600株
概 評		やや多	やや多	調査株数:1ほ場50株 ※密度=株・頭数/100株 平年値は2012~2021年の平均

発生密度の推移

		発生株(株数)	成虫数	備考
				単位:100株当たりの株数・頭数 備考(総調査ほ場数・総調査株数)
2021.5		19.0	2.8	12・600
2020.5		33.0	6.3	12・600
2019.5		2.0	1.5	12・600
2018.5		2.5	1.2	12・600
2017.5		12.5	1.7	12・600
2016.5		35.5	6.2	12・600
2015.5		29.8	4.7	12・600
2014.5		17.0	3.5	12・600
2013.5		49.0	5.7	12・600
2012.5		40.5	1.8	12・600

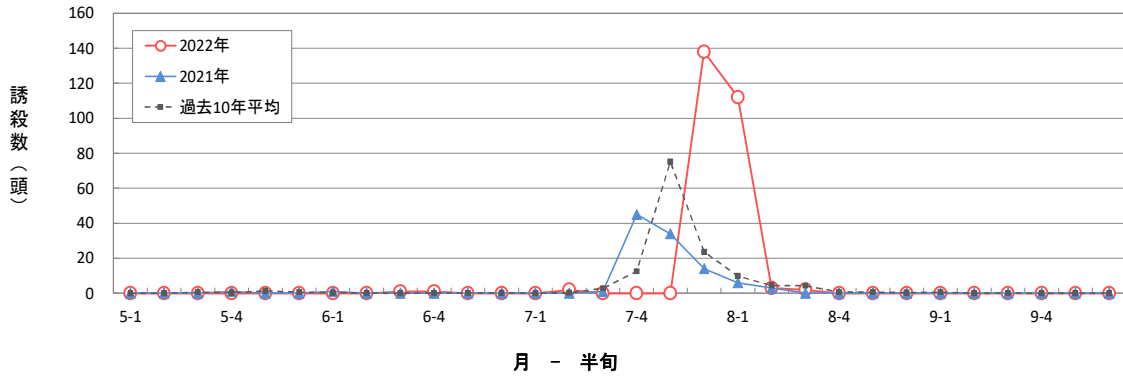
調査方法:畦畔から3~4m内側の50株における被害株率と、葉上に生育するイネミズゾウムシの成虫数を調査した。
調査地点:那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

③ 誘殺数

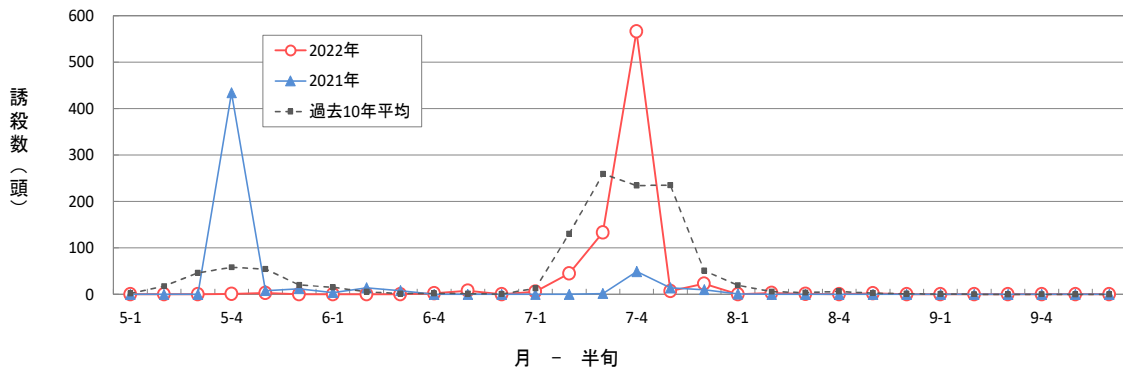
(60W予察灯)

月一旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	1	0	0	47	0	0	0	1	0	1	0
5-4	0	0	1	1	58	434	0	0	1	0	0	0
5-5	0	1	0	3	55	8	0	0	0	0	1	0
5-6	0	1	0	0	20	12	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	1	0	15	4	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	5	14	0	0	0	0	0	0
6-3	1	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	1
6-4	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	8	2	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	6	13	0	0	0	0	0	0	0
7-2	2	0	0	45	131	0	0	0	0	1	0	0
7-3	0	3	1	133	260	2	1	1	0	0	0	0
7-4	0	13	45	566	234	49	1	3	14	2	2	6
7-5	0	75	34	7	235	14	0	3	6	0	3	0
7-6	138	24	14	23	51	10	0	0	2	0	3	2
8-1	112	10	6	0	19	1	11	0	0	0	1	0
8-2	3	4	3	3	6	0	1	0	0	0	0	0
8-3	2	4	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	1	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	0	2	2	0	0	0	1	0	1	0
8-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	3	1	4	199	454	0	1	2	0	2	0
6月計	2	1	1	10	27	26	0	0	0	0	0	1
7月計	140	114	94	780	923	75	2	7	22	3	9	8
8月計	117	20	9	6	39	1	12	1	1	0	2	0
9月計	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	259	139	105	800	1,189	556	14	9	25	3	13	9

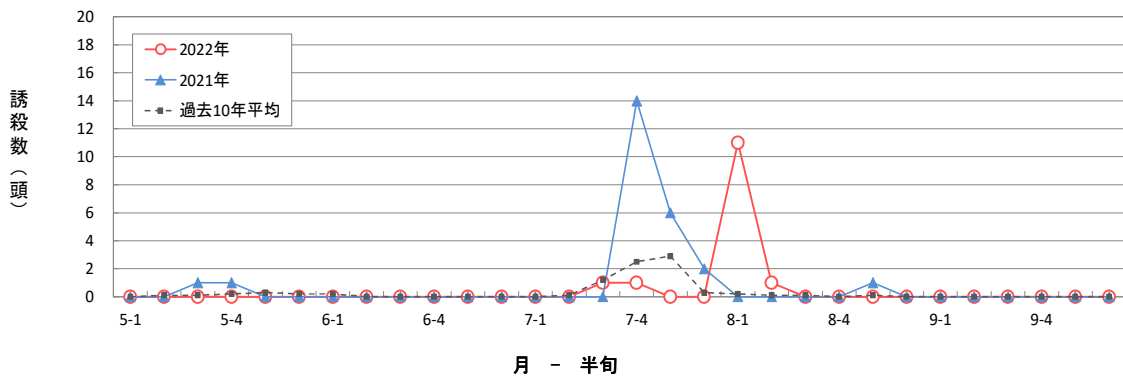
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



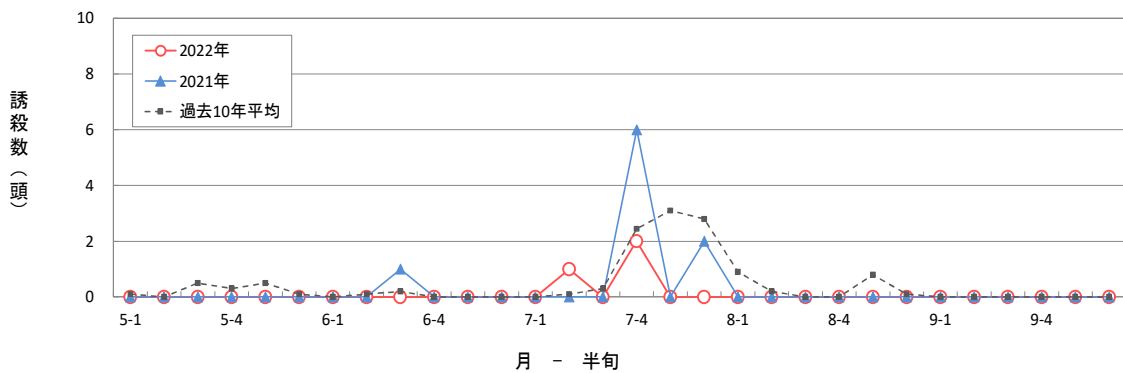
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



(9) イネドロオイムシの発生状況

① 本田発生状況

		発生株 (株数)	成虫数	卵塊数	幼虫数	備考
発生ほ場数		2	2	1	0	令和4(2022)年5月23~25日調査
ほ場率	本年値	16.7	16.7	8.3	0.0	総調査地点数:12(1地点2ほ場調査,計12ほ場) 総調査株数:600株
	平年値	24.2	23.3	11.7	10.8	
発生数(株・頭)		3	2	1	0	調査株数:1ほ場50株 平年値は2012~2021年の平均
密度	本年平均値	0.3	0.2	0.1	0.0	※密度=株・頭/50株
	平年値	1.0	0.6	0.6	1.6	
概 評		平年並				

調査方法: 畦畔から3~4m内側(10条付近)の50株における被害株率と、葉上に生育するイネドロオイムシの虫数を調査した。
調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

(10) ニカメイガの発生状況

① 越冬幼虫密度

		幼虫寄生株	幼虫寄生茎	備考
発生ほ場数(か所)		1		令和4(2022)年2月1日~3日採集
ほ場率	本年値	12.5		総調査ほ場数:8か所
	平年値	23.6		総調査株数:400株
発生数(株・本)		1	1	総調査茎数:8,316茎
発生率	本年平均値	0.3	0.0	(1ほ場稲株50株を採取し、ニカメイガ幼虫数を調査)
	平年値	1.0	0.0	
概 評		やや少		平年値は2011~2021年の平均

発生ほ場率の推移

	発生ほ場率 (%)	発生ほ場数	備考 (総調査ほ場数)
2021.2	12.5	1	8
2020.2	37.5	3	8
2019.2	11.1	1	9
2018.2	12.5	1	8
2017.2	12.5	1	8
2016.2	25.0	2	8
2015.2	12.5	1	8
2014.2	37.5	3	8
2013.2	37.5	3	8
2012.2	37.5	3	8

発生株率・茎率の推移

	幼虫寄生株 (%)	幼虫寄生茎 (%)	備考 (総調査株数)
2021.2	0.3	0.0	400
2020.2	0.8	0.0	400
2019.2	0.9	0.0	450
2018.2	0.3	0.0	400
2017.2	0.3	0.0	400
2016.2	1.8	0.1	400
2015.2	0.5	0.0	400
2014.2	1.3	0.1	400
2013.2	3.0	0.2	400
2012.2	0.8	0.0	400

調査方法: 稲株を採集し、茎内に寄生しているニカメイガ幼虫数を調査した。

② 誘殺数
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町			
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5-4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5-6	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
6-1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	2	0	0	2	1	1	0	0	0	3	1	1	1
6月計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0
合計	3	0	2	2	1	1	0	0	2	4	2	2	2

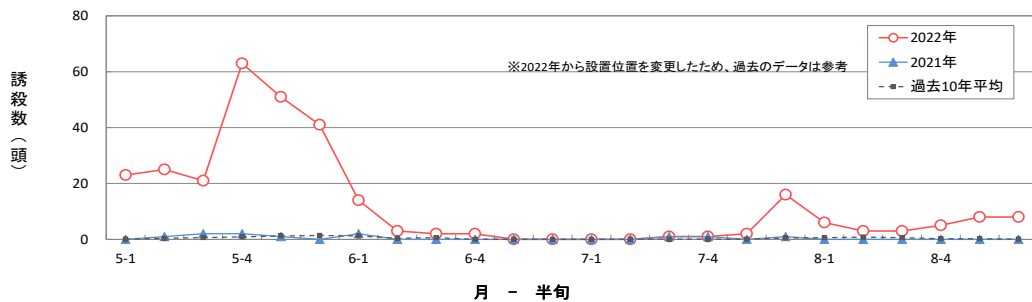
※) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(フェロモントラップ)

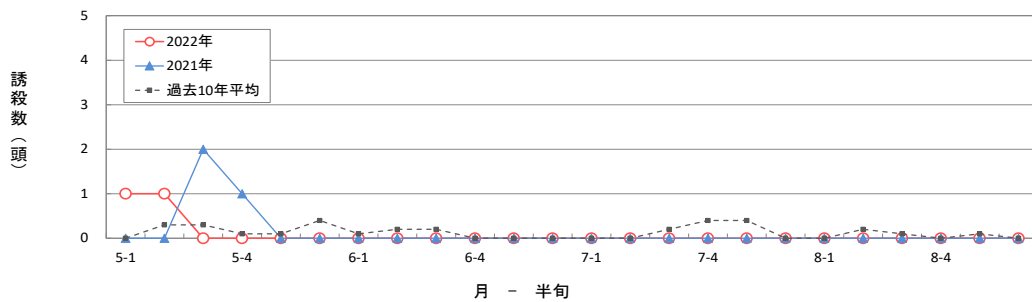
月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			上三川町※			小山市			市貝町※			下野市※		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	6	2	2	0	0	0	16	16	10	4	88	54
5-2	1	1	0	9	2	1	0	0	0	35	27	17	7	118	53
5-3	2	1	0	7	4	4	2	0	0	67	46	52	8	125	70
5-4	2	1	0	8	6	3	1	0	0	47	41	25	8	125	101
5-5	1	2	0	6	6	3	0	0	0	43	31	9	8	131	119
5-6	0	2	0	3	9	7	0	0	1	58	35	21	8	143	125
6-1	2	2	0	6	5	4	0	0	0	64	19	22	1	80	29
6-2	0	1	0	4	4	3	0	0	0	16	13	19	3	44	13
6-3	0	1	0	3	2	2	0	0	0	3	11	18	2	8	2
6-4	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	6	0	1	6	1
6-5	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	5	0	0	4	1
6-6	0	0	0	4	1	2	0	0	0	1	2	1	0	1	0
7-1	0	0	0	5	1	4	0	0	0	1	2	2	0	2	0
7-2	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	2	0	0	5	1
7-3	1	0	0	2	1	2	0	0	0	0	4	2	0	12	11
7-4	1	0	0	6	1	3	0	0	0	0	7	3	1	24	23
7-5	0	0	0	13	2	9	0	0	1	1	9	8	2	35	49
7-6	1	0	1	17	4	3	0	0	0	4	18	2	2	54	78
8-1	0	1	1	9	8	13	0	0	0	21	20	0	2	48	48
8-2	0	1	1	6	6	19	0	0	0	17	18	1	2	39	37
8-3	0	1	0	4	5	16	0	0	0	4	16	0	3	45	46
8-4	0	0	0	2	3	11	0	0	0	2	11	0	1	41	29
8-5	0	0	0	3	2	7	0	0	0	2	6	0	1	30	20
8-6	0	0	0	4	2	5	0	0	0	3	5	1	1	40	14
5月計	6	7	0	39	28	20	3	1	1	266	195	134	43	728	522
6月計	2	4	1	21	13	12	0	1	0	86	55	60	7	142	46
7月計	3	1	1	47	8	22	0	1	1	7	42	17	5	131	162
8月計	0	3	2	28	26	71	0	0	0	49	77	2	10	243	194
合計	11	14	4	135	76	125	3	3	2	408	370	213	65	1,244	924

※) 病害虫除剤による調査

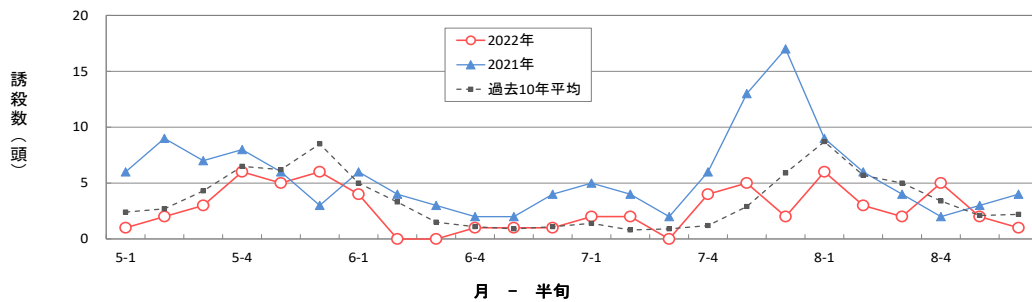
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



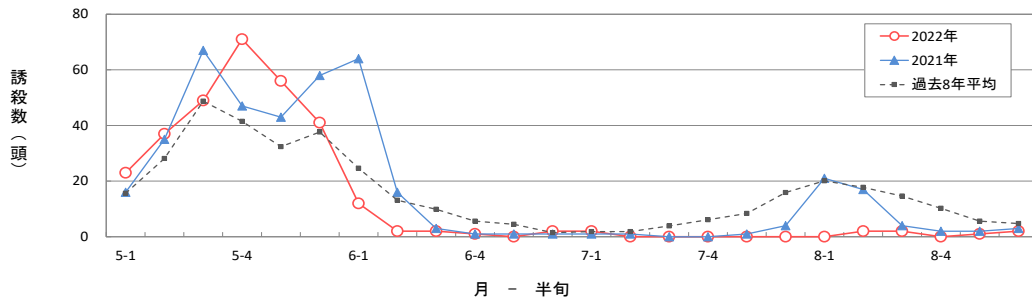
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (小山市)



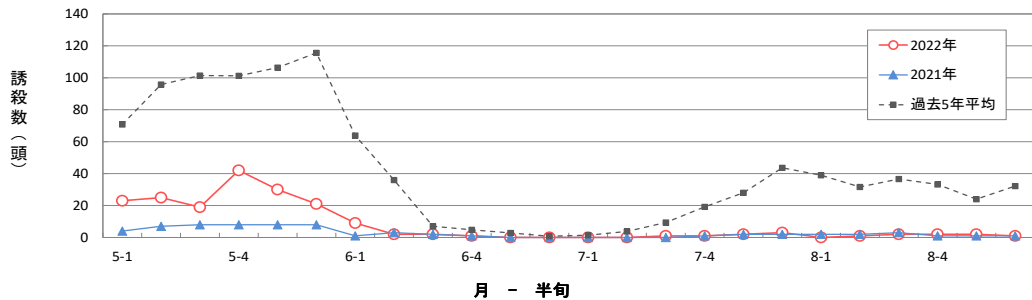
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (上三川町)



ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (市貝町)



ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (下野市)



(11) 病害虫発生予察ほ場における害虫発生状況(すくいとり調査)

① 7月中旬(ウンカ・ヨコバイ類 等)

		ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズウシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考
発生ほ場数(か所)		22	35	2	1	10	0	25	4	0	1	令和4(2022)年7月11~13日調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値は2012~2021年の平均
ほ場率	本年値	56.4	89.7	5.1	2.6	25.6	0.0	64.1	10.3	0.0	2.6	
	平年値	68.4	84.8	4.6	10.6	36.0	1.5	60.9	3.8	11.8	1.0	
すくいとり頭数合計(頭)		215	546	9	2	14	0	171	4	0	1	
頭数	本年平均値	5.5	14.0	0.2	0.1	0.4	0.0	4.4	0.1	0.0	0.0	
	平年値	25.9	18.9	0.1	0.2	1.1	0.0	7.9	0.1	0.4	0.0	
概 評		並	並	やや多	やや少	並	少	並	多	少	並	

発生地点率の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズウシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考 (総調査地点数)
2021.7	74.4	87.2	12.8	2.6	46.2	0.0	69.2	7.7	7.7	0.0	39
2020.7	69.2	74.4	0.0	7.7	17.9	0.0	74.4	0.0	17.9	0.0	39
2019.7	97.4	79.5	0.0	15.4	48.7	2.6	74.4	7.7	2.6	2.6	39
2018.7	56.4	92.3	0.0	0.0	17.9	2.6	64.1	7.7	5.1	0.0	39
2017.7	69.2	97.4	0.0	0.0	30.8	0.0	64.1	2.6	5.1	2.6	39
2016.7	23.1	87.2	20.5	2.6	33.3	2.6	41.0	2.6	20.5	2.6	39
2015.7	71.8	79.5	2.6	10.3	25.6	0.0	53.8	2.6	2.6	2.6	39
2014.7	68.4	81.6	0.0	31.6	34.2	0.0	55.3	0.0	2.6	0.0	38
2013.7	89.7	100.0	0.0	20.5	53.8	7.7	53.8	5.1	25.6	0.0	39
2012.7	64.1	69.2	10.3	15.4	51.3	0.0	59.0	2.6	28.2	0.0	39

すくい取り頭数の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズウシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考 (調査日の平均)
2021.7	5.8	9.8	0.2	0.0	1.1	0.0	10.8	0.1	0.1	0.0	7/10
2020.7	4.2	7.2	0.0	0.1	0.4	0.0	12.1	0.0	0.2	0.0	7/9
2019.7	39.3	23.4	0.0	0.2	2.9	0.0	11.8	0.1	0.0	0.0	7/8
2018.7	4.5	12.1	0.0	0.0	0.2	0.0	3.8	0.3	0.1	0.0	7/9
2017.7	3.5	18.5	0.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.0	0.1	0.0	7/12
2016.7	0.5	5.8	0.3	0.0	0.6	0.0	2.4	0.0	1.2	0.0	7/12
2015.7	14.5	8.7	0.0	0.3	0.6	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	7/10
2014.7	118.1	36.9	0.0	0.6	1.1	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	7/8
2013.7	37.9	28.2	0.0	0.3	1.3	0.1	8.2	0.1	1.2	0.0	7/10
2012.7	30.8	38.5	0.1	0.3	2.1	0.0	4.4	0.0	1.1	0.0	7/12

② 7月中旬(斑点米カメムシ類)

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考
発生ほ場数(か所)		0	3	0	0	0	2	0	0	5	2	令和4(2022)年7月11~13日調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値は2012~2021年の平均
ほ場率	本年平均値	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	12.8	5.1	
	平年値	0.0	4.6	0.0	1.0	0.3	4.9	0.3	0.8	11.3	5.9	
すくいとり頭数合計(頭)		0	4	0	0	0	2	0	0	6	2	
頭数	本年平均値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	
概 評		やや多		少		並		少		並	並	

発生地点率の推移

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考 (総調査地点数)
2021.7	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	7.7	5.1	39
2020.7	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	25.6	5.1	39
2019.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	5.1	2.6	39
2018.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	17.9	10.3	39
2017.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	12.8	0.0	0.0	17.9	12.8	39
2016.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	7.7	5.1	39
2015.7	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	7.7	2.6	5.1	17.9	12.8	39
2014.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38
2013.7	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	0.0	2.6	7.7	2.6	39
2012.7	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	0.0	5.1	2.6	39

すくい取り頭数の推移

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アカスジカスミカメ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考 (調査日の平均)
2021.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	7/10
2020.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.9	0.1	7/9
2019.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	7/8
2018.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	7/9
2017.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4	0.2	7/12
2016.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	7/12
2015.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.6	0.5	7/10
2014.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7/8
2013.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	7/10
2012.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	7/12

③ 8月上旬(ウンカ・ヨコバイ類 等)

		ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズゾウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	コブノメイガ成虫	備考
発生ほ場数(か所)		77	77	5	34	55	0	39	25	0	4	0	令和4(2022)年8月1~15日調査
ほ場率	本年平均値	98.7	98.7	6.4	43.6	70.5	0.0	50.0	32.1	0.0	5.1	0.0	総調査ほ場数:78ほ場
	平年値	93.7	96.0	19.0	49.9	67.3	1.7	57.2	30.0	4.6	14.4	0.0	
すくいとり頭数合計(頭)		34,460	2,874	9	874	1,286	0	123	107	0	4	0	(20回振りすくい取り) 平年値は2012~2021年の平均
頭数	本年平均値	441.8	36.8	0.1	11.2	16.5	0.0	1.6	1.4	0.0	0.1	0.0	
	平年値	313.5	39.4	0.4	28.5	23.5	0.0	3.6	1.0	0.2	0.0	0.0	
概 評		やや多	平年並	やや少	平年並	平年並	少	平年並	平年並	少	やや少	少	

発生地点率の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズゾウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	コブノメイガ成虫	備考 (総調査地点数)
2021.8	80.8	94.9	9.0	37.2	61.5	1.3	61.5	33.3	2.6	5.1	0.0	78
2020.8	89.7	94.9	52.6	30.8	56.4	2.6	79.5	39.7	0.0	11.5	0.0	78
2019.8	97.4	98.7	15.4	55.1	64.1	3.8	74.4	32.1	0.0	2.6	0.0	78
2018.8	100.0	98.7	0.0	42.3	71.8	0.0	64.1	25.6	5.1	11.5	0.0	78
2017.8	93.6	91.0	2.6	39.7	55.1	0.0	62.8	28.2	0.0	3.8	0.0	78
2016.8	89.7	97.4	28.2	42.3	62.8	0.0	38.5	2.6	9.0	0.0	0.0	78
2015.8	96.2	97.4	55.1	52.6	67.9	1.3	51.3	2.6	2.6	2.6	-	78
2014.8	94.9	88.5	0.0	62.8	78.2	0.0	46.2	100.0	0.0	100.0	-	78
2013.8	97.4	100.0	3.8	64.1	69.2	1.3	44.9	17.9	9.0	0.0	-	78
2012.8	97.4	98.7	23.1	71.8	85.9	6.4	48.7	17.9	17.9	6.4	-	78

すくい取り頭数の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズゾウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	コブノメイガ成虫	備考 (調査日の平均)
2021.8	70.5	14.6	0.1	8.6	7.4	0.0	2.5	0.8	0.1	0.1	0.0	7/31
2020.8	183.8	17.7	1.4	1.9	3.0	0.0	7.4	2.5	0.0	0.1	0.0	8/1
2019.8	222.5	47.0	0.2	27.0	16.4	0.1	3.9	0.8	0.0	0.0	0.0	8/2
2018.8	571.9	62.7	0.0	13.9	28.0	0.0	2.6	0.7	0.2	0.2	0.0	7/31
2017.8	508.4	26.1	0.0	25.9	34.0	0.0	4.4	1.2	0.0	0.0	0.0	8/1
2016.8	297.1	43.2	0.6	67.8	41.7	0.0	1.5	0.0	0.5	0.0	0.0	8/2
2015.8	256.3	40.4	1.2	29.3	25.5	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	-	8/1
2014.8	198.6	26.5	0.0	17.1	16.6	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	-	8/1
2013.8	525.6	68.5	0.1	60.7	38.4	0.0	5.6	3.6	0.2	0.0	-	8/3
2012.8	300.4	47.5	0.4	32.8	23.6	0.1	3.1	0.4	0.5	0.1	-	8/1

④ 8月上旬(斑点米カメムシ類)

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカメムシ		アカスジカメムシ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカメムシ類成幼虫	備考
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)		9	10	0	1	1	16	0	8	30	18	令和4(2022)年8月1~15日調査
ほ場率	本年平均値	11.5	12.8	0.0	1.3	1.3	20.5	0.0	10.3	38.5	23.1	総調査ほ場数:78ほ場
	平年値	2.8	9.0	0.1	2.6	0.4	11.3	0.8	11.5	26.3	18.7	
すくいとり頭数合計(頭)		39	28	0	4	1	37	0	21	130	59	(20回振りすくい取り) 平年値は2012~2021年の平均
頭数	本年平均値	0.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.0	0.3	1.7	0.8	
	平年値	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.3	1.3	0.7	
概 評		多	やや多	少	やや少	平年並	多	少	平年並	やや多	平年並	

発生地点率の推移

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカメムシ		アカスジカメムシ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカメムシ類成幼虫	備考 (総調査地点数)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
2021.8	3.8	12.8	0.0	0.0	1.3	3.8	0.0	14.1	24.4	16.7	78
2020.8	0.0	14.1	0.0	5.1	0.0	1.3	0.0	7.7	21.8	9.0	78
2019.8	3.8	10.3	0.0	7.7	0.0	24.4	2.6	11.5	33.3	26.9	78
2018.8	5.1	12.8	0.0	1.3	2.6	24.4	0.0	17.9	37.2	28.2	78
2017.8	1.3	15.4	0.0	2.6	0.0	15.4	3.8	9.0	38.5	25.6	78
2016.8	2.6	5.1	0.0	0.0	0.0	10.3	0.0	10.3	23.1	16.7	78
2015.8	2.6	3.8	0.0	1.3	0.0	14.1	0.0	9.0	23.1	16.7	78
2014.8	1.3	3.8	0.0	5.1	0.0	2.6	0.0	6.4	14.1	7.7	78
2013.8	1.3	6.4	0.0	1.3	0.0	3.8	0.0	12.8	20.5	16.7	78
2012.8	6.4	5.1	1.3	1.3	0.0	12.8	1.3	16.7	26.9	23.1	78

すくい取り頭数の推移

	クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカメムシ		アカスジカメムシ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカメムシ類成幼虫	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
2021.8	0.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.0	0.3	7/31
2020.8	0.0	1.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	1.4	0.4	8/1
2019.8	0.2	0.7	0.0	0.1	0.0	0.7	0.4	0.8	2.9	1.9	8/2
2018.8	1.1	0.4	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.3	2.6	1.0	7/31
2017.8	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.2	1.0	0.6	8/1
2016.8	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.3	8/2
2015.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.2	1.3	0.9	8/1
2014.8	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2	8/1
2013.8	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.6	0.4	8/3
2012.8	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3	0.4	1.2	1.0	8/1

(12) 斑点米カメムシ類の発生状況
①イネ科雑草地における発生状況(6月下旬)

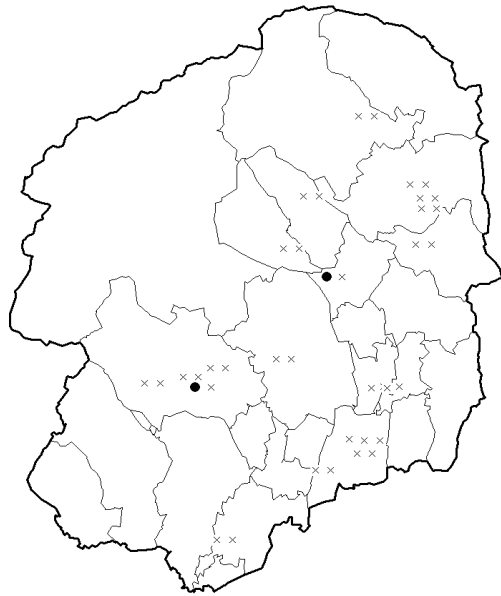
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
発生ほ場数(か所)	0	2	2	5	28	28	22	37	25	40	令和4(2022)年6月20~21日調査
ほ場率	本年値	0.0	5.0	5.0	12.5	70.0	70.0	55.0	92.5	62.5	100.0
	平年値	0.0	3.9	3.6	7.5	34.2	37.2	63.7	89.9	75.0	99.2
すくいとり頭数合計(頭)	0	2	2	24	69	93	625	538	105	1,609	総調査地点数:40
頭数	本年平均値	0.0	0.1	0.1	0.6	1.7	2.3	15.6	13.5	2.6	40.2
	平年値	0.0	0.1	0.1	0.1	0.8	0.9	33.2	19.9	14.4	73.7
概評	並			多			並			やや少 ~並	平年値は2012~2021年の平均

発生地点率の推移

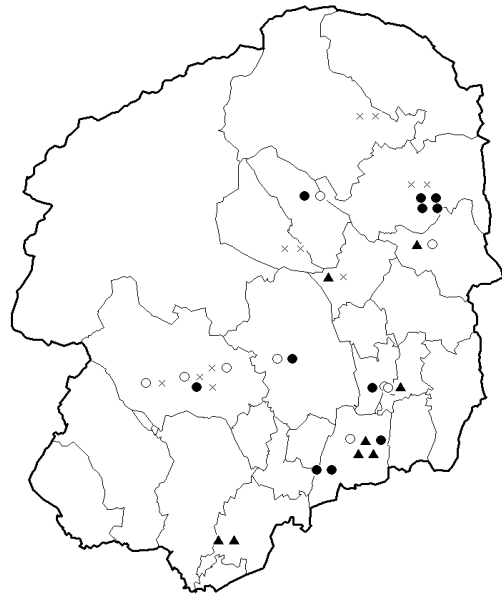
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査地点数)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2021.6	0.0	0.0	0.0	7.1	45.2	47.6	54.8	76.2	76.2	97.6	42
2020.6	0.0	9.5	9.5	4.8	40.5	40.5	78.6	83.3	85.7	100.0	42
2019.6	0.0	2.4	2.4	4.8	23.8	26.2	64.3	100.0	57.1	100.0	42
2018.6	0.0	2.6	0.0	10.3	23.1	28.2	61.5	82.1	64.1	97.4	39
2017.6	0.0	0.0	0.0	2.6	15.4	17.9	35.9	87.2	74.4	100.0	39
2016.6	0.0	7.9	7.9	13.2	42.1	47.4	60.5	94.7	63.2	100.0	38
2015.6	0.0	3.6	3.6	14.3	30.4	35.7	69.6	98.2	82.1	100.0	56
2014.6	0.0	4.2	4.2	4.2	39.6	41.7	72.9	100.0	85.4	100.0	48
2013.6	0.0	3.3	3.3	10.0	51.7	56.7	91.7	98.3	86.7	100.0	60
2012.6	0.0	5.3	5.3	3.5	29.8	29.8	47.4	78.9	75.4	96.5	57

すくい取り頭数の推移

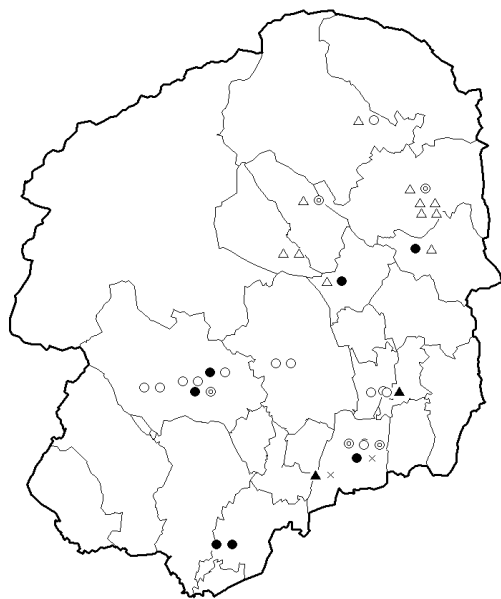
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2021.6	0.0	0.0	0.0	0.1	1.1	1.2	22.1	7.9	8.8	44.2	6/21
2020.6	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	1.0	73.3	21.3	26.2	131.2	6/22
2019.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	16.2	24.4	5.2	58.0	6/17
2018.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5	7.5	27.5	3.9	44.0	6/18
2017.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	4.3	11.3	5.3	24.7	6/19
2016.6	0.0	0.2	0.2	0.2	1.4	1.6	8.9	20.3	13.0	46.6	6/20
2015.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	26.7	36.6	15.9	83.9	6/23
2014.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	0.8	26.0	22.1	28.2	84.5	6/23
2013.6	0.0	0.2	0.2	0.2	1.0	1.2	128.1	23.2	31.4	187.6	6/24
2012.6	0.0	0.1	0.1	0.2	0.8	1.0	18.5	4.2	5.8	32.0	6/26



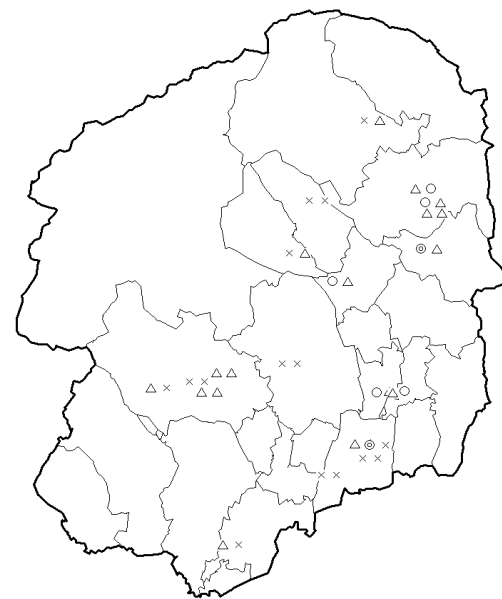
クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)



ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況
(6月下旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

② イネ科雑草地における発生状況（7月中旬）

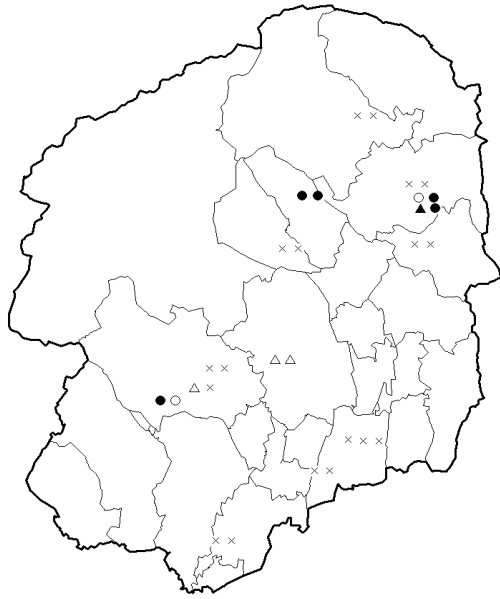
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考	
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫			
発生ほ場数(か所)	0	11	11	7	22	22	25	27	24	29	令和4(2022)年7月11~13日調査	
ほ場率	本年値	0.0	36.7	36.7	23.3	73.3	73.3	83.3	90.0	80.0	96.7	
	平年値	1.1	38.9	38.9	30.4	68.1	71.9	87.0	90.8	89.8	100.0	
すくいとり頭数合計(頭)	0	1,404	1,404	32	200	232	5,021	1,545	1,009	9,274	総調査地点数:30	
頭数	本年平均値	0.0	46.8	46.8	1.1	6.7	7.7	167.4	51.5	33.6	309.1	(イネ科雑草地、牧草地等における20回振りすくい取り)
	平年値	0.0	17.8	17.8	0.5	3.0	3.5	124.9	47.9	48.6	235.5	
概評	やや多			やや多			並			並~やや多	平年値は2012~2021年の平均	

発生地点率平年値計算表

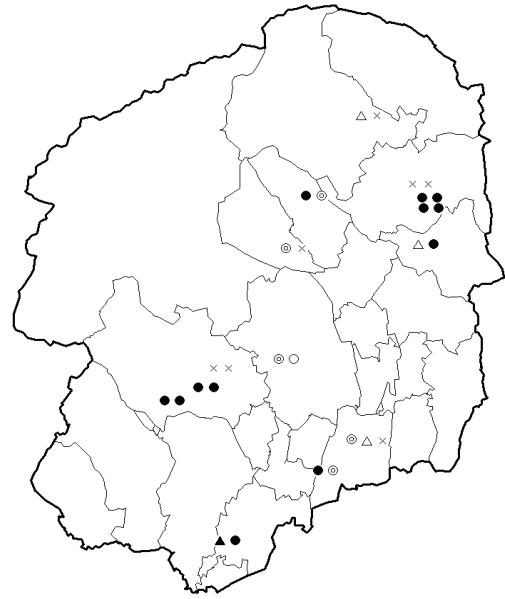
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査地点数)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2021.7	8.3	58.3	58.3	13.9	75.0	80.6	55.6	61.1	77.8	100.0	36
2020.7	0.0	41.7	41.7	30.6	77.8	80.6	88.9	86.1	91.7	100.0	36
2019.7	0.0	34.4	34.4	18.8	37.5	43.8	84.4	87.5	81.3	100.0	32
2018.7	3.1	56.3	56.3	34.4	75.0	75.0	96.9	90.6	75.0	100.0	32
2017.7	0.0	33.3	33.3	39.4	69.7	75.8	93.9	90.9	97.0	100.0	33
2016.7	0.0	38.7	38.7	9.7	83.9	87.1	100.0	100.0	87.1	100.0	31
2015.7	0.0	16.7	16.7	9.5	38.1	40.5	92.9	97.6	100.0	100.0	42
2014.7	0.0	22.9	22.9	11.4	54.3	62.9	94.3	100.0	100.0	100.0	35
2013.7	0.0	48.5	48.5	36.4	87.9	90.9	63.6	100.0	100.0	100.0	33
2012.7	0.0	38.2	38.2	100.0	82.4	82.4	100.0	94.1	88.2	100.0	34

すくい取り頭数平年値計算表

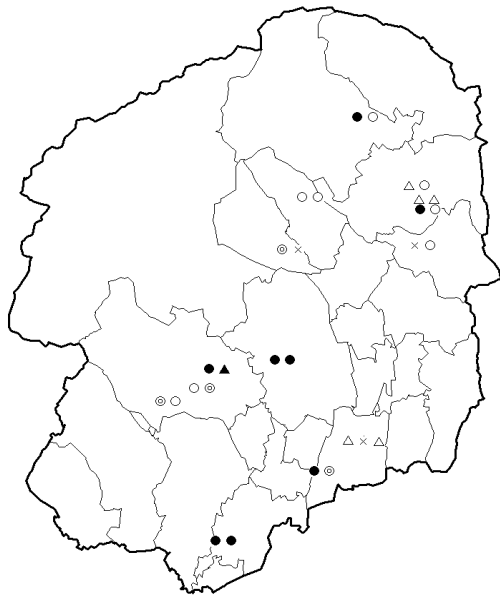
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2021.7	0.2	54.8	55.0	0.4	2.9	3.3	21.9	6.6	11.1	111.0	7/9
2020.7	0.0	30.0	30.0	0.9	4.3	5.2	109.6	24.5	85.8	260.5	7/9
2019.7	0.0	3.3	3.3	0.4	0.9	1.3	81.9	13.2	31.2	139.2	7/9
2018.7	0.0	18.9	19.0	0.8	2.7	3.4	304.3	162.8	38.6	536.4	7/10
2017.7	0.0	25.4	25.4	1.3	2.8	4.2	111.7	74.0	51.3	275.1	7/11
2016.7	0.0	20.5	20.5	0.2	2.3	2.5	168.7	55.9	35.9	288.2	7/12
2015.7	0.0	0.4	0.4	0.3	0.7	1.0	76.4	25.3	30.6	137.4	7/9
2014.7	0.0	0.9	0.9	0.3	1.5	1.8	—	26.9	35.0	142.0	7/9
2013.7	0.0	12.0	12.0	1.0	6.1	7.1	—	65.0	126.8	380.0	7/10
2012.7	0.0	11.6	11.6	0.0	5.5	5.5	—	24.4	40.0	85.6	7/14



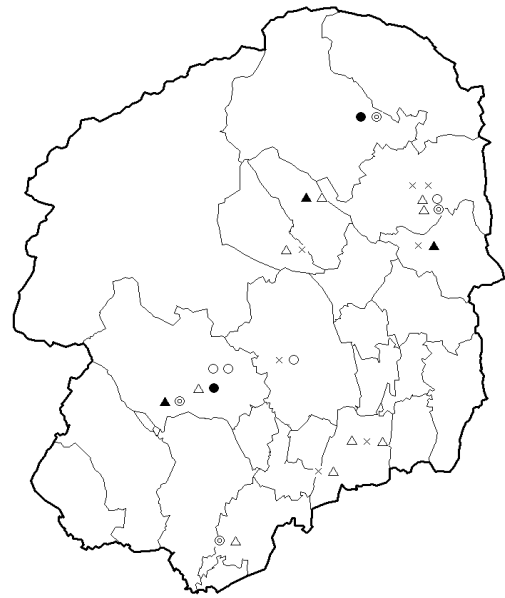
クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)



ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況
(7月中旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

③ クモヘリカメムシの誘殺数

(フェロモントラップ)

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田			茂木町※			矢板市※		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	1	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0
7-1	2	0	0	0	1	0	6	18	0	0	2	0
7-2	4	0	0	0	0	1	14	24	0	0	3	0
7-3	1	0	0	0	0	0	28	17	0	3	4	0
7-4	1	1	0	0	0	0	16	10	1	3	5	0
7-5	1	0	0	1	0	0	11	3	3	3	2	0
7-6	0	1	0	0	0	0	3	6	0	1	3	2
8-1	1	1	0	0	0	0	1	4	0	0	1	0
8-2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
8-3	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	1
8-4	2	1	1	1	1	0	2	1	0	0	0	0
8-5	0	1	2	0	1	3	3	3	1	2	0	0
8-6	0	2	2	0	2	5	3	3	2	2	0	0
9-1	1	1	0	0	1	1	-	0	2	-	0	0
9-2	1	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-3	0	0	0	0	1	1	-	0	0	-	0	0
9-4	0	0	0	0	1	1	-	0	0	-	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
5月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月計	1	0	0	0	0	0	1	7	0	0	0	0
7月計	9	2	0	1	1	1	78	77	4	10	18	2
8月計	5	5	5	1	6	8	11	13	3	4	1	1
9月計	2	1	0	0	3	3	2	0	2	0	1	0
合計	17	8	5	2	10	12	92	97	9	14	20	3

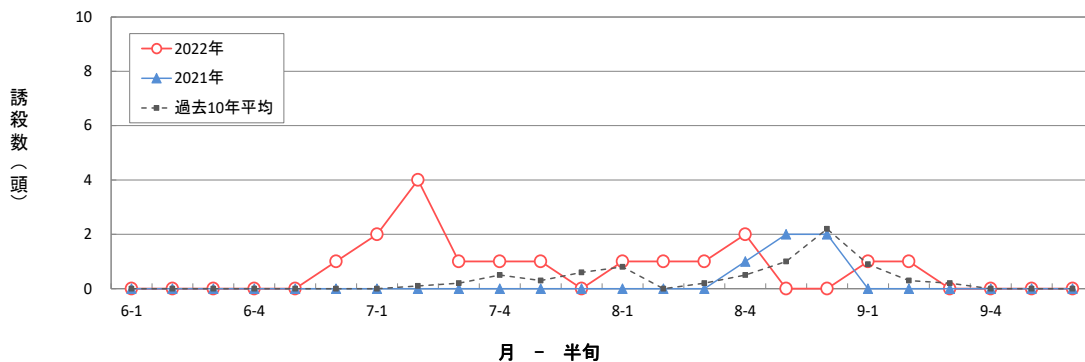
※病害虫防除員による調査

(60W予察灯)

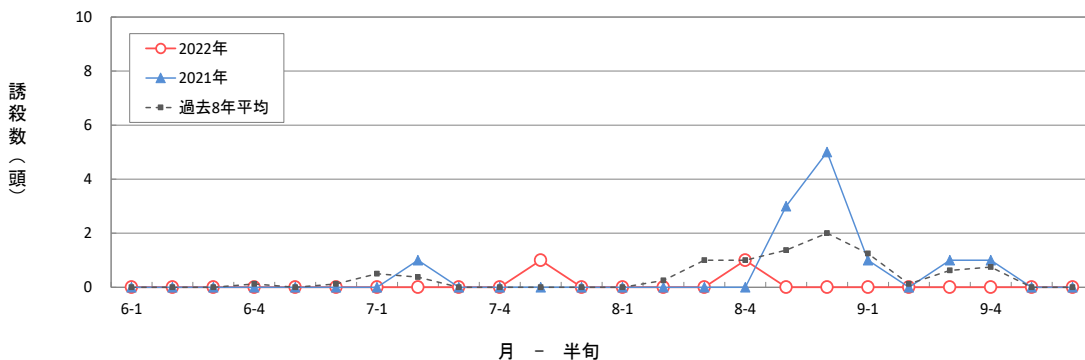
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	4	4	1	0	0	0	0	0	0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

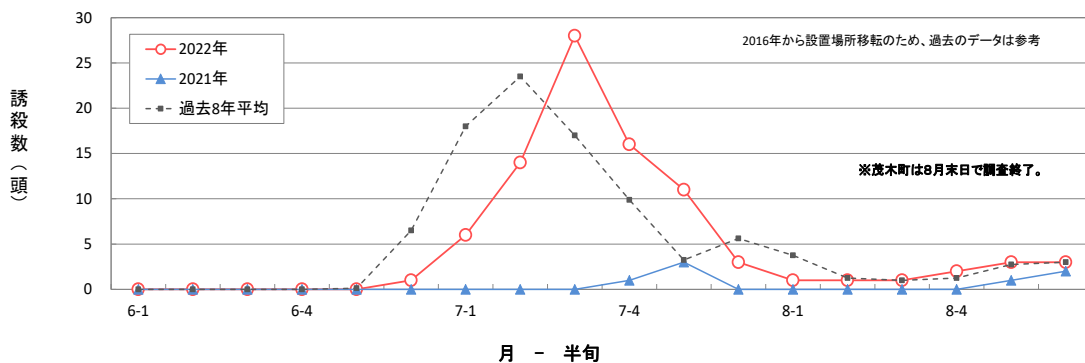
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



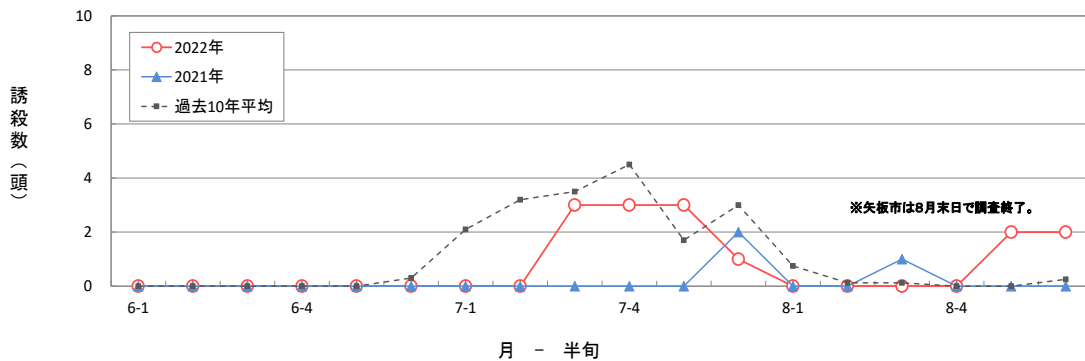
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (茂木町)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (矢板市)



④ ホソハリカメムシの誘殺数
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0

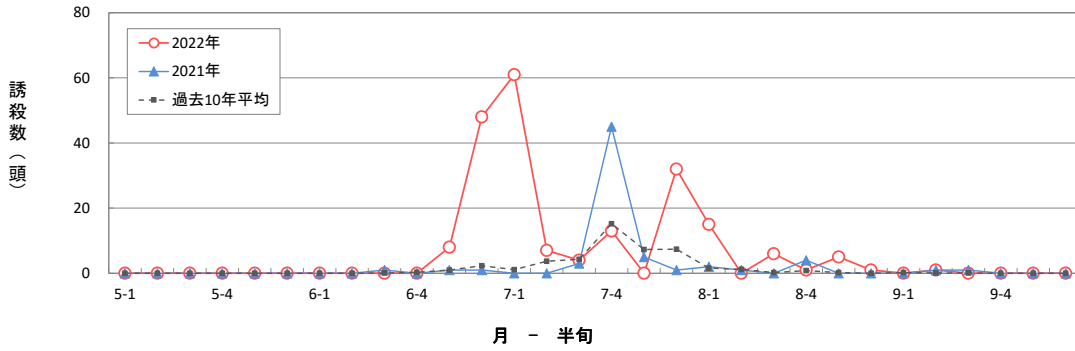
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

⑤ アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数
(60W予察灯)

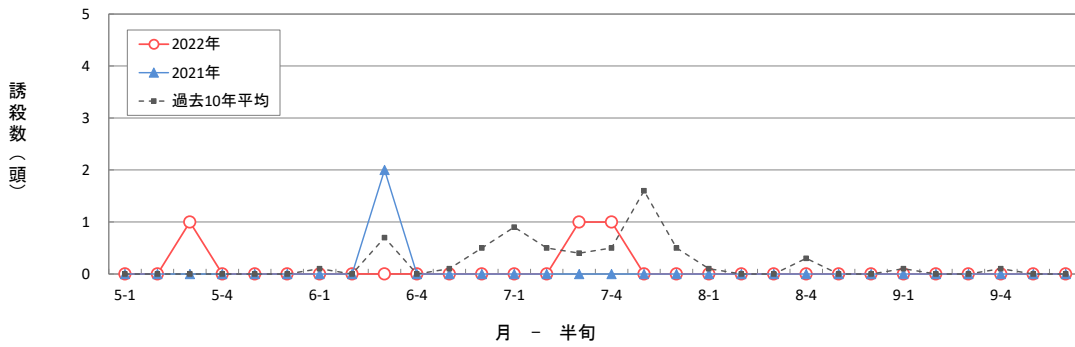
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3
6-3	0	0	1	0	1	2	0	3	0	0	3	4
6-4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	4
6-5	8	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	0
6-6	48	2	1	0	1	0	0	0	0	2	1	0
7-1	61	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	1
7-2	7	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0
7-3	4	4	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1
7-4	13	15	45	1	1	0	1	0	0	0	0	0
7-5	0	7	5	0	2	0	1	0	0	0	0	0
7-6	32	7	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
8-1	15	2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4
8-2	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	1	3
8-3	6	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0
8-4	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1
8-5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5	2	2
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9-2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0
9-3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5月計	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	56	4	3	0	1	2	0	5	0	8	5	11
7月計	117	39	54	2	4	0	6	1	1	0	1	2
8月計	28	4	7	0	0	0	5	0	0	7	4	10
9月計	1	0	2	0	0	0	0	1	0	6	2	2
合計	202	47	66	3	6	2	11	7	1	21	12	25

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

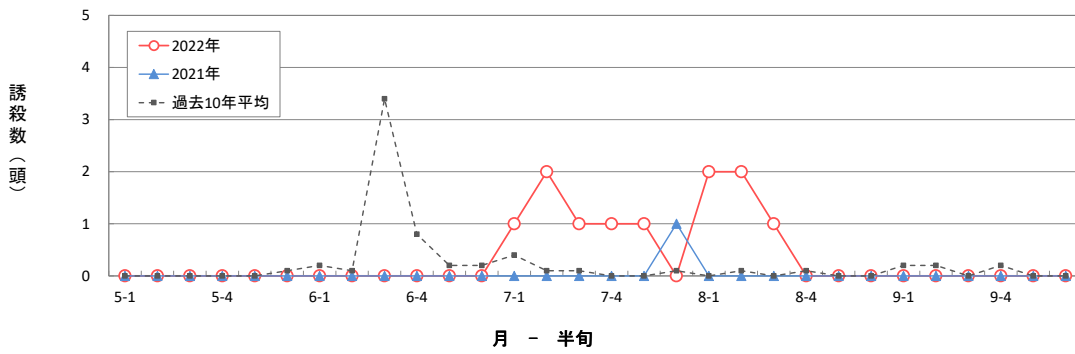
アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



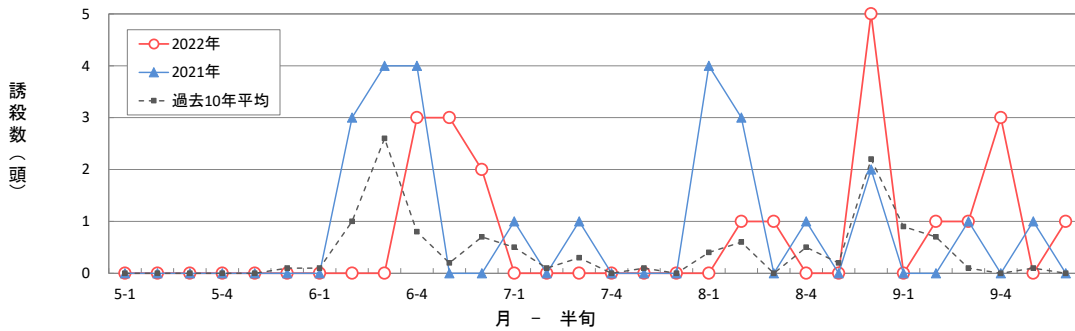
アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



アカヒゲホソミドリカスミカメの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



⑥ アカスジカスミカメの誘殺数

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
7月計	3	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8月計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	4	0	0	0	0	1	3	0	1	0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(13) 水稲害虫の60W予察灯による誘殺数

① セジロウンカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8-3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
8-5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	2	1
9月計	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	0	0	6	0	0	1	0	0	2	1

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

② トビイロウンカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

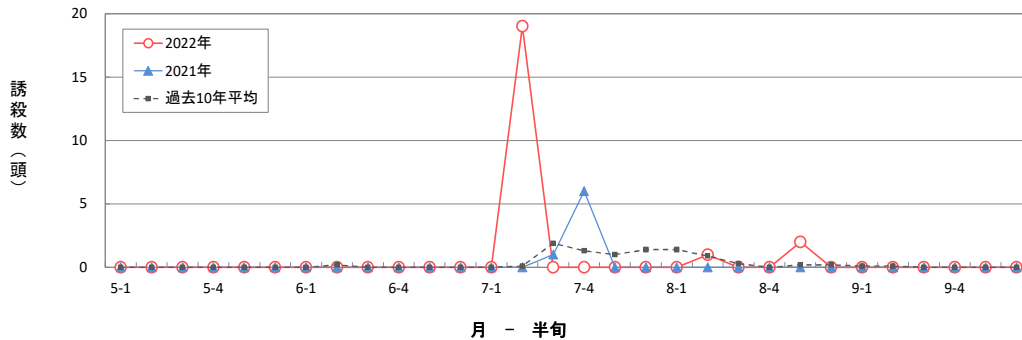
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

③ ヒメトビウンカ

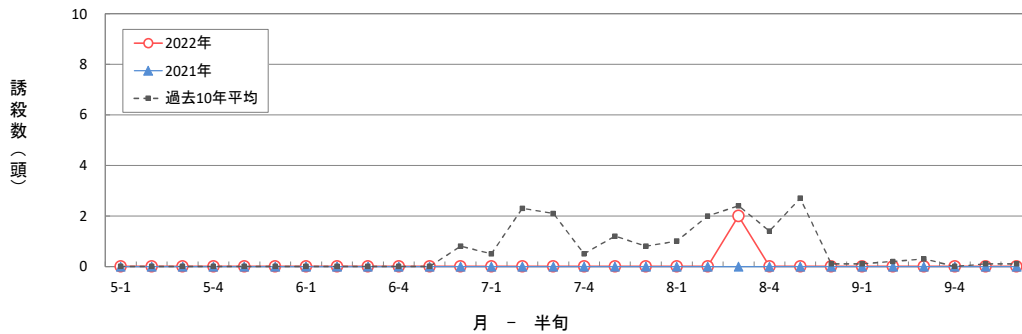
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-2	19	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0
7-3	0	2	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0
7-4	0	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
7-6	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	2
8-1	0	1	0	0	1	0	0	1	2	0	2	2
8-2	1	1	0	0	2	0	6	4	2	0	3	1
8-3	0	0	0	2	2	0	0	1	0	1	2	0
8-4	0	0	0	0	1	0	0	2	1	0	4	0
8-5	2	0	0	0	3	0	0	1	0	0	5	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0
7月計	19	6	7	0	7	0	0	2	2	0	4	2
8月計	3	3	0	2	10	0	6	9	5	1	21	3
9月計	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	8	0
合計	22	9	7	2	19	0	6	17	7	1	34	5

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

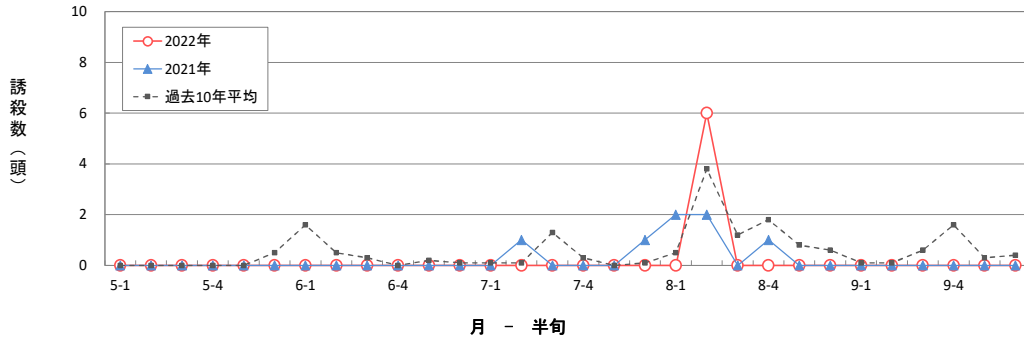
ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



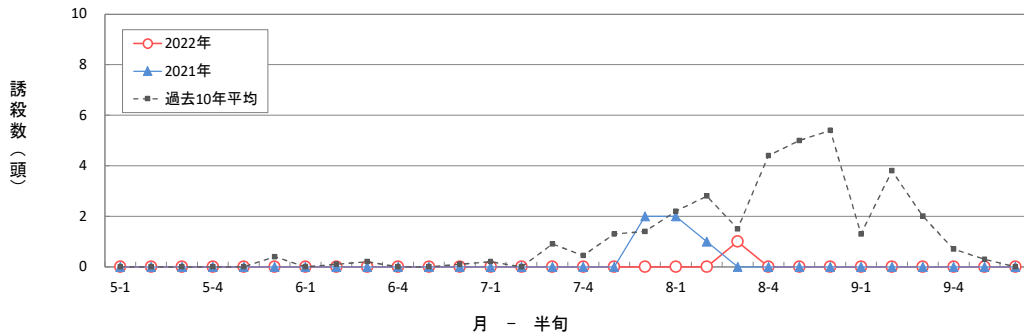
ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ヒメトビウカの花の6OW予察灯による誘殺数 (小山市)



ヒメトビウカの花の6OW予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)

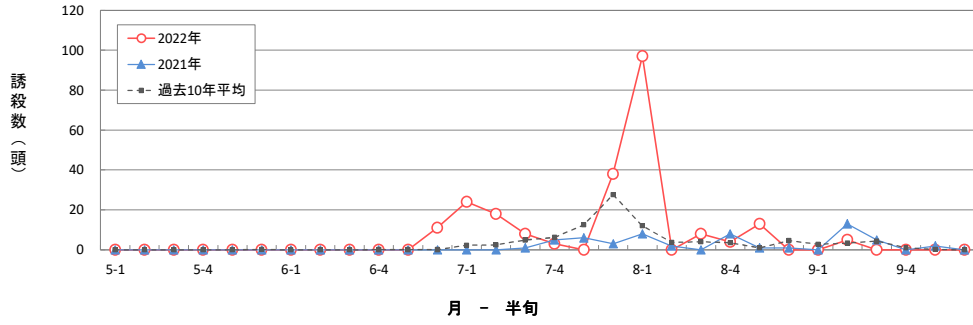


④ ツマグロヨコバイ

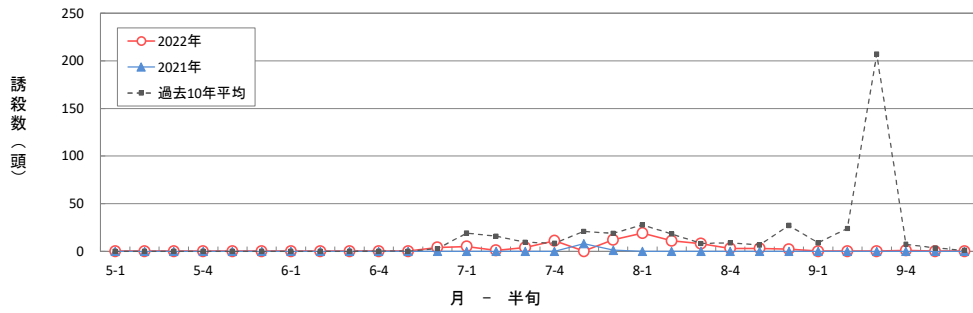
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
6-6	0	1	1	0	6	2	0	0	0	0	0	1
7-1	0	6	0	0	23	4	1	0	0	0	0	0
7-2	0	7	1	0	24	3	9	0	0	0	0	0
7-3	1	5	0	0	11	0	1	0	0	0	0	0
7-4	5	12	0	0	10	0	5	0	0	1	0	0
7-5	6	12	1	8	20	2	0	0	0	0	3	0
7-6	3	30	1	1	20	2	0	0	1	15	1	1
8-1	8	12	4	0	29	8	1	0	2	3	1	1
8-2	2	5	3	0	20	51	3	2	2	10	3	9
8-3	0	4	1	0	9	26	0	0	2	0	4	2
8-4	8	3	0	0	9	9	1	1	10	26	6	49
8-5	1	2	0	0	8	0	0	0	4	6	9	66
8-6	1	6	0	0	29	0	0	1	9	10	18	177
9-1	0	4	0	0	10	0	0	0	1	0	20	104
9-2	13	3	0	0	97	36	0	0	0	0	49	92
9-3	5	29	0	0	649	1	1	0	1	2	9	5
9-4	0	8	0	0	185	25	0	1	7	13	13	104
9-5	2	0	0	0	10	1	0	0	1	2	1	5
9-6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	1
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	1	1	0	7	2	2	0	0	0	1	2
7月計	15	72	3	9	108	11	16	0	1	16	5	1
8月計	20	32	8	0	103	94	5	5	29	55	41	304
9月計	20	44	0	0	952	63	1	2	10	23	93	311
合計	55	149	12	9	1,170	170	24	7	40	94	140	618

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

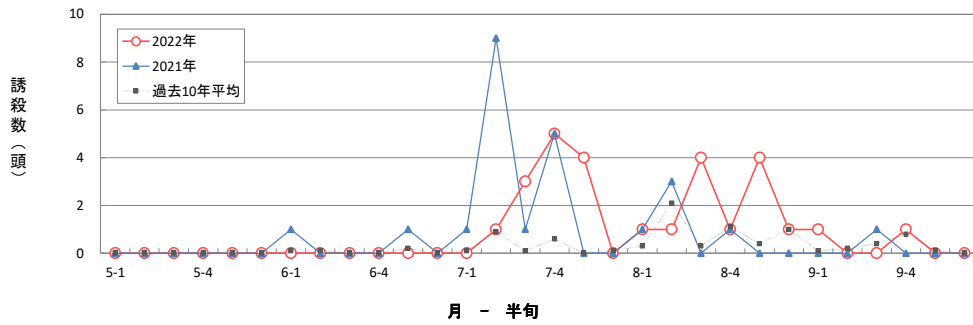
ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



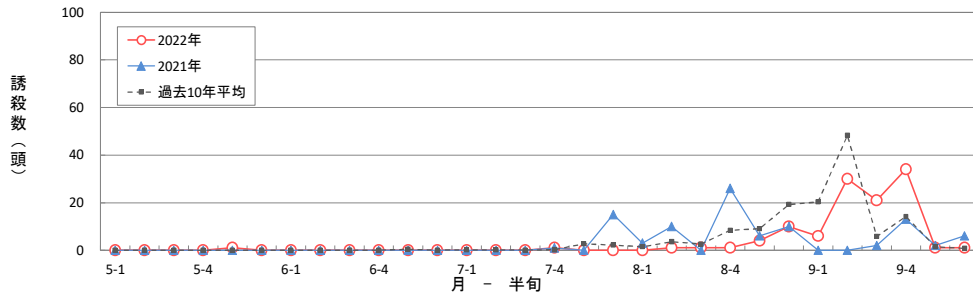
ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



⑤ イナズマヨコバイ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
7-4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	4	29
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
8-6	0	0	0	0	1	0	0	8	0	0	4	2
9-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	97	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	5	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7月計	0	0	0	0	1	3	0	1	8	0	1	2
8月計	0	0	0	0	2	0	0	11	2	0	11	34
9月計	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4	121	2
合計	0	0	0	0	4	3	0	13	10	5	134	50

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

⑥ コブノメイガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

⑦ フタオビコヤガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
8-2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	1	0	0	2	1	0	0	0	0	1	0
8月計	0	1	0	0	2	0	0	1	1	0	0	1
9月計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合計	0	2	0	0	4	1	1	1	1	1	2	3

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(14) ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数

調査年	宇都宮市瓦谷町						栃木市大塚町						小山市小薬			大田原市戸野内		
	麦			水稻			麦			水稻			水稻					
	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 0年 平均	R3 (2021) 年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-	-	-	-	0	0	-	-	-
5-3	0	0	0	-	0	0	0	0	0	-	-	-	0	1	0	1	-	-
5-4	1	0	0	-	0	1	1	1	0	-	-	-	3	3	0	0	-	-
5-5	1	1	0	-	0	0	0	2	0	-	-	-	8	8	1	0	-	-
5-6	2	1	1	-	1	0	-	3	1	0	-	-	10	9	2	0	-	-
6-1	3	1	0	1	1	0	-	4	0	0	4	1	1	6	2	0	-	-
6-2	0	2	0	0	1	1	-	-	-	3	4	1	1	3	1	0	0	0
6-3	0	1	0	0	1	0	-	-	-	2	2	1	1	1	0	0	0	0
6-4	1	-	-	1	1	0	-	-	-	1	1	1	1	1	0	0	0	0
6-5	-	-	-	0	1	0	-	-	-	1	1	0	2	2	2	1	3	3
6-6	-	-	-	0	1	0	-	-	-	0	2	0	4	14	3	3	1	1
7-1	-	-	-	1	2	0	-	-	-	2	5	0	7	23	3	3	0	0
7-2	-	-	-	3	2	1	-	-	-	10	7	0	11	26	1	1	0	0
7-3	-	-	-	1	2	0	-	-	-	8	12	3	7	24	0	0	1	1
7-4	-	-	-	1	5	0	-	-	-	6	13	3	4	18	0	0	1	1
7-5	-	-	-	1	4	0	-	-	-	3	9	0	1	12	1	1	0	0
7-6	-	-	-	1	4	1	-	-	-	3	9	0	4	14	1	1	0	0
8-1	-	-	-	1	4	1	-	-	-	19	15	0	14	21	0	1	1	1
8-2	-	-	-	6	5	1	-	-	-	25	30	1	15	19	0	6	1	1
8-3	-	-	-	7	6	2	-	-	-	25	31	0	13	18	0	7	-	-
8-4	-	-	-	0	7	5	-	-	-	6	20	0	7	15	2	1	-	-
8-5	-	-	-	2	4	3	-	-	-	6	13	1	2	11	2	2	-	-
8-6	-	-	-	3	3	2	-	-	-	6	13	1	3	9	1	1	-	-
9-1	-	-	-	1	2	1	-	-	-	5	14	0	4	12	1	0	-	-
9-2	-	-	-	0	2	0	-	-	-	9	16	1	1	14	1	1	-	-
9-3	-	-	-	0	2	0	-	-	-	6	15	6	1	9	3	1	-	-
9-4	-	-	-	0	2	0	-	-	-	4	12	9	1	6	4	1	-	-
9-5	-	-	-	1	1	0	-	-	-	1	7	4	0	3	3	1	-	-
9-6	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	3	1	0	0	1	0	-	-
5月計	4	2	1	0	1	1	1	6	1	0	0	0	21	20	3	1	0	0
6月計	4	4	0	2	6	1	0	4	0	7	13	4	10	26	8	4	4	4
7月計	-	-	-	8	18	2	-	-	-	32	55	6	34	117	6	6	2	2
8月計	-	-	-	19	29	14	-	-	-	87	122	3	54	93	5	18	2	2
9月計	-	-	-	2	9	1	-	-	-	25	65	21	7	44	13	4	0	0
合計	8	5	1	31	63	19	1	10	1	151	255	34	126	300	35	33	8	8

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

調査場所：県北部：大田原市戸野内（予察調査ほ定点）水稻ほ場1か所
 県中部：宇都宮市瓦谷町（農業試験場）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所
 県南部：栃木市大塚町（いちご研究所）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所
 小山市小薬（予察調査ほ定点）の水稻ほ場1か所 合計6か所

調査方法：黄色粘着板（ホリバー：長辺26cm×短辺10cm、アリスライフサイエンスK.K.）を長辺が縦になるように支柱に固定した。設置高は粘着板中央部がほ場土面より1.5mとなるようにし、畦畔際に約1m間隔で5枚設置した。文字等の印刷面を南あるいは西向きとした。粘着板の回収間隔は概ね1週間毎とし、粘着板両面に付着したヒメトビウカ成虫数を計数した。

調査期間：令和4（2022）年5月中旬～9月下旬

2) 麦類病害調査結果

(1) 病害発生予察ほ場における病害年次別発生状況

① 4月中旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	4/4, 5	8	0.0	0.0	-	0.0
二条		20	0.0	0.0	5.0	10.0
六条		12	0.0	0.0	0.0	25.0
R4 (2022)	4/4, 5	40	0.0	0.0	3.1	12.5
平年値		40	1.3	0.0	15.8	27.9
R3 (2021)	4/5~7	40	0.0	0.0	25.0	17.5
R2 (2020)	4/3~8	40	0.0	0.0	9.4	50.0
R元 (2019)	4/8~10	40	0.0	0.0	53.1	31.3
H30 (2018)	4/9~11	40	0.0	0.0	33.3	10.0
H29 (2017)	4/11~13	40	0.0	0.0	26.7	25.0
H28 (2016)	4/11~13	40	12.5	0.0	10.0	52.5
H27 (2015)	4/8~10	40	0.0	0.0	0.0	60.0
H26 (2014)	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	2.5
H25 (2013)	4/10, 12, 16	40	0.0	0.0	0.0	0.0
H24 (2012)	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	30.0

* 調査基数：ほ場あたり50莖 斑葉病の発生ほ場率は大麦（二条+六条）のみで算出

② 5月上旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	4/25~27	8	25.0	0.0	-	0.0
二条		20	0.0	0.0	20.0	5.0
六条		12	0.0	0.0	0.0	0.0
R4 (2022)	4/25~27	40	5.0	0.0	12.5	2.5
平年値		40	4.3	0.0	17.3	14.4
R3 (2021)	4/28, 30	40	0.0	0.0	21.9	22.5
R2 (2020)	4/30, 5/1	39	0.0	0.0	9.4	41.0
R元 (2019)	5/1, 2	40	0.0	0.0	34.4	15.0
H30 (2018)	5/1, 2	40	10.0	0.0	46.7	0.0
H29 (2017)	5/1, 2	40	0.0	0.0	30.0	5.0
H28 (2016)	5/6	40	15.0	0.0	13.3	10.0
H27 (2015)	5/7, 8	40	0.0	0.0	17.9	15.0
H26 (2014)	5/7, 8	40	0.0	0.0	0.0	30.0
H25 (2013)	5/7, 8	40	12.5	0.0	0.0	0.0
H24 (2012)	5/6, 7, 9, 10	40	5.0	0.0	0.0	5.0

* 調査基数：ほ場あたり50莖 斑葉病の発生ほ場率は大麦（二条+六条）のみで算出

(2) 麦類縮萎病発生状況

① 大麦縮萎病 (車上調査)

年	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率 (%)
R4 (2022)	3/7~9	1,552	5.2
平年値		1,313	1.3
R3 (2021)	3/8, 9	1,468	1.0
R2 (2020)	3/6, 9	1,302	2.8
H31 (2019)	3/11, 12	1,120	1.7
H30 (2018)	3/8	1,310	1.6
H29 (2017)	3/1, 2	1,340	2.8
H28 (2016)	3/8, 9	1,388	0.9
H27 (2015)	3/9	1,302	0.7
H26 (2014)	3/10	1,314	0.8
H25 (2013)	3/8, 11	1,176	0.4
H24 (2012)	3/7, 12	1,406	0.4

② 小麦縮萎病 (車上調査)

年	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率 (%)
R4 (2022)	4/4, 5	317	0.0
平年値		395	5.2
R3 (2021)	4/5, 6	292	0.0
R2 (2020)	4/3~8	305	4.3
H31 (2019)	4/8~10	326	0.0
H30 (2018)	4/9~11	345	0.3
H29 (2017)	4/10, 11	397	11.1
H28 (2016)	4/11~13	420	11.0
H27 (2015)	4/9~11	425	6.4
H26 (2014)	4/9~11	461	5.0
H25 (2013)	4/10~12	589	0.8
H24 (2012)	4/9~11	392	13.3

(3) 赤かび病発生状況

麦種 年	5月上旬			5月中旬			5月下旬		
	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率 (%)
小麦	4/25~27	8	0.0	5/10~12	12	33.3	5/23~25	28	85.7
二条		20	0.0		20	10.0		未調査	未調査
六条		12	0.0		12	0.0		16	81.3
R4 (2022)	4/25~27	40	0.0	5/10~12	44	13.6	5/23~25	44	84.1
平年値		40	0.0		40	8.7		46	32.2
R3 (2021)	4/28, 30	40	0.0	5/10~12	40	0.0		59	74.6
R2 (2020)	4/30, 5/1	39	0.0	5/12, 15	46	4.3	5/25~27	45	48.9
R元 (2019)	5/1, 2	40	0.0	5/10	40	0.0	5/20~27	54	1.9
H30 (2018)	5/1, 2	40	0.0	5/10	40	5.0	5/22~25	55	45.5
H29 (2017)	5/1, 2	40	0.0	5/11	40	0.0	5/23, 24, 29, 30	43	16.3
H28 (2016)	5/6	40	0.0	5/14	40	12.5	5/24~30	40	22.5
H27 (2015)	5/6	40	0.0	5/12	40	2.5	5/26~28	26	7.7
H26 (2014)	5/7, 8	40	0.0	5/13, 14	34	0.0	5/26~29	26	15.4
H25 (2013)	5/7, 8	40	0.0	5/14, 15	40	0.0	5/29, 31	45	6.7
H24 (2012)	5/6, 7, 9, 10	40	0.0	5/17, 18, 21	38	63.2	5/28~30	64	82.8

* 調査数 5月上旬：ほ場あたり50莖 5月中・下旬：100穂

3) 大豆病害虫調査結果

(1) 病害虫発生予察ほ場における病害虫発生状況

① 8月

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	20	7	1	0	23	3	6	令和4(2022)年8月10・12日調査	
ほ場率	本年値	66.7	23.3	3.3	0.0	76.7	10.0	20.0	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	68.9	19.2	2.4	22.4	64.6	14.4	37.0	
頭数又は株数合計(頭・株)	305	7	1	-	66	10	8	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	10.2	0.2	0.0	-	2.2	0.3	0.3	平年値は2012~2021年の平均
	平年値	10.6	0.2	0.1	-	1.6	0.3	1.3	
概 評	平年並	平年並	やや少	少	平年並	平年並	やや少		

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査
※べと病の平年値は、平成27(2015)年~令和3(2021)年の7か年平均
発生地点率の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
2021.8	60.0	10.0	0.0	16.7	73.3	13.3	43.3	8/10・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2020.8	69.2	11.5	3.8	7.7	73.1	30.8	23.1	8/11・26・-里のほほえみ: 30ほ場
2019.8	53.3	10.0	3.3	13.3	43.3	16.7	0.0	8/14・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2018.8	50.0	23.3	0.0	20.0	60.0	0.0	16.7	8/13・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2017.8	93.3	40.0	3.3	26.7	76.7	6.7	43.3	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2016.8	86.7	16.7	0.0	43.3	63.3	3.3	56.7	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2015.8	70.0	3.3	0.0	23.3	53.3	16.7	33.3	8/12・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2014.8	30.0	10.0	0.0	26.7	60.0	10.0	26.7	8/12・30・-里のほほえみ: 22ほ場
2013.8	13.3	23.3	3.3	10.0	60.0	20.0	63.3	8/15・30・-里のほほえみ: 6ほ場
2012.8	3.3	43.3	10.0	36.7	83.3	26.7	63.3	8/15・30・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
2021.8	8.8	0.1	0.0	-	2.1	0.2	1.3	8/10・
2020.8	8.7	0.1	0.1	-	1.7	1.0	0.6	8/11・
2019.8	6.1	0.1	0.0	-	1.0	0.4	0.0	8/14・
2018.8	8.1	0.4	0.0	-	2.1	0.0	0.4	8/13・
2017.8	14.9	0.5	0.0	-	2.4	0.2	1.0	8/15・
2016.8	16.3	0.1	0.0	-	1.7	0.0	1.8	8/15・
2015.8	11.6	0.1	0.0	-	1.6	0.4	0.4	8/12・
2014.8	2.6	0.1	0.0	-	0.7	0.2	0.7	8/12・
2013.8	0.9	0.1	0.0	-	1.7	0.2	2.3	8/15・
2012.8	0.0	1.0	0.5	-	1.1	0.6	4.1	8/15・

② 9月

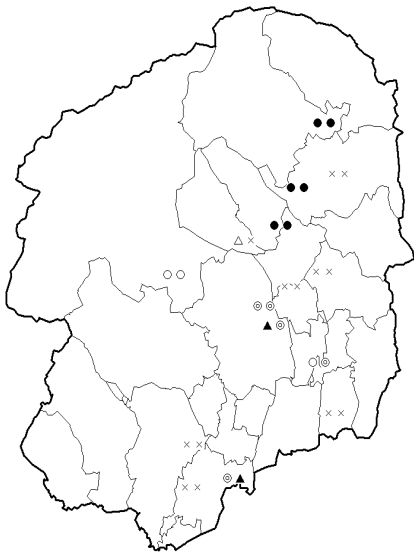
	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	21	0	11	3	6	13	6	11	令和4(2022)年9月2・6日調査	
ほ場率	本年値	70.0	0.0	36.7	10.0	20.0	43.3	20.0	36.7	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	84.8	31.7	29.7	6.0	38.7	36.7	24.7	65.3	
頭数又は株数合計(頭・株)	190	0	7	15	-	49	13	29	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	6.3	0.0	0.2	0.5	-	1.6	0.4	1.0	平年値は2012~2021年の平均
	平年値	15.7	3.0	0.3	0.2	-	1.1	1.5	6.6	
概 評	平年並	(少)	平年並	やや多	やや少	平年並	平年並	やや少		

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査
※べと病の平年値は、平成27(2015)年~令和3(2021)年の7か年平均
発生地点率の推移

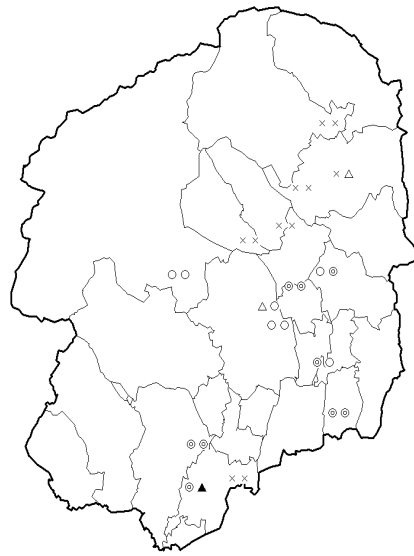
	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
2021.9	76.7	26.7	20.0	6.7	26.7	33.3	13.3	76.7	9/1・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2020.9	86.7	20.0	30.0	3.3	26.7	53.3	46.7	23.3	9/2・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2019.9	100.0	40.0	26.7	3.3	23.3	36.7	13.3	23.3	9/2・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2018.9	93.3	46.7	36.7	6.7	46.7	26.7	16.7	70.0	9/4・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2017.9	43.3	26.7	13.3	6.7	50.0	16.7	10.0	73.3	9/4・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2016.9	93.3	33.3	36.7	3.3	26.7	16.7	26.7	73.3	9/5・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2015.9	100.0	0.0	33.3	0.0	36.7	50.0	26.7	76.7	8/31・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2014.9	73.3	20.0	23.3	3.3	43.3	40.0	13.3	96.7	9/1・30・-里のほほえみ: 22ほ場
2013.9	13.3	36.7	36.7	3.3	40.0	36.7	33.3	76.7	9/3・30・-里のほほえみ: 6ほ場
2012.9	6.7	66.7	40.0	23.3	66.7	56.7	46.7	63.3	9/4・30・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
2021.9	10.9	2.4	0.3	0.1	-	1.0	0.5	10.3	9/1・
2021.9	12.8	0.8	0.4	0.0	-	1.5	3.2	1.3	9/2・
2020.9	23.0	2.2	0.2	0.0	-	0.7	0.8	2.6	9/2・
2019.9	15.7	4.5	0.5	0.0	-	3.6	0.4	5.2	9/4・
2018.9	10.0	4.9	0.0	0.4	-	0.3	0.7	7.0	9/4・
2017.9	12.7	1.7	0.1	0.7	-	0.2	0.6	5.7	9/5・
2016.9	24.9	0.0	0.4	0.0	-	1.5	1.4	6.7	8/31・
2015.9	18.3	1.9	0.1	0.0	-	0.6	0.4	11.3	9/1・
2014.9	1.6	3.8	0.1	0.0	-	0.5	4.2	11.1	9/3・
2013.9	1.7	7.4	0.6	0.4	-	1.2	2.3	5.1	9/4・



べと病の発生状況（8月調査）



べと病の発生状況（9月調査）

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

③ 8月 (ハスモンヨトウ)

	ハスモンヨトウ				備考
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	令和4(2022)年8月10・12日調査 総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株 (調査株数: 1ほ場25株)
ほ場率	本年値	0.0	0.0	0.0	
	平年値	8.0	1.0	5.0	
頭数又は株数合計(頭、株)	0	0	0	0	平年値は2012~2021年の平均
頭率 株率	本年平均値	0.0	0.0	0.0	
	平年値	0.1	0.0	0.0	
概 評	少	少	少	少	

発生地点率の推移

	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
2021.8	0.0	0.0	0.0	16.7	8/10・30
2020.8	0.0	0.0	0.0	7.7	8/11・26
2019.8	10.0	0.0	6.7	3.3	8/14・30
2018.8	6.7	0.0	0.0	20.0	8/13・30
2017.8	10.0	0.0	6.7	20.0	8/15・30
2016.8	13.3	3.3	13.3	40.0	8/15・30
2015.8	6.7	3.3	3.3	20.0	8/12・30
2014.8	26.7	3.3	6.7	26.7	8/12・30
2013.8	0.0	0.0	0.0	10.0	8/15・30
2012.8	6.7	0.0	13.3	26.7	8/15・30

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
2021.8	0.0	0.0	0.0	0.5	
2020.8	0.0	0.0	0.0	0.1	
2019.8	0.1	0.0	0.1	0.0	
2018.8	0.2	0.0	0.0	0.4	
2017.8	0.0	0.0	0.0	0.6	
2016.8	0.1	0.0	0.1	1.4	
2015.8	0.0	0.0	0.0	0.9	
2014.8	0.3	0.0	0.1	2.0	
2013.8	0.0	0.0	0.0	0.4	
2012.8	0.1	0.0	0.2	2.2	

④ 9月 (ハスモンヨトウ)

	ハスモンヨトウ				備考	
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数		
発生ほ場数(か所)	2	0	2	4	令和4(2022)年9月2・6日調査 総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株 (調査株数: 1ほ場25株)	
ほ場率	本年値	6.7	0.0	6.7		13.3
	平年値	16.7	1.7	13.3		27.0
頭数又は株数合計(頭、株)	2	0	3	7	平年値は2012~2021年の平均	
頭率 株率	本年平均値	0.1	0.0	0.1		0.2
	平年値	0.1	0.0	0.1		1.6
概 評	やや少	少	やや少	やや少		

発生地点率の推移

	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
2021.9	6.7	3.3	3.3	16.7	9/1・30
2020.9	16.7	0.0	16.7	0.0	9/2・30
2019.9	0.0	0.0	3.3	20.0	9/2・30
2018.9	16.7	0.0	3.3	40.0	9/4・30
2017.9	33.3	6.7	13.3	23.3	9/4・30
2016.9	3.3	0.0	0.0	26.7	9/5・30
2015.9	13.3	0.0	6.7	33.3	8/31・30
2014.9	26.7	3.3	26.7	23.3	9/1・30
2013.9	13.3	0.0	13.3	30.0	9/3・30
2012.9	36.7	3.3	46.7	56.7	9/4・30

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コロ ニー数	中老齢幼虫数	
2021.9	0.1	0.0	0.0	0.5	
2020.9	0.1	0.0	0.2	0.0	
2019.9	0.0	0.0	0.0	0.2	
2018.9	0.0	0.0	0.0	3.2	
2017.9	0.5	0.1	0.1	1.2	
2016.9	0.2	0.0	0.0	2.8	
2015.9	0.1	0.0	0.1	0.6	
2014.9	0.2	0.1	0.2	0.3	
2013.9	0.0	0.0	0.0	1.8	
2012.9	0.2	0.0	0.4	5.9	

(2) 病害虫発生予察ほ場における被害粒発生状況

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシクイガ	シロイチモジマダラメイガ	サヤムシガ類	フタスジヒメハムシ	腐敗粒(フザリウム属菌等)	その他(汚粒粒、皮切れ等)	備考	
				SMV	SSV									
発生ほ場数(か所)	15	13	15	5	0	14	8	5	0	14	15	15	令和4(2022)年10月13日~11月7日採取 総調査ほ場数:15か所 総調査株数:150株 総調査粒数:14,252粒 調査株数:10株	
ほ場率(%)	本年値	-	86.7	100.0	33.3	0.0	93.3	53.3	33.3	0.0	93.3	100.0		100.0
	平年値	-	58.0	99.0	10.7	0.0	96.7	75.3	14.7	8.0	84.7	85.3		99.3
発生粒数(粒)	9,832	176	911	142	0	1,195	104	15	0	258	213	1,406		
粒率(%)	本年平均値	69.0	1.2	6.4	1.0	0.0	8.4	0.7	0.1	0.0	1.8	1.5	9.9	
	平年値	73.5	1.1	11.5	0.3	0.0	5.2	1.7	0.0	0.0	1.7	1.1	6.5	
概 評	-	やや多	やや少	多	少	やや多	平年並	多	少	平年並	平年並	やや多	平年値は2012~2021年の平均	

※SMV:ダイズモザイクウイルス、SSV:ダイズ萎縮ウイルス

調査方法:1地点(1ほ場)から10株無作為に採取し室内で乾燥後、粒径5.5mm未満を除く全粒を調査した。

発生粒率は全粒(病害虫以外の被害粒等も含む)に対する比率。

発生地点率の推移

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシクイガ	シロイチモジマダラメイガ	サヤムシガ類	フタスジヒメハムシ	腐敗粒(フザリウム属菌等)	その他(汚粒粒、皮切れ等)	備考 (総調査地点数)
				SMV	SSV								
2021.10	-	86.7	100.0	53.3	0.0	100.0	80.0	13.3	0.0	100.0	100.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2020.10	-	53.3	100.0	13.3	0.0	100.0	86.7	53.3	0.0	93.3	100.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2019.10	-	80.0	100.0	6.7	0.0	100.0	86.7	33.3	20.0	86.7	93.3	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2018.10	-	46.7	100.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	6.7	73.3	80.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2017.10	-	93.3	100.0	6.7	0.0	100.0	73.3	0.0	0.0	80.0	100.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2016.10	-	40.0	100.0	13.3	0.0	86.7	80.0	13.3	6.7	86.7	93.3	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2015.10	-	13.3	93.3	0.0	0.0	100.0	80.0	0.0	0.0	86.7	66.7	100.0	15か所-里のほほえみ:11ほ場
2014.10	-	33.3	66.7	0.0	0.0	93.3	60.0	0.0	20.0	73.3	80.0	93.3	15か所-里のほほえみ:3ほ場
2013.10	-	66.7	26.7	0.0	0.0	86.7	66.7	13.3	26.7	73.3	53.3	100.0	15か所-里のほほえみ:1ほ場
2012.10	-	66.7	6.7	13.3	0.0	100.0	73.3	20.0	0.0	93.3	86.7	100.0	15か所

発生粒率の推移

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシクイガ	シロイチモジマダラメイガ	サヤムシガ類	フタスジヒメハムシ	腐敗粒(フザリウム属菌等)	その他(汚粒粒、皮切れ等)	備考 (採取日の平均)
				SMV	SSV								
2021.10	51.6	6.8	16.0	1.5	0.0	4.2	3.5	0.1	0.0	1.6	2.2	12.4	10/26
2020.10	77.6	0.2	7.8	0.7	0.0	6.3	2.3	0.2	0.0	1.4	1.3	2.2	10/20
2019.10	66.6	0.5	14.4	0.0	0.0	8.2	2.4	0.1	0.0	2.0	1.2	4.5	10/23
2018.10	71.6	0.1	5.5	0.0	0.0	7.9	0.8	0.0	0.1	0.7	0.7	12.6	10/23
2017.10	55.7	3.1	17.6	0.0	0.0	8.0	1.3	0.0	0.0	0.9	2.0	11.3	10/25
2016.10	69.9	0.1	13.1	0.2	0.0	2.2	2.4	0.0	0.0	2.2	2.1	7.7	10/21
2015.10	84.0	0.0	6.3	0.0	0.0	1.7	2.1	0.0	0.0	1.4	0.5	3.9	10/16
2014.10	90.2	0.1	4.8	0.0	0.0	1.8	0.5	0.0	0.1	1.0	0.4	1.0	10/20
2013.10	89.3	0.1	2.1	0.0	0.0	1.8	0.6	0.0	0.1	3.3	0.5	2.3	10/18
2012.10	78.0	0.2	0.3	0.2	0.0	9.8	1.0	0.1	0.0	2.5	0.4	7.4	10/15

(3) 吸実性カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数
 ホソヘリカメムシ
 (フェロモントラップ)

月一 半旬	芳賀町稲毛田			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 9年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	2	6	2	0	3	5	2	4	4
5-2	1	4	2	1	2	2	2	2	6
5-3	2	2	1	2	2	2	1	1	0
5-4	1	1	1	0	3	2	0	1	1
5-5	4	2	4	0	1	1	0	0	1
5-6	5	2	10	1	2	1	1	1	1
6-1	1	2	6	0	1	0	0	1	1
6-2	0	1	3	0	1	3	0	1	0
6-3	3	2	2	1	2	3	0	1	0
6-4	4	2	3	1	2	1	0	1	0
6-5	2	2	1	0	2	0	0	1	0
6-6	4	5	3	1	2	0	2	2	0
7-1	4	3	4	2	4	0	3	2	2
7-2	3	4	9	3	5	0	4	3	5
7-3	1	10	19	2	4	2	8	3	10
7-4	0	9	17	2	4	2	6	3	9
7-5	0	7	3	1	5	0	3	2	3
7-6	0	6	11	3	6	4	1	5	4
8-1	4	2	3	2	3	1	1	5	2
8-2	2	2	2	1	2	0	1	5	2
8-3	1	2	0	1	2	0	1	12	3
8-4	0	1	2	4	3	0	0	15	5
8-5	0	2	2	1	4	2	4	11	9
8-6	1	2	1	0	6	4	4	9	13
9-1	4	2	2	0	5	1	5	6	4
9-2	14	5	6	2	5	4	18	8	14
9-3	4	7	3	1	4	3	5	6	6
9-4	2	5	2	1	3	1	2	4	1
9-5	1	4	1	1	2	0	3	3	1
9-6	0	7	1	0	1	0	1	3	1
5月計	15	18	20	4	13	13	6	10	13
6月計	14	13	18	3	10	7	2	6	1
7月計	8	39	63	13	28	8	25	19	33
8月計	8	12	10	9	18	7	11	57	34
9月計	25	29	15	5	20	9	34	29	27
合計	70	110	126	34	89	44	78	121	108

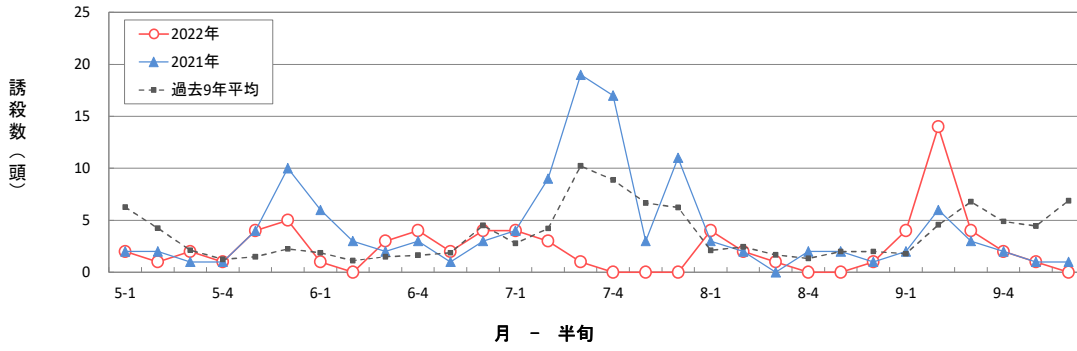
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(フェロモントラップ ※)

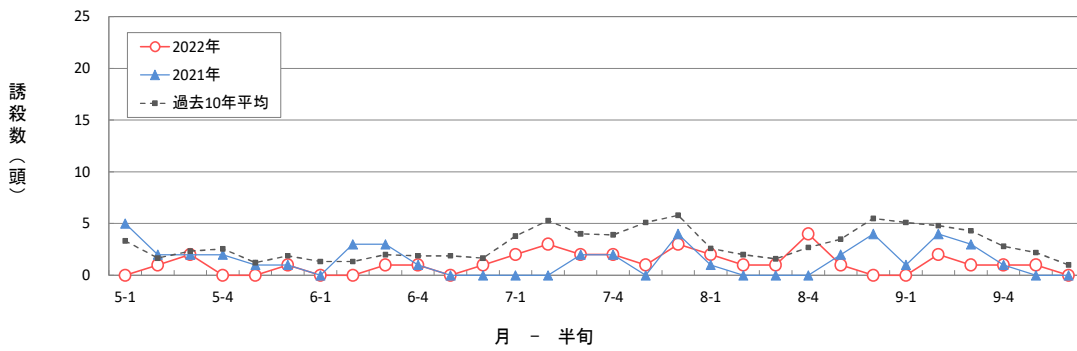
月一 半旬	日光市			益子町			さくら市			那須塩原市		
	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	1	1	0	0	0	1	1	2	0	3	5
5-2	0	1	3	0	0	0	1	0	1	0	3	3
5-3	0	0	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1
5-4	1	1	3	0	0	0	0	0	1	0	2	2
5-5	0	1	4	0	0	0	1	0	0	0	1	3
5-6	0	2	9	0	0	0	2	1	0	0	2	3
6-1	0	2	7	0	0	0	1	0	0	0	1	2
6-2	0	2	6	0	0	0	1	1	0	0	1	3
6-3	1	2	4	0	0	0	1	0	0	0	1	2
6-4	3	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	1
6-5	2	2	2	0	0	0	0	0	1	0	1	2
6-6	2	4	4	0	0	1	0	0	1	0	1	2
7-1	2	3	6	0	0	1	0	1	1	0	1	2
7-2	3	4	10	0	1	7	1	0	2	0	1	4
7-3	7	6	8	2	1	4	0	0	2	3	1	3
7-4	12	10	7	3	1	2	1	1	1	2	1	4
7-5	19	8	5	3	1	0	1	0	0	1	2	5
7-6	12	12	5	2	1	0	2	0	0	4	1	3
8-1	4	11	4	1	1	0	1	1	2	2	2	2
8-2	3	11	4	4	0	0	0	1	2	2	2	2
8-3	3	10	4	9	0	0	0	1	0	2	2	2
8-4	4	5	1	8	1	3	1	1	0	3	2	1
8-5	5	4	1	6	1	2	3	1	0	2	2	1
8-6	7	3	1	4	1	0	3	0	0	2	2	3
9-1	5	2	0	2	0	0	2	0	0	1	2	4
9-2	7	3	2	2	0	1	3	0	0	0	3	6
9-3	4	2	2	0	0	1	3	0	0	0	3	4
9-4	6	2	1	0	0	1	3	0	1	0	2	3
9-5	21	2	1	0	0	0	2	0	0	0	2	5
9-6	13	2	1	0	0	0	4	0	0	1	2	3
5月計	1	6	21	1	0	0	6	2	5	0	12	17
6月計	8	12	25	0	1	1	4	2	2	0	7	12
7月計	55	43	41	10	5	14	5	3	6	10	7	21
8月計	26	44	15	32	3	5	8	5	4	13	13	11
9月計	56	12	7	4	1	3	17	1	1	2	13	25
合計	146	116	109	47	10	23	40	12	18	25	52	86

※病害虫防除員による調査

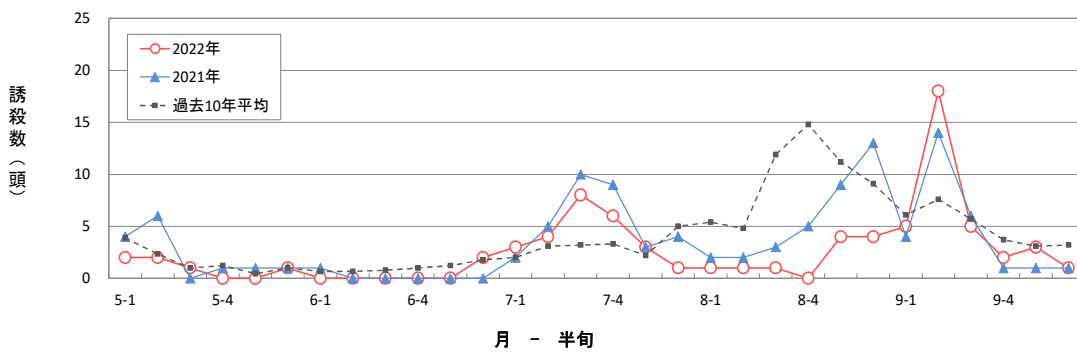
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



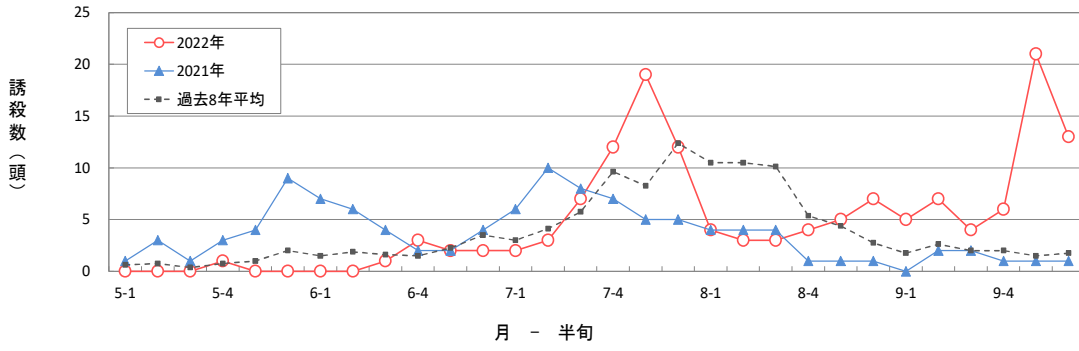
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (日光市)



(4) コガネムシ類の60W予察灯による誘殺数

① オオクロコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5-4	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	1
5-5	3	1	5	0	0	0	0	0	0	1	1	1
5-6	0	1	3	0	0	0	0	0	0	1	0	2
6-1	1	1	5	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6-2	0	2	5	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6-3	1	3	3	2	0	0	0	1	1	0	0	0
6-4	2	5	3	8	1	0	0	0	0	1	0	0
6-5	3	11	17	1	2	4	0	0	0	0	1	0
6-6	9	16	5	6	3	0	1	0	0	0	0	0
7-1	8	10	16	4	2	1	0	1	3	0	1	1
7-2	0	9	9	2	1	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	6	7	1	4	2	1	1	1	0	0	0
7-4	0	8	5	2	2	2	2	1	1	1	1	1
7-5	0	7	16	5	2	2	0	0	0	0	1	0
7-6	1	11	2	3	2	3	0	1	0	0	0	0
8-1	1	5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
8-2	1	6	0	6	2	0	0	0	0	1	0	0
8-3	1	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8-4	0	3	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0
8-5	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
8-6	2	1	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
9-2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	3	4	13	0	1	0	0	1	4	1	2	4
6月計	16	39	38	17	7	4	1	2	2	1	2	0
7月計	9	51	55	17	14	10	3	4	5	1	3	2
8月計	5	19	7	8	7	0	0	2	1	1	0	1
9月計	1	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
合計	34	113	113	43	28	14	4	10	13	4	8	7

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

② ヒメコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
7-2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
7-3	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	1	1
7-4	1	1	2	4	1	0	0	2	1	3	0	0
7-5	6	1	3	10	2	3	3	3	0	20	3	0
7-6	12	3	6	24	3	1	0	4	1	38	7	4
8-1	13	3	4	11	3	3	3	3	1	13	10	7
8-2	11	4	3	9	3	3	4	2	0	19	9	7
8-3	9	3	0	5	2	2	3	1	1	11	5	4
8-4	6	3	3	3	2	1	0	1	1	17	3	2
8-5	1	2	2	1	1	2	0	1	1	10	3	1
8-6	0	1	2	4	0	0	0	0	0	9	1	3
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
9-2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	20	6	12	38	7	5	5	10	3	63	12	6
8月計	40	15	14	33	11	11	10	7	4	79	31	24
9月計	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0
合計	60	22	26	72	18	16	15	17	7	145	43	30

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

③ ドウガネブイブイ
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1
6-3	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0
6-4	1	0	0	1	0	0	0	1	0	4	1	0
6-5	0	0	0	2	0	1	1	2	1	1	1	0
6-6	0	1	0	6	1	1	5	2	4	15	2	0
7-1	1	1	0	9	1	0	7	3	2	19	1	1
7-2	0	1	1	16	2	4	1	3	1	19	2	1
7-3	0	1	0	2	2	4	4	4	5	1	1	5
7-4	2	1	1	3	2	15	3	4	6	6	2	4
7-5	2	1	2	12	2	4	7	3	0	13	2	0
7-6	0	1	0	3	1	4	0	3	1	9	2	5
8-1	0	1	1	4	3	12	3	5	7	16	5	5
8-2	0	1	1	6	2	3	2	3	8	14	4	6
8-3	0	1	0	2	1	2	5	2	2	9	3	1
8-4	1	0	0	2	1	0	0	2	5	8	3	10
8-5	1	1	2	9	1	4	4	1	4	20	2	2
8-6	1	1	3	2	2	5	0	1	3	11	2	10
9-1	2	1	0	0	0	1	1	0	0	4	0	0
9-2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0
9-3	0	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	2	1	0	9	2	4	6	5	6	20	5	4
7月計	5	5	4	45	10	31	22	20	15	67	12	16
8月計	3	4	7	25	10	26	14	14	29	78	21	34
9月計	2	1	0	5	1	2	2	1	0	7	1	0
合計	12	10	11	84	23	63	44	40	50	172	39	54

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

4) 野菜類病害虫調査結果

(1) いちご

		炭疽病	灰色かび病	うどんこ病	萎黄病	アブラムシ類	ハダニ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ幼虫	シロイチモジヨトウ	アザミウマ類	アザミウマ類(花)	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	3	1	7	3	3	25	20	0	0	-	2	6~12日調査 総調査ほ場数: 66か所 総調査株数: 1,650株 (総調査花数: 3,300花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	4.5	1.5	10.6	4.5	4.5	37.9	30.3	0.0	0.0	-		3.0
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	8.6	4.0	8.4	11.2	8.5	54.7	26.1	0.0	-	-		9.3
	発生株数(株)		1	1	12	2	12	214	51	0	0	-		6
	発生株率	発生株率 (%)	0.1	0.1	0.7	0.1	0.7	13.0	3.1	0.0	0.0	-		0.2
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.1	0.1	0.4	0.1	0.9	19.6	2.8	0.0	-	-		0.3
概評		やや少	やや少	平年並	やや少	やや少	平年並	平年並	少	少	-	やや少	本ほ	
2月	発生ほ場数(か所)	5	5	2	0	7	32	25	0	0	-	7	2~8日調査 総調査ほ場数: 66か所 総調査株数: 1,650株 (総調査花数: 3,300花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	7.6	7.6	3.0	0.0	10.6	48.5	37.9	0.0	0.0	-		10.6
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	8.9	10.0	4.0	8.1	10.7	56.0	23.1	0.6	-	-		15.7
	発生株数(株)		3	2	3	0	15	235	80	0	0	-		17
	発生株率	発生株率 (%)	0.2	0.1	0.2	0.0	0.9	14.2	4.8	0.0	0.0	-		0.5
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.0	0.5	0.1	0.0	1.1	18.3	2.6	0.0	-	-		0.9
概評		(平年並)	平年並	やや多	少	平年並	平年並	やや多	少	少	-	平年並	本ほ	
3月	発生ほ場数(か所)	7	3	3	3	10	21	25	0	0	-	19	2~8日調査 総調査ほ場数: 66か所 総調査株数: 1,650株 (総調査花数: 3,300花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.6	4.5	4.5	4.5	15.2	31.8	37.9	0.0	0.0	-		28.8
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	7.3	13.1	3.9	12.1	9.3	51.6	24.0	0.0	-	-		25.7
	発生株数(株)		2	3	4	0	26	221	107	0	0	-		125
	発生株率	発生株率 (%)	0.1	0.2	0.2	0.0	1.6	13.4	6.5	0.0	0.0	-		3.8
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.1	0.8	0.1	0.1	1.0	14.6	3.1	0.0	-	-		1.9
概評		やや多	やや少	やや多	やや少	やや多	平年並	やや多	少	少	-	やや多	本ほ	
4月	発生ほ場数(か所)	13	3	5	8	8	15	22	0	0	0	29	5~12日調査 総調査ほ場数: 66か所 総調査株数: 1,650株 (総調査花数: 3,300花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	19.7	4.5	7.6	12.1	12.1	22.7	33.3	0.0	0.0	-		43.9
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	5.6	6.4	5.0	7.6	15.9	52.3	23.1	0.0	-	-		53.0
	発生株数(株)		5	2	9	1	21	97	110	0	0	0		191
	発生株率	発生株率 (%)	0.3	0.1	0.5	0.1	1.3	5.9	6.7	0.0	0.0	-		5.8
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.0	0.4	0.3	0.1	1.9	16.3	4.8	0.0	-	-		5.5
概評		(多)	平年並	やや多	やや多	平年並	やや少	やや多	少	少	-	平年並	本ほ	
6月	発生ほ場数(か所)	4	0	6	0	14	25	11	0	0	0	0	1~8日調査 総調査ほ場数: 63か所 総調査株数: 1,575株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	6.3	0.0	9.5	0.0	22.2	39.7	17.5	0.0	0.0	-		0.0
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	2.3	0.4	23.3	0.4	32.1	61.2	15.6	0.5	0.0	3.9		-
	発生株数(株)		4	0	20	0	71	162	30	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.3	0.0	1.3	0.0	4.5	10.3	1.9	0.0	0.0	-		0.0
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.0	0.0	3.4	0.0	7.2	19.2	1.9	0.0	0.0	0.2		-
概評		(多)	少	やや少	少	平年並	平年並	平年並	少	少	-	少	親株	
7月	発生ほ場数(か所)	2	0	7	0	8	20	4	0	0	0	0	1~6日調査 総調査ほ場数: 64か所 総調査株数: 1,600株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	3.1	0.0	10.9	0.0	12.5	31.3	6.3	0.0	0.0	-		0.0
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	1.8	0.3	39.2	0.7	17.1	32.7	13.7	0.5	0.0	4.1		-
	発生株数(株)		0	0	2	0	45	165	4	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.1	0.0	2.8	10.3	0.3	0.0	0.0	-		0.0
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.0	0.0	6.8	0.0	2.6	8.2	1.0	0.0	0.0	0.1		-
概評		平年並	少	やや少	少	平年並	平年並	やや少	少	少	-	少	親株・育苗床	
8月	発生ほ場数(か所)	5	0	0	0	13	12	1	0	0	0	0	3~9日調査 総調査ほ場数: 60か所 総調査株数: 1,500株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	8.3	0.0	0.0	0.0	21.7	20.0	1.7	0.0	0.0	-		0.0
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	5.8	0.0	5.3	0.2	14.3	25.7	3.6	1.6	0.0	0.2		-
	発生株数(株)		0	0	0	0	64	54	1	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	3.6	0.1	0.0	0.0	-		0.0
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.1	0.0	0.3	0.0	2.1	4.9	0.1	0.0	0.0	0.0		-
概評		平年並	少	少	少	やや多	平年並	やや少	少	少	-	少	育苗床	
9月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	1~12日調査 総調査ほ場数: 60か所 総調査株数: 1,500株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	-		0.0
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	10.1	0.0	4.2	3.1	5.9	13.9	4.0	4.7	0.0	0.5		-
	発生株数(株)		5	0	0	0	0	25	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	-		0.0
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.1	0.0	0.3	0.1	0.4	3.4	0.2	0.2	0.0	0.0		-
概評		平年並	少	少	少	少	やや少	少	少	少	-	少	育苗床・本ほ	
10月	発生ほ場数(か所)	7	0	0	0	4	4	4	8	0	0	1	3~7日調査 総調査ほ場数: 64か所、花調査ほ場数: 21か所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,200花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.8	0.0	0.0	0.0	6.2	6.2	6.2	12.3	0.0	-		1.5
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	10.7	0.0	4.9	4.9	9.1	21.1	14.9	11.2	0.0	-		-
	発生株数(株)		3	0	0	0	8	10	4	5	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.5	0.6	0.2	0.3	0.0	-		0.0
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.2	0.0	1.1	0.1	1.0	5.3	0.7	0.5	0.0	-		-
概評		平年並	少	少	少	平年並	やや少	やや少	平年並	少	-	少	本ほ	
11月	発生ほ場数(か所)	4	0	2	0	2	12	19	2	0	0	6	1~8日調査 総調査ほ場数: 64か所、花調査ほ場数: 63か所 総調査株数: 1,600株 (総調査花数: 3,150花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	6.2	0.0	3.1	0.0	3.1	18.5	29.2	3.1	0.0	-		9.2
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	14.4	0.1	12.0	7.7	11.8	26.8	22.5	7.4	0.0	-		22.7
	発生株数(株)		1	0	6	0	2	48	42	2	0	0		10
	発生株率	発生株率 (%)	0.1	0.0	0.4	0.0	0.1	3.0	2.6	0.1	0.0	-		0.3
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.2	0.0	2.4	0.1	1.8	7.4	1.7	0.3	0.0	-		1.2
概評		やや少	少	やや少	少	やや少	平年並	平年並	やや少	少	-	やや少	本ほ	
12月	発生ほ場数(か所)	3	0	3	0	7	22	24	1	0	0	8	5~9日調査 総調査ほ場数: 65か所 総調査株数: 1,625株 (総調査花数: 3,250花) (調査株数: 1ほ場25株 (調査花数: 1ほ場50花))	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	4.6	0.0	4.6	0.0	10.8	33.8	36.9	1.5	0.0	-		12.3
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	9.1	0.5	11.2	7.4	8.1	40.0	26.0	2.5	0.0	-		8.0
	発生株数(株)		2	0	13	0	16	199	74	0	0	0		6
	発生株率	発生株率 (%)	0.1	0.0	0.8	0.0	1.0	12.2	4.6	0.0	0.0	-		0.2
	発生株率	発生株率平年値 (%)	0.1	0.0	1.0	0.1	0.7	11.9	3.3	0.1	0.0	-		0.2
概評		やや少	少	やや少	少	平年並	平年並	やや多	やや少	少	-	やや多	本ほ	

※アザミウマ類の花調査はH23.1~のため、平年値は過去7年の平均値。シロイチモジヨトウの調査はH28.6~のため、平年値は前年値。

(2) トマト

		灰色かび病	疫病	葉かび病	すずかび病	うどんこ病	黄化葉巻病	モザイク病	アブラムシ類	コナジラミ類(葉率)	アザミウマ類(花率)	ハモグリバエ類幼虫	タバコガ類幼虫および被害	ハスモンヨトウ幼虫	備考
1月	発生ほ場数(か所)	0	0	2	1	3	2	0	0	7	0	0	0	0	6~12日調査 総調査ほ場数: 22か所 総調査株数: 1,100株 (調査株数: 1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	0.0	9.1	4.5	13.6	9.1	0.0	0.0	31.8	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	9.1	4.5	13.6	9.1	0.0	0.0	31.8	-	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	19.8	2.4	14.6	6.7	6.2	13.4	0.0	0.0	10.9	-	0.9	0.0	0.5	
	発生株数(株)	0	0	64	1	11	2	0	0	8	0	0	0	0	
発生株率	0.0	0.0	5.8	0.1	1.0	0.2	0.0	0.0	0.4	-	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	0.0	0.0	5.8	0.1	1.0	0.2	0.0	0.0	0.4	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.8	0.0	2.6	0.5	1.2	0.4	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.8	0.0	2.6	0.5	1.2	0.4	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0	0.0		
概評		少	少	やや多	平年並	やや多	平年並	少	少	やや多	少	少	少		少
2月	発生ほ場数(か所)	4	0	5	0	3	0	0	0	6	0	0	0	3~7日調査 総調査ほ場数: 22か所 総調査株数: 1,100株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	18.2	0.0	22.7	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	27.3	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	18.2	0.0	22.7	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	27.3	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	28.8	0.9	10.2	2.8	9.3	13.6	0.0	0.0	14.0	-	0.5	0.0		0.0
	発生株数(株)	3	0	74	0	3	0	0	0	10	0	0	0		0
発生株率	0.3	0.0	6.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	-	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	0.3	0.0	6.7	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.5	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	1.9	0.0	1.8	0.2	0.7	0.3	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	1.9	0.0	1.8	0.2	0.7	0.3	0.0	0.0	0.3	-	0.0	0.0	0.0		
概評		やや少	少	多	少	平年並	少	少	少	多	少	少	少		
3月	発生ほ場数(か所)	7	0	4	0	2	0	0	0	7	0	0	0	3~8日調査 総調査ほ場数: 22か所 総調査株数: 1,100株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	31.8	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	31.8	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	31.8	0.0	18.2	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	31.8	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	45.6	0.9	12.6	1.3	9.4	16.1	0.0	0.0	13.3	-	0.5	0.0		0.0
	発生株数(株)	2	0	66	0	29	0	0	0	26	0	0	0		0
発生株率	0.2	0.0	6.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	1.2	-	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	0.2	0.0	6.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	1.2	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.3	0.0	2.9	0.1	0.5	0.4	0.0	0.0	0.2	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.3	0.0	2.9	0.1	0.5	0.4	0.0	0.0	0.2	-	0.0	0.0	0.0		
概評		やや少	少	やや多	少	やや多	少	少	少	多	少	少	少		
4月	発生ほ場数(か所)	8	0	5	0	1	0	0	0	6	0	0	0	5~11日調査 総調査ほ場数: 22か所 総調査株数: 1,100株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	36.4	0.0	22.7	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	27.3	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	36.4	0.0	22.7	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	27.3	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	52.8	0.0	15.1	2.3	14.9	11.4	0.5	2.8	17.8	-	0.9	0.0		0.0
	発生株数(株)	20	0	76	0	5	0	0	0	13	0	0	0		0
発生株率	1.8	0.0	6.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.6	-	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	1.8	0.0	6.9	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.6	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.9	0.0	3.8	0.1	3.5	0.5	0.0	0.2	0.9	-	0.1	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.9	0.0	3.8	0.1	3.5	0.5	0.0	0.2	0.9	-	0.1	0.0	0.0		
概評		平年並	少	やや多	少	やや少	少	少	少	やや多	少	少	少		
5月	発生ほ場数(か所)	5	0	5	0	8	0	0	0	9	0	0	0	6~13日調査 総調査ほ場数: 22か所 総調査株数: 1,100株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	22.7	0.0	22.7	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	40.9	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	22.7	0.0	22.7	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0	40.9	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	46.4	0.9	17.4	2.7	27.3	10.0	0.0	4.4	23.0	-	2.3	0.0		0.0
	発生株数(株)	9	0	67	0	88	0	0	0	58	0	0	0		0
発生株率	0.8	0.0	6.1	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	0.8	0.0	6.1	0.0	8.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	5.5	0.0	5.5	0.4	6.6	0.7	0.0	0.0	1.5	-	0.1	0.0	0.0		
発生株率(%)	5.5	0.0	5.5	0.4	6.6	0.7	0.0	0.0	1.5	-	0.1	0.0	0.0		
概評		やや少	少	平年並	少	やや多	少	少	少	やや多	少	少	少		
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	0	2~8日調査 総調査ほ場数: 11か所 総調査株数: 550株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	0.0	0.00	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	0.0	0.00	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	4.0	0.00	4.8	6.4	15.7	3.0	0.0	12.3	28.5	12.2	10.4	4.3		0.0
	発生株数(株)	0	0	4	0	80	0	0	0	22	0	0	0		0
発生株率	0.0	0.00	0.7	0.0	14.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	夏秋トマト	
発生株率(%)	0.0	0.00	0.7	0.0	14.5	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.1	0.00	2.6	0.6	2.0	0.2	0.0	0.7	0.7	0.6	1.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.1	0.00	2.6	0.6	2.0	0.2	0.0	0.7	0.7	0.6	1.0	0.0	0.0		
概評		少	少	平年並	少	やや多	少	少	少	やや多	少	少	少		
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	3	0	0	1	4	1	1	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 11か所 総調査株数: 550株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	0.0	0.00	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	36.4	9.1	9.1	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	0.0	0.00	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	9.1	36.4	9.1	9.1	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	6.7	0.90	16.5	20.9	58.1	4.8	0.0	3.5	45.6	12.6	15.5	7.7		0.0
	発生株数(株)	0	0	0	0	78	0	0	1	7	1	1	0		0
発生株率	0.0	0.00	0.0	0.0	14.2	0.0	0.0	0.2	0.6	0.1	0.2	0.0	0.0	夏秋トマト	
発生株率(%)	0.0	0.00	0.0	0.0	14.2	0.0	0.0	0.2	0.6	0.1	0.2	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.3	0.00	5.4	5.1	12.7	1.5	0.0	0.1	2.3	1.2	0.9	0.2	0.0		
発生株率(%)	0.3	0.00	5.4	5.1	12.7	1.5	0.0	0.1	2.3	1.2	0.9	0.2	0.0		
概評		少	少	少	少	やや少	少	少	多	平年並	やや少	やや少	少		
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	3	2	7	0	0	0	5	0	1	3	3~9日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	0.0	0.00	33.3	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	11.1	33.3		0.0
	発生ほ場率(%)	0.0	0.00	33.3	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0	55.6	0.0	11.1	33.3		0.0
	発生ほ場率(%)	11.1	0.00	21.3	35.9	28.0	7.9	0.0	2.0	69.1	4.0	22.7	12.8		0.0
	発生株数(株)	0	0	12	13	137	0	0	0	137	0	1	4		0
発生株率	0.0	0.00	2.7	2.9	30.4	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	0.2	0.9	0.0	夏秋トマト	
発生株率(%)	0.0	0.00	2.7	2.9	30.4	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	0.2	0.9	0.0		
発生株率(%)	2.6	0.00	14.2	15.4	8.7	2.0	0.0	0.0	9.3	0.0	2.0	0.3	0.0		
発生株率(%)	2.6	0.00	14.2	15.4	8.7	2.0	0.0	0.0	9.3	0.0	2.0	0.3	0.0		
概評		少	少	平年並	やや少	多	少	少	少	平年並	少	やや少	多		
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3~12日調査 総調査ほ場数: 17か所 総調査株数: 850株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	47.1	-	0.0	0.0		0.0
	発生ほ場率(%)	0.0	3.6	8.5	14.2	6.1	11.8	0.0	0.0	20.1	-	1.9	1.9		0.9
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	0	0	0	70	0	0	0		0
発生株率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	-	0.0	0.0	0.0	冬春トマト	
発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.1	-	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.0	0.2	0.7	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	-	0.0	0.1	0.0		
発生株率(%)	0.0	0.2	0.7	2.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.7	-	0.0	0.1	0.0		
概評		少	少	少</											

(3) なす

		うどんこ病	灰色かび病 (葉率)	青枯病	半身萎凋病	輪紋病	すすかび病 (葉率)	アブラムシ類	ハダニ類 (葉率)	アザミウマ類 (葉率)	ハスモンヨトウ幼虫 (葉率)	タバコガ類幼虫被害 (果率)	ハモグリバエ類幼虫	コナジラミ類成幼虫 (葉率)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	2	2	5	2	0	0	3	1～7日調査 総調査ほ場数：7か所 総調査株数：350株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	71.4	28.6	0.0	0.0	42.9		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	10.9	0.0	0.0	1.1	0.0	1.8	59.7	43.5	69.8	1.1	6.8	26.3		29.5
	発生株・葉数(株・葉)	0	0	0	0	0	0	6	1	35	3	0	0	9		
	発生株率	発生株・葉率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.1	5.0	0.4	0.0	0.0	1.3		
	発生株率	平年値 (%)	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	5.7	3.2	17.6	0.0	0.1	4.0		1.1
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや多	やや少	やや少	少	少	少	やや少		
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	3	7	0	0	0	4	1～7日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	77.8	0.0	0.0	0.0	44.4		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	21.1	1.1	0.0	4.2	0.0	1.1	32.6	47.5	76.7	1.1	6.7	7.3		63.2
	発生株・葉数(株・葉)	0	0	0	0	0	0	0	12	53	0	0	0	5		
	発生株率	発生株・葉率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	5.9	0.0	0.0	0.0	0.6		
	発生株率	平年値 (%)	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	4.0	17.6	0.0	0.2	0.2		2.5
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや多	やや少	やや少	少	少	少	やや少		
8月	発生ほ場数(か所)	5	0	2	0	0	0	0	3	5	0	0	0	6	3～12日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	55.6	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	33.3	55.6	0.0	0.0	0.0	66.7		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	32.6	0.0	2.2	4.4	0.0	4.7	36.9	42.5	68.2	5.6	12.4	3.3		77.7
	発生株・葉数(株・葉)	23	0	1	0	0	0	0	11	66	0	0	0	18		
	発生株率	発生株・葉率 (%)	5.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	1.2	7.3	0.0	0.0	0.0	2.0		
	発生株率	平年値 (%)	4.4	0.0	0.1	0.1	0.0	0.5	3.3	7.1	16.1	0.0	0.3	0.1		6.3
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや多	やや少	やや少	少	少	少	やや少		
9月	発生ほ場数(か所)	7	0	1	0	0	0	1	2	2	0	0	0	7	1～12日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	77.8	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0	77.8		
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値 (%)	52.0	0.0	6.8	3.3	2.2	30.2	18.2	39.0	60.4	14.6	17.9	4.6		76.4
	発生株・葉数(株・葉)	148	0	2	0	0	0	4	28	46	0	0	0	29		
	発生株率	発生株・葉率 (%)	32.9	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.9	3.1	5.1	0.0	0.0	3.2		
	発生株率	平年値 (%)	15.8	0.0	0.4	0.2	0.1	4.2	1.5	6.0	9.8	0.2	0.6	0.4		6.0
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや多	やや少	やや少	少	少	少	やや少		

※灰色かび病・アザミウマ類・ハスモンヨトウ幼虫葉率調査はH28.6～、すすかび病・ハダニ類・コナジラミ類葉率調査はH26.6～、以前は株率調査のため平年値は参考値。タバコガ類幼虫被害果率調査はH28.6～、以前は幼虫寄生株率調査のため平年値は参考値。

(4) きゅうり

月	発生ほ場数(か所)	灰色かび病(株率)	べと病	うどんこ病	褐斑病	疫病(株率)	モザイク病(株率)	黄化えそ病(株率)	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類幼虫	コナジラミ類	ハダニ類	ハスモンヨトウ幼虫(株率)	備考
		発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	発生ほ場率(%)	
1月	発生ほ場数(か所)	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	6~12日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	10.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	1.3	7.3	29.7	5.8	0.0	0.0	9.2	2.2	9.2	0.0	10.4	0.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	2	0	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.8	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	1.7	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
2月	発生ほ場数(か所)	1	1	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	3~7日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉数: 900葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	11.1	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	1.1	6.9	27.8	9.5	0.0	0.0	7.7	3.3	10.4	1.1	11.2	0.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	17	2	0	0	0	2	0	2	0	2	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	1.9	0.2	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.3	0.9	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.0	0.2	0.0	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
3月	発生ほ場数(か所)	0	3	4	1	0	0	0	1	0	2	1	0	0	3~7日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉数: 900葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	4.3	10.0	37.1	10.1	0.0	0.0	9.2	5.2	14.5	2.2	8.1	0.0	1.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	65	37	0	0	0	0	2	0	39	1	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	7.2	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	4.3	0.1	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	0.8	4.4	0.9	0.0	0.0	1.2	0.1	0.9	0.0	0.2	0.0	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
4月	発生ほ場数(か所)	1	6	5	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5~11日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉数: 900葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	11.1	66.7	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	3.1	30.8	47.1	14.5	0.0	0.0	18.8	8.2	24.0	2.0	11.1	4.9	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	102	64	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	11.3	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.9	4.7	6.9	0.6	0.0	0.0	2.3	0.4	4.0	0.0	0.6	0.1	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
5月	発生ほ場数(か所)	1	6	4	3	0	0	0	1	0	3	0	0	0	6~13日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉数: 900葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	11.1	66.7	44.4	33.3	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	3.7	48.4	53.3	13.5	0.0	1.3	12.8	4.6	19.8	1.8	18.7	8.8	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	2	113	12	14	0	0	0	2	0	10	0	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.9	12.6	1.3	1.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.1	9.1	9.5	2.0	0.0	0.0	1.5	0.3	2.7	0.1	1.1	0.1	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
6月	発生ほ場数(か所)	0	10	2	0	0	0	1	3	5	0	6	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 12か所 総調査葉数: 1,200葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	25.0	41.7	0.0	50.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	48.3	58.3	6.3	0.0	0.8	15.0	15.4	51.5	2.7	17.6	10.5	1.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	238	19	0	0	0	4	63	86	0	103	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	19.8	1.6	0.0	0.0	0.0	1.3	5.3	7.2	0.0	8.6	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	10.2	13.0	0.9	0.0	0.0	3.7	1.1	8.1	0.0	0.8	0.5	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
7月	発生ほ場数(か所)	0	4	1	0	0	0	1	0	3	0	3	0	0	6、7日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査葉数: 400葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	100.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	75.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	61.3	75.7	12.0	0.0	4.2	19.0	3.3	37.0	4.2	27.2	5.4	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	39	3	0	0	0	1	0	21	0	22	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	9.8	0.8	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	5.3	0.0	5.5	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	15.4	20.5	1.5	0.0	0.1	3.7	0.0	7.0	0.1	0.9	0.1	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
8月	発生ほ場数(か所)	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0	0	3、4日調査 総調査ほ場数: 3か所 総調査葉数: 300葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	66.7	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	48.3	80.0	12.5	0.0	5.0	28.3	0.0	28.3	0.0	37.5	0.0	0.0	
	発生葉・株数(葉・株)	1	2	0	0	0	0	0	0	25	0	5	0	0	
	発生葉・株率(%)	1.3	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	1.7	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	3.8	13.9	0.9	0.0	0.0	2.8	0.0	0.8	0.0	1.9	0.0	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
9月	発生ほ場数(か所)	0	1	4	0	0	0	2	0	0	0	7	0	0	2~12日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉数: 1,000葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	32.2	50.4	9.9	0.0	2.7	14.9	2.5	23.1	9.2	54.0	1.7	4.2	
	発生葉・株数(葉・株)	0	3	17	0	0	0	4	0	0	0	165	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	0.3	1.7	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	16.5	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	3.8	5.6	0.6	0.0	0.0	1.3	0.1	1.7	0.5	6.2	0.1	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
10月	発生ほ場数(か所)	0	4	2	2	0	0	1	0	1	0	5	0	0	3~12日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 800葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	62.5	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	62.5	60.4	23.0	0.0	2.8	31.7	2.0	35.9	9.9	58.2	1.7	2.8	
	発生葉・株数(葉・株)	0	170	57	9	0	0	1	0	8	0	426	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	21.3	7.1	1.1	0.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	53.3	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	10.6	12.5	2.0	0.0	0.0	5.9	0.1	7.7	0.9	7.2	0.2	0.0	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
11月	発生ほ場数(か所)	0	5	1	0	0	0	0	0	2	0	5	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 800葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	62.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	62.5	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	54.0	51.1	26.4	0.0	3.0	33.7	0.0	32.8	2.7	43.3	2.3	1.4	
	発生葉・株数(葉・株)	0	147	7	0	0	0	0	0	12	0	268	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	18.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.0	33.5	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	10.2	9.4	5.4	0.0	0.3	2.5	0.0	4.6	0.3	3.7	0.1	0.1	
概評	少	平年並	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		
12月	発生ほ場数(か所)	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5~7日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査葉数: 800葉 (調査葉数: 1ほ場100葉) (調査株数: 1ほ場25株)
	発生ほ場率(%)	0.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	2.0	23.0	27.6	12.7	0.0	5.0	10.2	5.3	6.3	2.5	20.9	3.3	2.0	
	発生葉・株数(葉・株)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21	0	0	
	発生葉・株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	
	発生葉率(%)	0.0	2.6	1.3	3.5	0.0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.0	0.6	0.0	0.0	
概評	少	やや少	平年並	少	少	(少)	多	少	やや少	少	やや多	(少)	少		

(5) にら

		白根葉枯病	乾腐病	さび病	株腐細菌病	ネダニ類	アザミウマ類	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	2	0	0	2	1	6～11日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0		5.0
		発生ほ場率平年値(%)	8.0	3.0	0.0	0.5	27.2		2.1
	発生株数(株)		0	1	0	0	0		1
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		0.1
		平年値(%)	1.0	0.2	0.0	0.0	1.4		0.2
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		
2月	発生ほ場数(か所)	0	3	0	0	2	0	2～8日調査 総調査ほ場数：19か所 総調査株数：950株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	15.8	0.0	0.0	10.5		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	8.3	5.5	0.0	0.0	28.4		3.0
	発生株数(株)		0	2	0	0	2		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2		0.0
		平年値(%)	2.0	0.1	0.0	0.0	1.3		0.1
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		
3月	発生ほ場数(か所)	0	4	0	0	2	0	2～8日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	11.0	4.2	0.0	0.0	20.2		2.8
	発生株数(株)		0	11	0	0	4		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	1.1	0.0	0.0	0.4		0.0
		平年値(%)	2.5	0.0	0.0	0.0	0.9		0.2
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	1	3～6日調査 総調査ほ場数：14か所 総調査株数：700株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		7.1
		発生ほ場率平年値(%)	8.4	1.7	9.1	0.0	18.1		9.6
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		1
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.1
		平年値(%)	0.1	0.0	3.0	0.0	0.7		0.9
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		
11月	発生ほ場数(か所)	0	1	0	0	0	2	1～8日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0		10.0
		発生ほ場率平年値(%)	9.7	2.1	1.3	0.0	11.1		13.6
	発生株数(株)		0	0	0	0	0		5
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.5
		平年値(%)	0.9	0.0	0.1	0.0	0.2		1.8
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		
12月	発生ほ場数(か所)	3	0	0	0	0	1	5～9日調査 総調査ほ場数：16か所 総調査株数：800株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0		6.3
		発生ほ場率平年値(%)	10.6	5.6	0.6	0.0	14.8		6.2
	発生株数(株)		21	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	3.4	0.1	0.0	0.0	0.3		0.6
概評		少	やや少	少	少	少	(多)		

(6) ねぎ

		さび病	べと病	黒斑症 状	軟腐病	萎縮病	アブラ ムシ類	アザミ ウマ類	ハモグ リバエ 類幼虫	ハスモ ンヨト ウ幼虫	ネギコ ガ幼虫	備考		
7月	発生ほ場数(か所)	3	1	6	0	0	0	4	0	0	0	1～7日調査 総調査ほ場数：7か所 総調査株数：350株 (調査株数：1ほ場50株)		
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	42.9	14.3	85.7	0.0	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	46.6	15.4	70.5	0.0	0.0	1.3	77.9	6.8	0.0		7.9	
	発生株数(株)		34	1	16	0	0	0	181	0	0		0	
	発生 株率	発生株率(%)	9.7	0.3	4.6	0.0	0.0	0.0	51.7	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	11.0	1.0	11.5	0.0	0.0	0.1	51.0	0.7	0.0		0.4	
概 評		多	少	平年並	少	少	少	少	多	少	(多)			
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	7	0	0	0	5	0	0	0	3、4日調査 総調査ほ場数：7か所 総調査株数：350株 (調査株数：1ほ場50株)		
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	15.9	4.1	93.2	0.0	0.0	0.0	71.1	1.3	0.0		2.7	
	発生株数(株)		0	0	7	0	0	0	70	0	0		0	
	発生 株率	発生株率(%)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0		0.0	
		平年値(%)	2.7	0.3	28.1	0.0	0.0	0.0	50.6	0.2	0.0		0.1	
概 評		多	少	平年並	少	少	少	少	多	少	(多)			
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	7	0	0	0	4	1	0	0	1～12日調査 総調査ほ場数：7か所 総調査株数：350株 (調査株数：1ほ場50株)		
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	5.0	0.0	97.5	5.2	0.0	0.0	73.6	13.9	6.6		2.5	
	発生株数(株)		0	0	67	0	0	0	153	1	0		0	
	発生 株率	発生株率(%)	0.0	0.0	19.1	0.0	0.0	0.0	43.7	0.3	0.0		0.0	
		平年値(%)	0.5	0.0	32.1	0.6	0.0	0.0	37.1	2.4	0.3		0.1	
概 評		多	少	平年並	少	少	少	少	多	少	(多)			
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	7	0	0	0	6	1	0	0	4日調査 総調査ほ場数：7か所 総調査株数：350株 (調査株数：1ほ場50株)		
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	85.7	14.3	0.0		0.0	
		発生ほ場率平年値(%)	23.9	0.0	97.1	1.4	0.0	6.0	60.5	15.4	7.7		2.9	
	発生株数(株)		0	0	38	0	0	0	80	13	0		0	
	発生 株率	発生株率(%)	0.0	0.0	10.9	0.0	0.0	0.0	22.9	3.7	0.0		0.0	
		平年値(%)	1.1	0.0	22.6	0.0	0.0	0.1	26.9	0.5	0.2		0.1	
概 評		多	少	平年並	少	少	少	少	多	少	(多)			

(7) たまねぎ

		さび病	べと病	白色疫病	黒斑病	灰色かび病	黒点葉枯病	ポトリチス葉枯病	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	備考	
4月	発生ほ場数(か所)	0	4	0	0	0	0	0	0	5	0	6～12日調査 総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.5		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	29.1	-	3.8	0.0	26.2	0.0	11.3	46.4		0.0
		発生株数 (株)	0	5	0	0	0	0	0	0	65		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.3		0.0
		平年値 (%)	0.0	1.0	-	0.1	0.0	4.8	0.0	0.3	11.0		0.0
	概評		少	平年並	少	やや多	少	(やや多)	少	少	平年並		少
5月	発生ほ場数(か所)	0	5	0	0	0	0	0	0	6	2	9～17日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査株数: 350株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.7		28.6
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	59.3	-	17.5	0.0	13.8	0.0	11.8	90.8		1.4
		発生株数 (株)	0	6	0	0	0	0	0	0	61		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4		0.0
		平年値 (%)	0.0	9.3	-	3.9	0.0	2.1	0.0	1.2	61.7		0.0
	概評		少	平年並	少	やや多	少	(やや多)	少	少	平年並		少

※白色疫病の調査は、H28.4～のため平年値はない。

(8) キャベツ

		黒腐病	菌核病	アブラムシ類	モンシロチョウ幼虫(アオムシ)	ハスモンヨトウ幼虫	オオタバコガ幼虫	コナガ幼虫	ヨトウムシ(ヨトウガ類幼虫)	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	2	0	0	20日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	0.0	5.3	11.0	12.8	7.0	2.5		3.7
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	2	0	0		
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	0.1	0.7	0.4	0.2	0.1		0.1
	概評		少	少	少	少	少	(少)	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	1	0	0	12日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	10.0	0.0	9.2	3.3	13.2	28.3	5.0		3.3
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	2	0	0		
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.8	0.0	1.8	0.1	0.2	1.2	0.1		0.1
	概評		少	少	少	少	少	(平年並)	少		少

(9) レタス

		灰色かび病	菌核病	軟腐病	アブラムシ類	オオタバコガ幼虫	コナガ幼虫	ヨトウムシ(ヨトウガ類幼虫)	ハスモンヨトウ幼虫	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	20日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生株数(株)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	概評		少	少	少	少	少	少	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	12日調査 総調査ほ場数: 4か所 総調査株数: 100株 (調査株数: 1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	2.5	0.0	5.0	3.3	0.0	0.0	0.0		0.0
	発生株数(株)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		0.0
	概評		少	少	やや多	少	少	少	少		少

5) 果樹類病害虫調査結果

(1) なし

		黒星病	黒星病 (果実)	黒斑病	赤星病	輪紋病 (果実)	火傷病	ハダニ 類	ハマキ ムシ類 被害枝 率	サビダ ニ類被 害枝率	アブラ ムシ類 寄生枝 率	シンク イムシ 類 (果実)	カメモ シ類 (果実)	備考	
5月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	6～11日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 2,700枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	4.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	53.3	0.0		1.1
	発生葉率	発生葉数(葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	0		0
		発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0		0.0
	平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	6.3	0.0		0.0
概評		少	-	少	少	-	-	少	少	(少)	平年並	-	-		
6月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	3	0	0	0	0	2	3	0	0	1～8日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 2,700枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	3.7	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	11.1	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	29.6	8.4	0.4	10.0	0.0	0.0	1.5	0.7	34.2	40.4	0.0		1.1
	発生葉率	発生葉数(葉)	0	0	0	23	0	0	0	0	7	5	0		0
		発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0		0.0
	平年値(%)	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0	5.2	0.0		0.0
概評		少	-	少	平年並	-	-	少	少	(やや少)	やや少	-	-		
7月	発生ほ場数(か所)	2	2	0	3	0	0	4	0	2	3	0	1	1～7日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	7.4	7.4	0.0	11.1	0.0	0.0	14.8	0.0	7.4	11.1	0.0		3.7
		発生ほ場率平年値(%)	28.1	16.7	0.7	12.8	0.0	0.0	4.7	1.8	61.2	27.5	1.8		0.0
	発生葉率	発生葉数(葉)	1	1	0	10	0	0	8	0	3	98	0		0
		発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	3.6	0.0		0.0
	平年値(%)	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	21.2	3.3	0.0	0.0		
概評		やや少	やや少	少	平年並	(少)	(少)	多	少	(少)	やや少	(少)	少		
8月	発生ほ場数(か所)	0	2	0	2	0	0	12	0	0	1	0	2	3～10日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	7.4	0.0	7.4	0.0	0.0	44.4	0.0	0.0	3.7	0.0		7.4
		発生ほ場率平年値(%)	24.9	28.5	0.0	12.3	0.0	0.0	19.7	2.9	73.2	12.6	0.3		2.9
	発生葉率	発生葉数(葉)	0	0	0	25	0	0	69	0	0	1	0		0
		発生葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
	平年値(%)	0.2	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	0.9	0.1	26.2	0.3	0.0	0.0		
概評		少	やや少	少	平年並	(少)	(少)	多	少	(少)	やや少	(少)	多		

※サビダニ類被害枝率調査はH27.5～のため平年値は過去2年間の平均値。ハマキムシ類被害枝率調査はH26.5～、以前は葉での幼虫調査のため平年値は参考値。

※果実調査は7、8月。(5、6月は達観調査。)

発生ほ場率と発生葉率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

(2) ぶどう

		べと病 (葉)	べと病 (花穂)	晩腐病 (花穂)	黒とう 病(花 穂)	褐斑病 (葉)	灰色か び病 (葉)	アブラ ムシ類 (葉)	ハダニ 類 (葉)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	1～7日調査	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	総調査ほ場数: 9か所
		発生ほ場率平年値(%)	3.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	総調査葉・花穂数: 900葉・花穂
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		0	0	0	0	0	0	0	0	(調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	
	概評		少	-	少	少	(少)	少	少	少	
7月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	5～7日調査	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	総調査ほ場数: 10か所
		発生ほ場率平年値(%)	5.3	1.0	1.3	13.7	2.1	0.0	0.0	1.3	総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		0	0	0	0	0	0	0	0	(調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	0.1	0.0	0.0	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	
	概評		少	-	少	少	(少)	少	少	少	
8月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	0	0	0	0	0	8～10日調査	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	総調査ほ場数: 10か所
		発生ほ場率平年値(%)	38.5	0.0	11.5	5.4	24.5	0.0	0.0	2.2	総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		1	0	0	0	0	0	0	0	(調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)
	発生葉・花穂率	発生葉・花穂率(%)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		平年値(%)	2.2	0.0	1.1	1.2	6.0	0.0	0.0	0.0	
	概評		やや少	-	少	少	(少)	少	少	少	

※8月は花穂調査が可能な圃場は1か所のため、花穂調査の概評なし。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。
各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価

(3) りんご

		斑点落葉病	赤星病	褐斑病	火傷病	黒星病	輪紋病(果実)	ハダニ類	ハマキムシ類幼虫	アブラムシ類	シンクイムシ類(果)	備考		
6月	発生ほ場数(か所)	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2~8日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	57.1	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	6.4		1.4	
	発生葉数(葉)	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	発生葉率	平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
概評		やや多	やや多	少	(少)	少	少	少	少	少	少			
7月	発生ほ場数(か所)	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	85.7	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	16.9	0.0	18.3	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	6.7		0.0	
	発生葉数(葉)	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.3	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	発生葉率	平年値(%)	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0		0.0	0.0
概評		多	やや多	少	(少)	少	少	少	少	少	少			
8月	発生ほ場数(か所)	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	3~5日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	85.7	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	25.7	1.7	35.0	0.0	0.0	1.4	16.0	2.9	16.7		0.0	
	発生葉数(葉)	25	0	2	0	0	0	0	0	0	0		0	
	発生葉率	発生葉率(%)	0.9	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	発生葉率	平年値(%)	0.4	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.8	0.1	0.4		0.0	0.0
概評		多	少	やや多	(少)	少	少	少	少	少	少			
9月	発生ほ場数(か所)	6	0	4	0	0	2	0	0	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)		
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	85.7	0.0	57.1	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0		0.0	
	発生ほ場率	発生ほ場率平年値(%)	44.0	0.0	60.2	0.0	0.0	3.2	57.9	1.4	12.7		0.0	
	発生葉数(葉)	31	0	44	0	0	0	0	0	0	0		0	
	発生葉率	発生葉率(%)	1.1	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
	発生葉率	平年値(%)	0.7	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0		0.0	0.0
概評		多	少	平年並	(少)	少	(やや多)	少	少	少	少			

※黒星病調査はH28~のため平年値はない。9月の調査はH25~のため平年値は過去4年の平均値。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

一：非評価

6) 花き類病害虫調査結果

(1) きく

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	備考
1月	発生ほ場数(か所)	0	1	4	0	0	0	0	6、7日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	5.7	6.0	47.4	12.0	0.0	2.0	0.0	
	発生株数(株)	0	40	47	0	0	0	0	
	発生株率	0.0	8.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	8.0	9.4	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	1.3	0.5	11.1	0.7	0.0	0.0	0.0		
概 評		少	やや多	平年並	少	(少)	(少)	少	
2月	発生ほ場数(か所)	1	1	5	0	0	0	0	2～8日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査ほ場数：450か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	11.1	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	11.1	11.1	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	5.9	5.4	38.2	6.1	0.0	0.9	0.0	
	発生株数(株)	0	2	86	0	0	0	0	
	発生株率	0.0	0.4	19.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	0.4	19.1	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.3	0.2	9.2	0.5	0.0	0.1	0.0		
概 評		やや多	多	やや多	少	(少)	(少)	少	
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	4	0	0	0	0	2日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	11.8	2.9	40.1	10.7	0.0	0.0	0.0	
	発生株数(株)	0	0	72	0	0	0	0	
	発生株率	0.0	0.0	14.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	0.0	14.4	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	0.8	0.4	8.3	0.9	0.0	0.0	0.0		
概 評		少	少	平年並	少	(少)	(少)	少	
4月	発生ほ場数(か所)	1	0	5	0	0	0	0	7～12日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査ほ場数：450か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	11.1	0.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	15.2	8.5	51.3	10.8	0.0	1.9	0.0	
	発生株数(株)	3	0	81	0	0	0	0	
	発生株率	0.7	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.7	0.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.0	0.4	11.2	0.8	0.0	0.1	0.0		
概 評		平年並	少	平年並	少	(少)	(少)	少	
5月	発生ほ場数(か所)	0	0	2	0	0	0	0	9～13日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	17.4	17.4	56.1	21.0	1.0	1.0	0.0	
	発生株数(株)	0	0	35	0	0	0	0	
	発生株率	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	2.6	2.1	14.3	3.1	0.0	0.0	0.0		
概 評		少	少	やや少	少	(少)	(少)	少	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	4	1	0	0	0	1～8日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	15.1	5.0	60.2	29.4	2.0	3.1	0.0	
	発生株数(株)	0	0	17	0	0	0	0	
	発生株率	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	3.5	0.3	16.4	5.0	0.0	0.1	0.0		
概 評		少	少	平年並	やや少	(少)	(少)	少	
7月	発生ほ場数(か所)	0	1	6	3	0	0	0	1～6日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)
	発生ほ場率	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	60.0	30.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(%)	12.9	8.3	55.3	21.4	0.0	2.1	1.0	
	発生株数(株)	0	3	92	10	0	0	0	
	発生株率	0.0	0.6	18.4	2.0	0.0	0.0	0.0	
発生株率(%)	0.0	0.6	18.4	2.0	0.0	0.0	0.0		
発生株率(%)	2.8	1.0	12.9	5.3	0.0	0.0	0.0		
概 評		少	平年並	平年並	やや少	(少)	(少)	少	

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	備考	
8月	発生ほ場数(か所)	0	0	3	0	0	0	0	3～9日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	30.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	6.4	9.1	66.1	14.3	0.0	5.1		0.0
	発生株数(株)		0	0	49	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	9.8	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.3	0.9	23.4	1.4	0.0	0.2		0.0
概評		少	少	やや少	少	(少)	(少)	少		
9月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	1	0	0	0	1～6日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	50.0	10.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	4.1	12.3	73.5	12.2	0.0	10.1		5.1
	発生株数(株)		0	10	51	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	2.0	10.2	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.8	1.1	16.2	0.5	0.0	0.3		0.1
概評		少	やや多	平年並	やや少	(少)	(少)	少		
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	5	0	0	1	0	4～18日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	10.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	3.3	10.4	81.3	12.7	0.0	5.0		5.1
	発生株数(株)		0	0	78	0	0	2		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	15.6	0.0	0.0	0.4		0.0
		平年値(%)	0.6	0.9	25.6	0.7	0.0	0.1		0.1
概評		少	少	平年並	少	(少)	(少)	少		
11月	発生ほ場数(か所)	0	1	4	0	0	0	0	1～7日調査 総調査ほ場数：11か所 総調査ほ場数：550か所 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	9.1	36.4	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	6.0	5.9	54.4	9.6	0.0	7.3		0.0
	発生株数(株)		0	2	49	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.4	8.9	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.8	0.2	11.0	0.7	0.0	0.2		0.0
概評		少	やや多	平年並	少	(少)	(少)	少		
12月	発生ほ場数(か所)	0	0	2	1	0	0	0	5～8日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査ほ場数：500か所 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	20.0	10.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	10.5	4.1	52.7	5.1	0.0	5.2		0.0
	発生株数(株)		0	0	53	7	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	10.6	1.4	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.4	0.3	10.2	0.6	0.0	0.1		0.0
概評		少	少	やや少	多	(少)	(少)	少		

※シロイチモジトウの調査はH28.4～のため、1～3月は平年値はなく、4月以降はH28年の値。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価

7) その他調査結果

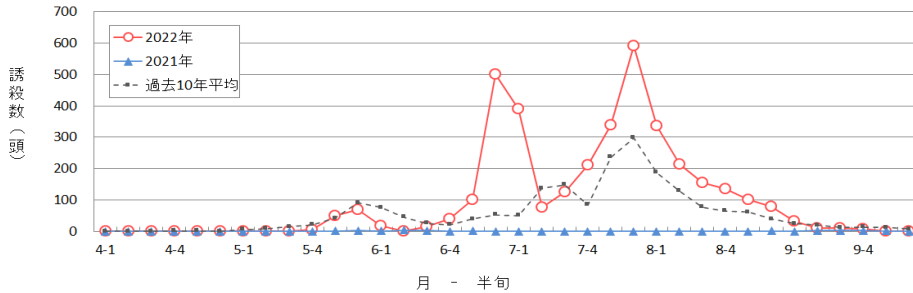
(1) カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数 (斑点米カメムシ類除く)

① チャバネアオカメムシ

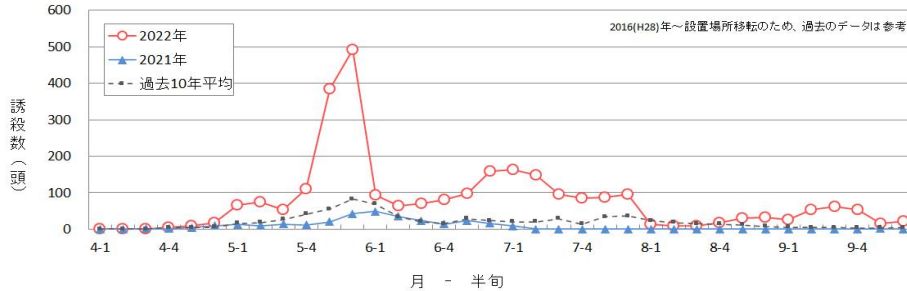
(フェロモントラップ)

月-半旬	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田		
	R4 (2022)年	過去10年平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去10年平均	R3 (2021)年
4-1	0	0	0	0	0	0
4-2	0	0	0	0	0	0
4-3	0	0	0	1	0	1
4-4	1	1	0	4	4	1
4-5	1	1	0	9	5	4
4-6	0	0	0	17	6	10
5-1	1	7	0	67	16	13
5-2	1	8	0	75	19	10
5-3	0	15	0	53	26	14
5-4	5	21	0	111	41	12
5-5	49	42	1	385	55	20
5-6	70	90	2	492	82	42
6-1	17	76	1	93	69	49
6-2	1	46	4	64	35	35
6-3	15	26	3	71	21	24
6-4	40	21	0	80	15	14
6-5	101	39	1	97	29	24
6-6	501	53	0	158	23	16
7-1	391	50	0	163	20	9
7-2	76	138	0	148	20	0
7-3	126	148	0	95	29	0
7-4	212	85	0	85	14	0
7-5	340	237	0	87	34	0
7-6	592	298	0	95	36	0
8-1	337	188	0	14	23	0
8-2	215	129	0	10	18	0
8-3	154	78	0	9	15	0
8-4	135	65	0	17	14	0
8-5	100	61	0	30	12	0
8-6	78	40	1	32	8	0
9-1	33	25	0	27	5	0
9-2	11	20	3	54	5	0
9-3	10	13	3	61	5	0
9-4	8	14	3	53	3	0
9-5	1	13	1	15	3	1
9-6	1	7	0	22	5	0
4月計	2	2	0	31	15	16
5月計	126	183	3	1,183	239	111
6月計	675	259	9	563	191	162
7月計	1,737	956	0	673	154	9
8月計	1,019	560	1	112	90	0
9月計	64	91	10	232	26	1
合計	3,623	2,050	23	2,794	716	299

チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)

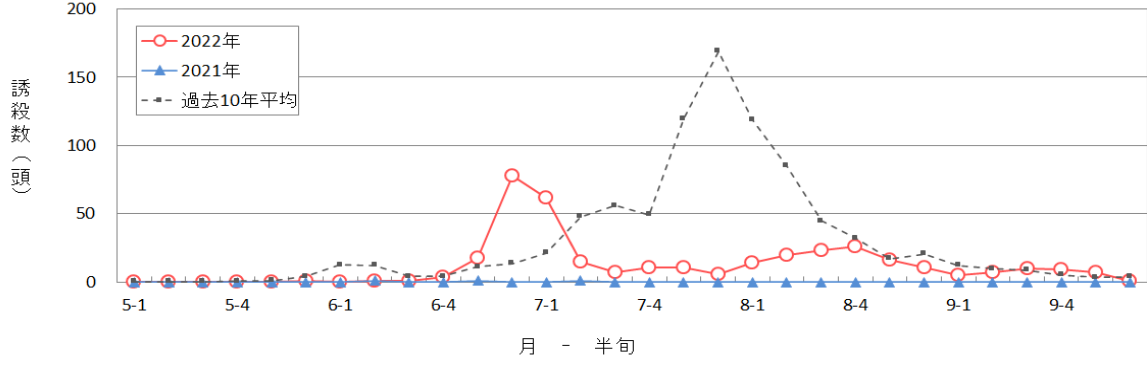


(フェロモントラップ※)

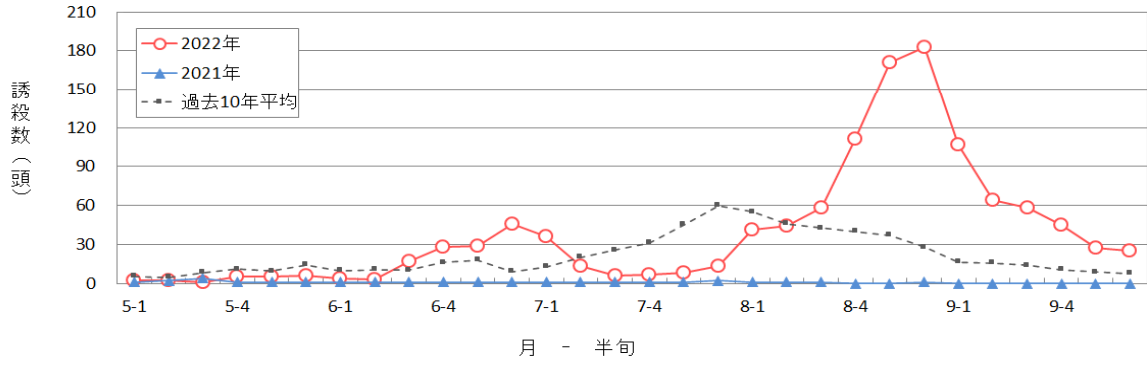
月一 半旬	那須烏山市			矢板市			宇都宮市			佐野市		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
4-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-1	0	0	0	2	5	1	2	17	0	3	4	0
5-2	0	0	0	2	5	2	5	9	1	8	6	0
5-3	0	0	0	1	9	4	8	38	6	13	11	0
5-4	0	1	0	5	11	1	9	35	2	16	26	0
5-5	0	1	0	5	9	1	137	34	1	12	20	0
5-6	1	4	0	6	14	1	189	55	1	8	25	0
6-1	0	13	0	4	10	1	29	72	5	2	22	0
6-2	1	12	1	3	11	1	4	56	4	2	25	1
6-3	1	4	0	17	10	1	21	22	2	13	13	0
6-4	4	4	0	28	16	1	59	25	1	43	16	0
6-5	18	11	1	29	18	1	166	38	4	134	22	0
6-6	78	14	0	46	9	1	187	35	2	79	27	0
7-1	62	21	0	36	13	1	160	64	1	51	41	1
7-2	15	48	1	13	20	1	113	105	0	30	52	1
7-3	7	56	0	6	26	1	131	106	0	31	46	1
7-4	11	49	0	7	31	1	268	141	0	57	33	1
7-5	11	120	0	8	45	1	360	168	0	71	46	0
7-6	6	169	0	13	60	2	435	196	0	63	41	0
8-1	14	119	0	41	55	1	309	259	0	41	21	0
8-2	20	85	0	44	46	1	278	205	0	42	13	0
8-3	23	45	0	58	43	1	224	145	0	37	8	0
8-4	26	32	0	111	40	0	89	87	0	14	5	1
8-5	16	17	0	171	37	0	52	55	0	13	3	0
8-6	11	21	0	183	28	1	37	50	0	11	2	0
9-1	5	12	0	107	16	0	23	37	0	5	2	0
9-2	7	10	0	64	16	0	36	34	1	3	2	1
9-3	10	9	0	58	14	0	20	25	2	2	1	0
9-4	9	5	0	45	11	0	15	16	3	1	2	0
9-5	7	3	0	27	9	0	13	10	3	1	1	0
9-6	1	4	0	25	8	0	9	10	1	1	2	0
5月計	1	6	0	21	53	10	350	187	11	60	92	0
6月計	102	59	2	127	74	6	466	247	18	273	125	1
7月計	112	463	1	83	195	7	1,467	781	1	303	259	4
8月計	110	319	0	608	248	4	989	801	0	158	50	1
9月計	39	43	0	326	73	0	116	132	10	13	10	1
合計	364	890	3	1,165	643	27	3,388	2,147	40	807	535	7

※病害虫防除員による調査

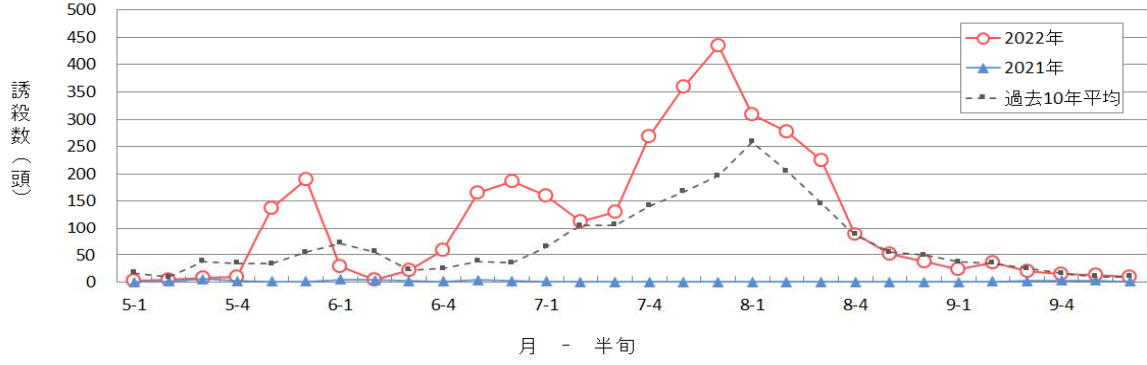
チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



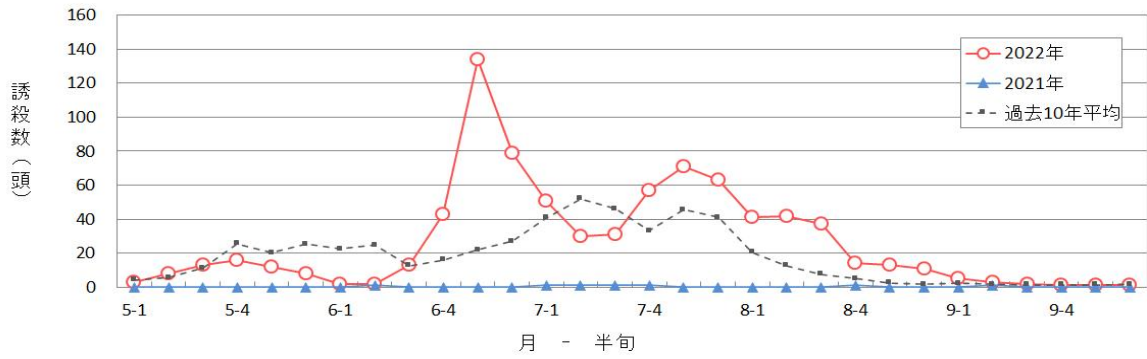
チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (矢板市)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)



チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (佐野市)

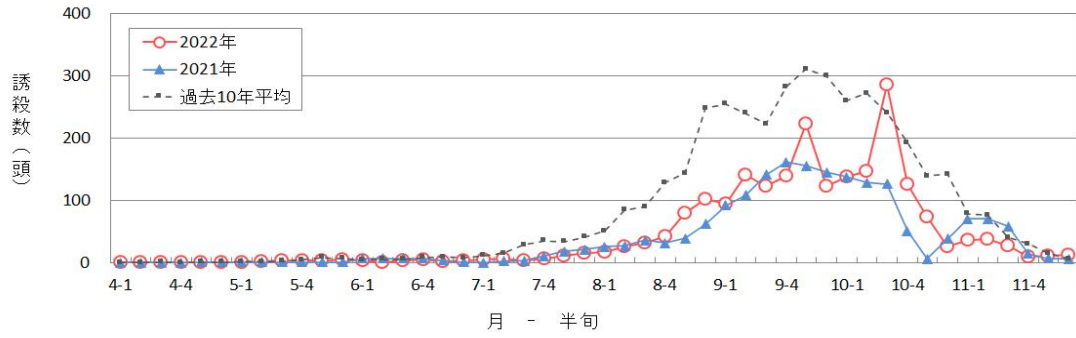


(2) チョウ類のフェロモントラップによる誘殺数(ニカメイガ除く)

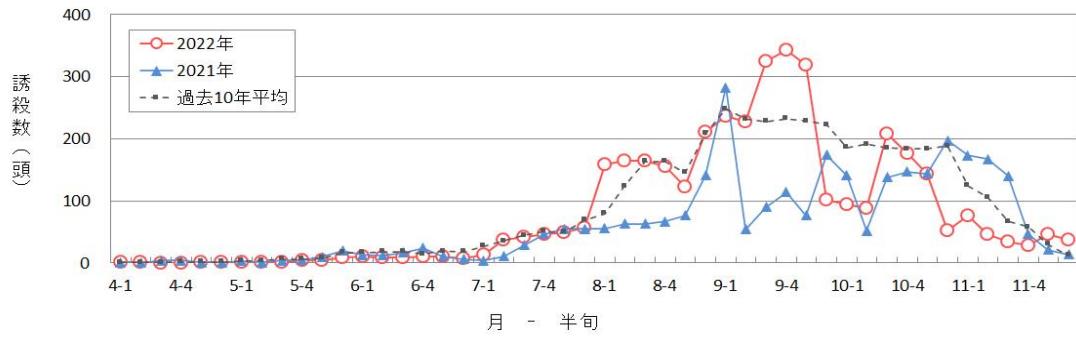
①ハスモンヨトウ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
4-1	0	0	0	1	1	1
4-2	0	0	0	1	1	0
4-3	0	0	0	0	1	4
4-4	0	0	0	0	2	4
4-5	0	1	1	1	2	1
4-6	0	1	1	1	2	1
5-1	0	1	1	1	3	3
5-2	2	1	1	1	4	1
5-3	4	3	1	1	6	4
5-4	3	4	1	4	6	5
5-5	4	8	1	5	8	10
5-6	5	7	1	9	17	20
6-1	4	4	7	11	17	13
6-2	1	5	7	9	19	12
6-3	4	6	7	9	18	17
6-4	5	8	7	10	15	24
6-5	2	9	4	10	19	11
6-6	3	8	1	8	18	6
7-1	5	11	0	13	27	4
7-2	7	15	2	37	36	11
7-3	3	29	3	42	44	29
7-4	6	35	10	46	51	47
7-5	10	33	18	49	49	55
7-6	15	41	21	57	69	55
8-1	16	50	25	159	80	56
8-2	25	84	27	164	124	63
8-3	32	89	36	165	164	63
8-4	42	128	31	156	164	67
8-5	79	143	39	122	146	77
8-6	102	247	62	211	209	141
9-1	94	255	92	236	248	283
9-2	141	239	108	228	231	54
9-3	123	222	141	325	228	90
9-4	139	282	161	343	233	114
9-5	223	310	155	319	229	77
9-6	123	299	145	102	223	174
10-1	137	259	137	94	186	141
10-2	146	271	128	89	191	52
10-3	285	240	126	208	185	138
10-4	126	193	51	177	184	147
10-5	73	139	6	143	184	144
10-6	26	142	38	53	189	197
11-1	36	78	70	76	124	173
11-2	38	76	70	47	106	167
11-3	27	40	58	35	67	140
11-4	9	30	14	29	58	47
11-5	11	15	7	46	30	21
11-6	12	6	6	38	12	14
4月計	0	3	2	4	8	11
5月計	18	24	6	21	44	43
6月計	19	39	33	57	105	83
7月計	46	164	54	244	276	201
8月計	296	742	220	977	886	467
9月計	843	1,608	802	1,553	1,392	792
10月計	793	1,244	486	764	1,119	819
11月計	133	245	225	271	398	562
合計	2,148	4,069	1,828	3,891	4,228	2,978

ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



ハスモンヨトウ※

月一 半旬	大田原市			芳賀町			鹿沼市			小山市		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
6-1	0	3	1	9	4	1	4	4	1	0	11	9
6-2	0	4	2	7	7	6	6	8	3	3	15	12
6-3	0	7	7	9	9	10	5	10	4	2	17	14
6-4	1	6	6	9	12	12	6	11	4	2	19	17
6-5	0	4	1	4	14	10	8	15	5	5	26	15
6-6	1	3	2	7	15	10	12	21	6	16	29	22
7-1	1	4	3	15	18	8	13	23	6	20	33	26
7-2	1	4	2	25	24	3	14	28	4	23	37	21
7-3	1	7	8	28	28	6	45	36	4	43	44	24
7-4	1	15	14	24	38	25	40	48	4	45	49	24
7-5	1	15	21	21	37	51	39	53	4	49	55	22
7-6	4	14	17	29	52	84	57	80	22	65	78	22
8-1	14	16	21	49	52	60	94	75	21	64	86	28
8-2	14	44	36	59	70	75	78	102	35	71	97	32
8-3	15	42	89	69	86	101	74	126	54	76	99	28
8-4	11	42	24	78	94	30	104	147	36	98	95	23
8-5	26	63	59	55	113	53	120	153	38	73	100	24
8-6	41	96	103	79	159	115	219	299	147	86	129	28
9-1	78	96	104	100	127	151	248	338	289	90	131	19
9-2	236	91	14	171	116	96	273	371	109	141	142	15
9-3	120	113	26	212	106	66	189	349	141	135	153	15
9-4	107	129	35	238	98	57	176	404	158	123	163	15
9-5	131	134	120	263	94	104	188	409	144	83	154	24
9-6	38	167	144	177	92	96	54	364	143	134	124	17
10-1	26	180	134	118	77	73	60	349	172	61	107	14
10-2	35	168	69	90	70	42	96	342	215	20	99	14
10-3	42	154	133	135	74	59	221	323	256	48	91	10
10-4	28	116	63	101	65	36	225	312	181	21	101	8
10-5	16	65	20	69	46	31	150	253	137	12	77	7
10-6	14	87	46	41	42	89	42	250	197	3	64	17
6月計	2	27	19	45	62	49	41	69	23	28	117	89
7月計	9	59	65	142	197	177	208	268	44	245	296	139
8月計	121	304	332	389	574	434	689	902	331	468	607	163
9月計	710	729	443	1,161	632	570	1,128	2,236	984	706	868	105
10月計	161	770	465	554	372	330	794	1,830	1,158	165	538	70
合計	1,003	1,889	1,324	2,291	1,837	1,560	2,860	5,304	2,540	1,612	2,425	566

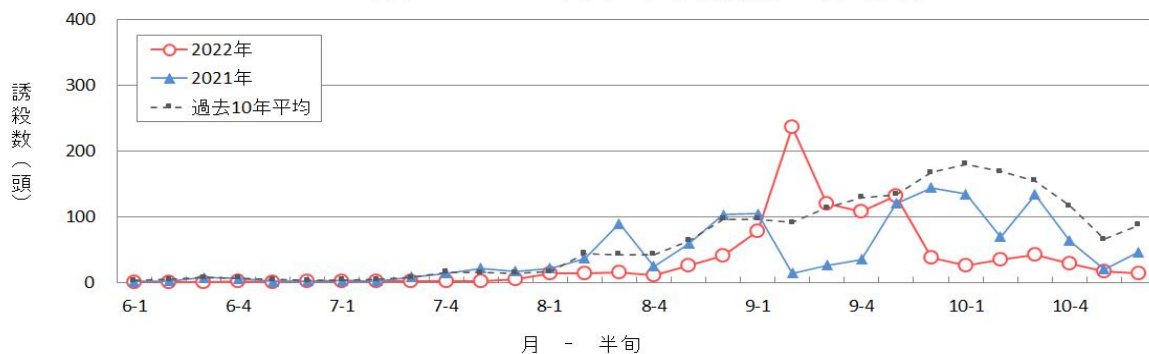
※病害虫防除員による調査

ハスモンヨトウ※

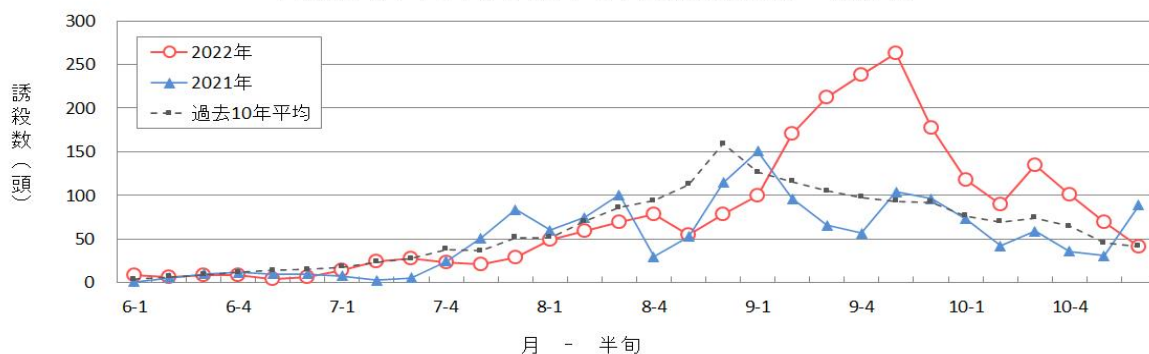
月一 半旬	栃木市			野木町			塩谷町			足利市		
	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 5年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年
6-1	18	9	6	9	7	6	0	2	1	14	10	10
6-2	9	11	9	9	9	9	0	1	0	4	18	7
6-3	6	16	11	8	10	9	0	1	0	4	17	8
6-4	4	20	18	6	9	7	1	3	1	4	18	11
6-5	4	19	12	3	10	11	1	3	2	3	23	5
6-6	5	21	23	5	11	18	0	4	2	4	24	17
7-1	6	26	30	7	10	20	1	9	2	7	33	28
7-2	8	28	29	13	13	11	1	8	3	11	37	35
7-3	59	33	25	23	18	14	2	11	5	9	54	16
7-4	51	47	29	23	25	21	4	12	5	7	64	38
7-5	42	55	41	23	27	30	7	16	4	7	69	78
7-6	35	70	55	9	41	74	10	22	18	14	104	219
8-1	39	75	64	40	35	65	11	25	11	101	94	218
8-2	72	105	96	62	44	75	10	66	21	147	173	236
8-3	94	135	125	85	61	90	11	75	38	181	225	251
8-4	167	135	125	121	54	61	19	76	44	196	220	164
8-5	148	114	91	79	65	58	14	81	51	183	150	90
8-6	193	215	117	126	134	91	53	157	78	201	245	367
9-1	186	187	156	142	90	117	83	145	84	168	342	835
9-2	214	177	165	145	133	94	111	140	59	216	348	274
9-3	186	185	152	114	128	97	63	168	47	153	392	302
9-4	221	185	150	120	121	93	58	167	50	127	278	284
9-5	286	215	179	140	127	57	69	156	94	113	273	137
9-6	214	177	121	147	113	74	51	122	85	92	218	111
10-1	150	140	99	124	109	79	31	106	74	97	196	147
10-2	136	185	86	108	131	69	23	88	60	152	236	209
10-3	250	177	107	174	126	66	49	85	65	360	274	456
10-4	193	182	129	134	140	55	58	84	44	241	318	451
10-5	145	149	143	95	138	49	39	57	27	246	354	521
10-6	113	171	171	62	158	67	10	50	18	298	471	976
6月計	46	96	79	40	56	60	2	13	6	33	111	58
7月計	201	259	209	98	133	170	25	78	37	55	361	414
8月計	713	779	618	513	393	440	118	479	243	1,009	1,105	1,326
9月計	1,307	1,127	923	808	711	532	435	897	419	869	1,850	1,943
10月計	987	1,004	735	697	801	385	210	470	288	1,394	1,850	2,760
合計	3,254	3,264	2,564	2,156	2,094	1,587	790	1,938	993	3,360	5,275	6,501

※病害虫防除員による調査

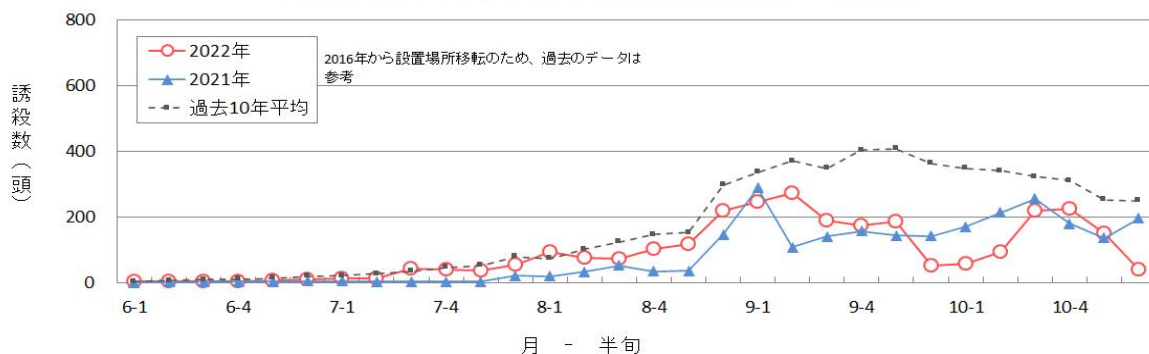
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (大田原市)



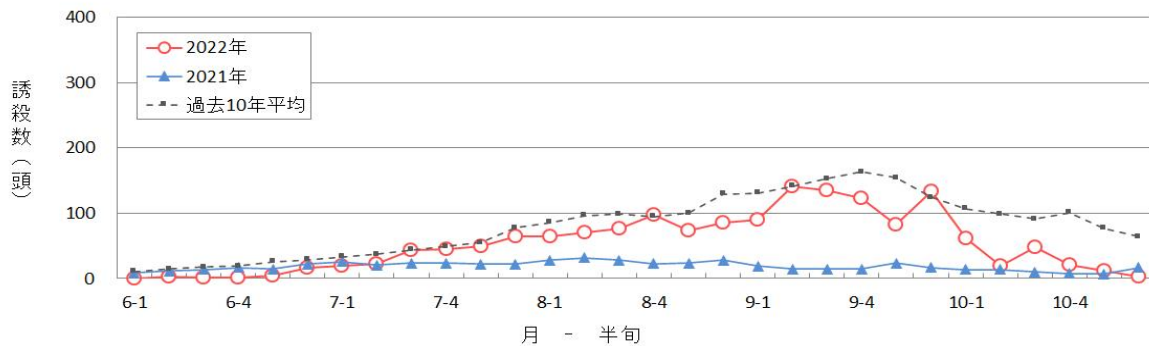
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町)



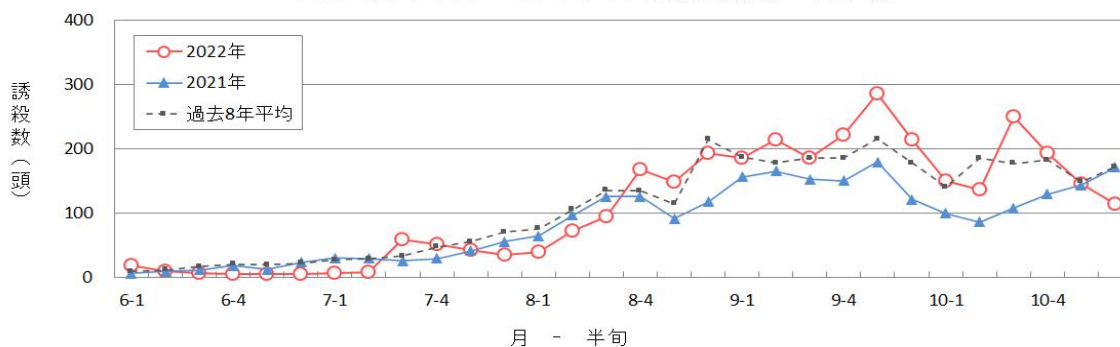
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (鹿沼市)



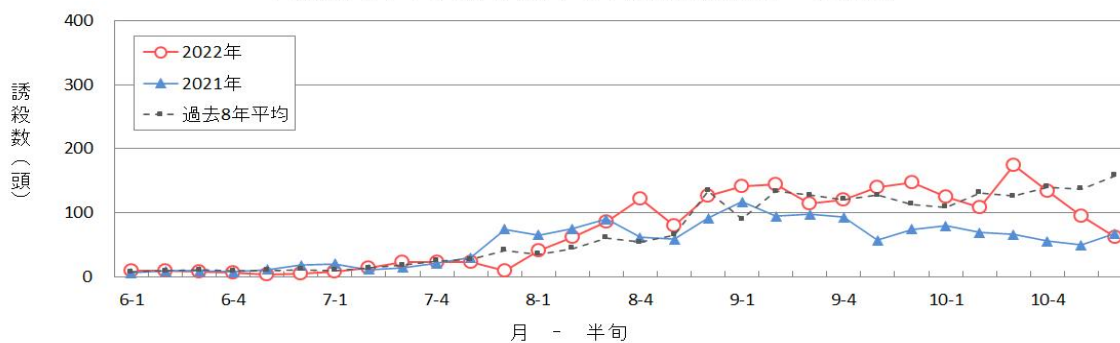
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (小山市)



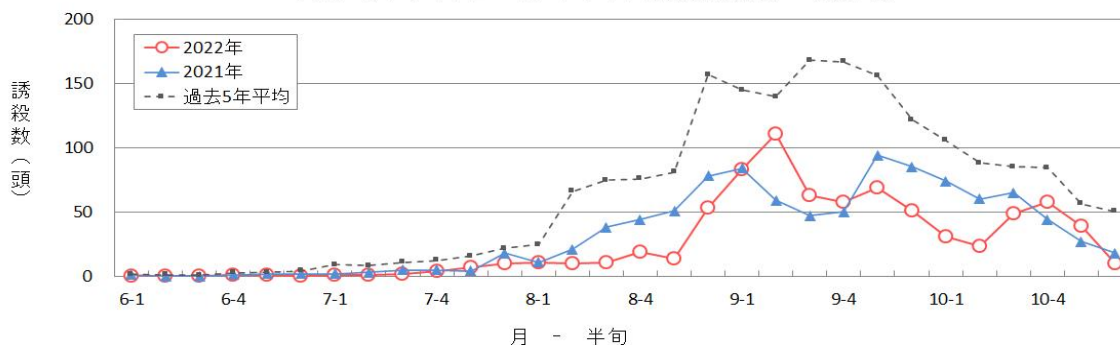
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市)



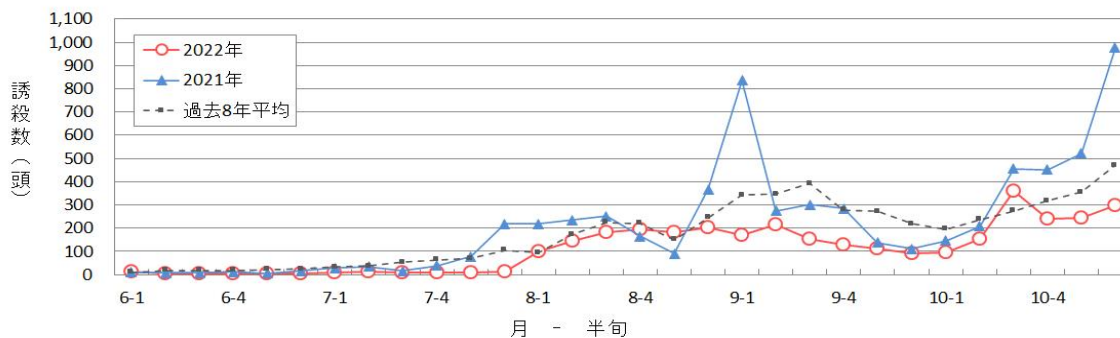
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (野木町)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (塩谷町)

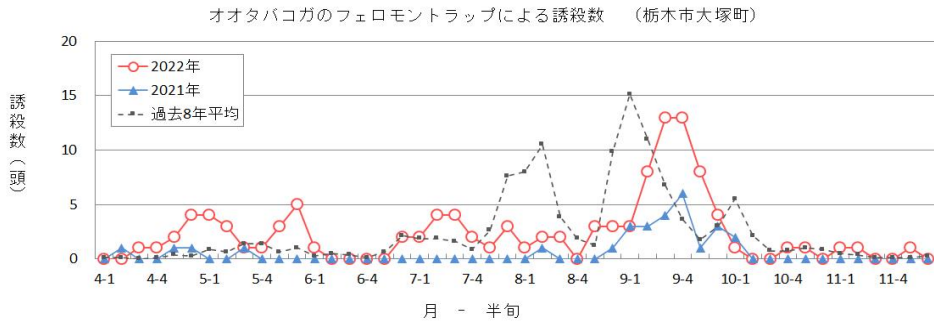
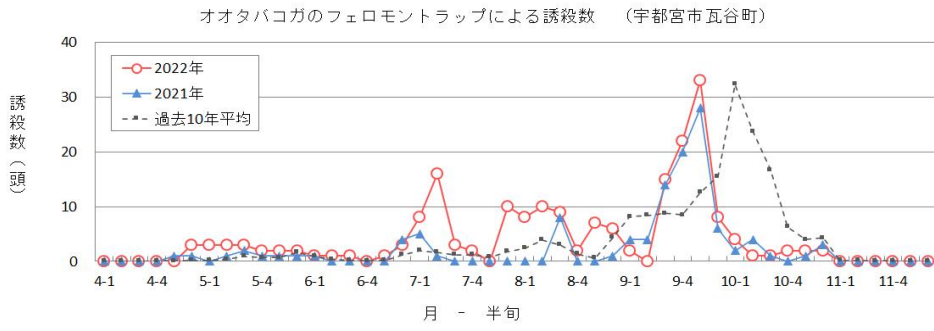


ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (足利市)



② オオタバコガ

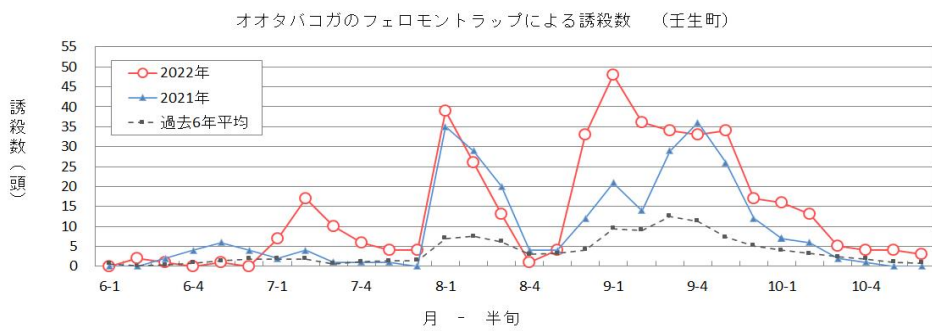
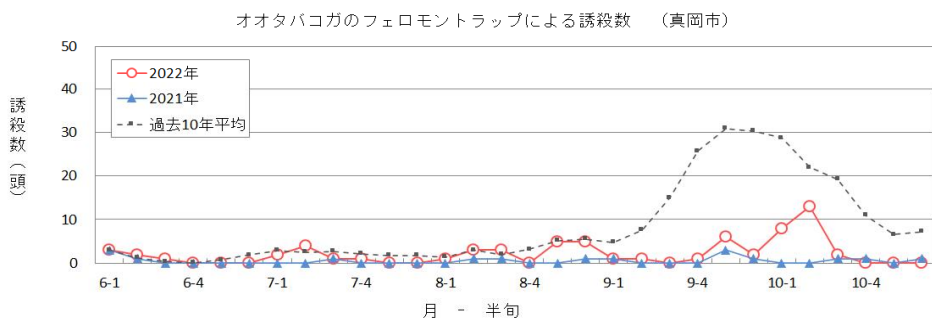
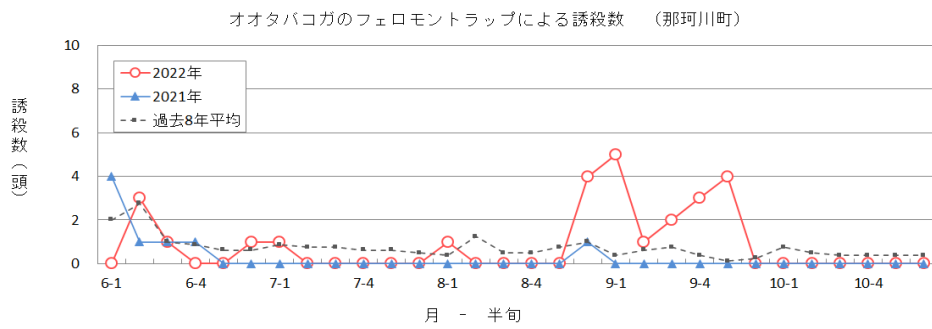
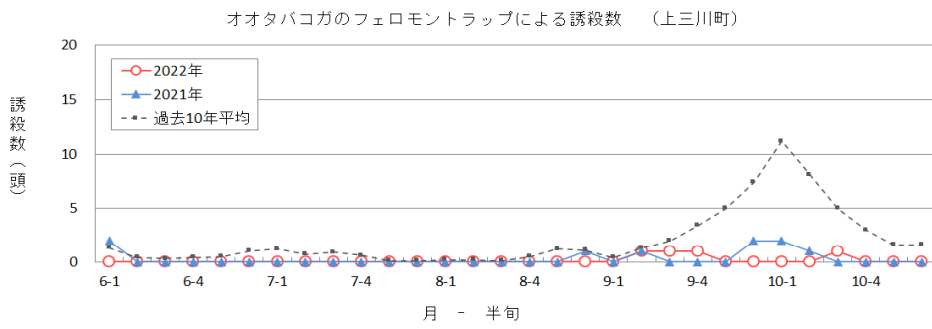
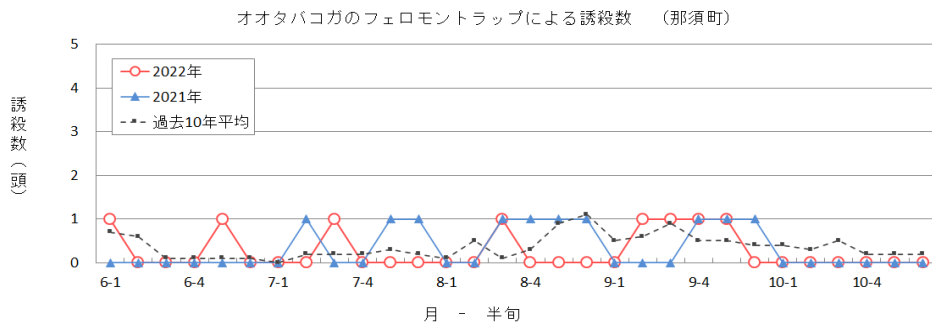
月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年
4-1	0	0	0	0	0	0
4-2	0	0	0	0	0	1
4-3	0	0	0	1	0	0
4-4	0	0	0	1	0	0
4-5	0	0	1	2	0	1
4-6	3	0	1	4	0	1
5-1	3	0	0	4	1	0
5-2	3	0	1	3	1	0
5-3	3	1	2	1	1	1
5-4	2	1	1	1	1	0
5-5	2	1	1	3	1	0
5-6	2	2	1	5	1	0
6-1	1	1	1	1	0	0
6-2	1	0	0	0	1	0
6-3	1	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0
6-5	1	0	0	0	1	0
6-6	3	1	4	2	2	0
7-1	8	2	5	2	2	0
7-2	16	2	1	4	2	0
7-3	3	1	0	4	2	0
7-4	2	1	0	2	1	0
7-5	0	1	0	1	3	0
7-6	10	2	0	3	8	0
8-1	8	2	0	1	8	0
8-2	10	4	0	2	11	1
8-3	9	3	8	2	4	0
8-4	2	1	0	0	2	0
8-5	7	1	0	3	1	0
8-6	6	4	1	3	10	1
9-1	2	8	4	3	15	3
9-2	0	8	4	8	11	3
9-3	15	9	14	13	7	4
9-4	22	9	20	13	4	6
9-5	33	13	28	8	2	1
9-6	8	16	6	4	3	3
10-1	4	32	2	1	6	2
10-2	1	24	4	0	2	0
10-3	1	17	1	0	1	0
10-4	2	6	0	1	1	0
10-5	2	4	1	1	1	0
10-6	2	4	3	0	1	0
11-1	0	0	0	1	1	0
11-2	0	0	0	1	0	0
11-3	0	0	0	0	0	0
11-4	0	0	0	0	0	0
11-5	0	0	0	1	0	0
11-6	0	0	0	0	0	0
4月計	3	0	2	8	1	3
5月計	15	5	6	17	6	1
6月計	7	3	5	3	4	0
7月計	39	9	6	16	17	0
8月計	42	16	9	11	35	2
9月計	80	62	76	49	41	20
10月計	12	87	11	3	11	2
11月計	0	1	0	3	2	0
合計	198	182	115	110	117	28



オオタバコガ*

月一 半旬	那須町			上三川町			那珂川町			真岡市			壬生町		
	R4 (2022) 年	過去 10年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 10年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 8年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 10年 平均	R3 (2021) 年	R4 (2022) 年	過去 6年 平均	R3 (2021) 年
6-1	1	1	0	0	1	2	0	2	4	3	3	3	0	1	0
6-2	0	1	0	0	0	0	3	3	1	2	1	1	2	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	1	0	2
6-4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	4
6-5	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	1	6
6-6	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2	0	0	2	4
7-1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	2	3	0	7	2	2
7-2	0	0	1	0	1	0	0	1	0	4	3	0	17	2	4
7-3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	1	10	1	1
7-4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	2	0	6	1	1
7-5	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4	1	1
7-6	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4	2	0
8-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	39	7	35
8-2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3	3	1	26	8	29
8-3	1	0	1	0	0	0	0	1	0	3	2	1	13	6	20
8-4	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	1	3	4
8-5	0	1	1	0	1	0	0	1	0	5	5	0	4	3	4
8-6	0	1	1	0	1	1	4	1	1	5	6	1	33	4	12
9-1	0	1	0	0	0	0	5	0	0	1	5	1	48	10	21
9-2	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	8	0	36	9	14
9-3	1	1	0	1	2	0	2	1	0	0	15	0	34	13	29
9-4	1	1	1	1	3	0	3	0	0	1	26	0	33	11	36
9-5	1	1	1	0	5	0	4	0	0	6	31	3	34	7	26
9-6	0	0	1	0	7	2	0	0	0	2	30	1	17	5	12
10-1	0	0	0	0	11	2	0	1	0	8	29	0	16	4	7
10-2	0	0	0	0	8	1	0	1	0	13	22	0	13	3	6
10-3	0	1	0	1	5	0	0	0	0	2	19	1	5	2	2
10-4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	11	1	4	2	1
10-5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	0	4	1	0
10-6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	7	1	3	1	0
6月計	2	2	0	0	4	2	5	8	7	6	7	4	4	5	16
7月計	1	1	3	0	4	0	1	4	0	8	14	1	48	8	9
8月計	1	3	4	0	3	1	5	4	1	17	20	3	116	31	104
9月計	4	3	3	3	20	3	15	3	0	11	115	5	202	55	138
10月計	0	2	0	1	31	3	0	3	0	23	95	3	45	13	16
合計	8	11	10	4	61	9	26	22	8	65	251	16	415	113	283

※病害虫防除員による調査

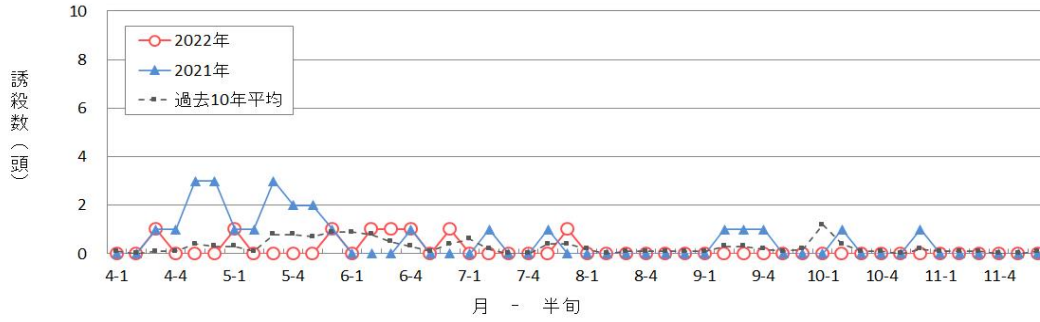


③ コナガ

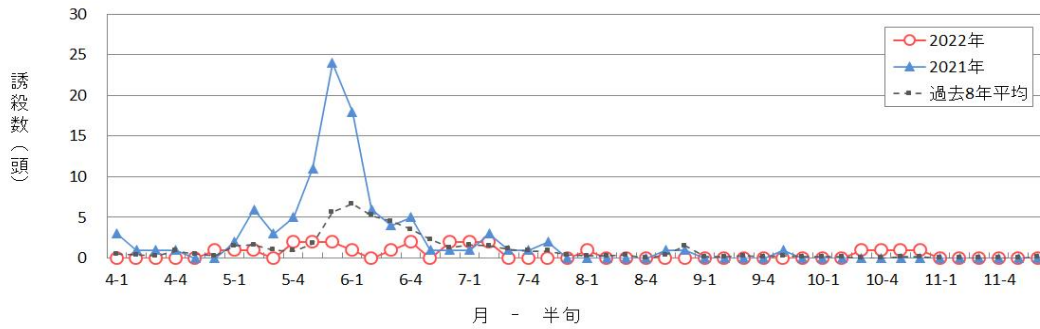
月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町			野木町 [※]		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 7年 平均	R3 (2021)年
4-1	0	0	0	0	1	3	-	-	-
4-2	0	0	0	0	0	1	-	-	-
4-3	1	0	1	0	0	1	-	-	-
4-4	0	0	1	0	1	1	-	-	-
4-5	0	0	3	0	1	0	-	-	-
4-6	0	0	3	1	0	0	-	-	-
5-1	1	0	1	1	2	2	0	13	1
5-2	0	0	1	1	2	6	0	14	1
5-3	0	1	3	0	1	3	0	13	0
5-4	0	1	2	2	1	5	2	27	0
5-5	0	1	2	2	2	11	1	44	0
5-6	1	1	1	2	6	24	0	76	4
6-1	0	1	0	1	7	18	1	80	15
6-2	1	1	0	0	5	6	3	20	14
6-3	1	1	0	1	5	4	2	13	11
6-4	1	0	1	2	4	5	2	11	7
6-5	0	0	0	0	2	1	6	16	9
6-6	1	0	0	2	1	1	6	15	8
7-1	0	1	0	2	2	6	6	22	7
7-2	0	0	1	2	2	3	6	34	4
7-3	0	0	0	0	1	1	7	59	7
7-4	0	0	0	0	1	1	7	32	8
7-5	0	0	1	0	1	2	7	24	9
7-6	1	0	0	0	0	0	4	35	8
8-1	0	0	0	1	0	0	14	62	2
8-2	0	0	0	0	0	0	7	25	1
8-3	0	0	0	0	0	0	3	25	1
8-4	0	0	0	0	0	0	3	25	1
8-5	0	0	0	0	0	1	6	17	10
8-6	0	0	0	0	2	1	8	14	15
9-1	0	0	0	0	0	0	7	8	6
9-2	0	0	1	0	0	0	9	12	20
9-3	0	0	1	0	0	0	14	11	19
9-4	0	0	1	0	0	0	10	10	15
9-5	0	0	0	0	0	1	4	8	8
9-6	0	0	0	0	0	0	7	6	4
10-1	0	1	0	0	0	0	7	6	1
10-2	0	0	1	0	0	0	7	4	1
10-3	0	0	0	1	0	0	3	3	1
10-4	0	0	0	1	0	0	2	3	0
10-5	0	0	0	1	0	0	1	2	0
10-6	0	0	1	1	0	0	2	1	2
11-1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-2	0	0	0	0	0	0	1	1	0
11-3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
11-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11-5	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4月計	1	1	8	1	3	6	-	-	-
5月計	2	4	10	8	12	51	3	186	6
6月計	4	3	1	6	23	35	20	155	64
7月計	1	2	2	4	6	8	37	207	43
8月計	0	1	0	1	3	2	41	168	30
9月計	0	1	3	0	1	1	51	54	72
10月計	0	2	2	4	1	0	22	18	5
11月計	0	0	0	0	0	0	2	4	0
合計	8	13	26	24	49	103	176	791	220

※病害虫防除員による調査

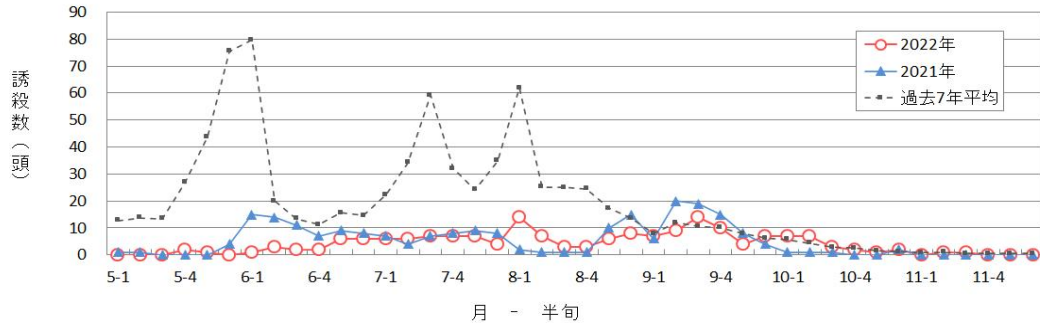
コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (野木町)

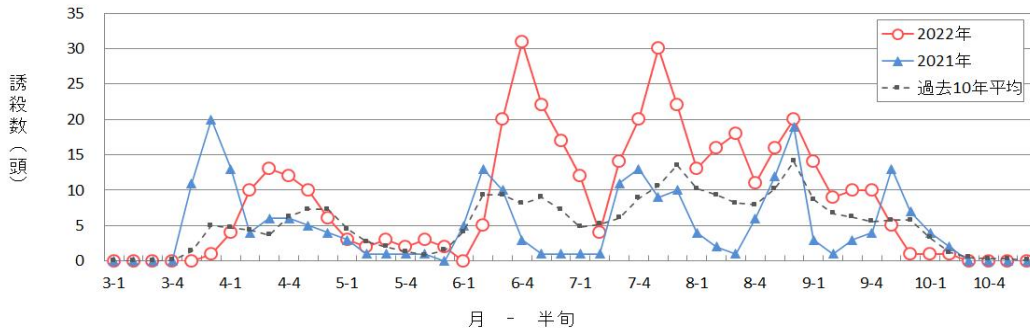


④ ナシヒメシクイ

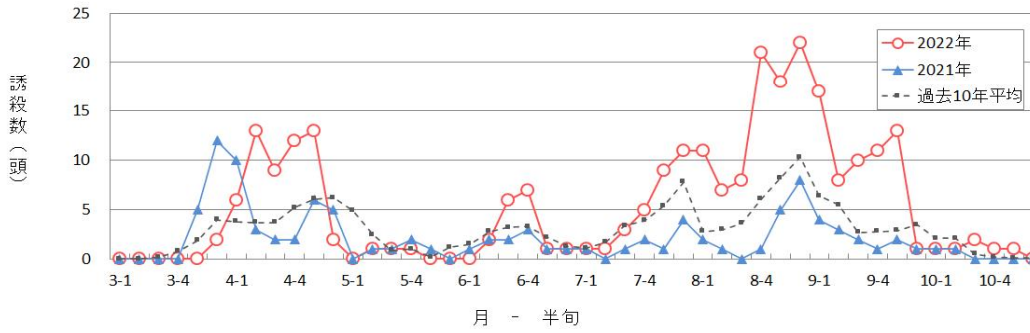
月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市			芳賀町			高根沢町 [※]		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 9年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 8年 平均	R3 (2021)年
3-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	-	-
3-5	0	1	11	0	2	5	0	0	2	-	-	-
3-6	1	5	20	2	4	12	0	1	5	-	-	-
4-1	4	5	13	6	4	10	0	1	5	5	4	5
4-2	10	4	4	13	4	3	0	1	1	14	4	3
4-3	13	4	6	9	4	2	5	2	2	16	6	4
4-4	12	6	6	12	5	2	5	3	3	12	7	11
4-5	10	7	5	13	6	6	6	4	1	9	9	21
4-6	6	7	4	2	6	5	9	4	1	9	5	3
5-1	3	5	3	0	5	0	2	3	1	3	3	2
5-2	2	3	1	1	3	1	1	2	2	1	2	1
5-3	3	2	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1
5-4	2	1	1	1	1	2	0	1	1	2	1	0
5-5	3	1	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0
5-6	2	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
6-1	0	4	5	0	2	1	1	2	1	1	3	0
6-2	5	9	13	2	3	2	1	2	0	1	6	7
6-3	20	9	10	6	3	2	4	3	2	5	4	6
6-4	31	8	3	7	3	3	7	4	5	8	5	2
6-5	22	9	1	1	2	1	7	3	2	7	4	1
6-6	17	7	1	1	1	1	7	4	2	12	4	2
7-1	12	5	1	1	1	1	5	1	1	11	3	2
7-2	4	5	1	1	2	0	2	1	1	8	4	0
7-3	14	6	11	3	3	1	4	2	2	16	6	2
7-4	20	9	13	5	4	2	5	8	8	18	8	7
7-5	30	11	9	9	5	1	5	7	15	18	13	14
7-6	22	14	10	11	8	4	3	6	4	15	15	3
8-1	13	10	4	11	3	2	5	5	1	1	10	6
8-2	16	9	2	7	3	1	4	4	0	14	6	4
8-3	18	8	1	8	4	0	4	4	1	22	7	0
8-4	11	8	6	21	6	1	4	5	3	24	9	11
8-5	16	10	12	18	8	5	5	6	2	8	15	15
8-6	20	14	19	22	10	8	6	7	1	9	20	16
9-1	14	9	3	17	6	4	5	9	2	9	14	5
9-2	9	7	1	8	6	3	10	7	4	1	11	9
9-3	10	6	3	10	3	2	11	5	3	10	7	7
9-4	10	6	4	11	3	1	9	4	3	8	7	6
9-5	5	6	13	13	3	2	1	3	1	3	6	9
9-6	1	6	7	1	4	1	1	2	0	1	4	3
10-1	1	3	4	1	2	1	1	1	0	1	2	2
10-2	1	1	2	1	2	1	0	0	0	1	1	2
10-3	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
10-4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10-5	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月計	1	7	31	2	7	17	0	1	7	-	-	-
4月計	55	34	38	55	29	28	25	16	13	65	34	47
5月計	15	13	7	3	11	5	4	8	5	7	9	4
6月計	95	47	33	17	14	10	27	18	12	34	24	18
7月計	102	49	45	30	23	9	24	25	31	86	49	28
8月計	94	60	44	87	34	17	28	31	8	78	67	52
9月計	49	39	31	60	24	13	37	30	13	32	50	39
10月計	2	6	6	6	5	2	1	2	0	2	2	4
合計	413	254	235	260	147	101	146	131	89	304	236	192

※病害虫防除員による調査

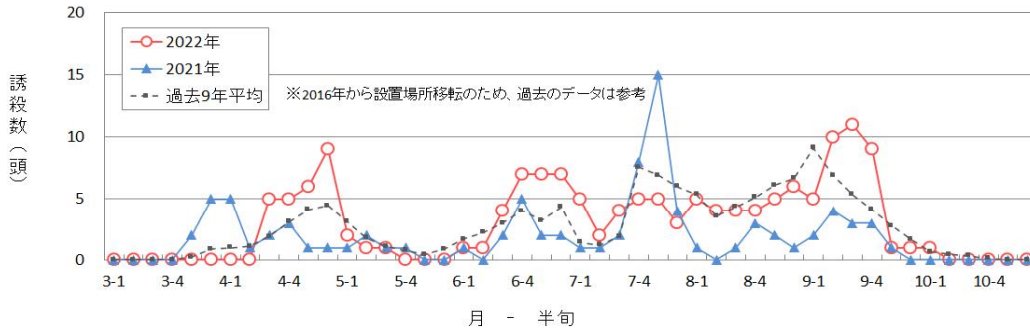
ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



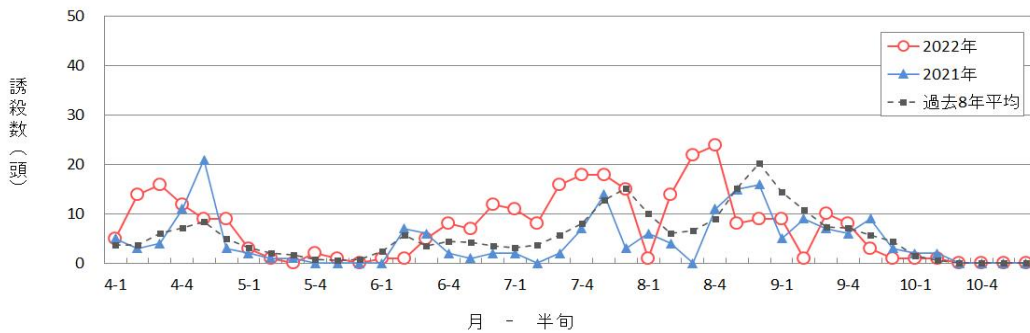
ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)



ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



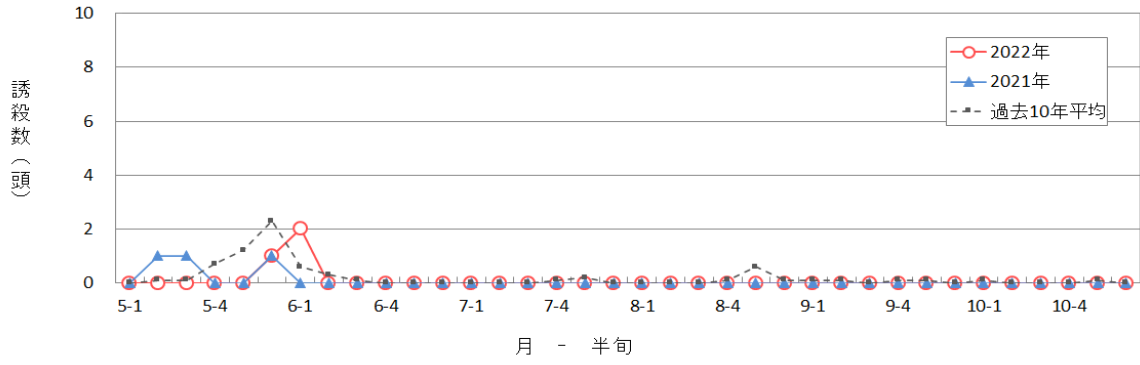
ナシヒメシクイのフェロモントラップによる誘殺数 (高根沢町)



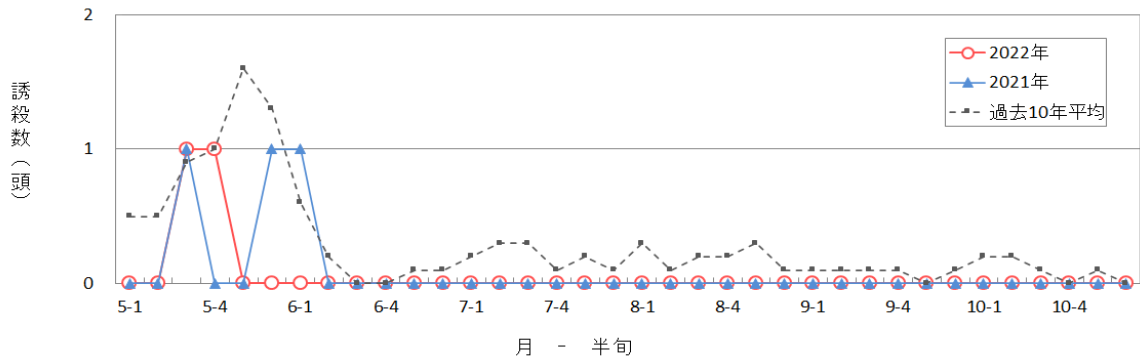
⑤ リンゴコカクモンハマキ

月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
5-1	0	0	0	0	1	0
5-2	0	0	1	0	1	0
5-3	0	0	1	1	1	1
5-4	0	1	0	1	1	0
5-5	0	1	0	0	2	0
5-6	1	2	1	0	1	1
6-1	2	1	0	0	1	1
6-2	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0
10-1	0	0	0	0	0	0
10-2	0	0	0	0	0	0
10-3	0	0	0	0	0	0
10-4	0	0	0	0	0	0
10-5	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0
5月計	1	4	3	2	6	2
6月計	2	1	0	0	1	1
7月計	0	0	0	0	1	0
8月計	0	1	0	0	1	0
9月計	0	0	0	0	1	0
10月計	0	0	0	0	1	0
合計	3	7	3	2	10	3

リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)

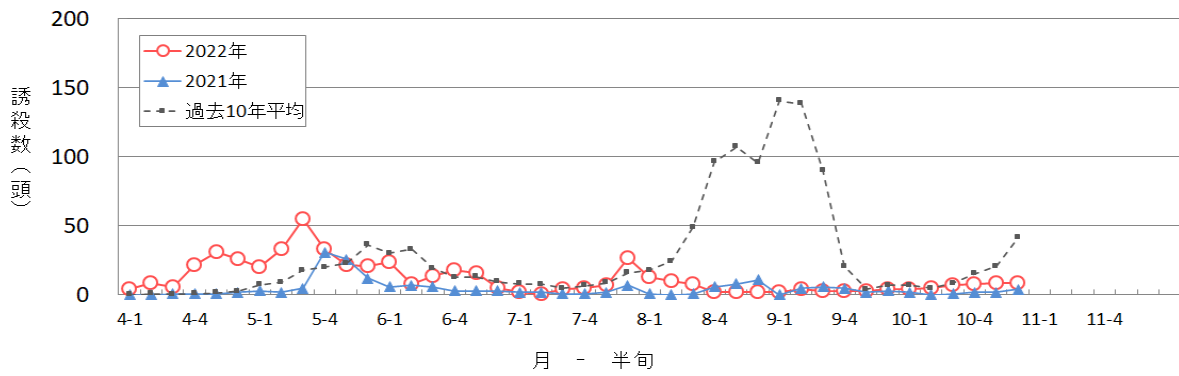


(3) 有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数

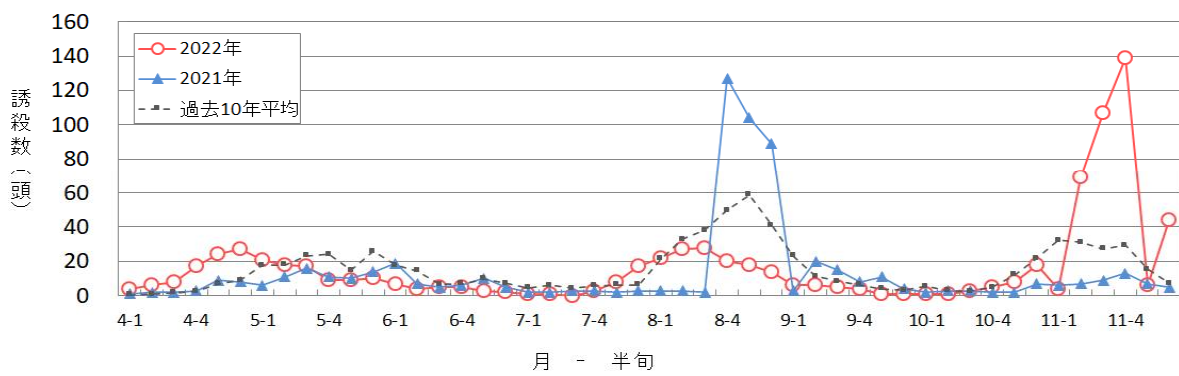
月一 半旬	大田原市※			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
4-1	4	0	0	4	0	1	16	5	1
4-2	9	1	0	6	1	2	27	6	0
4-3	6	0	1	8	2	2	35	7	1
4-4	22	1	1	17	3	3	45	10	2
4-5	31	2	1	24	7	9	52	14	2
4-6	26	3	2	27	9	8	42	21	2
5-1	20	7	3	21	18	6	24	24	3
5-2	33	9	2	18	18	11	19	51	15
5-3	55	18	5	17	23	16	17	59	26
5-4	33	20	31	9	24	11	16	42	43
5-5	22	23	26	9	15	10	16	36	36
5-6	21	36	12	10	26	14	16	52	21
6-1	24	30	6	7	18	19	11	45	33
6-2	8	33	7	4	15	7	7	44	29
6-3	14	20	6	5	7	5	7	30	19
6-4	18	13	3	5	7	6	8	19	6
6-5	16	13	3	3	10	10	5	14	6
6-6	5	10	3	2	7	5	2	12	4
7-1	2	8	2	1	5	2	1	4	3
7-2	1	8	2	1	6	2	1	4	5
7-3	4	5	1	0	4	3	3	4	3
7-4	5	7	1	3	6	3	6	6	2
7-5	7	9	2	8	6	2	9	10	1
7-6	27	16	7	17	7	3	0	18	5
8-1	13	18	1	22	22	3	70	30	19
8-2	10	24	0	27	33	3	86	49	25
8-3	8	49	1	28	38	2	90	58	9
8-4	2	97	6	20	50	127	108	65	66
8-5	2	107	8	18	59	104	88	58	62
8-6	2	96	11	14	41	89	63	50	60
9-1	2	141	0	6	23	3	17	34	4
9-2	4	139	5	6	11	20	1	17	12
9-3	3	90	6	5	8	15	2	9	11
9-4	3	21	5	4	6	8	2	11	11
9-5	3	4	2	1	4	11	1	10	3
9-6	4	7	3	1	3	4	1	9	3
10-1	4	7	2	1	6	2	2	20	9
10-2	5	5	0	1	3	3	3	9	19
10-3	7	9	1	3	3	3	18	6	8
10-4	8	15	2	5	5	2	15	7	4
10-5	9	21	2	8	12	2	12	12	5
10-6	9	41	4	18	22	7	8	21	10
11-1	-	-	-	4	32	6	21	28	15
11-2	-	-	-	69	31	7	68	29	9
11-3	-	-	-	107	27	9	57	26	7
11-4	-	-	-	139	29	13	24	35	14
11-5	-	-	-	6	15	7	16	30	5
11-6	-	-	-	44	7	5	16	18	3
4月計	98	7	5	86	21	25	217	62	8
5月計	184	114	79	84	124	68	108	264	144
6月計	85	118	28	26	63	52	40	163	97
7月計	46	53	15	30	34	15	20	46	19
8月計	37	391	27	129	242	328	505	308	241
9月計	19	402	21	23	57	61	24	89	44
10月計	42	98	11	36	50	19	58	76	55
11月計	-	-	-	369	143	47	202	166	53
合計	511	1,182	186	783	732	615	1,174	1,175	661

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）

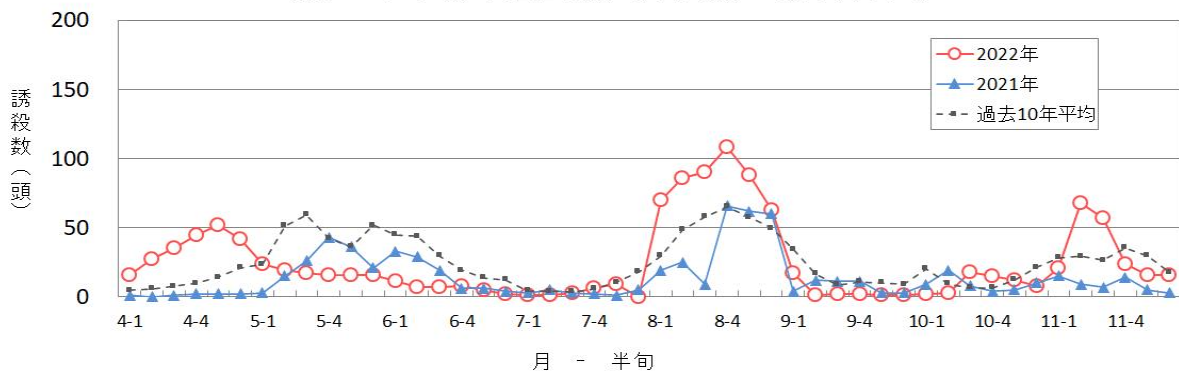
有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (大田原市)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町)



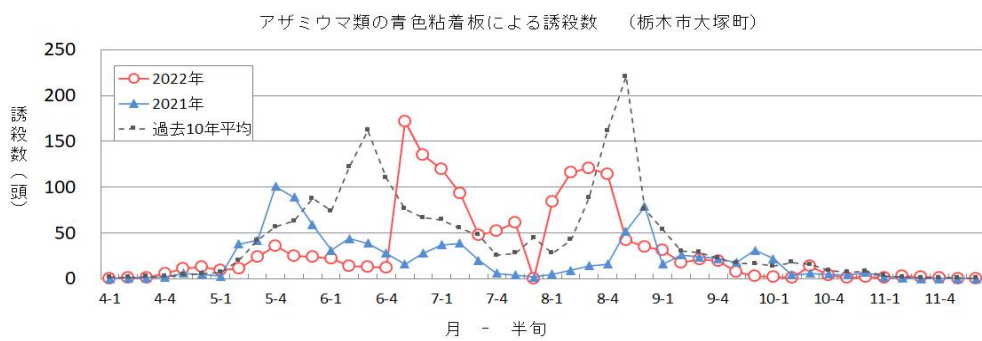
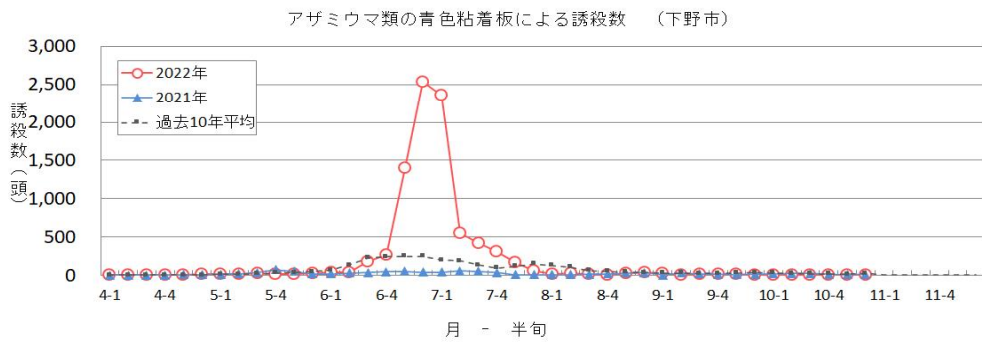
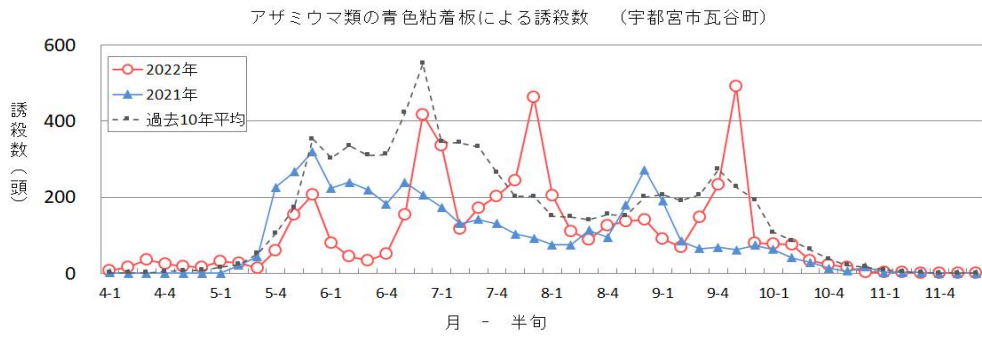
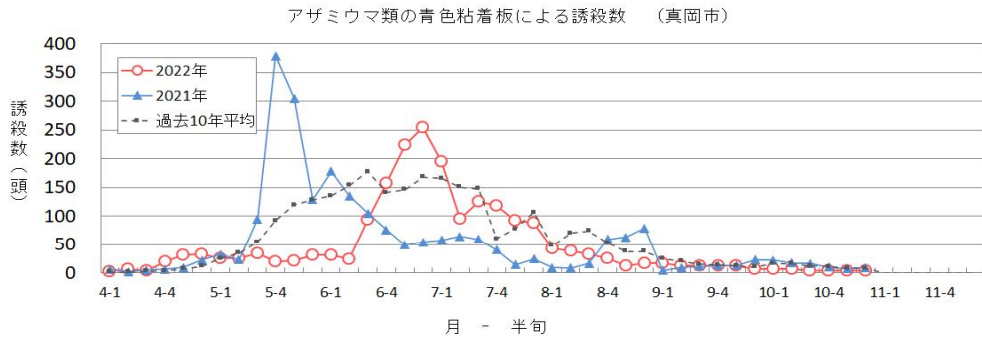
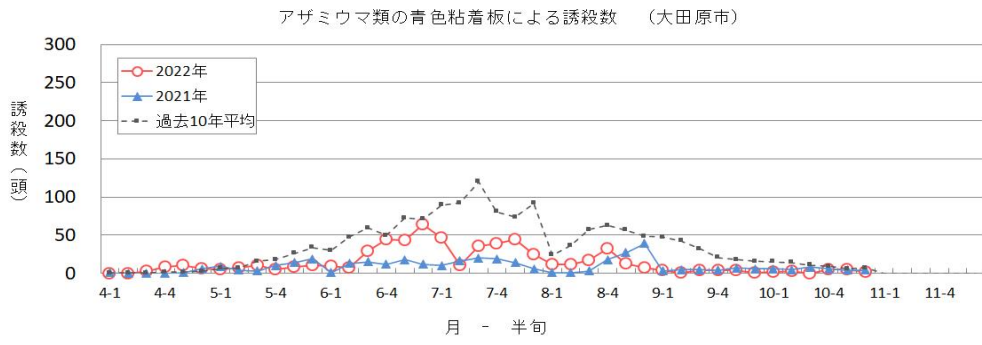
(4) アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
4-1	8	2	2	0	2	0
4-2	17	2	1	1	1	1
4-3	36	2	1	1	2	1
4-4	25	6	1	6	3	2
4-5	18	8	1	11	4	6
4-6	17	8	1	13	5	5
5-1	32	17	1	9	7	3
5-2	27	24	21	11	20	38
5-3	14	52	44	24	42	42
5-4	60	105	226	36	57	101
5-5	155	173	267	25	63	89
5-6	207	354	321	24	88	59
6-1	81	304	224	22	74	31
6-2	46	336	240	14	122	44
6-3	34	310	220	13	162	39
6-4	51	313	183	12	110	28
6-5	154	422	240	172	76	16
6-6	417	552	207	135	67	28
7-1	337	346	174	120	65	37
7-2	118	343	131	93	55	39
7-3	173	332	142	48	48	20
7-4	202	265	131	52	26	6
7-5	244	202	104	61	28	4
7-6	463	203	93	0	45	2
8-1	205	151	75	84	28	5
8-2	111	149	75	116	43	9
8-3	88	141	113	121	88	14
8-4	127	155	95	114	161	16
8-5	138	152	179	42	221	52
8-6	141	202	272	35	76	79
9-1	90	207	190	31	54	16
9-2	69	192	85	18	30	26
9-3	148	206	65	21	29	24
9-4	233	273	69	19	23	22
9-5	493	227	62	8	17	18
9-6	80	194	74	3	17	31
10-1	78	108	63	2	14	22
10-2	76	86	41	1	18	4
10-3	34	63	29	14	16	6
10-4	23	38	14	4	9	5
10-5	17	22	6	1	7	4
10-6	4	17	17	2	8	7
11-1	4	9	3	1	3	2
11-2	3	6	3	3	2	1
11-3	2	2	3	2	1	0
11-4	1	1	0	1	1	0
11-5	1	1	0	0	1	0
11-6	1	1	1	0	1	0
4月計	121	27	7	32	17	15
5月計	495	724	880	129	277	332
6月計	783	2,237	1,314	368	611	186
7月計	1,537	1,691	775	374	266	108
8月計	810	950	809	512	617	175
9月計	1,113	1,299	545	100	169	137
10月計	232	334	170	24	71	48
11月計	12	20	10	7	9	3
合計	5,103	7,281	4,510	1,546	2,036	1,004

アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数※

月一 半旬	大田原市			真岡市			下野市		
	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年	R4 (2022)年	過去 10年 平均	R3 (2021)年
4-1	0	0	1	2	1	6	0	1	1
4-2	0	1	0	7	1	2	2	1	0
4-3	3	1	0	4	2	5	3	1	0
4-4	8	2	0	20	3	6	6	2	0
4-5	10	2	1	31	7	9	8	3	8
4-6	6	2	6	33	11	22	13	4	9
5-1	5	6	9	26	25	32	14	12	12
5-2	7	7	4	25	34	23	16	13	19
5-3	11	16	3	34	54	95	22	20	36
5-4	5	18	10	19	92	379	17	31	73
5-5	8	26	14	21	120	305	18	34	54
5-6	11	34	19	31	128	129	28	47	19
6-1	9	30	1	31	135	178	33	68	18
6-2	7	47	13	24	154	135	35	133	28
6-3	29	59	15	94	177	105	177	226	36
6-4	44	50	12	157	141	76	271	243	45
6-5	43	73	18	224	146	49	1,401	249	49
6-6	64	71	12	254	168	54	2,534	250	43
7-1	46	90	10	195	166	58	2,364	198	43
7-2	10	92	16	95	150	64	551	187	59
7-3	36	120	20	125	148	59	418	134	54
7-4	39	81	19	118	60	40	307	93	34
7-5	44	74	14	92	77	14	164	118	9
7-6	25	92	6	88	106	24	63	149	6
8-1	12	24	1	43	48	9	21	127	8
8-2	12	36	1	39	70	8	23	109	9
8-3	17	57	3	32	74	16	20	61	12
8-4	32	63	18	26	53	59	0	52	19
8-5	13	57	27	13	38	63	32	43	28
8-6	7	48	39	17	38	79	39	33	35
9-1	4	47	3	17	25	4	22	28	3
9-2	1	43	5	13	20	9	9	28	31
9-3	4	32	5	13	15	11	18	25	20
9-4	4	20	4	12	14	13	19	26	13
9-5	4	18	7	12	12	13	13	32	7
9-6	1	16	6	7	10	23	5	35	16
10-1	2	15	6	7	16	22	7	27	20
10-2	3	14	5	7	16	17	8	25	23
10-3	0	11	8	3	12	16	8	21	23
10-4	5	9	6	4	10	10	7	19	12
10-5	5	6	4	4	8	7	6	14	7
10-6	2	7	4	4	8	9	2	23	14
11-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月計	27	7	8	97	25	50	32	10	18
5月計	47	106	59	156	452	963	115	157	213
6月計	196	330	71	784	921	597	4,451	1,169	219
7月計	200	548	85	713	708	259	3,867	878	205
8月計	93	285	89	170	319	234	135	425	111
9月計	18	176	30	74	95	73	86	173	90
10月計	17	62	33	29	69	81	38	128	99
11月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	598	1,513	375	2,023	2,588	2,257	8,724	2,940	955

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）



4 主要作物生育、作柄の概要（経営技術課情報より）

1) 農作物生育状況

(1) 普通作物（気象経過は宇都宮アメダス）

①水稲（令和4(2022)年産）

作況指数 栃木県：97 県北部：96 県中部：96 県南部：100

（令和4(2022)年12月9日公表農林水産統計より）

[生育概況]

育苗～生育初期（4月～5月）

- ・平均気温は、4月は1.5℃高く、5月上旬は1.0℃低く、5月の月平均は±0℃の平年並に経過した。日照時間は、4月は平年の93%、5月は第3半旬が同60%と少なかったほかは半旬ごとに90～145%、月の累積では同112%と多照であった。降水量は、4月は平年の114%、5月上旬が同77%、中旬が同82%、下旬が99%とやや少なかった。

なお、代かきや移植作業について、水不足による遅れはみられず、おおむね順調に行われている。

- ・本田における初期生育は、草丈は平年並、茎数はやや多く、葉令は平年並、葉色は平年よりやや淡かった。

生育期～出穂期（6月～7月）

- ・平均気温は5月下旬が平年より0.6℃高く、6月上旬は同1.9℃低かった。日照時間は、5月下旬は平年比115%と多く、6月上旬は同73%と少なかった。降水量は、5月下旬は平年比99%と平年並、6月上旬は150%と多かった。この期間は低温で日照時間は少なく、降水量は多い傾向であった。本年の梅雨入りは6月6日とみられ、平年より1日早く、昨年より8日早かった。

- ・5月下旬～6月上旬の早植栽培・品種コシヒカリの草丈は平年比92%とやや低く、茎数は同96%と平年並、葉齢は同-0.2葉少なく、葉色（葉色板）は同-0.5淡い。生育診断値（葉色×茎数）は前年比52～124%とばらついているが、前年を下回った地点が多かった。早植栽培・品種とちぎの星の草丈は前年比98%、茎数は同106%とほぼ前年並み、葉色（葉色板）は前年より-0.6淡く、生育診断値（葉色×茎数）は前年の95%と前年をやや下回った。

- ・6月中旬の平均気温は平年より-0.1℃低く、日照時間は平年比100%と平年並、降水量は平年比23%と少なかった。

早植栽培・品種コシヒカリの草丈は平年比86%と低く、茎数は同105%と平年並、葉齢は同-0.1葉少なく、葉色（葉色板）は同-0.3淡い。生育診断値（葉色×茎数）は前年比112%と平年を上回った。

早植栽培・品種とちぎの星草丈は前年比88%と低く、茎数は同108%とほぼ前年並、葉色（葉色板）は前より0.2濃く、生育診断値（葉色×茎数）は前年の115%と前年をやや上回った。

普通植栽培・品種とちぎの星草丈は前年比90%と低く、茎数は同110%とやや前年を上回る。葉色（葉色板）は前年より0.3濃く、生育診断値（葉色×茎数）は前年の117%と前年をやや上回った。草丈が低く、茎数や生育診断値は平年を上回るなど、早植栽培と同じ傾向であった。

- ・6月下旬の平均気温は平年より5.1℃高く、日照時間は平年比239%と多く、降水量は平年比2%と少なかった。7月第1半旬の気温も4.6℃高かった。

梅雨明けは、平年は7月19日頃であるが、本年は7月23日頃と平年より遅かった。

早植栽培（品種：コシヒカリ）の茎数は平年比 93%（前年比 98%）とやや少なく、葉齢は 0.3 葉多く、葉色（葉色板）は 0.4 淡く、生育診断値（葉色×茎数）は平年比 82%（前年比 88%）と小さい状況である。草丈は、これまで低い傾向が続いていたが、今回の調査では平年比 106%（前年比 107%）と高くなった。幼穂長は 0.32 cm で前年をやや上回っている（前年 0.28 cm）。

早植栽培（品種：とちぎの星）の草丈は、コシヒカリと同様にこれまで低かったが、今回は前年比 105% と高くなった。茎数は前年比 105% とやや多く、葉色（葉色板）は 0.3 淡く、生育診断値（葉色×茎数）は 97% とほぼ前年並となっている。

普通植栽培（品種：とちぎの星）の草丈は前年比 75～119%、茎数は 82～117%。葉色（葉色板）は前年より 1.0 程度淡く、生育診断値（葉色×茎数）は前年をやや下回っている。

- ・ 7 月中旬の平均気温は平年より 0.3℃ 高く、日照時間は平年比 53% と少なく、降水量は平年比 192% と多かった。

早植栽培（品種：コシヒカリ）の草丈は、前々回（6/22 調査、平年比 86%）まで低く、前回（7/6、平年比 106%）から高くなり、今回は平年並に近づいた（平年比 104%（前年比 102%））。茎数は平年比 93%（前年比 103%）とやや少なく、葉齢は 0.2 葉多く、葉色（葉色板）は -0.4 淡く、生育診断値（葉色×茎数）は平年比 83%（前年比 92%）と下回っている。

出穂期の平均は 7 月 27 日と平均より 2 日、前年より 1 日早かった。

早植栽培（品種：とちぎの星）の草丈は、コシヒカリと同様にこれまで低かったが、今回は前年比 105% と高くなった。茎数は前年比 105% とやや多く、葉色（葉色板）は 0.3 淡く、生育診断値（葉色×茎数）は 97% とほぼ前年並となっている。

普通植栽培（品種：とちぎの星）

草丈は前年比 103～107% とやや高く、茎数は 88～111%。葉色（葉色板）は前年より +0.5 程度濃く、生育診断値（葉色×茎数）は前年を上回っている。

登熟期～成熟期（8 月）

- ・ 8 月上中旬の平均気温は平年より 1.0℃ 高く、日照時間は平年比 100% と平年並、降水量は平年比 33% 少なかった。

8 月の下旬の気温は平年より -0.2℃ 低く、日照時間は平年の 57% と少なかった。降水量も 62% と少なく、曇天が多かった。

刈取時期（9 月～10 月）

- ・ 9 月の中旬の気温は平年より +1.8℃ 高く、日照時間は平年の 137% と多かった。降水量は 82% と少なく、曇天が多かった。台風の接近に伴い収穫を早めたが、早生品種の収穫が終了し、前年並に戻った。

9 月の下旬の気温は平年より +1.3℃ 高く、日照時間は平年の 140% と多かった。24 日の台風第 15 号や前線の影響により降水量は 280% と多かった。10 月中旬までには早植の収穫は終了し、普通植の収穫も 10 月末には終了した。

収量

- ・ 本県の令和 4 年産水稻の作柄は「やや不良」となった。出穂期前と 8 月後半から 9 月にかけて日照時間が少なく登熟が不良となり、整粒歩合や千粒重が低下した。

[外観品質]

- ・ 12 月末時点の農産物検査の 1 等米比率は 93.5%、昨年同期より 2.4% 低い。落等理由は

形質（粒の充実不足など）が最も多く、次いで胴割粒や白未熟粒等の被害粒、カメムシ等着色粒など。

②麦類（令和4（2022）年産）

10a 当たり平均収量対比 小麦：98 二条大麦：98 六条大麦：80

（令和4（2022）年11月29日公表 農林水産統計より）

・気象概況

（気温）

播種（県北：11月第1半旬、県南：11月第3半旬）から5月末までの積算温度は県北1,670℃（ $\text{+112}^\circ\text{C}$ ）、県南1,916℃（ $\text{+170}^\circ\text{C}$ ）と平年より高かった。

1～2月を除き、平年より高く推移した。

（降水量）

播種から5月末までの積算降水量は、県北497mm（ $\text{97}\%$ ）、県南456mm（ $\text{111}\%$ ）と平年並～やや多かった。

月別の平年比は、11月は69～119%、12月は144～220%、1月は10～23%、2月は56～89%、3月は89～97%、4月は104～131%、5月は95～141%であり、1～2月は降水量が少なかった。

・生育概況・作柄

【播種～12月】

播種進捗率は、11月8日調査で10%（ $\text{15}\%$ ）であったが、長期予報で、ラニーニャ現象の予報から播種開始を早めた生産者もみられた一方で、大豆の収穫遅れや断続的な降雨の影響により、一部で播種遅れがみられた。11月28日調査で86%（ $\text{87}\%$ ）と平年並に播種作業は行われた。

出芽日数は、県北部では気温も高めに推移し順調であったが、県中南部では播種後の降雨により、やや遅れたほ場もみられた。二条大麦の苗立数は151本/ m^2 （ $\text{93}\%$ ）とやや平年を下回った。

出芽後はほ場がやや過湿気味で推移し、分けつの発生は前年を下回っていたが、12月18日調査における茎数は272本/ m^2 （ $\text{97}\%$ ）と平年並となった。

【1月】

年末から年明け後は低温傾向で推移し、乾燥の影響もあり、生育はやや停滞気味。

一部ほ場では下葉の黄化等が散見された。

【2月】

2月18日調査の茎数は、県平均で844本/ m^2 （ $\text{93}\%$ ）と平年よりやや少なかった。低温乾燥傾向から黄化が散見されていたが、適度な降水もあり徐々に生育は回復した。

二条大麦及び六条大麦の一部地域で、縞萎縮病の発生が早播きほ場を中心に散見された。

【3月】

3月18日調査の茎数は、1,455本/ m^2 （ $\text{129}\%$ ）と平年より多かった。

茎立期は、前年よりは遅いものの、平年より3～5日程度早まった。

【4月】

出穂期は平年に比べ、二条大麦で2日、六条大麦で1日、小麦で4日程度早まった。

二条大麦において4月2日の低温による幼穂凍死や4月10～13日の高温による不稔粒の発生が懸念されたが、出穂後の穂を確認したところ、目立った発生は見られなかった。

なお、4月10～13日の高温は、六条大麦と小麦の節間伸長を促し、倒伏の原因となったと考えられる。

【5月】

4月下旬から周期的に降雨があったことから小麦において赤かび病の発生がみられた。

また、一部ほ場では部分的な倒伏が散見された。

最高気温が30℃を上回るような日がなかったことから、成熟が急激に早まることはなく、二条大麦の刈り取りは県南において5月20日頃から始まった。

【刈り取り時期5月～6月】

二条大麦の穂数は、672本/m²(平年666本/m²)と平年並であった。

刈り取り進捗状況は、5月28日現在は、二条大麦で13%(前年同期41%、平年同期21%)、六条大麦で0%(前年同期4%、平年同期2%)、小麦は収穫なしであった。6月8日現在は、二条大麦で87%(前年同期97%、平年同期86%)、六条大麦で64%(前年同期75%、平年同期70%)、小麦で5%(前年同期15%、平年同期4%)。6月18日現在は、二条大麦で98%(前年同期100%、平年同期99%)、六条大麦で97%(前年同期98%、平年同期97%)、小麦で60%(前年同期81%、平年同期62%)。6月28日現在の麦類刈り取り面積は、二条大麦が100%、六条大麦が100%、小麦が98%(52ha残)終了。全体で99.6%終了(前年100%、平年99%)し、ほぼ平年並に終了した。

【作柄】

- ・二条大麦の収量はやや低く、細実傾向である。品質は平年並であった。
- ・六条大麦の収量はやや低く、品質は平年並であった。
- ・小麦の収量・品質は平年並であった。
- ・二条大麦が細実となった原因については、4月10～13日に高温となったことに加え、4月14日～5月3日の間は周期的に降雨があったことから、根の活性が弱ったことが原因の一と推測する。
- ・赤かび病の発生は見られたが、発生程度は小さく、大きな被害は見られなかった。
- ・一部のほ場で、部分的な倒伏が散見された。一部地域で品質低下の原因となった。

③大豆(令和4(2022)年産)

[生育概況]

・播種作業は、6月の降水量が平年を下回ったことから(大田原:平年比87%、宇都宮:平年比46%、小山:平年比42%)、順調に行われた。また、苗立ちはおおむね良好であった。

なお、播種作業は7月中旬までにおおよそ終了した。

・その後の生育は、草丈がやや高く、葉色もやや濃い傾向であり、初期生育は旺盛であった。中耕・培土等の管理作業も適期に行われた。

・開花は8月上旬頃から始まり、着莢数は平年並～やや多かった。

・8月上旬は高温となる日があり、落花が懸念されたが、大きな影響はなかった。

・8月中旬から9月上旬は平年に比べ、日照が不足する期間が多かったことから粒の肥大が抑制されることが懸念された。

- ・べと病は開花前から各地で散見されたが、発生程度は平年並であった。
- ・台風については、9月中～下旬に台風14・15号が接近したが、影響は少なかった。
- ・雑草関係では、各地で帰化アサガオ類の発生が確認された。
- ・11月15日現在、播種時期の早晚により違いがみられるが、適期に播種されたほ場では成熟期を迎えており、11月上旬から収穫がスタートした。倒伏はほとんど見られなかった。

[作柄]

- ・12月以降検査が開始され、収量は平年並からやや多い見込み。品質は平年並の見込みであり、しわ粒等被害粒が目立った発生はない。作柄は、やや良が見込まれる。

(2) 野菜

① いちご

【令和4(2022)年産本ほ(やや良 生育期間:令和3(2021)年9月~令和4(2022)年5月)】
育苗から定植について

7月はやや高温で降水量が多く推移したが炭疽病、萎黄病の発生は比較的少なかったものの、うどんこ病やハダニ類の発生が散見された。高温や日照不足の影響により、葉の展開が緩慢で生育の停滞が見られ、クラウンの充実は平年並~やや悪かった。

夜冷育苗の処理は、7月下旬から開始され、処理開始時期は平年並であった。

8月に入り高温や降水量が多かった影響から一部炭疽病の発生が見られ、ハダニ類も散見された。また、不時出蕾による心止まり株の発生が見られた。育苗後期に炭疽病が散見されたが、定植は概ね計画通り行われた。

頂花房について

花芽分化は夜冷作型が平年並、ポット作型が平年よりやや早かった。定植時の活着は概ね良好であったが、9月下旬~10月下旬の高温の影響により花芽が進み、根量は平年並みからやや少なく推移した。開花始期は、夜冷作型で9月29日と平年より11日早く、ポット作型が10月26日と平年より6日早かった。

開花期揃いは、夜冷育苗で10月上旬頃、ポット育苗で10月中下旬頃に迎えており平年並であった。

出荷は、「とちおとめ」及び「とちあいか」が10月15日から、「スカイベリー」が10月30日から開始された。「とちおとめ」は11月上旬には各産地とも出荷が始まり、出荷揃いは11月下旬頃と平年よりやや早かった。「とちあいか」は10月下旬頃までに各産地とも出荷が始まり、出荷揃いは11月上旬頃と平年よりもやや早かった。「スカイベリー」は、11月下旬頃までに各産地とも出荷が始まり、出荷揃いは12月中旬と平年並であった。

一次腋花房

花房間葉数は「とちおとめ」の夜冷育苗で8.4枚程度、ポット育苗で6.2枚程度であり、平年よりやや多かった。「とちあいか」花房間葉数は、夜冷及びポット作型で5.8枚程度と概ね平年並みであった。「スカイベリー」は、花房間葉数は4~5枚程度で平年並からやや多かった。

開花始期は、「とちおとめ」の夜冷作型で12月2日と平年並、ポット作型で12月17日と2日遅かった。「とちあいか」は夜冷作型が11月23日と平年より9日遅く、ポット作型が11月18日と9日早かった。

収穫始期は、「とちおとめ」の夜冷作型で1月13日と平年並、ポット作型で1月26日と平年より9日遅れた。「とちあいか」は夜冷作型で1月1日と平年よりも13日遅く、ポット作型で12月28日と9日早かった。

着花数は、「とちおとめ」夜冷作型で21花と平年より0.7花少なく、ポット作型では20.5花と2.0花少なかった。「とちあいか」は13~15花程度で平年より2~3花多かった。「スカイベリー」は平年並であった。

12月上旬まで高温傾向で推移し、根の動きが停滞気味であったことから、「とちおとめ」では出蕾期からチップバーン、がく焼けの発生が多かった。

二次腋花房

開花始期は「とちおとめ」の夜冷作型で1月17日と平年より3日早く、ポット作型作型で2月10日と3日遅かった。「とちあいか」は二次腋花房の開花始期は夜冷作型で12月22日と平年より9日遅く、ポット作型作型で1月1日と9日早かった。

暖候期以降

気温は3月~4月が平年より高く、5月は平年並みで推移した。3月に収穫のピークがあり、4月上~中旬は成り疲れから出荷量の減少が見られた。5月は寒暖差が激しく、品質等から収穫を早めに終了する生産者もいた。

病害虫は、アザミウマ類、ナミハダニ、灰色カビ病、うどんこ病が散見され、平年並の発生程度であった。

出荷量は、1月と4月に減少があったものの、最終的には昨年産並となった。

【令和5(2023)年産親株～育苗(平成並み 令和4(2022)年4月～令和4(2022)年8月)】

親株の春植えは3月中旬頃(一部秋植え)から開始された。気温は高く推移したことから、空中採苗等の親株の生育は順調で、ランナーの初期発生も概ね良好だった。特に「とちあいか」のランナーの発生状況は良好で、「とちおとめ」よりランナー発生数が多い傾向であった。

5月～6月にかけて降水量が少なく、平成より気温が高く推移し、一部で先枯れ症が発生したが、ランナー発生は概ね良好だった。病害虫の発生は、うどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類が散見された。梅雨入りは6月6日頃(平成6月7日頃)であり、平成よりも1日早かった。

ポット受け作業は例年同様、6月上旬頃から、採苗・仮植(挿し苗)は6月中旬～下旬から、山上げは7月上旬から開始された。

採苗、仮植後の生育は、6月下旬の高温により一部で活着不良が発生したが、その後はポット受、挿し芽とも生育は順調であった。挿し芽の一部でトロケ等が見られた。

梅雨明けは7月23日頃(平成7月19日頃)であり、平成に比べ4日遅かった。やや高温で推移し、炭疽病、萎黄病の発生は平成並みであり、うどんこ病やハダニ類の発生が散見された。

夜冷育苗の処理は、7月下旬から開始され、処理開始時期は平成並みであった。

8月に入り高温や降水量が多かった影響から一部炭疽病の発生が見られ、ハダニ類も散見された。また、不時出蕾による心止まり株の発生が見られた。

高温等の影響により、苗の生育停滞が見られ、定植時の根量は平成より少なく、クラウンの充実も平成並み～やや悪かった。

② トマト

・令和3(2021)年産冬春トマト(並 生育期間:令和3(2021)年7月～令和4(2022)年7月)

7月中旬に梅雨が明け、8月上旬までは晴天に恵まれ、この時期に太陽熱を利用した消毒が行われたほ場では効果が期待できた。一方、8月中旬から9月中旬にかけては、日照不足や低温が続き、太陽熱を利用した土壌消毒の効果には不安が残った。

促成長期どり作型は、早い作型では8月上旬から定植が行われ、定植ピークは8月下旬となった。最近の8・9月の猛暑による生育、着果不良等を回避するため、定植時期をやや遅らせる傾向が見られた。8月中旬からの日照不足と低温により活着は順調で、やや軟弱徒長ぎみの生育となったが、着果も良く、順調に生育した。黄化葉巻病に対する耐病性品種として「かれん」や「麗妃」の導入が更に多くなり、促成長期どり作型の約半分を占めるまでになった。

出荷は、10月中旬から始まったが、9月中旬までの低温や晩生種の作付けにより、例年よりやや遅れる傾向となった。8・9月の低温により低段の着果は良く、品質も良かった。9月下旬以降は、晴天に恵まれ日照時間も多く、気温も高く推移したことから、生育は順調で果実肥大も良かった。

促成(冬春)作型は、例年どおり11月上旬まで定植が行われたが、生育は順調で1月中旬からの出荷となった。黄化葉巻病に対する耐病性品種として「桃太郎ホープ」や「かれん」、「麗妃」の導入が多くなり、促成作型の約3割を占めるまでになった。

年明け後の促成長期どり作型、促成作型ともに、9月下旬以降晴天続きとなり日照時間が確保されたことから生育は順調で、果実肥大も良かった。

年明け後の促成長期どり作型、促成作型の生育は、草勢がやや弱い傾向で、小玉果や空洞果も見られ、日照時間が確保されていたものの果実肥大には結びつかなかった。黄変果の発生は、例年より少ない傾向にあった。出荷終了は、単価安を補うために例年より1週間程度延長した産地もあり、7月上旬まで続いた。病害虫の発生状況については、黄化葉巻病の発生は県内全

体で少ない傾向となった。定植始めにはすすかび病、疫病、株腐病、茎えそ細菌病、軟腐病、うどんこ病、青枯病、センチュウ類被害などの発生は見られたが、全体的に少ない傾向だった。

- ・夏秋トマト（並 生育期間：令和4(2022)年5月～9月）

定植初期の生育は概ね順調で、平年並の作柄であった。

6月下旬から晴れて高温の日が続いたことから着果不良が多く、その後、7月中旬以降、曇雨天の日が続き、軟弱徒長の生育となった。梅雨明け後の7月下旬からは高温となり、一部着果不良等が見られた。また、8月中旬以降の低温、日照不足により、着色の遅れや裂果の発生がやや多く見られた。

病害虫の発生状況は、コナジラミ類やうどんこ病、疫病等の発生が見られた。

- ・令和4(2022)年産冬春トマト（並 生育期間：令和4(2022)年7月～令和5(2023)年1月）

7月下旬に梅雨が明け高温の日が続いていたが、8月から9月上旬は周期的に天気が変わり、曇雨天が多く、この時期に太陽熱を利用した消毒が行われたほ場では不安が残った。

促成長期どり作型は、早い作型では7月下旬から定植が行われ、定植ピークは8月下旬となった。8月から9月上旬の曇雨天の影響により活着は順調であったが、やや軟弱徒長ぎみの生育となったが、着果も良く、順調に生育した。黄化葉巻病に対する耐病性品種として「かれん」や「麗妃」の導入が更に多くなり、促成長期どり作型の半分以上を占めるまでになった。

出荷は、10月上旬から始まったが、晩生種の作付けにより、例年よりやや遅れる傾向となった。低段の着果は良く、品質も良かったものの、小玉傾向で裂果の発生が平年より多かった。10月から11月は、曇雨天の日が多く日照時間が少なかったことから、生育はやや徒長ぎみの生育となった。着果は良好であったが引き続き小玉傾向となった。

促成（冬春）作型は、例年どおり11月上旬まで定植が行われたが、生育は順調で1月中旬からの出荷となった。黄化葉巻病に対する耐病性品種として「かれん」の導入が多くなり、促成作型の約2割を占めるまでになった。

年明け後の促成長期どり作型、促成作型ともに、10月以降曇雨天が続いたことから生育はやや徒長ぎみとなったが、果実肥大は順調となった。

病害虫の発生状況については、黄化葉巻病の発生は県内全体で少ない傾向となった。定植始めにはすすかび病、疫病、茎えそ細菌病、うどんこ病、青枯病、センチュウ類被害などの発生は見られ、1月下旬以降灰色かび病の発生が散見された。

③ きゅうり

- ・早熟・普通夏どり（並 生育期間：令和4年(2022)年3月～8月）

雨よけ作型の生育は順調で、5月から出荷開始となった。

露地栽培については、5月の定植以降、曇雨天の影響で生育は遅れ気味となったが、生育は概ね順調で、出荷も順調となった。6月下旬から7月上旬の高温・乾燥の影響で草勢の低下が一時散見されたが生育への大きな影響はなかった。

病害虫の発生は、アザミウマ類による黄化えそ病が目立ったが、黒星病や斑点細菌病の発生は前年に比較すると少なかった。

- ・抑制秋どり（並 生育期間：令和4(2022)年7月～12月）

7月から8月にかけて定植が行われたが、8月から9月上旬の日照不足により生育がやや遅

れたものの、出荷量は平年並みとなった。10月以降は曇雨天の影響で平年より出荷量はやや少なかった。

病害虫の発生状況は、8月から9月にアザミウマ類による黄化えそ病が発生、コナジラミ類も見られた。また、べと病、褐斑病、モザイク病の発生も多かった。10～11月には、べと病、ハダニ類の発生が目立った。

・促成冬春どり（並 生育期間：令和4(2022)年11月～令和5(2023)年2月)

定植以降、晴天に恵まれ生育は順調で、12月から順調な出荷開始となった。1月中旬からの低温により生育はゆっくりとなったが、日照時間は確保され、現在も順調な生育が続いている。

病害虫等の発生については、一部でべと病や要素欠乏症状も見られた。

④ いら

・2年株（並 生育期間：令和4(2022)年3月～令和4(2022)年10月)

2年株（前年度定植株）の収穫は、新植の2番刈り以降の生育が細かったため、3月以降2年株への切り替えが進み、3月が高温で経過したことから4月から本格的に開始された。抽だいは例年より遅れ8月上旬に多くなった。

病害虫の発生状況は、ネダニ類の被害が例年に比べ早くから発生し、夏場に白絹病、秋にさび病、年間を通してアザミウマ類等が見られた。

・1年株（並 生育期間：令和4(2022)年3月～令和4(2023)年2月)

春まきは、3月上旬から下旬にかけて順次は種が行われた。一部の品種で発芽揃いが遅れたが、その後は概ね順調な生育となった。

定植作業は、5月上旬から始まったが定期的な降雨があったことから活着は順調であったが、定植作業の遅延が散見された。6月下旬から7月上旬の高温・乾燥、8月からの高温の影響により生育は停滞傾向となった。アザミウマ類、白絹病の発生がやや早くから見られた。

9月以降の生育は順調に経過したが、10月の日照不足の株の充実は例年に比べるとやや物足りない状況だった。

10月～12月中旬まで温暖傾向で推移したため、5℃以下低温遭遇時間は平年より遅く、捨て刈り時期は例年に比べ遅れた。また、1番刈りは葉幅の広いいらが収穫できたが、2番刈り以降は1番刈りに比べ葉幅が細い傾向となった。

⑤ ねぎ（秋冬）（並～やや良 生育期間：令和4(2022)年3月～12月)

は種後の苗の生育は、順調で、定植作業も例年通り概ね順調に行われた。

6月下旬から7月上旬は高温・乾燥、8月からの高温の影響により生育は停滞した。外気温の下がってきた9月下旬以降の生育は例年程度まで回復し、暖秋の影響で葉鞘茎も太くなり、最終的には良好な生育となり出荷は順調であった。

病害虫については、べと病、白絹病、黒斑病、アザミウマ類、ネギハモグリバエ等の発生が見られた。また、黒腐菌核病の発生ほ場も散見された。

⑥ たまねぎ（並～やや良 生育期間：令和3(2021)年9月～令和4(2022)年6月)

は種後の苗の生育は、曇雨天が続きやや軟弱徒長となった。

定植は、10月下旬から11月中旬にかけて順調に行われた。定植後は、降雨がなく、乾燥により

2月中旬まで生育は停滞し、地上部の枯れが顕著だった。

3月以降は、降雨と気温上昇により生育は回復した。特に、2月中旬～4月上旬までは気温が高く推移したことから生育が一気に進み、4月は平年並の生育となった。

早生品種は、平年並の作柄となり、中生、晩生品種の生育は順調に進み、玉肥大も良好で作柄は良となった。

病害虫の発生状況については、定植後から2月中旬までは、小雨・乾燥により発生は見られなかったが、4月以降はべと病の発生がやや多く見られ、アザミウマ類の発生も早い時期から見られた。

(3) 果樹

① なし (並)

開花盛期は、平年より3～5日早かった。4月初旬に低温だったが人工受粉により結実が確保された。果実は肥大初期から収穫期までやや小さかった。収穫盛期は、幸水で平年より1日遅く、豊水で平年同日、にっこりで同10日早かった。収穫時の果実重は、幸水、豊水では平年より大きかった。生理障害のみつ症や裂果等は少なかった。黒星病はやや少、赤星病は平年並みの発生であった。一部のほ場では炭疽病がやや多く発生した。ハダニ類、カメムシ類は多、アブラムシ類は平年並み、ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類は少ない発生であった。

② ぶどう (並)

県南部におけるハウスの出荷始めは前年より1日早い5月15日であった。露地の巨峰は開花盛期が平年より8日早く、無核粒の混入が散見された。6月下旬の高温によりハウスでは果粒軟化、雨よけ・露地では果粒の日焼けが散見された。露地の収穫盛は平年より13日早く、6月中下旬の高温少雨等により果房重は小さかったが着色は平年並だった。黒とう病、晩腐病、灰色かび病は少、べと病はやや少ない発生であった。害虫の発生は概ね少なかった。

③ りんご (並)

ふじの開花盛期は、平年より5日早く、収穫盛期は平年より3日遅かった。収穫時の果実重は平年よりやや小さかった。斑点落葉病、褐斑病の発生は多く、輪紋病はやや多い発生であった。ナシヒメシンクイ、ハマキムシ類、ハダニ類は少ない発生であった。

(農業試験場)

樹種名	品種名	開花盛		収穫盛		果実重	
		月/日	平年差 (日)	月/日	平年差 (日)	g	平年比 (%)
なし	幸水	4/16	-5	8/31	+1	493	106
	豊水	4/13	-4	9/16	±0	593	115
	にっこり	4/11	-3	10/17	-10	969	96
ぶどう	巨峰	5/31	-8	9/2	-13	242	-
りんご	ふじ	4/21	-5	11/21	+3	316	96

注：開花期、収穫期の平年差の-は、早くなったことを示す。

なし・りんごは2011～2020年の直近10年間の平均。ぶどうは1991～2020年の30年間の平均。

(4) 花き

きく（並）

1～2月は平年より気温が低かったが日照時間が多く、3～5月は順調に気象が推移したため、1～6月の生育は概ね順調であった。6月下旬～7月は平年より高温に推移したため7～9月に一部で開花遅延、花の退色、葉焼け症状がみられた。10月上旬の低温、寡日照の影響で年末出荷作型の初期生育はやや遅れたが年末には回復した。白さび病はやや少ない発生であった。萎凋病、フザリウム立枯病は一部で発生した。ハダニ類は平年並み、アザミウマ類はやや少、アブラムシ類はやや多、ハスモンヨトウは少ない発生であった。

2) 気象経過 (令和4(2022)年1月～令和4(2022)12月：宇都宮)

(気象概況は県内全般の概況。平均気温・降水量・日照時間のデータは宇都宮地方気象台の観測値で、() は平年差または平年比、[] は階級区分。平年値は1991～2020年のデータを使用。宇都宮地方気象台「栃木県気象年報」より抜粋)

- 【1月】 冬型の気圧配置や高気圧に覆われることが多かった。下旬は前線や低気圧が本州南岸を進んだことで曇りの日もあった。上旬から中旬にかけてと下旬後半は寒気が流れ込みやすかった。
平均気温 : 2.2 °C (-0.6 °C) [低い]
降水量 : 5.0 mm (13 %) [少ない]
日照時間 : 230.8 h (109 %) [多い]
- 【2月】 上旬と、中旬の終わりから下旬にかけては、冬型の気圧配置となることが多く寒気が流れ込みやすかったため、気温が低くなった。10日頃から20日頃にかけては南岸低気圧がたびたび通過して雪や雨が降ったが、高気圧が通過して晴れる日もあったため、日照時間はかなり多くなった。
平均気温 : 3.1 °C (-0.7 °C) [低い]
降水量 : 26.0 mm (68 %) [平年並]
日照時間 : 221.5 h (115 %) [かなり多い]
- 【3月】 シベリア高気圧の勢力が平年より弱く、大陸からの寒気の影響を受けにくかった。また、中旬には日本海を通る低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだ時期があったため、気温は高かった。移動性高気圧に覆われて晴れた日が多く、低気圧の影響を受けにくかったため、日照時間は多かった。
平均気温 : 9.1 °C (+1.7 °C) [高い]
降水量 : 79.5 mm (91 %) [平年並み]
日照時間 : 206.1 h (106 %) [多い]
- 【4月】 前半を中心に高気圧に覆われて晴れたことや暖かい空気が流れ込んだため、気温はかなり高かった。後半は寒気と暖気の影響を交互に受けたため、気温の変動が大きかった。また、前線や低気圧が本州南岸付近をたびたび通過した影響でまとまった降水となった日もあった。
平均気温 : 14.3 °C (+1.5 °C) [かなり高い]
降水量 : 139.0 mm (114 %) [平年並]
日照時間 : 172.4 h (93 %) [平年並]
- 【5月】 北日本を中心に高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かったが、本州南岸を通過した低気圧や前線の影響を受けた時期があった。26日から27日にかけては、日本海を東進した低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響もあり、27日は北部で日降水量が100mm以上となった所があった。
平均気温 : 17.8 °C (±0.0 °C) [平年並]
降水量 : 131.0 mm (88 %) [平年並]
日照時間 : 196.6 h (112 %) [多い]
- 【6月】 月の前半はオホーツク海高気圧の影響などで冷たい空気が流れ込んだために気温が平年を下回ったが、月の後半は太平洋高気圧が強まって暖かい空気が流れ込みやすかったため平年を上回り、特に下旬は記録的な高温となった。また下旬には太平洋高気圧の東・西日本への張り出しが強まって梅雨前線が北上したため、低気圧や梅雨前線の影響を受けにくかった。
平均気温 : 22.2 °C (+1.0 °C) [高い]
降水量 : 83.5 mm (48 %) [かなり少ない]
日照時間 : 145.0 h (122 %) [多い]

【7月】 上旬と下旬は高気圧に覆われて晴れた日があったが、上旬の中頃から下旬の中頃にかけては台風第4号や低気圧、前線、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多かった。このため、月降水量は多くなった所があった。

平均気温 : 26.6 °C (+1.8 °C) [かなり高い]

降水量 : 259.5]mm (120]%) [多い]

日照時間 : 133.9 h (113 %) [平年並]

※] は資料不足値 : 統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています。

【8月】 上旬は太平洋高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線などの影響を受けやすかったため曇りや雨の降った日が多かった。13日は伊豆半島に上陸した台風第8号の影響を受けた。また、27日から28日は前線に向かって流れ込んだ暖かく湿った空気の影響で大雨となった所があった。

平均気温 : 26.6 °C (+0.6 °C) [平年並]

降水量 : 89.5)mm (45 %) [かなり少ない]

日照時間 : 121.5 h (86 %) [少ない]

※) は準正常値 : 統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値(資料が欠けていない)と同等に扱います。

【9月】 前線や湿った空気、台風などの影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。中旬の終わりは台風第14号の影響で大雨となった所があり、下旬の前半は台風第15号の影響で大雨となった所があった。暖かい空気が流れ込みやすかったため、月平均気温は高かった。

平均気温 : 23.6 °C (+1.2 °C) [高い]

降水量 : 293.5 mm (135 %) [多い]

日照時間 : 130.8 h (109 %) [多い]

【10月】 上旬は低気圧や前線、湿った空気の影響を受けやすかったため、曇りや雨の日が多かった。中旬から下旬は高気圧に覆われやすく、晴れた日が多かった。上旬の後半と中旬の終わり、下旬の中頃に強い寒気が流れ込んだため、気温の変動が大きかった。

平均気温 : 16.0 °C (-0.7 °C) [低い]

降水量 : 106.0 mm (61 %) [平年並]

日照時間 : 143.8 h (102 %) [平年並]

【11月】 上旬から中旬にかけて高気圧に覆われて晴れた日が多かったが、下旬は低気圧や前線の影響をたびたび受けたため、天気は短い周期で変わった。寒気の影響が弱く、低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んだ時期もあったため、月平均気温は多くの地点でかなり高かった。

平均気温 : 12.4 °C (+1.8 °C) [かなり高い]

降水量 : 60.5 mm (85 %) [平年並]

日照時間 : 180.1 h (109 %) [多い]

【12月】 冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、北部山地では大雪になった日もあった。また、日本付近に寒気が流れ込んだ影響を受けた。

平均気温 : 5.0 °C (-0.1 °C) [平年並]

降水量 : 31.0 mm (81 %) [平年並]

日照時間 : 188.3 h (95 %) [少ない]

【令和4年(2022年)の関東甲信地方の梅雨入り・明け】

梅雨入り : 6月6日ごろ (平年 : 6月7日ごろ 昨年 : 6月14日ごろ)

梅雨明け : 7月23日ごろ (平年 : 7月19日ごろ 昨年 : 7月16日ごろ)

梅雨期間(6/6-7/22)の降水量 : 240.5)mm (平年 315.0 mm)

梅雨期間の降水量平年比 : 76 %

3) 気象表 (宇都宮、令和4(2022)年1月~令和4(2022)12月)

月	半 旬	平均気温		最高気温		最低気温		日照時間		降水量	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
1 月	1	1.0	3.1	7.8	9.1	-4.2	-1.9	46.5	35.0	0.0	4.6
	2	2.0	2.9	8.1	8.8	-3.3	-2.1	31.4	34.6	--	5.3
	3	2.6	2.7	7.4	8.5	-1.5	-2.2	29.4	33.8	5.0	6.2
	4	2.0	2.7	8.5	8.3	-3.2	-2.2	41.5	32.8	0.0	6.5
	5	2.1	2.7	7.3	8.3	-3.4	-2.2	29.8	33.2	0.0	6.8
	6	3.2	2.8	9.3	8.6	-1.8	-2.3	52.2	41.7	0.0	7.9
	A	2.2	2.8	8.1	8.6	-2.9	-2.2	230.8	211.7	5.0	37.5
2 月	1	2.5	2.9	9.2	8.8	-3.1	-2.2	45.0	35.4	0.0	5.4
	2	1.8	3.2	7.2	9.1	-3.0	-2.0	34.0	34.8	9.0	5.3
	3	3.3	3.6	8.7	9.5	-0.6	-1.6	27.7	34.5	7.0	7.3
	4	3.9	4.1	10.5	10.0	-1.7	-1.1	34.4	34.0	10.0	8.8
	5	2.1	4.7	8.8	10.6	-3.5	-0.5	48.6	33.3	--	9.3
	6	6.5	5.2	14.8	11.0	-1.1	0.1	31.8	19.2	--	6.3
	A	3.1	3.8	9.5	9.7	-2.2	-1.3	221.5	193.3	26.0	38.5
3 月	1	7.8	5.2	14.9	11.0	1.4	0.1	44.0	25.6	0.0	8.4
	2	6.1	5.7	12.4	11.5	0.9	0.6	38.6	31.1	0.0	12.1
	3	11.9	6.3	20.3	12.2	5.7	1.0	40.4	31.2	1.0	12.6
	4	8.7	7.0	15.3	13.0	4.2	1.5	20.6	32.0	55.0	11.0
	5	6.4	7.8	12.6	13.8	0.9	2.2	37.1	31.9	16.5	11.3
	6	12.7	8.4	18.1	14.3	8.0	3.0	25.4	31.5	7.0	14.5
	A	9.1	7.4	15.7	13.4	3.7	2.1	206.1	194.2	79.5	87.7
4 月	1	8.3	9.3	13.2	15.2	4.1	3.8	20.3	38.1	43.0	22.3
	2	15.4	10.4	21.8	16.4	9.5	4.9	44.6	31.9	0.0	20.8
	3	16.1	11.3	22.8	17.4	10.8	5.9	32.5	31.3	9.0	21.5
	4	12.2	12.3	17.6	18.4	8.0	6.9	22.0	30.3	27.5	20.3
	5	18.3	13.3	24.3	19.3	12.1	8.0	33.5	29.3	21.5	19.1
	6	15.6	14.2	20.6	20.1	11.2	9.0	19.5	29.7	38.0	19.9
	A	14.3	12.8	20.0	18.8	9.3	7.4	172.4	184.9	139.0	121.5
5 月	1	14.6	15.1	21.0	21.1	8.5	9.9	44.7	31.1	23.5	21.0
	2	16.6	16.1	22.3	21.9	12.2	10.9	33.9	30.8	6.5	20.8
	3	18.3	16.7	22.8	22.3	14.3	11.7	16.8	28.9	32.5	20.0
	4	17.5	17.2	22.8	22.7	12.4	12.4	29.9	28.0	5.0	21.6
	5	19.1	18.0	24.3	23.5	15.1	13.2	26.0	28.6	25.0	25.6
	6	20.4	18.7	25.9	24.3	15.1	14.1	45.3	28.9	38.5	27.6
	A	17.8	17.8	23.3	23.3	13.0	13.0	196.6	175.4	131.0	149.2
6 月	1	19.9	19.4	25.7	24.8	14.9	14.9	35.7	33.5	16.5	29.5
	2	16.6	19.9	20.1	25.2	14.2	15.6	2.2	26.0	49.0	22.8
	3	18.8	20.3	23.1	25.3	15.2	16.3	15.7	22.4	16.5	26.6
	4	23.3	20.8	28.7	25.6	18.8	17.1	21.3	19.1	0.0	31.6
	5	25.3	21.4	30.5	26.0	21.6	17.9	20.0	17.5	1.0	33.9
	6	29.5	22.0	36.1	26.4	24.2	18.6	50.1	16.1	0.0	33.0
	A	22.2	21.2	27.4	25.9	18.2	17.4	145.0	118.5	83.0	175.2

A: 合計または平均 平年値は1991~2020年の平均値

月	半 旬	平均気温		最高気温		最低気温		日照時間		降水量	
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7 月	1	28.1	22.8	34.2	27.2	23.6	19.4	33.0	15.7	28.5	32.8
	2	26.3	23.5	31.9	28.0	22.7	20.1	31.2	16.5	0.5	35.0
	3	24.4	24.1	27.9	28.6	22.2	20.7	5.7	17.5	87.5	36.8
	4	25.8	24.5	29.8	29.1	22.5	21.1	13.9	18.1	53.0	36.9
	5	27.3	24.9	32.5	29.6	23.5	21.5	29.0	18.9	32.5	35.1
	6	27.6	25.5	33.2	30.3	24.1	22.0	21.1	20.6	57.5	32.6
	A	26.6	24.8	31.6	29.5	23.1	21.4	133.9	118.9	259.5	215.4
8 月	1	27.7	26.2	32.1	31.1	23.9	22.6	26.6	27.3	7.5	35.7
	2	27.6	26.5	33.2	31.6	23.6	22.9	28.5	24.4	0.5	25.6
	3	27.9	26.5	32.2	31.5	24.7	22.9	18.5	24.1	19.0	25.7
	4	26.3	26.3	31.2	31.2	22.7	22.8	21.8	22.9	10.5	30.7
	5	26.4	25.9	30.8	30.8	23.4	22.5	12.4	22.2	0.0	35.7
	6	24.0	25.5	28.8	30.4	21.0	22.1	13.7	21.6	52.0	36.9
	A	26.6	26.0	31.3	30.9	23.1	22.5	121.5	140.9	89.5	198.5
9 月	1	24.6	25.1	28.8	29.9	22.0	21.7	6.2	25.3	7.0	42.0
	2	24.8	24.6	29.2	29.3	21.6	21.2	14.9	20.5	45.5	36.6
	3	24.4	23.9	29.5	28.6	20.8	20.5	34.5	20.1	0.0	41.2
	4	24.6	23.1	29.2	27.7	20.6	19.6	19.7	19.8	65.0	41.9
	5	20.6	21.9	25.1	26.5	17.5	18.4	14.1	19.5	176.0	38.6
	6	22.2	20.8	27.9	25.4	17.7	17.1	41.4	19.5	0.0	33.7
	A	23.6	22.4	28.3	27.0	20.0	18.8	130.8	119.8	293.5	217.2
10 月	1	21.5	19.9	27.2	24.5	16.7	16.2	30.1	20.0	6.5	30.1
	2	14.7	19.2	17.7	23.7	12.4	15.5	5.5	20.0	56.0	31.1
	3	18.0	18.3	22.3	22.9	15.1	14.6	14.5	20.6	9.0	32.9
	4	16.0	17.3	19.8	21.9	12.5	13.4	20.5	21.8	13.0	30.3
	5	14.0	16.2	18.4	20.9	9.8	12.1	20.3	22.7	21.5	26.9
	6	12.4	15.2	19.0	20.0	6.3	10.9	52.9	24.2	--	25.4
	A	16.0	16.7	20.6	21.4	11.9	12.6	143.8	140.3	106.0	174.4
11 月	1	13.9	14.1	19.5	19.2	9.5	9.5	29.8	31.9	2.0	24.1
	2	12.1	13.1	18.8	18.4	6.1	8.3	46.1	27.5	--	13.1
	3	13.5	12.1	18.4	17.4	8.7	7.3	27.7	27.2	7.5	11.2
	4	10.6	11.0	16.2	16.3	5.8	6.2	34.8	27.1	5.0	11.6
	5	12.0	9.9	16.8	15.3	8.6	5.1	27.9	27.8	38.0	12.1
	6	12.3	9.0	16.8	14.4	7.9	4.2	13.8	28.0	8.0	12.4
	A	12.4	10.6	17.7	15.9	7.7	5.7	180.1	165.9	60.5	71.1
12 月	1	6.4	8.2	11.0	13.6	3.2	3.4	14.6	28.0	6.0	11.2
	2	6.4	7.3	12.1	12.7	1.4	2.5	32.2	28.7	3.0	9.1
	3	6.1	6.3	11.4	11.8	1.4	1.4	28.7	29.9	0.5	7.3
	4	3.5	5.4	9.3	11.0	-1.1	0.5	32.1	31.3	0.5	5.7
	5	4.1	4.7	9.2	10.5	0.1	-0.3	26.9	32.5	21.0	5.0
	6	3.7	4.2	10.9	10.0	-2.2	-0.9	53.8	33.5	--	5.4
	A	5.0	5.1	10.6	10.8	0.4	0.2	188.3	197.4	31.0	38.5

A: 合計または平均 平年値は1991～2020年の平均値

第4章 発生予察効率化調査

1 薬剤感受性検定

1) トマトすすかび病菌の薬剤感受性検定結果

(1) 目的

近年、本県のトマト産地において夏期に本病が多発するほ場がみられる。このため、耐性菌発生リスクが高いとされる系統の薬剤について、薬剤感受性検定を行い、効率的な薬剤防除を推進するための基礎資料とする。

(2) 調査方法

① 供試材料

令和2(2020)年5月～令和3(2021)年10月に各農業振興事務所の協力を得て、県内17ほ場から罹病葉を採取し、単孢子分離により計52菌株を得た(表1)。

表1 トマトすすかび病菌採取ほ場及び分離菌株数

採取地	河内		芳賀	下都賀			那須		計
	宇都宮市	上三川町	芳賀町	栃木市	小山市	壬生町	大田原市	那須塩原市	
ほ場数	3	1	1	3	2	1	1	5	17
菌株数	16	2	2	8	4	4	6	10	52

② 検定方法

「植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル2016」の方法を一部改変して行った。表2の6剤すべて菌叢磨砕液を滴下し、最小生育阻止濃度(MIC値)を求める方法で実施した。

ア 供試薬剤

供試薬剤は表2の6剤とし市販農薬を希釈して用いた。アゾキシストロビンは混合剤のためアミスター20フロアブルを代用した。

イ 検定濃度

実用濃度と実用濃度の10分の1の濃度で実施した。アゾキシストロビンは実用濃度が51ppmのため、50ppmを実用濃度の近似値とみなし実施した。

ウ 検定培地の調整

DMI殺菌剤(トリフミゾール、ジフェノコナゾール)はPDA培地、QoI殺菌剤(アゾキシストロビン、ピリベンカルブ)は没食子酸n-プロピルを4mM添加したPDA培地、SDHI殺菌剤(ペンチオピラド、ピラジフルミド)はYB培地を用いて各供試薬剤を添加し、検定濃度になるように調整した。

エ 検定方法

PDA平板培地に予め21日間培養した供試菌株の菌叢周辺部を直径6mmのコルクボーラーで2片打ち抜き、マイクロチューブ内で良く磨砕した後、1mlの滅菌水に混濁し、マイクロピペットを用いて5μlずつ検定培地に滴下した。その後、25℃下で培養し、7日後(QoI殺菌剤は10日後)に菌叢の有無を調べた。検定は2反復で行い、最小生育阻止濃度(MIC値)を求めた。

表2 供試薬剤及び検定濃度

薬剤名	商品名	グループ名	F R A C コード	希釈倍率 (倍)	実用濃度 (ppm)	検定濃度 (ppm)
トリフルミゾール水和剤	トリフミン水和剤	DMI	3	3000	100	10, 100
ジフェノコナゾール水和剤	スコア顆粒水和剤	殺菌剤		2000	50	5, 50
アゾキシストロビン ※	アミスターオプティフロアブル	QoI	11	1000	51	5, 50
ピリベンカルブ水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤	殺菌剤		2000～ 3000		
ペンチオピラド水和剤	アフェットフロアブル	SDHI	7	2000	100	10, 100
ピラジフルミド水和剤	パレード20フロアブル	殺菌剤		2000	100	10, 100

※アゾキシストロビンはアミスターオプティフロアブルの成分として

(3) 結果

検定結果は表3に示し、概要を以下に示した。

① トリフルミゾール水和剤

供試52菌株のうち、供試52菌株全てのMIC値が10ppm以下を示し、最も低い実用濃度（100ppm）以下で生育が抑制された。

② ジフェノコナゾール水和剤

供試52菌株全てのMIC値が5ppm以下を示し、最も低い実用濃度（50ppm）以下で生育が抑制された。

③ アゾキシストロビン

供試52菌株のうち13株のMIC値が50ppm、12株のMIC値が50ppm以上を示した。

④ ピリベンカルブ水和剤

供試52菌株全てのMIC値が20ppm以下を示し最も低い実用濃度（133ppm）以下で生育が抑制された。

⑤ ペンチオピラド水和剤

供試52菌株の全ての株のMIC値が100ppm以上を示し、実用濃度（100ppm）で生育が認められた。

⑥ ピラジフルミド水和剤

供試52菌株の全ての株のMIC値が100ppm以上を示し、実用濃度（100ppm）で生育が認められた。

表3 各薬剤の最小生育阻止濃度（MIC値）での供試菌株数の分布

薬剤名	供試菌株数	最小生育阻止濃度（ppm）別菌株数									実用濃度での生育菌株率(%)
		<5	50	50<	<10	100	100<	<20	200	200<	
トリフルミゾール水和剤	52	-	-	-	52	0	0	-	-	-	0
ジフェノコナゾール水和剤	52	52	0	0	-	-	-	-	-	-	0
アゾキシストロビン※	52	27	13	12	-	-	-	-	-	-	23
ピリベンカルブ水和剤	52	-	-	-	-	-	-	52	0	0	0
ペンチオピラド水和剤	52	-	-	-	0	0	52	-	-	-	100
ピラジフルミド水和剤	52	-	-	-	0	0	52	-	-	-	100

MIC値 <5,<10,<20：実用濃度の1/10で生育しなかった。

-：未検定

50,100,200：実用濃度の1/10で生育したが、実用濃度で生育しなかった。

50<,100<,200<：実用濃度で生育した。

※アゾキシストロビンの実用濃度は51ppm、近似値として50ppmで試験を実施した。

(4) 引用文献

- ・植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル2016（8）ナスすすかび病 植物防疫70：621～624
- ・植物病原菌の薬剤感受性検定マニュアル2016（13）トマト葉かび病菌 植物防疫71：99～108

2) トマト葉かび病菌の薬剤感受性検定結果

(1) 目的

トマト葉かび病の対策として抵抗性品種が利用されているが、ほ場によっては多発する事例も見られている。本県では、平成 27(2015)年に実施した薬剤感受性検定において、耐性菌は確認されなかったが、一部感受性の低下した菌株が認められた。そこで、モニタリング調査により薬剤の効果を確認するため、検定を実施した。

(2) 調査方法

① 供試材料

令和 2 (2020)年11月～令和 3 (2021)年10月に各農業振興事務所の協力を得て、県内24ほ場から罹病葉を採取し、単孢子分離により計50菌株を得た(表 1)。

表 1 トマト葉かび病菌採取ほ場及び分離菌株数

採取地	河内		上都賀	芳賀		下都賀			那須		安足	計
	宇都宮市	上三川町	鹿沼市	真岡市	芳賀町	栃木市	小山市	壬生町	大田原市	那須塩原市	足利市	
ほ場数	2	2	2	4	2	2	2	3	2	2	1	24
菌株数	4	4	6	8	4	6	4	5	4	4	1	50

② 検定方法

「植物病原菌の薬剤感受性マニュアル2016」の方法を一部改変して行った。表 2 の 7 剤すべて菌叢磨砕液を滴下し、最小生育阻止濃度 (MIC値) を求める方法で実施した。

ア 供試薬剤と検定培地の調整

検定培地は PDA、YB 培地とし、供試薬剤の濃度および検定培地は表 2 のとおり作成した。

QoI 殺菌剤 (アゾキシストロビン、ピリベンカルブ) は没食子酸 n-プロピル (以下、PG) を 4 mM 添加した PDA 培地を使用した。検定は実用濃度と実用濃度の 10 分の 1 の濃度で実施した。

イ 検定方法

供試菌株を PDA 平板培地で、25℃、2 週間前培養後、コロニーの先端部分を無菌的に約 5 mm 角に切り出して、800 μl の滅菌水を加えた 1.5 ml のマイクロチューブ内でよく磨砕し、菌叢磨砕液を調整した。マイクロピペットを用いて上澄みを 10 μl 採取し、各薬剤添加培地及び薬剤無添加培地にそれぞれ滴下した。培地上の菌液がおおむね乾燥したことを確認後、25℃、暗黒下で 10 日間培養した。試験は 2 反復で行い、生育の有無により最小生育阻止濃度 (MIC 値) を求めた。

表 2 供試薬剤の濃度及び検定培地

薬剤名	商品名	グループ名	FRAC コード	希釈倍率 (倍)	実用濃度 (ppm)	検定培地
トリフルミゾール水和剤	トリフミン水和剤	DMI剤	3	3000	100	PDA
ジフェノコナゾール水和剤	スコア顆粒水和剤			2000	50	
イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤	バルコートフロアブル	グアニジン	M7		150	
アゾキシストロビン水和剤	アミスター20フロアブル	QoI剤	11	2000	100	PDA (+PG)
ピリベンカルブ水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤				200	
ペンチオピラド水和剤	アフエットフロアブル	SDHI剤	7	2000	100	YB
ピラジフルミド水和剤	パレード20フロアブル					

※QoI剤の検定培地には、没食子酸n-プロピル(PG) 4 mMを添加したPDA培地を使用

(3) 結果

結果は表3に示し、概要を以下に示した。

① トリフルミゾール水和剤（トリフミン水和剤）

供試50菌株のうち、5菌株がMIC値100ppm以上を示し、実用濃度で生育が認められた。

② ジフェノコナゾール水和剤（スコア顆粒水和剤）

供試50菌株のうち、1菌株がMIC値50ppm以上を示し、実用濃度で生育が認められた。

③ イミノクタジナルベシル酸塩水和剤（ベルコートフロアブル）

供試50菌株のMIC値が15ppmでは、17菌株が生育したが、実用濃度（150ppm）では生育が抑制された。

④ アゾキシストロピン水和剤（アミスター20フロアブル）

供試50菌株のMIC値が10ppmでは、46菌株が生育したが、実用濃度（100ppm）では生育が抑制された。

⑤ ピリベンカルブ水和剤（ファンタジスタ顆粒水和剤）

供試50菌株のMIC値が10ppmでは、33菌株が生育したが、実用濃度（200ppm）では生育が抑制された。

⑥ ペンチオピラド水和剤（アフェットフロアブル）

供試50菌株のうち、30菌株がMIC値100ppm以上を示し、実用濃度で生育が認められた。

⑦ ピラジフルミド水和剤（パレード20フロアブル）

供試50菌株のうち、30菌株がMIC値100ppm以上を示し、実用濃度で生育が認められた。

表3 各薬剤の最小生育阻止濃度（MIC値）での供試菌株数の分布（10日目）

薬剤名	供試菌株数	最小生育阻止濃度（ppm）別菌株数											実用濃度での生育菌株率（%）	
		<5	50	50<	<10	100	100<	<15	150	150<	<20	200		200<
トリフルミゾール水和剤	50	-	-	-	21	24	5	-	-	-	-	-	-	10
ジフェノコナゾール水和剤	50	8	41	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
イミノクタジナルベシル酸塩水和剤	50	-	-	-	-	-	-	33	17	0	-	-	-	0
アゾキシストロピン水和剤	50	-	-	-	4	46	0	-	-	-	-	-	-	0
ピリベンカルブ水和剤	50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	33	0	0
ペンチオピラド水和剤	50	-	-	-	20	0	30	-	-	-	-	-	-	60
ピラジフルミド水和剤	50	-	-	-	20	0	30	-	-	-	-	-	-	60

MIC値 <5, <10, <15, <20：実用濃度の1/10で生育しなかつた。

-：未検定

50, 100, 150, 200：実用濃度の1/10で生育したが、実用濃度で生育しなかつた。

50<, 100<, 150<, 200<：実用濃度で生育した。

(4) 引用文献

- ・栃木県農業環境指導センター(2015) トマト葉かび病薬剤感受性検定結果
- ・植物病原菌の薬剤感受性マニュアル 2016(13) トマト葉かび病菌 植物防疫 71：99～108

3) ナシ炭疽病菌の薬剤感受性検定結果

(1) 目的

近年、本県のなし産地においてナシ炭疽病の発生が問題となっている。このため、耐性菌発生リスクが高いとされるQoI剤（FRACコード:11）について、薬剤感受性検定を行い、効率的な薬剤防除を推進するための基礎資料とする。

(2) 検定概要

① 供試材料

令和3（2021）年9月に各農業振興事務所および農業試験場の協力を得て、ナシ炭疽病罹病葉を採取した。単孢子分離を行って得られた菌株のうち、CgInt(Mills *et al.*, 1992)とITS4(White *et al.*, 1990)をプライマーとしたPCR法により、ナシ炭疽病菌 (*Colletotrichum gloeosporioides*) であることを確認した24地点の計48菌株を供試した（表1）。

② 検定方法

長崎県病害虫防除所が実施した方法(2014)を一部改変して行った。供試3剤（表2）について、菌叢磨砕液を滴下し、最小生育阻止濃度（MIC値）を求める方法で実施した。

ア 供試薬剤と検定培地の調整

検定培地は没食子酸 n-プロピル（以下、PG）を4 mM 添加した PDA 培地とし、供試薬剤の濃度は表2のとおり作製した。検定は実用濃度と実用濃度の10分の1の濃度で実施した。

イ 検定方法

供試菌株を PDA 平板培地で、25℃、4日間前培養後、コロニーの先端部分を無菌的に直径6 mm のコルクボーラーで2片打ち抜き、1ml の滅菌水を加えた1.5ml のマイクロチューブ内でよく磨砕し、菌叢磨砕液を調整した。マイクロピペットを用いて上澄み5 μl 採取し、各薬剤添加培地及び薬剤無添加培地にそれぞれ滴下した。培地上の菌液がおおむね乾燥したことを確認後、25℃、暗黒下で7日間培養した。試験は2反復で行い、生育の有無により最小生育阻止濃度（MIC 値）を求めた。

表1 供試菌株の採取ほ場および菌株数

採取地	河内	上都賀	芳賀		下都賀		塩谷南那須		那須	安足	計
	宇都宮市	鹿沼市	芳賀町	市貝町	小山市	栃木市	那須烏山市	高根沢町	大田原市	佐野市	
ほ場数	5	2	2	1	1	1	4	4	3	1	24
菌株数	10	4	4	2	2	2	8	8	6	2	48

表2 供試薬剤の濃度

薬剤名	商品名	希釈倍率 (倍)	実用濃度 (ppm)
クレソキシムメチル水和剤	ストロビードライフフロアブル2000		250
ピリベンカルブ水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤	3000	133
アゾキシストロピン水和剤	アミスター10フロアブル	1000	100

(3) 結果

① クレソキシムメチル水和剤

供試48菌株のうち、那須地区1ほ場および塩谷南那須地区3ほ場から分離した4菌株がMIC値250ppmを超え、実用濃度での生育が認められた。

② ピリベンカルブ水和剤

供試48菌株のうち、塩谷南那須地区1ほ場から分離した1菌株がMIC値100ppmを超え、実用濃度での生育が認められた。

③ アゾキシストロビン水和剤

供試48菌株のうち、塩谷南那須地区2ほ場から分離した2菌株がMIC値100ppmを超え、実用濃度での生育が認められた。

表3 各薬剤の最小生育阻止濃度 (MIC値) での供試菌株数の分布 (7日目)

薬剤名	供試菌株数	最小生育阻止濃度 (ppm) 別菌株数						実用濃度での生育菌株率 (%)
		<10	100	100<	<25	250	250<	
クレソキシムメチル水和剤	48	-	-	-	43	1	4	8.3
ピリベンカルブ水和剤	48	47	0	1	-	-	-	2.1
アゾキシストロビン水和剤	48	45	1	2	-	-	-	4.2

ピリベンカルブ水和剤について、実用濃度の近似値として100ppmで実施した。

MIC値

<10, <25 : 実用濃度の1/10で生育しなかった。

100, 250 : 実用濃度の1/10で生育したが、実用濃度では生育しなかった。

100<, 250< : 実用濃度で生育した。

(4) 引用文献

- ・ 栃木県農業環境指導センター (2020) ブドウ晩腐病薬剤感受性検定結果
- ・ 長崎県病害虫防除所 (2014) ブドウ晩腐病の薬剤耐性菌検定結果
- ・ Milles, P. R. et al (1992) FEMS Microbiol. Lett. 98 :137-144
- ・ White, T. J. et al (1990) Academic Press. UK. :315-322

4) イネいもち病菌の QoI 剤に対する耐性菌発生状況調査結果

(1) 目的

イネいもち病の QoI 剤(ストロビルリン系殺菌剤)耐性菌については、栃木県では平成 28(2016)

年度に実施した耐性菌発生状況調査により、矢板市で初確認され、平成 29(2017)年度は矢板市、大田原市で、令和元年(2019)年度は宇都宮市と鹿沼市で確認された(栃木県農業環境指導センター(2016, 2017, 2019))。

これらを受け、現在本県では本病 QoI 剤耐性菌のまん延を防止するため、水稻作における QoI 剤の使用制限(本剤を含む箱施用剤使用中止、本田使用 1 回まで)を実施している。今回、その後の耐性菌の分布状況を把握するため、モニタリング調査を実施した。

(2) 検定概要

① 供試材料

令和 3 (2021)年 6 月～令和 4 (2022)年 8 月に、県内 17 市町の水稲ほ場(34 地点)から採取した、いもち病発病葉・発病穂から単孢子分離し、得られた 77 菌株を供試した。

② 検定方法

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(2019)の「殺菌剤耐性イネいもち病菌対策マニュアル<QoI 剤>」の培地検定法に準じて行った。

ア 検定培地の調製

PDA 培地に検定薬剤(アズキシストロビン水和剤(商品名:アミスター20 フロアブル))を 100ppm 添加し、さらに AOX(代替酸化酵素)阻害剤としてサリチルヒドロキシム酸(SHAM)を最終濃度が 1 mM になるように加用し、平板培地を作製した。

イ 薬剤添加培地による薬剤感受性検定

供試菌株をあらかじめ PDA 平板培地上で 7 日間前培養した後、菌叢を直径 4 mm に打ち抜き、菌叢面が培地に接触するように検定培地に置床した。25℃で 3 日間培養後、菌糸生育の有無で判定した。検定は 3 反復で実施した。

(3) 結果

薬剤添加培地による薬剤感受性検定の結果、供試した 77 菌株はすべて感受性菌であった(表 1、2)。

なお、供試菌株のすべてが感受性菌であったため、宮川ら(2013)の PCR-RFLP 法による遺伝子診断は行わなかった。

(4) 引用文献

- ・国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(2019): 殺菌剤耐性イネいもち病菌対策マニュアル<QoI 剤>
- ・宮川典子・富士真(2013): 第 23 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウム講演要旨集: 25-36.
- ・栃木県農業環境指導センター(2016): 平成 28 年植物防疫年報: 218.
- ・栃木県農業環境指導センター(2017): 平成 29 年植物防疫年報: 216-217.
- ・栃木県農業環境指導センター(2019): 令和元年植物防疫年報: 219-220.

表1 令和3(2021)年度に採取したイネいもち病菌のQoI剤耐性菌発生状況

採取市町		調査 ほ場数	供試 菌株数	薬剤検定結果 ¹⁾ (耐性菌検出数 ²⁾ /検定数)
(那須)	那須塩原市	1	1	0/1
	大田原市	4	12	0/12
(塩谷南那須)	那須烏山市	3	8	0/8
	さくら市	1	3	0/3
	高根沢町	1	3	0/3
(芳賀)	益子町	1	2	0/2
(上都賀)	日光市	1	1	0/1
	鹿沼市	2	5	0/5
(下都賀)	下野市	2	5	0/5
	小山市	2	5	0/5
	壬生町	1	5	0/5
	栃木市	2	3	0/3
(安足)	足利市	1	2	0/2
計		22	55	0/55

1) 薬剤検定は3反復で実施した。

2) 薬剤検定では菌糸の生育が認められた場合に耐性菌と判定した。

表2 令和4(2022)年度に採取したイネいもち病菌のQoI剤耐性菌発生状況

採取市町		調査 ほ場数	供試 菌株数	薬剤検定結果 ¹⁾ (耐性菌検出数 ²⁾ /検定数)
(那須)	那須塩原市	1	1	0/1
	大田原市	2	4	0/4
(塩谷南那須)	矢板市	1	1	0/1
	さくら市	1	1	0/1
(芳賀)	茂木町	1	2	0/2
(河内)	宇都宮市	1	4	0/4
	上三川町	1	3	0/3
(下都賀)	壬生町	1	1	0/1
	栃木市	3	5	0/5
計		12	22	0/22

1) 薬剤検定は3反復で実施した。

2) 薬剤検定では菌糸の生育が認められた場合に耐性菌と判定した。

2 気象データを活用したヒメトビウンカ第一世代産卵最盛期の予測（令和4（2022）年）

1) 背景と目的

栃木県内では、ヒメトビウンカが媒介するイネ縞葉枯病の発病が全域に広がり、問題となっている。現在主流となっている箱施用剤による防除は、水田に飛び込む第一世代成虫を対象に行われているが、収量への影響を考慮すると、第二世代幼虫を対象にした本田防除を加えた体系防除が効果的である。

ヒメトビウンカの本田防除時期は、第二世代幼虫発生開始期から増加期（第一世代の産卵最盛日から1週間後までの間）とされている。そこで、気象庁の発表する気象予報を活用した有効積算温度計算シミュレーションを行い、産卵最盛日の予測を行う。

2) 調査方法

有効積算温度計算シミュレーションを用いたヒメトビウンカの発生時期の予測に用いる発育零点、発育上限温度、発育停止温度、および産卵から成虫までの有効積算温度は八谷(1997)の報告に従う。すなわち、発育零点 11℃、発育上限温度 29℃、発育停止温度 40℃、産卵～ふ化 110 日度、2 齢化 150.5 日度、3 齢化 183.1 日度、4 齢化 218.6 日度、5 齢化 258.3 日度、雌羽化 320.0 日度とする。また、産卵前期間は野田(1989)の 54.3 日度を用い、平江(2016)を参考に、1 月 1 日時点で 4 齢と 5 齢の中央点（有効積算温度 238.45 日度）で越冬すると仮定して計算を行う。

シミュレーションは、J P P-N E T の有効積算温度計算シミュレーション使用し、気象庁発表の 1 か月予報を反映させる。

植物防疫ニュースを活用し本田防除タイミングの周知を図る。黄色粘着トラップ調査結果から、ヒメトビウンカのは場での発生状況を振り返り予測の検証を行う。

また、農研機構が提供しているメッシュ農業気象データを用いた予測結果との比較も行う。メッシュ農業気象データによる予測は、奥田ら(2019)の手法に準じて、Python で作動する自作プログラムにより行った。

3) 結果

宇都宮、小山、大田原（追加）の 3 地点で 6 月 8 日に有効積算温度計算シミュレーションによる予測を行った。予測に用いる 6 月 8 日以降の気温は、気象庁発表の 1 か月予報の補正值-0.2℃で平年値を補正した。1 か月予報による平年値補正で産卵最盛日を予測した場合と平年値を使用した場合とを比較すると、補正温度が小さいことから予測日には変化がなかった（表 1）。

ヒメトビウンカの黄色粘着板への誘殺結果から、第一世代成虫の 50%誘殺日は、宇都宮では 6 月 4 日、小山では 5 月 26 日、大田原では 7 月 1 日と判断した（表 1、図 1、図 2、図 3）。宇都宮では第一世代成虫の発生ピークが判然としなかった。

発生予測日と実際の発生消長は宇都宮では 6 日、小山では 12 日の差で、予測よりも発生が早かった。一方、大田原では 14 日の差があり、予測よりも発生が遅かった。

宇都宮では第一世代のピークが判然としなかった。

1 か月予報の補正温度が小さかったことから、平年値予測と補正後の予測で、予測日は変化しなかった。

本年のアメダスデータによると、3地点の3月から7月の平均気温は、平年値よりも0～2.1℃高かった。過去2か年の予測においても、宇都宮及び小山では第一世代成虫が予測よりも早く出現しており、本年も同様の結果であった。一方、大田原では予測よりも第一世代成虫の発生が遅くなった。

この要因として、大田原の日平均気温を日別に見ると6月8日から6月16日の間で平年値を平均1.7℃下回っており、6月17日から7月1日の期間は平均4.4℃上回っていた。このことにより、大田原では、予測よりも発生が遅かったと考えられる。

メッシュ農業気象データを利用して6月7日時点での産卵最盛日を予測した。アメダス地点を含むメッシュ(アメダス地点)及び黄色粘着板を設置した地点を含むメッシュ(粘着板設置地点)のそれぞれの地点において実施した。

結果として、アメダス地点、粘着板設置地点における予測日は、宇都宮が6月12日、6月18日、小山が6月10日、6月12日、大田原が6月19日、6月25日であった(表1)。

予想される産卵最盛日として第一世代成虫の50%誘殺日の6日後であると仮定した日と、各地点の予測日を比較すると、アメダス地点では宇都宮と小山の差が小さくなったが、大田原では差が大きくなった。一方、粘着板設置地点では、差がいずれの地点も差がおおきかったが、相対的に大田原が最も差は小さかった。

有効積算温度計算シミュレーションの場合と同様に、気温の推移が平均値からおおきくずれる期間があったことから、予測日との差が大きくなったものと考えられる。

メッシュ農業気象データはアメダス地点によらず予測が可能であることから、より精度の高い予測に向けた検証が必要である。

表1. ヒメトビウンカ第一世代成虫の第一世代羽化最盛日及び産卵最盛日及び水田における第一世代成虫の50%誘殺日

項目	使用データ	宇都宮	平年値との差	小山	平年値との差	大田原	平年値との差
第一世代羽化最盛日 a	平年値	6/10	—	6/7	—	6/17	—
第一世代羽化最盛日 b	1か月予報反映	6/10	0	6/7	0	6/17	0
第一世代成虫 50%誘殺日 A (差 = A-羽化最盛予測日 a または b)		6/4	a -6 b -6	5/26	a-12 b-12	7/1	a +14 b +14
産卵最盛日 c	平年値	6/15	—	6/13	—	6/23	—
産卵最盛日 d	1か月予報反映	6/15	0	6/13	0	6/23	0
産卵最盛日 e (アメダス地点)	メッシュ農業気象データ	6/12	-3	6/10	-3	6/19	-4
産卵最盛日 f (粘着板設置地点)		6/18	+3	6/12	-1	6/25	+2
予想される産卵最盛日 B (第一世代成虫 50%誘殺日+6日と仮定) (差 = B-産卵最盛予測日 c~f)		6/10	c -5 d -5 e -2 f +8	6/1	c -12 d -12 e -9 f +11	7/7	c +14 d +14 e +18 f +12

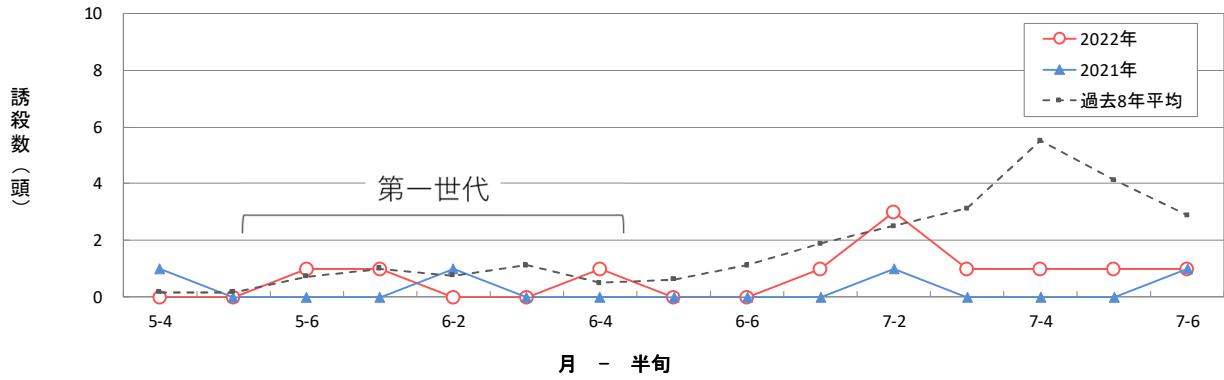


図1 ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数（宇都宮市瓦谷町）

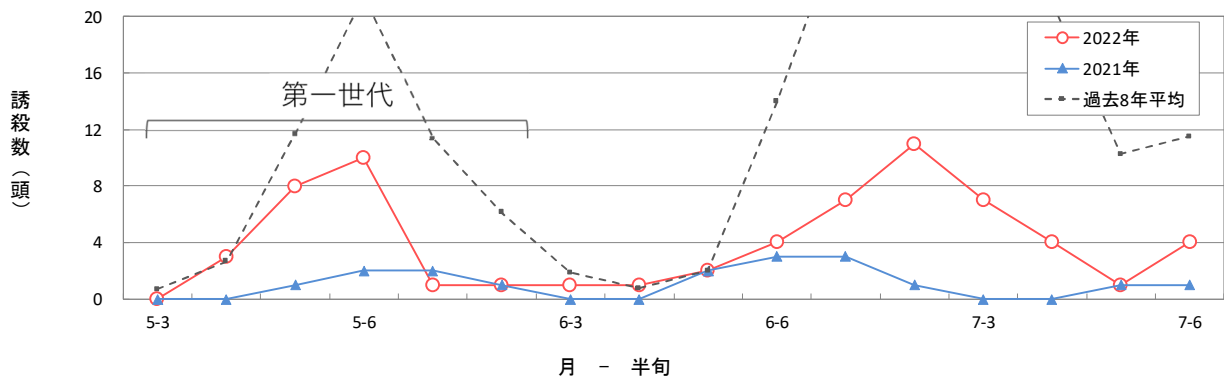


図2 ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数（小山市）

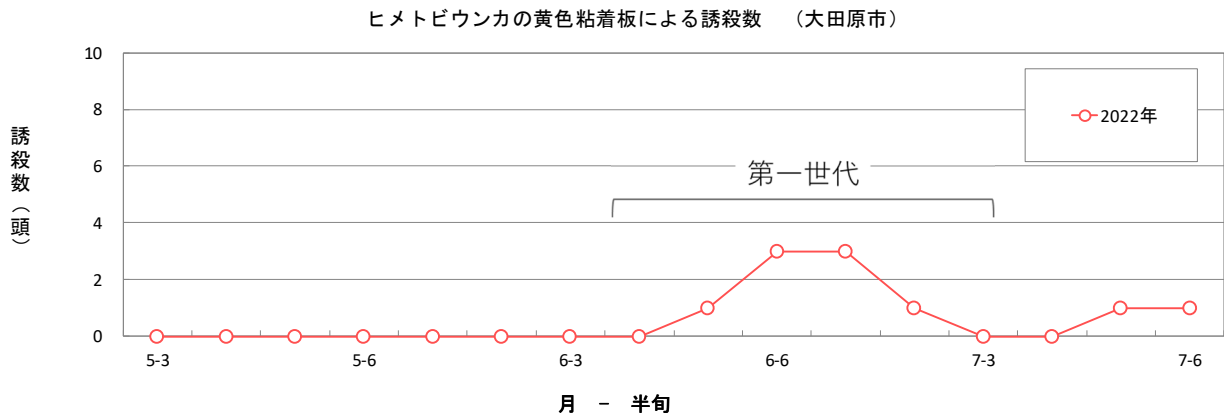


図3 ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数（大田原市）

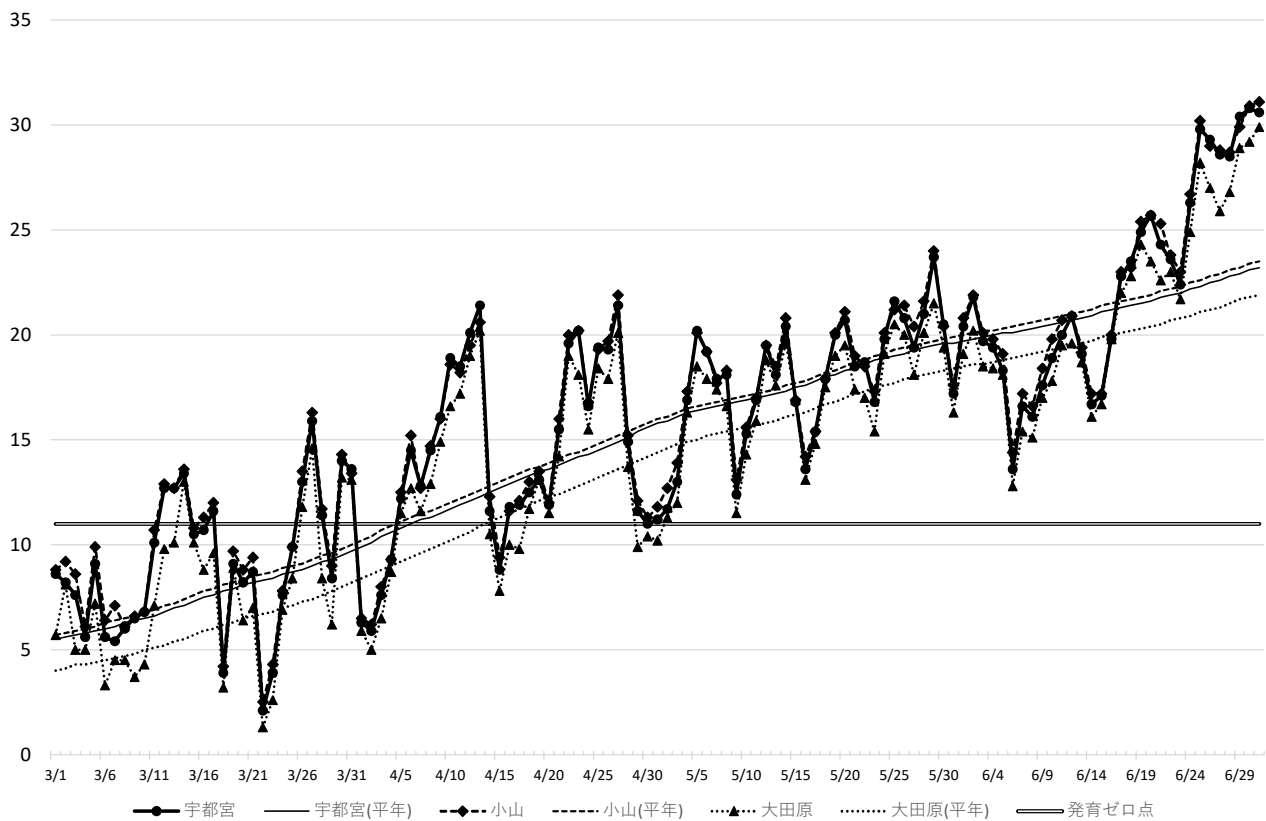


図4 2022年の日平均気温(°C)の推移

(参考文献)

- ・茨城県農業総合センター農業研究所(平成28年度)有効積算温度を用いたヒメトビウンカ第二世代幼虫の本田防除適期予測技術
- ・平江 雅弘・柴 卓也(2016):黄色粘着トラップおよびJPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションによるヒメトビウンカの発生予察方法
- ・奥田 充ら(2019):メッシュ農業気象データを利用したヒメトビウンカ発生時期の推定

第5章 農薬安全対策事業

1 農薬安全使用推進事業

農薬の安全かつ適正な使用の確保を図り、安全な農産物の生産確保と生産環境の保全を図るため、農薬の安全使用及び適正な流通の指導を行った。

1) 危害防止運動の推進

- (1) 農薬危害防止運動月間の設定と趣旨の徹底
令和4(2022)年6月1日から8月31日まで
及び11月1日から令和5(2023)年1年31日まで
- (2) 農薬危害防止啓発チラシの配布（販売者向、使用者向）
- (3) 農薬管理指導士等認定講習会の開催

2) 農薬管理指導士認定講習会の開催

- (1) 農薬管理指導士養成研修の講師
(令和4(2022)年12月21日)
- (2) 農薬管理指導士認定試験問題の作成

3) 農作物等病虫害雑草防除指針の作成

病虫害雑草防除指針を編集し、電子版をホームページ上に公開することで、農作物病虫害・雑草等の効果的な防除法と農薬の適正使用の普及・啓発を図った。

4) 農薬販売者及び農薬使用者の取締状況

農薬取締法に基づき、農薬販売者及び農薬使用者に対し、農薬の適正な販売及び保管管理に関して指導するとともに立入検査を行い、農薬の適正流通及び適正使用について周知徹底を図った。

(1) 農薬販売者に対する立入検査

農薬販売所186か所に対し、農薬販売の届出事項、農薬の容器の表示事項、農薬の宣伝内容、帳簿の記載、農薬の保管について検査を実施した。届出に関する指摘、帳簿の記載不十分、その他の違反があり、口頭で改善を指導した。

(2) 農薬使用者に対する立入検査

農薬使用者に対する立入検査は、20か所実施し、使用方法、使用薬剤、対象作物等農薬の安全使用について、指導を行った。

第1表 届出状況

	届 出 状 況			
	新規	変更	廃止	合計
合 計	13	107	25	145

第2表 市町村別届出状況（販売所数）

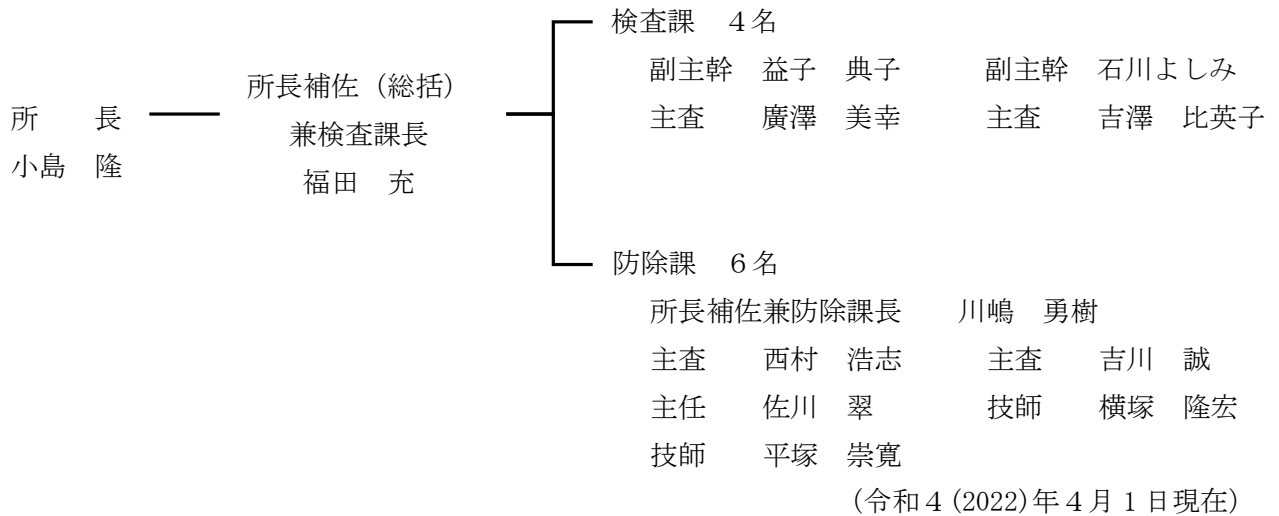
地域名	市町村名	販売所数
河内	宇都宮市	207
	上三川町	13
計		220
上都賀	鹿沼市	60
	日光市	32
計		92
芳賀	真岡市	41
	益子町	14
	茂木町	13
	市貝町	11
	芳賀町	9
計		88
下都賀	栃木市	83
	小山市	70
	下野市	22
	壬生町	21
	野木町	12
計		208

地域名	市町村名	販売所数
塩谷 南那須	矢板市	21
	さくら市	32
	塩谷町	6
	高根沢町	17
	那須烏山市	12
	那珂川町	16
計		104
那須	大田原市	41
	那須塩原市	78
	那須町	18
計		137
安足	佐野市	65
	足利市	52
計		117
合計		966

注) 令和5(2023)年1月31日現在

第6章 栃木県農業環境指導センターの概要及び沿革

1 組織体制



2 業務内容

1) 検査課

- (1) 所内庶務・経理に関する事。
- (2) 肥料の検査及び取締りに関する事。
- (3) 飼料の検査及び取締りに関する事。
- (4) 農薬安全使用対策の推進に関する事。
 - ① 農作物等病虫害雑草防除指針の作成
 - ② 農薬販売者の届出等の審査・受理に関する事。
 - ③ 農薬販売者、農薬使用者の立入検査及び安全使用の指導に関する事。
 - ④ ゴルフ場農薬使用量調査の取りまとめに関する事。
- (5) 病虫害防除員の設置に関する事。

2) 防除課

- (1) 病虫害の発生予察に関する事。
- (2) 植物の検疫に関する事。
- (3) 植物防疫情報に関する事。
- (4) 防除指導に関する事。

3 沿革

昭和24年4月	病虫害発生予察観察員観察所設置 農業試験場、農業高校等県内9か所に併設、観察員が常駐した。
昭和27年4月	病虫害防除所設置 県内9か所の地方事務所に併設、経済課職員が兼務するとともに、病虫害発生予察観察員観察所を併設、観察員が常駐（河内・安蘇は農試本場・分場に常駐）した。
昭和28年4月	地方事務所経済課を農務部分室に改称し、病虫害防除所及び病虫害発生予察観察員観察所を併設した。
昭和30年12月	農務部分室を農業指導所に改称し、病虫害防除所及び病虫害発生予察観察員観察所を併設した。
昭和43年4月	病虫害発生予察観察員観察所統合 県北部、中部、南部の3観察所に統合、農業試験場本場・分場に併設し観察員が常駐した。
昭和51年4月	農業指導所を農政事務所に改称し、病虫害防除所を併設した。
昭和62年4月	病虫害防除所統合 県内9か所の病虫害防除所と、3か所の病虫害発生予察観察員観察所を1か所に統合し、栃木県病虫害防除所とした。事務室は農業試験場本館2階（病理昆虫部と同室）に置いた。
平成4年11月	農業試験場本館3階に専用事務室、同2階に病害診断室を整備した。
平成12年4月	栃木県病虫害防除所と栃木県肥飼料検査所を統合し、栃木県農業環境指導センターとして、河内庁舎内に発足した。 ・検査課：肥料・飼料の検査、農薬取締り及び指導 ・防除課：病虫害発生予察、防除指導